

盛南地区遺跡群発掘調査報告書Ⅲ

－盛岡南新都市開発整備事業関連遺跡平成5～12年度発掘調査③－

台太郎遺跡

2010.11

独立行政法人 都市再生機構
盛岡市・盛岡市教育委員会

序

盛岡市は、東北地方の東部を南北に縦断する北上川と、その支流である雫石川・中津川が合流する地点に中心市街地が形成され、北に雄大な岩手山と姫神山を望む、岩手県の県庁所在地です。その骨格は、約400年前に南部氏により築城された盛岡城を中心とした城下町であり、藩政そして県政の中心として、また交通の要衝として栄えてきました。

近年の盛岡市は、平成4年4月に南に隣接する都南村と、平成18年1月に北に隣接する玉山村と合併し、人口約30万人、面積約886平方キロメートルという北東北の拠点都市となるとともに、平成20年4月には中核市へ移行しました。

この中心市街地の南西部、雫石川の南に広がる田園地帯に職住近接の新市街地を形成しようというのが「盛南開発構想」で、全体計画の約7割にあたる313.5ヘクタールを整備するのが「盛岡南新都市開発整備事業」です。事業主体は独立行政法人都市再生機構（旧地域振興整備公団）で、平成3年12月に事業認可、土地区画整理事業の整備手法により平成7年11月より着工されています（愛称「ゆいとびあ盛南」）。

それに伴い、当該区域内に所在する埋蔵文化財包蔵地17遺跡、計約90ヘクタールのうち、整備事業によって消滅を余儀なくされる遺跡の発掘調査を、平成5年度から当市教育委員会と財団法人岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センターが行っており、現在もなお継続しているところであります。

本報告書は、当市教育委員会が平成5年度から12年度に実施した発掘調査のうち、台太郎遺跡の調査成果について報告するものです。区画整理事業及び発掘調査は現在も継続中ではありますが、不幸なことに平成12年12月に当市文化財調査室が火災のため全焼し、整理・収蔵中であった当該調査資料の多くが罹災しております。本書は、残存した調査資料をまとめて作成したのですが、市民の皆様をはじめ、各学校や教育機関・研究者等の方々に、当該地域の歴史を知るためにご活用いただければ幸いと存じます。

最後になりましたが、発掘調査を実施するにあたり、多大なるご協力やご指導を賜りました都市再生機構岩手都市開発事務所ならびに岩手県教育委員会生涯学習文化課、財団法人岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センターに対し深く感謝申し述べると共に、発掘調査にご理解とご協力をいただきました地権者各位ならびに地元関係者の皆様に厚く御礼申し上げます。

平成22年11月

盛岡市教育委員会

教育長 八巻 恒雄

例 言

- 1 本書は、岩手県盛岡市本宮・向中野・南仙北・飯岡新田に所在する盛南地区遺跡群において、「盛岡南新都市開発整備事業（通称：盛南開発，愛称：ゆいとぴあ盛南）」及び関係事業に伴い平成5年度から12年度に実施した発掘調査の報告書である。なお、「盛南地区遺跡群」の名称については、事業区域内に所在する計17遺跡を包括する総称として使用し、本書ではそのうち台太郎遺跡の調査成果を報告する。
- 2 本書の編集及び刊行事務は盛岡市遺跡の学び館が行い、編集・執筆作業を津嶋知弘が担当した。
- 3 遺構平面位置は、日本測地系 平面直角座標X系を座標変換した調査座標で表示した。
 - ・調査座標軸は、日本測地系第X系に準じる
 - ・調査座標原点
台太郎遺跡 X -35,500.000 Y +26,500.000 → RX ± 0 RY ± 0
- 4 高さは、標高値をそのまま使用した。
- 5 土層断面図は堆積のしかたを重視し、線の太さを使い分けた。層相の観察にあたっては『新版標準土色帖』（農林水産省農林水産技術会議事務局監修）を使用した。
層名の記号は次のとおりとした。

記号	
遺構堆積土	A～I層
竪穴住居カマド崩壊土	J層
竪穴住居カマド構築土	K層
床構築土	L層
地形形成堆積土（遺物包含層含む）	I（ローマ数字）～層

- 6 遺構記号は次のとおりとした。

記号			
竪穴住居跡	RA	溝跡	RG
建物跡	RB	配石・集石遺構	RH
柱列跡	RC	井戸跡	RI
土坑	RD	土器埋設	RP
竪穴建物跡	RE	古墳・円形周溝ほか	RX
焼土遺構	RF	土坑墓ほか	RZ

- 7 遺構番号は、県埋文センター調査遺構番号との整合を図りつつ、資料整理の便宜上から以下のとおりとした。
縄文時代～古代の本調査精査遺構：3桁の遺跡内連続番号（基本的に県埋文センター調査遺構番号に連続）
試掘確認調査の検出・精査遺構・中近世以降の精査遺構：上2桁が調査次数番号+下3桁が次数内連続番号

8 遺構平面図の線種は次のとおりとした。

検出	実線 _____
推定	破線 - - - - -
時期差	一点鎖点 - · - · - · -

- 9 古代の堅穴住居跡のカマド方向は、カマド本体中心（焚口）から煙道先端（煙出し）を結んだ線の方向の傾きとした。
- 10 古代の土器区分は、土師器・あかやき土器・須恵器に分類した。「あかやき土器」の名称は、ロクロ使用の酸化煙焼成土器（坏類、甕類、鉢）に使用し、ロクロ使用の内面黒色処理の坏類は土師器に分類した。
- 11 古代の土器の実測図作成については、坏類は口縁部残存 1/4 以上かつ底部まで残存するもの、甕類は口縁部残存 1/4 以上かつ体部まで残存するものを基本とし、必要に応じて破片実測も行った。また拓本は、須恵器甕類のタタキ目等器面調整が確認できるものとした。
- 12 発掘調査に伴う出土遺物及び諸記録は、盛岡市遺跡の学び館で保管している。
- 13 平成 12 年 12 月 24 日未明に発生した盛岡市教育委員会文化財調査室火災により、平成 12 年度までの調査資料の多くが罹災・焼失した。そのため、本書は残存した資料および一部復元した資料をもって編集せざるをえなかった。なお、本件の詳細については、『盛岡市遺跡の学び館平成 16 年度館報』（2006）にて報告を行っている。
- 14 当該調査の一部については、現地説明会資料等により報告しているものもあるが、本書の記載内容をもって訂正する。

〔盛岡南新都市開発整備事業〕及び関係事業に係る発掘調査報告書（平成 21 年度末現在）

<財団法人岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター（本報告）>

- 1995 年 3 月『本宮熊堂 B 遺跡第 1 次発掘調査報告書 - 盛南開発事業関連遺跡発掘調査 -』第 226 集
- 1996 年 3 月『小幡遺跡第 2 次発掘調査報告書 - 盛岡南新都市開発整備事業 -』第 244 集
- 1996 年 3 月『岩手県埋蔵文化財発掘調査略報（平成 7 年度）』第 246 集〔小幡遺跡 6 次〕
- 1996 年 11 月『小幡遺跡第 2 次発掘調査報告書 - 盛岡南新都市開発整備事業関連遺跡発掘調査 -』第 265 集
- 1997 年 3 月『岩手県埋蔵文化財発掘調査略報（平成 8 年度）』第 266 集〔宮沢遺跡 4 次, 本宮熊堂 A 遺跡 7 次〕
- 1998 年 3 月『小幡遺跡第 5 次・第 7 次発掘調査報告書 - 盛岡西バイパス建設事業関連発掘調査 -』第 267 集
- 1998 年 3 月『大宮北遺跡・本宮熊堂 A 遺跡発掘調査報告書 - 盛岡南新都市開発整備事業関連遺跡発掘調査 -』第 265 集〔大宮北遺跡 4 次, 本宮熊堂 A 遺跡 6 次〕
- 1998 年 3 月『岩手県埋蔵文化財発掘調査略報（平成 9 年度）』第 282 集〔稲荷遺跡 3 次, 野古 A 遺跡 9 次・10 次〕
- 1999 年 3 月『熊堂 B 遺跡第 5 次・台太郎遺跡第 16 次発掘調査報告書 - 盛岡南新都市開発整備事業関連遺跡発掘調査 -』第 293 集
- 1999 年 1 月『本宮熊堂 B 遺跡第 4 次・鬼柳 A 遺跡第 4 次発掘調査報告書 - 盛岡南新都市開発整備事業関連遺跡発掘調査 -』第 308 集
- 1999 年 3 月『台太郎遺跡第 15 次発掘調査報告書 - 盛岡南新都市開発整備事業関連遺跡発掘調査 -』第 309 集
- 1999 年 3 月『岩手県埋蔵文化財発掘調査略報（平成 10 年度）』第 311 集〔飯岡才川遺跡 2 次〕
- 2000 年 1 月『向中野館遺跡第 3 次・小幡遺跡第 10 次発掘調査報告書 - 盛岡南新都市開発整備事業関連遺跡発掘調査 -』第 388 集
- 2000 年 3 月『向中野館遺跡第 4 次・小幡遺跡第 11 次・台太郎遺跡第 19 次発掘調査報告書 - 盛岡南新都市開発整備事業関連遺跡発掘調査 -』第 321 集
- 2000 年 3 月『岩手県埋蔵文化財発掘調査略報（平成 11 年度）』第 340 集〔小幡遺跡 13 次・14 次〕

2001年3月『台太郎遺跡第22次発掘調査報告書-盛岡東警察署警察官待機宿舍建設事業関連発掘調査-』第365集

2001年3月『台太郎遺跡第18次発掘調査報告書-盛岡南新都市開発整備事業関連遺跡発掘調査-』第369集

2001年3月『台太郎遺跡第26次発掘調査報告書-盛岡南新都市開発整備事業関連遺跡発掘調査-』第416集

2002年3月『岩手県埋蔵文化財発掘調査略報(平成12年度)』第370集〔鬼柳A遺跡7次,本宮熊堂B遺跡9次・11次,小幅遺跡15次・16次,飯岡才川遺跡4次〕

2002年2月『熊堂B遺跡第10次発掘調査報告書-盛岡南新都市開発整備事業関連遺跡発掘調査-』第377集

2002年3月『飯岡才川遺跡第3次発掘調査報告書-盛岡南新都市開発整備事業関連遺跡発掘調査-』第393集

2002年3月『岩手県埋蔵文化財発掘調査略報(平成13年度)』第397集〔台太郎遺跡36次,細谷地遺跡6次〕

2003年3月『台太郎遺跡第23次発掘調査報告書-盛岡南新都市開発整備事業関連遺跡発掘調査-』第415集

2003年3月『台太郎遺跡第35次発掘調査報告書-盛岡南新都市開発整備事業関連遺跡発掘調査-』第417集

2003年3月『台太郎遺跡第44次発掘調査報告書-盛岡南新都市開発整備事業関連遺跡発掘調査-』第422集

2003年3月『細谷地遺跡発掘調査報告書-第4・5次調査-盛岡南新都市開発整備事業関連遺跡発掘調査』第414集

2003年3月『飯岡沢田遺跡第3次発掘調査報告書-盛岡南新都市開発整備事業関連遺跡発掘調査-』第418集

2003年3月『飯岡沢田遺跡第5次発掘調査報告書-盛岡南新都市開発整備事業関連遺跡発掘調査-』第419集

2003年3月『野古A遺跡第12次発掘調査報告書-盛岡南新都市開発整備事業関連遺跡発掘調査-』第420集

2003年3月『野古A遺跡第15次発掘調査報告書-盛岡南新都市開発整備事業関連遺跡発掘調査-』第421集

2003年3月『岩手県埋蔵文化財発掘調査略報(平成14年度)』第423集〔矢盛遺跡4次,稻荷遺跡5次〕

2004年2月『矢盛遺跡第3次・熊堂B遺跡発掘調査報告書-盛岡南新都市開発整備事業関連遺跡発掘調査-』第451集

2004年3月『本宮熊堂A遺跡第17次発掘調査報告書-盛岡南新都市開発整備事業関連遺跡発掘調査-』第453集

2004年3月『細谷地遺跡第8次発掘調査報告書-盛岡南新都市開発整備事業関連遺跡発掘調査-』第454集

2004年3月『岩手県埋蔵文化財発掘調査略報(平成15年度)』第455集〔稻荷遺跡6次,本宮熊堂B遺跡19次,台太郎50次・52次,野古A遺跡19次・20次,飯岡才川遺跡5次・6次,細谷地遺跡7次〕

2004年12月『本宮熊堂B遺跡第13・15・20次発掘調査報告書-盛岡南新都市開発整備事業関連遺跡発掘調査-』第467集

2005年2月『本宮熊堂B遺跡第18次発掘調査報告書-国道46号盛岡西バイパス建設事業関連遺跡発掘調査-』第458集

2005年2月『台太郎遺跡第51次発掘調査報告書-盛岡南新都市開発整備事業関連遺跡発掘調査-』第468集

2005年3月『岩手県埋蔵文化財発掘調査略報(平成16年度)』第469集〔稻荷遺跡8・9次,台太郎遺跡53次,矢盛遺跡5次〕

2005年12月『矢盛遺跡第6次発掘調査報告書-盛岡南新都市開発整備事業関連遺跡発掘調査-』第488集

2006年2月『飯岡沢田遺跡第9・10次発掘調査報告書-盛岡南新都市開発整備事業関連遺跡発掘調査-』第489集

2006年2月『本宮熊堂A遺跡第24次・本宮熊堂B遺跡第25次発掘調査報告書-一般国道46号盛岡西バイパス建設事業関連遺跡発掘調査-』第470集

2006年3月『台太郎遺跡第54次発掘調査報告書-盛岡南新都市開発整備事業関連遺跡発掘調査-』第486集

2006年3月『本宮熊堂B遺跡第27次発掘調査報告書-盛岡南新都市開発整備事業関連遺跡発掘調査-』第487集

2006年3月『平成17年度発掘調査報告書』第490集〔宮沢遺跡11次,本宮熊堂B遺跡30次・31次〕

2007年2月『飯岡才川遺跡第8・9次発掘調査報告書-盛岡南新都市開発整備事業関連遺跡発掘調査-』第494集

2007年3月『細谷地遺跡第9次・第10次発掘調査報告書-盛岡南新都市開発整備事業関連遺跡発掘調査-』第500集

2007年2月『野古A遺跡第23・24・29次発掘調査報告書-盛岡南新都市開発整備事業関連遺跡発掘調査-』第501集

2007年3月『本宮熊堂A遺跡第26・29次発掘調査報告書-盛岡南新都市開発整備事業関連遺跡発掘調査-』第502集

2007年3月『向中野館遺跡第5・6次発掘調査報告書-盛岡南新都市開発整備事業関連遺跡発掘調査-』第503集

2007年2月『向中野館遺跡第7・8次発掘調査報告書-盛岡南新都市開発整備事業関連遺跡発掘調査-』第504集

2008年1月『飯岡才川遺跡第12次発掘調査報告書-盛岡南新都市開発整備事業関連遺跡発掘調査-』第515集

2008年1月『矢盛遺跡第10・11次・向中野館遺跡第9次・台太郎遺跡第58次発掘調査報告書-盛岡南新都市開発整備事業関連遺跡発掘調査-』第516集

2008年2月『飯岡才川遺跡第7・13次・細谷地遺跡第12次・矢盛遺跡第9次発掘調査報告書-一般国道46号盛岡西バイパス建設事業関連遺跡発掘調査-』第508集

2008年2月『細谷地遺跡第13次・第14次発掘調査報告書-盛岡南新都市開発整備事業関連遺跡発掘調査-』第513集

2008年2月『細谷地遺跡第15次発掘調査報告書-盛岡南新都市開発整備事業関連遺跡発掘調査-』第514集

2008年3月『平成19年度発掘調査報告書』第524集〔細谷地遺跡18次,矢盛遺跡14次〕

2009年2月『矢盛遺跡第12・13次発掘調査報告書-盛岡南新都市開発整備事業関連遺跡発掘調査-』第534集

2009年2月『細谷地遺跡第16・17次発掘調査報告書-盛岡南新都市開発整備事業関連遺跡発掘調査-』第535集

2009年3月『平成20年度発掘調査報告書』第546集〔飯岡才川遺跡15次,矢盛遺跡20次,焼野遺跡1・2次〕

2009年12月『矢盛遺跡第18・19次発掘調査報告書-盛岡南新都市土地区画整理事業関連遺跡発掘調査-』第555集

2010年2月『細谷地遺跡第19・20次発掘調査報告書-盛岡南新都市土地区画整理事業関連遺跡発掘調査-』第556集

2010年3月『細谷地遺跡第10・11次発掘調査報告書-盛岡南新都市土地区画整理事業関連遺跡発掘調査-』第557集

2010年3月『平成21年度発掘調査報告書』第571集〔矢盛遺跡25・26次〕

<盛岡市教育委員会>

1998年3月『盛岡市埋蔵文化財調査年報-平成5・6年度-』〔南仙北遺跡12・13・14次〕

2002年3月『盛岡市内遺跡群-平成13年度発掘調査報告-』〔台太郎遺跡40・41次〕

2005年3月『盛岡市内遺跡群-平成15年度・16年度発掘調査報告-』〔台太郎遺跡55次〕

2007年3月『盛南地区遺跡群発掘調査報告書Ⅰ-盛岡南新都市開発整備事業平成5～12年度発掘調査①-大宮北遺跡・小幅遺跡・宮沢遺跡・鬼柳A遺跡』〔大宮北遺跡8・9次,小幅遺跡8・12・17次,宮沢遺跡5次,鬼柳A遺跡5次〕

2009年3月『盛南地区遺跡群発掘調査報告書Ⅱ-盛岡南新都市開発整備事業平成5～12年度発掘調査②-稻荷遺跡・本宮熊堂A遺跡・本宮熊堂B遺跡・野古A遺跡・飯岡沢田遺跡・飯岡才川遺跡・向中野館遺跡・細谷地遺跡・矢盛遺跡・南仙北遺跡』〔稻荷遺跡1・1次補足,本宮熊堂A遺跡2・2次補足,本宮熊堂B遺跡3・3次補足・8・11次,飯岡沢田遺跡1・2次,飯岡才川遺跡1次,向中野館遺跡第1・2次,細谷地遺跡2次,矢盛遺跡2次,南仙北遺跡15～17・22～24・27・28・30～32・35次〕

目次

第1章 経過

第1節 調査の経過	1
第2節 発掘調査作業の経過	2
第3節 資料整理作業の経過	2
第4節 調査体制	3

第2章 遺跡群の位置と環境

第1節 地理的環境	5
第2節 歴史的環境	6

第3章 調査成果

第1節 遺跡の立地と概要	7
第2節 調査内容	8
(1) 第10次調査(平成7年度)	8
(2) 第12次調査(平成7年度)	8
(3) 第13次調査(平成8年度)	8
(4) 第14次調査(平成8年度)	8
(5) 第20次調査(平成10年度)	8
(6) 第24次調査(平成11年度)	9
(7) 第25次調査(平成11年度)	16
(8) 第27次調査(平成12年度)	29
(9) 第28次調査(平成12年度)	37
(10) 第29次調査(平成12年度)	40
(11) 第30次調査(平成12年度)	41
(12) 第31次調査(平成12年度)	41
(13) 第32次調査(平成12年度)	42
(14) 第33次調査(平成12年度)	45

第4章 総括

1. 古代の遺物	47
2. 古代の遺構	48

表

図

写真図版

抄録

表 目 次

第1表	台太郎遺跡調査一覧表〔平成5～12年度〕……………	53
第2表	第20次調査土坑一覧……………	54
第3表	第20次調査溝跡一覧……………	54
第4表	第24次調査土坑一覧……………	55
第5表	第24次調査溝跡一覧(1)……………	56
第6表	第24次調査溝跡一覧(2)……………	57
第7表	第25次調査A区土坑一覧(1)……………	58
第8表	第25次調査A区土坑一覧(2)……………	59
第9表	第25次調査A区溝跡一覧……………	60
第10表	第25次調査B区土坑一覧……………	61
第11表	第25次調査B区溝跡一覧……………	61
第12表	第27次調査A区土坑一覧……………	62
第13表	第27次調査A区溝跡一覧……………	62
第14表	第27次調査B区土坑一覧……………	63
第15表	第27次調査B区溝跡一覧……………	63
第16表	第27次調査C区溝跡一覧……………	63
第17表	第28次調査土坑一覧……………	64
第18表	第28次調査溝跡一覧……………	64
第19表	第29次調査土坑一覧……………	64
第20表	第31次調査溝跡一覧……………	64
第21表	第32次調査A・C区土坑一覧……………	65
第22表	第32次調査A・B・C区溝跡一覧……………	65
第23表	第33次調査溝跡一覧……………	65
第24表	第24次調査竪穴住居跡土層観察表(1)……………	66
第25表	第24次調査竪穴住居跡土層観察表(2)……………	67
第26表	第24次調査竪穴住居跡土層観察表(3)……………	68
第27表	第24次調査竪穴住居跡土層観察表(4)……………	69
第28表	第24次調査竪穴住居跡土層観察表(5)……………	70
第29表	第24次調査出土土器観察表(1)……………	71
第30表	第24次調査出土土器観察表(2)……………	72
第31表	第24次調査出土遺物観察表……………	72
第32表	第25次調査A区出土土器観察表(1)……………	73
第33表	第25次調査A区出土土器観察表(2)……………	74
第34表	第25次調査A区出土土器観察表(3)……………	75
第35表	第25次調査A区出土土器観察表(4)……………	76
第36表	第25次調査A区出土遺物観察表……………	76
第37表	第25次調査B区出土土器観察表……………	77
第38表	第25次調査B区出土遺物観察表……………	77
第39表	第27次調査A区出土土器観察表……………	77
第40表	第27次調査A・B区・ 第32次調査C区出土遺物観察表……………	77
第41表	第27次調査B区出土土器観察表(1)……………	78
第42表	第27次調査B区出土土器観察表(2)……………	79
第43表	第28次調査出土土器観察表……………	79
第44表	第32次調査B区出土土器観察表……………	79
第45表	第32次調査C区出土土器観察表……………	80
第46表	第25次調査A・B区出土 縄文土器・弥生土器・続縄文土器観察表……………	81
第47表	第25次調査A区出土 縄文土器・弥生土器観察表……………	82
第48表	第24次調査竪穴住居跡検討表(1)……………	83
第49表	第24次調査竪穴住居跡検討表(2)……………	83
第50表	第25次調査A区竪穴住居跡検討表(1)……………	83
第51表	第25次調査A区竪穴住居跡検討表(2)……………	83

目 次

第1図	台太郎遺跡位置図	87	第34図	第25次調査A区西半部・ 第30次調査区全体図	117
第2図	盛南地区遺跡群位置図	88	第35図	第25次調査A区東半部全体図	121
第3図	台太郎遺跡全体図	89	第36図	第25次調査A区RA322・324 竪穴住居跡	125
第4図	第20次調査区全体図	93	第37図	第25次調査A区RA323 竪穴住居跡	125
第5図	第24次調査区全体図	97	第38図	第25次調査A区 RA325・327・328・330 竪穴住居跡	126
第6図	第24次調査A区北半部全体図	98	第39図	第25次調査A区RA326 竪穴住居跡	126
第7図	第24次調査A区南半部全体図	99	第40図	第25次調査A区RA329 竪穴住居跡	127
第8図	第24次調査B区全体図	100	第41図	第25次調査A区 RA331・332a・b・333 竪穴住居跡	127
第9図	第24次調査C区北半部全体図	101	第42図	第25次調査A区RA334 竪穴住居跡	128
第10図	第24次調査C区南半部全体図	102	第43図	第25次調査A区RA222・336 竪穴住居跡	128
第11図	第24次調査A区RA304 竪穴住居跡	103	第44図	第25次調査A区 RA337 竪穴住居跡, RE046 竪穴状遺構	129
第12図	第24次調査A区RA305 竪穴住居跡	103	第45図	第25次調査A区 RA338・340 竪穴住居跡, RZ025 土坑墓	129
第13図	第24次調査A区RA306 竪穴住居跡	104	第46図	第25次調査A区 RA335・342・343 竪穴住居跡	130
第14図	第24次調査A区RA307 竪穴住居跡	104	第47図	第25次調査A区RA341 竪穴住居跡	130
第15図	第24次調査A区RA308 竪穴住居跡	105	第48図	第25次調査A区 RA344 竪穴住居跡, RZ026 土坑墓	131
第16図	第24次調査A区RA309 竪穴住居跡	105	第49図	第25次調査A区RA345 竪穴住居跡	131
第17図	第24次調査A区RA310 竪穴住居跡	105	第50図	第25次調査A区RA346 竪穴住居跡	132
第18図	第24次調査A区RA311 竪穴住居跡	106	第51図	第25次調査A区RA347 竪穴住居跡	132
第19図	第24次調査A区RA312 竪穴住居跡	106	第52図	第25次調査A区RA348・353 竪穴住居跡	133
第20図	第24次調査A区RA313 竪穴住居跡	107	第53図	第25次調査A区RA351 竪穴住居跡	133
第21図	第24次調査A区RA314 竪穴住居跡	107	第54図	第25次調査A区RA352 竪穴住居跡	133
第22図	第24次調査A区RA315 竪穴住居跡	108	第55図	第25次調査A区RA349・350 竪穴住居跡	134
第23図	第24次調査A区RA316 竪穴住居跡	108	第56図	第25次調査A区RA354・359 竪穴住居跡	134
第24図	第24次調査A区RA317 竪穴住居跡	108	第57図	第25次調査A区 RA356a・b・357・361 竪穴住居跡	135
第25図	第24次調査A区RA318 竪穴住居跡	109	第58図	第25次調査A区RA360 竪穴住居跡	135
第26図	第24次調査A区RA319 竪穴住居跡	109			
第27図	第24次調査B区RA320 竪穴住居跡	110			
第28図	第24次調査B区RA321 竪穴住居跡	110			
第29図	第24次調査B区RA322 竪穴住居跡	111			
第30図	第24次調査B区RA323 竪穴住居跡	111			
第31図	第24次調査A区 RB24001 掘立柱建物跡, RC24001 柱列跡	112			
第32図	第24次調査A区RC24002 柱列跡	112			
第33図	第25次調査A区・第30次調査区全体図	113			

第 59 图	第 25 次調查 A 区 RA362 豎穴住居跡, RE047 豎穴狀遺構	136	第 96 图	第 27 次調查 A 区 RA463 豎穴住居跡	151
第 60 图	第 25 次調查 A 区 RA363 豎穴住居跡	136	第 97 图	第 27 次調查 A 区 RA464 豎穴住居跡	151
第 61 图	第 25 次調查 A 区 RA364 豎穴住居跡	136	第 98 图	第 27 次調查 A 区 RA465 豎穴住居跡	152
第 62 图	第 25 次調查 A 区 RA366a·b·378 豎穴住居跡	137	第 99 图	第 27 次調查 A 区 RA466 豎穴住居跡	152
第 63 图	第 25 次調查 A 区 RA367 豎穴住居跡	137	第 100 图	第 27 次調查 A 区 RA467 豎穴住居跡	152
第 64 图	第 25 次調查 A 区 RA368 豎穴住居跡	138	第 101 图	第 27 次調查 B·C 区, 第 32 次調查 A·B·C 区, 第 31 次調查区全体图	153
第 65 图	第 25 次調查 A 区 RA369a·b·384 豎穴住居跡	138	第 102 图	第 27 次調查 B 区東半部全体图	157
第 66 图	第 25 次調查 A 区 RA370 豎穴住居跡	138	第 103 图	第 27 次調查 B 区西半部全体图	158
第 67 图	第 25 次調查 A 区 RA371 豎穴住居跡	139	第 104 图	第 27 次調查 B 区 RA482 豎穴住居跡	159
第 68 图	第 25 次調查 A 区 RA372·391 豎穴住居跡	139	第 105 图	第 27 次調查 B 区 RA483 豎穴住居跡	159
第 69 图	第 25 次調查 A 区 RA373 豎穴住居跡	140	第 106 图	第 27 次調查 B 区 RA484 豎穴住居跡	159
第 70 图	第 25 次調查 A 区 RA374 豎穴住居跡	140	第 107 图	第 27 次調查 B 区 RA485 豎穴住居跡	159
第 71 图	第 25 次調查 A 区 RA377 豎穴住居跡	140	第 108 图	第 27 次調查 B 区 RA486 豎穴住居跡	160
第 72 图	第 25 次調查 A 区 RA383 豎穴住居跡	141	第 109 图	第 27 次調查 B 区 RA487 豎穴住居跡	160
第 73 图	第 25 次調查 A 区 RA379 豎穴住居跡	141	第 110 图	第 27 次調查 B 区 RA490 豎穴住居跡	160
第 74 图	第 25 次調查 A 区 RA380 豎穴住居跡	141	第 111 图	第 27 次調查 B 区 RA489a·b 豎穴住居跡	161
第 75 图	第 25 次調查 A 区 RA375 豎穴住居跡	142	第 112 图	第 27 次調查 B 区 RA492 豎穴住居跡	161
第 76 图	第 25 次調查 A 区 RA381 豎穴住居跡	142	第 113 图	第 27 次調查 B 区 RA491 豎穴住居跡	162
第 77 图	第 25 次調查 A 区 RA382 豎穴住居跡	143	第 114 图	第 27 次調查 B 区 RA493 豎穴住居跡	162
第 78 图	第 25 次調查 A 区 RA385 豎穴住居跡	143	第 115 图	第 27 次調查 B 区 RA494 豎穴住居跡	163
第 79 图	第 25 次調查 A 区 RA386 豎穴住居跡	143	第 116 图	第 27 次調查 B 区 RA495 豎穴住居跡	163
第 80 图	第 25 次調查 A 区 RA387 豎穴住居跡	144	第 117 图	第 27 次調查 C 区全体图	164
第 81 图	第 25 次調查 A 区 RA389 豎穴住居跡	144	第 118 图	第 28 次調查区全体图	165
第 82 图	第 25 次調查 A 区 RA390 豎穴住居跡	144	第 119 图	第 28 次調查区 RA471·472 豎穴住居跡	166
第 83 图	第 25 次調查 A 区 RE048 豎穴狀遺構	144	第 120 图	第 28 次調查区 RA473 豎穴住居跡	166
第 84 图	第 25 次調查 B 区·第 27 次調查 A 区全体图	145	第 121 图	第 28 次調查区 RA474 豎穴住居跡	167
第 85 图	第 25 次調查 B 区· 第 27 次調查 A 区北半部全体图	146	第 122 图	第 28 次調查区 RA475 豎穴住居跡	167
第 86 图	第 25 次調查 B 区· 第 27 次調查 A 区南半部全体图	147	第 123 图	第 28 次調查区 RA477 豎穴住居跡	167
第 87 图	第 25 次調查 B 区 RA392 豎穴住居跡	148	第 124 图	第 28 次調查区 RA478·479 豎穴住居跡	168
第 88 图	第 25 次調查 B 区 RA393 豎穴住居跡	148	第 125 图	第 28 次調查区 RA480 豎穴住居跡	168
第 89 图	第 25 次調查 B 区 RA394 豎穴住居跡	148	第 126 图	第 28 次調查区 RB28001 掘立柱建物跡, RC28001·28002 柱列跡	169
第 90 图	第 25 次調查 B 区 RA396 豎穴住居跡	149	第 127 图	第 29 次調查区全体图	170
第 91 图	第 25 次調查 B 区 RA397 豎穴住居跡	149	第 128 图	第 29 次調查区 RA503 豎穴住居跡	170
第 92 图	第 25 次調查 B 区 RA395 豎穴住居跡	150	第 129 图	第 31 次調查区全体图	171
第 93 图	第 25 次調查 B 区 RA398 豎穴住居跡	150	第 130 图	第 31 次調查区 RA391 豎穴住居跡	171
第 94 图	第 25 次調查 B 区 RA399 豎穴住居跡	150	第 131 图	第 31 次調查区 RA481 豎穴住居跡	171
第 95 图	第 27 次調查 A 区 RA462 豎穴住居跡	151	第 132 图	第 32 次調查 A 区全体图	172
			第 133 图	第 32 次調查 B 区全体图	173

第134图	第32次調査B区RA193 竖穴住居跡	173
第135图	第32次調査B区RA500 竖穴住居跡	173
第136图	第32次調査C区全体图	174
第137图	第33次調査区全体图	175
第138图	第24次調査出土土器 (1)	176
第139图	第24次調査出土土器 (2)	177
第140图	第24次調査出土土器 (3)	178
第141图	第24次調査出土土器 (4)	179
第142图	第24次調査出土土製品・石製品	179
第143图	第25次調査A区出土土器 (1)	180
第144图	第25次調査A区出土土器 (2)	181
第145图	第25次調査A区出土土器 (3)	182
第146图	第25次調査A区出土土器 (4)	183
第147图	第25次調査A区出土土器 (5)	184
第148图	第25次調査A区出土土器 (6)	185
第149图	第25次調査A区出土土器 (7)	186
第150图	第25次調査A区出土土器 (8)	187
第151图	第25次調査A区出土土器 (9)	188
第152图	第25次調査A区出土土製品	188

第153图	第25次調査A区出土石製品	189
第154图	第25次調査B区出土土器	190
第155图	第25次調査B区出土土製品	190
第156图	第27次調査A区出土土器・土製品	191
第157图	第27次調査B区出土土器 (1)	192
第158图	第27次調査B区出土土器 (2)	193
第159图	第27次調査B区出土土器 (3)	194
第160图	第27次調査B区出土土器 (4)	195
第161图	第27次調査B区出土土器・土製品	196
第162图	第28次調査出土土器	196
第163图	第32次調査B区出土土器	196
第164图	第32次調査C区出土土器・土製品	197
第165图	第25次調査A区出土 繩文土器・弥生土器	198
第166图	第25次調査A・B区出土 弥生土器・縄文土器	199
第167图	第27次調査A区出土繩文土器	200
第168图	第27次調査A区出土弥生土器	200
第169图	第27次調査A区出土古銭	200

写真図版目次

第1図版	第24次調査・第25次調査A区 竪穴住居跡出土土器 ……………	203	第8図版	第25次調査A区出土土器(3) ……………	210
第2図版	第25次調査A区竪穴住居跡出土土器(1) ……	204	第9図版	第25次調査A区出土土器(4) ……………	211
第3図版	第25次調査A区竪穴住居跡出土土器(2) ……	205	第10図版	第25次調査B区・第27次調査A区 出土土器 ……………	212
第4図版	第24次調査出土土器(1) ……………	206	第11図版	第27次調査B区出土土器(1) ……………	213
第5図版	第24次調査出土土器(2) ……………	207	第12図版	第27次調査B区出土土器(2) ……………	214
第6図版	第25次調査A区出土土器(1) ……………	208	第13図版	第32次調査C区出土土器 ……………	215
第7図版	第25次調査A区出土土器(2) ……………	209	第14図版	墨書・刻書土器 ……………	216

第1章 経過

第1節 調査の経過

「盛岡南新都市開発整備事業」は、北東北の中核都市および岩手県の県都として担うべき都市機能の充実を図るため、旧城下町から発展して形成された既存の中心市街地南西部に新市街地を開発整備し、既成市街地・盛岡駅西口地区（旧国鉄跡地）・盛岡南地区を結ぶ「軸状都心」を形成することで、都市構造をよりよく改めようと策定された土地区画整理事業である。

平成2年9月に岩手県・盛岡市・都南村（現盛岡市，平成4年4月合併）の3者が、地域振興整備公団（以下「公団」と呼ぶ，現独立行政法人都市再生機構）に対して事業申請を行い，公団は実施計画を作成，翌平成3年12月に当時の建設大臣および国土庁長官から実施許可が下り，事業が開始された。

埋蔵文化財の取り扱いについては，昭和50年の国土庁長官・建設省からの行政指導に則して，公団と岩手県・盛岡市・都南村は「覚書」，およびその「確認書」において以下のように文書を取り交わしている。

「盛岡南新都市開発整備事業に関する覚書」（平成3年12月11日） 記の7（3）

県，市及び村は，環境の保全及び文化財の保護につき，協力して所要の調整を行い，事業の推進を図るものとする。

「盛岡南新都市開発整備事業に関する覚書の確認書」（平成3年12月11日） 記の5

「覚書」の記の7の（3）の文化財保護における埋蔵文化財発掘調査について，国庫補助事業及び公共施設管理者負担金の対象となる都市計画道路に係る敷地の調査については，公団が県，市及び村に委託するものとし，その他の敷地については市及び村において調査するものとする。

このため，県，市及び村は，土地区画整理事業の認可までに，公団からの委託分を含めた埋蔵文化財発掘調査計画を立案し，これを県，市，村及び公団で確認の上，他機関への委託を含めた調査の実施に必要な体制を確保することにより，事業の円滑な推進を図るものとする。

なお，事業のスケジュールが調査実施者の都合により遅延した場合には，県，市及び村は，適切な方策を講ずるものとする。

上記に基づく協議の結果，遺跡の要調査範囲を確定する試掘確認調査を市教育委員会が実施し，その結果を受けての本調査を市，村及び公団から委託を受けて財団法人岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター（以下「県埋文センター」と呼ぶ）が実施することとなった。

しかし，本調査対象面積が広大であることから，平成10年度以降は市教育委員会も本調査の実施を開始。平成11年度以降は市教育委員会も公団と受委託契約を締結し，県埋文センターと市教育委員会の両者が調整を図りながら本調査を実施することで，現在に至っている。

第2節 発掘調査作業の経過

盛岡南新都市開発整備事業にともなう埋蔵文化財の発掘調査は、平成4年度から継続して実施されている。

土地区画整理事業の工事計画や進捗にあわせて、埋蔵文化財包蔵地の範囲確認や遺構密度を確認するための試掘確認調査を実施し、その成果を受けて効率的な本調査が実施できるよう調整を行っている。しかし、地権者との交渉や農地補償等の問題から、埋蔵文化財包蔵地範囲の全域について、試掘確認調査を実施することは現実的に不可能であり、状況に即した対応を行っている。

本書で報告の対象としている台太郎遺跡の平成5～12年度の調査成果の概要は、第1表のとおりである。

第3節 資料整理作業の経過

当市教育委員会が、本事業の本調査を始めたのは、平成10年度からである。また平成11年度からは公団と発掘調査の受委託契約を締結し、公団施工範囲（都市計画道路分）の本調査も実施してきた。この際は、予算措置の問題や職員体制が十分でないことを考慮して、年度ごとの発掘調査報告書の刊行は断念することとし、報告書刊行は事業の進捗を見ながら順次まとめて行うものとし、年度内はその基礎となる資料整理作業のみを行っていた。

平成12年12月24日午前0時30分頃、市立厨川小学校敷地内にある文化財調査室にて火災が発生し、昭和30年建設の老朽化した木造2階建ての旧校舎は全焼した。市教育委員会では昭和57年度から文化財調査室として埋蔵文化財の資料整理・収蔵保管の拠点として使用してきた場所である。

当然、本事業の発掘調査成果（図面・写真・出土資料の一部）も収蔵されており、罹災により調査成果の完全復元はきわめて難しい状況となった。

市教育委員会は、文化庁の指導及び補助事業の採択を受け、埋蔵文化財の調査研究・収蔵管理・普及活用を目的として、新たな拠点となる埋蔵文化財センターとして、博物館施設が集積する本宮地区の（仮称）盛岡市中央公園内に「盛岡市遺跡の学び館」を建設、平成16年6月に開館した。その間も、本事業にともなう発掘調査と資料整理作業、および罹災資料の復元作業を継続して行い、現在に至っている。

本事業関連遺跡発掘調査報告書を刊行するにあたり、以下の指針をもって実施することとしている。

- ①平成5～12年度の発掘調査に係る罹災資料について、速やかに再整理と報告書刊行を行う。
- ②平成5～12年度発掘調査報告書は、膨大な量の資料が罹災したこともあり、1冊の報告書として報告することは現実的に困難なため、数遺跡ごとに分冊刊行することで年次計画を立て優先的に報告する。
- ③平成13年度以降事業終了年度までの調査成果は、上記報告書刊行の進捗状況を見ながら、数遺跡または数年度ずつをまとめて分冊とし、報告する。

本報告書は、上記指針に基づく3分冊目の報告書である。なお、報告にあたっては、罹災し復元不可能な部分はその旨を明記した表現を行っている。

第4節 調査体制

〔委託者〕 地域振興整備公団（～平成16年6月）、独立行政法人都市再生機構（平成17年7月～）

〔調査主体〕 盛岡市教育委員会

〔事務局〕 盛岡市教育委員会事務局文化課（平成5～18年度）、歴史文化課（平成19年度～）

〔調査〕 盛岡市教育委員会事務局文化課文化財係（平成5～15年度）、
盛岡市遺跡の学び館（平成16年度～）

〔助言〕 文化庁、岩手県教育委員会、財団法人岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター

〔協力〕 発掘調査、資料整理、罹災資料復元及び報告書編集にあたり、盛岡市都市整備部盛岡南整備課、
地権者・地元関係者の方々、そして多くの作業員・県内外文化財関係職員の方々より多大なる協
力を得た。記して感謝申し上げる。

〔発掘調査担当者（本書詳細掲載分、氏名は調査当時）〕

台太郎遺跡	第10次調査（平成7年度）	千田和文・黒須靖之
	第12次調査（平成7年度）	黒須靖之
	第13次調査（平成8年度）	津嶋知弘
	第14次調査（平成8年度）	三浦陽一
	第20次調査（平成10年度）	黒須靖之・平澤祐子
	第24次調査（平成11年度）	似内啓邦・三浦陽一・花井正香
	第25次調査（平成11年度）	似内啓邦・三浦陽一・今野公顕・平澤祐子
	第27次調査（平成12年度）	津嶋知弘・今野公顕・平澤祐子・岩城志麻
	第28次調査（平成12年度）	今野公顕
	第29次調査（平成12年度）	今野公顕
	第30次調査（平成12年度）	平澤祐子
	第31次調査（平成12年度）	平澤祐子
	第32次調査（平成12年度）	今野公顕・岩城志麻
	第33次調査（平成12年度）	似内啓邦・今野公顕・岩城志麻

盛岡市教育委員会文化財保護関係職員（平成 22 年度）

教 育 長 八 卷 恒 雄
 教 育 部 長 佐 藤 義 見
 教 育 次 長 萬 明 夫

歴史文化課（事務局）

課長	亀山助正
主幹兼課長補佐 （埋蔵文化財担当, 兼務）	千田和文
課長補佐（文化財・史跡担当）	袖上 寛
文化財主査	室野秀文
文化財主査（兼務）	菊地幸裕
文化財主査（兼務）	津嶋知弘
文化財主査（兼務）	神原雄一郎
主任（兼務）	江本敦史
文化財主任	権頭祐子
文化財主任	今野公顕
文化財主任	花井正香
文化財主任（兼務）	佐々木亮二
主事	佐々木俊一
主事	寺島幸子
主事（兼務）	明地幹子
文化財調査員	小西治子
文化財調査員	渡邊久美子
文化財調査員	米沢 綾

遺跡の学び館（施設）

館長（兼務）	亀山助正
主幹兼館長補佐	千田和文
文化財主査	菊地幸裕
文化財主査	津嶋知弘
文化財主査	神原雄一郎
主任	江本敦史
文化財主任	佐々木亮二
主事	明地幹子
文化財調査員	鈴木賢治
文化財調査員	吉田里和
文化財調査員	佐々木紀子
学芸調査員	相馬容子（～6月）
学芸調査員	佐々木逸人
学芸調査員	大平佳澄（7月～）

第2章 遺跡群の位置と環境

第1節 地理的環境

盛岡市は岩手県の中央部に位置する。平成4年4月に南に隣接する都南村と、平成18年1月に北に隣接する玉山村と合併し、人口300,746人（平成17年国勢調査人口）、面積886.47km²の県庁所在地である。平成20年4月には中核市へ移行している。

現在、市街地南西部の313.5haを対象に「盛岡南新都市開発整備事業」に係る土地区画整理事業が実施されている。事業主体は独立行政法人都市再生機構（旧地域振興整備公団）で、平成3年12月に事業認可を受け、平成7年11月より着工している。これにともない、事業区域内の埋蔵文化財発掘調査を平成4年度から県埋文センターと市教育委員会が実施している。

「盛南地区遺跡群」は、盛岡南新都市開発整備事業区域内に所在する計17遺跡、大宮北遺跡・小幅遺跡・宮沢遺跡・鬼柳A遺跡・稲荷遺跡・本宮熊堂A遺跡・本宮熊堂B遺跡・野古A遺跡・飯岡沢田遺跡・飯岡才川遺跡・台太郎遺跡・向中野館遺跡・細谷地遺跡・矢盛遺跡・焼野遺跡・夕覚遺跡・南仙北遺跡が該当し、盛岡市本宮字大宮・字小幅・字宮沢・字鬼柳・字熊堂・字稲荷・字野古、下鹿妻字北、向中野字千刈田・字台太郎・字向中野・字八日市場・字野原・字才川・字細谷地・字鶴子・字幅、飯岡新田1地割沢・2地割・3地割・4地割、南仙北2丁目などに所在する（第2図）。

盛岡は、岩手県から宮城県を南流する北上川に中津川・雫石川・築川といった支流の合流点である北上盆地の北端にあり、本遺跡群は、北上川の西岸とその支流である雫石川の南岸に広がる沖積段丘上に立地する。雫石川は奥羽山脈から東流し、烏泊山と箱ヶ森に挟まれた北の浦付近（市内上太田）で急激に流路を狭められ、その狭窄部を抜け北上盆地に入り、北上川と合流する。雫石川の北岸には岩手山を供給源とする火山砕石流堆積物と火山灰層がのる台地が発達していることにより、狭窄部以東の南岸に流路転換が顕著に見られ、沖積段丘（砂礫段丘）が発達している。

沖積段丘は、水成砂礫層を基底とし、その上に水成シルト層、そして表土が覆っている。基本層はおおむねこの3層に分類されるが、砂礫層の上面高をはじめ、それぞれの層相・層厚は地点によって大きく異なる。また、このシルト層は旧河道ばかりでなく、微高地などにも堆積している。このことは、この低位沖積段丘は、雫石川が周辺の山地から供給される砂礫やシルトによって堆積され、さらに河道の定まらない雫石川の下刻や堆積を繰り返されたことによるものと言える。雫石川の旧河道は幾筋も確認されており、連続する大きなものは4条、そのほかにも網目状に細かな旧河道も確認されており、複雑な河道変遷を示す。それらに画された微高地に、古代を中心とした遺跡が分布している。

第2節 歴史的環境

本遺跡群の立地する沖積段丘上では、縄文時代～古墳時代にかけての遺構遺物の発見は少なく、遺跡のほとんどは7世紀中葉以降の集落遺跡といえる。

縄文・弥生時代の遺構遺物は、本宮熊堂A遺跡や台太郎遺跡で縄文時代晩期を中心とする竪穴住居跡や遺物包含層が検出されている。その他の各遺跡からは遺物が散見する程度であり、主体的なものではない。また、詳細な時期を特定する要素は乏しいが、飯岡才川遺跡など多くの遺跡で縄文時代の陥し穴が確認されている。

古墳時代末、7世紀中葉の遺構遺物は、数は多くはないが台太郎遺跡などで確認されている。これ以降集落が継続的に営まれる。奈良時代、8世紀中葉以降竪穴住居跡を主体とした集落跡が増加する。この時期の集落は、大型竪穴住居を中心としてその周囲に中～小型の竪穴住居が数棟ずつまとまりをもって分布する傾向がある。

9世紀、平安時代初頭の延暦22年(803)には、本遺跡群の西方に「志波城」(下太田方八丁他)が造営される。志波城は東北経営のために朝廷が造営した古代城柵であり、当時「蝦夷(エミシ)」と呼ばれていた人々の社会に大きな影響を与えたと考えられる。征夷大將軍であった坂上田村麻呂が朝廷の命を受け造営した志波城は、北側を流れる雫石川の度重なる洪水の被害を受け、およそ10年で文室綿麻呂の建議により徳丹城(矢巾町西徳田)に移転したことが記録に見られる。その後、徳丹城は9世紀中葉までにはその機能を停止し、本地域も含む北上盆地一帯は、鎮守府胆沢城(奥州市水沢区九蔵田)による一城統治の体制となる。

以降、9世紀中葉から本地域では竪穴住居を主体とした集落数が増加の一途をたどる。それにともない竪穴住居の規模の大小差は縮小するようになり、重複が著しく見られるようになる傾向がある。その中でも、向中野館遺跡の低湿地から古代の祭祀に関係すると考えられる遺物の出土や、飯岡沢田遺跡・飯岡才川の円形周溝墓群や火葬骨蔵器など、本地域内の集落機能の分化もみられる。

また、9世紀後葉から10世紀中葉にかけては、地区の拠点的な集落も姿を現すようになる。細谷地遺跡では、微高地の南斜面に沿うように2×2間の総柱の掘立柱建物跡が東西に並立し、倉庫群が存在したと考えられる。また大宮北遺跡や、本地域の北西、志波城跡の北東に隣接する林崎遺跡で、規模の大きな官衙的な掘立柱建物を計画的に配置した集落も発見されており、在地有力者の拠点と考えられる。

11～12世紀にかけての、様相ははっきりしないが、12世紀末～13世紀初頭頃のものと考えられるかわらけが、大宮遺跡の大溝跡から多量に出土している。13世紀後半には、台太郎遺跡で不整五角形の平面形となる居館が営まれ、地域を支配した豪族の存在が想定される。さらに同遺跡では、土坑墓群や宗教施設と考えられる遺構も検出されており、出土遺物から15世紀頃までの存続が考えられる。また向中野館遺跡や矢盛遺跡でも、堀跡が検出されており、出土遺物やその平面形から16世紀代を中心とする居館と考えられている。

江戸時代に入ると、雫石川は現在の流路となり、旧河道の東側には奥州道中(街道)や仙北組町が開かれ、本地域は水田地帯に農家が点在する農村地帯となる。各遺跡からは曲屋などの掘立柱建物跡や土坑墓、南仙北遺跡では道路跡などの近世の遺構が発見されており、この姿は盛南開発が行われる直前の本地域の様子と大きく違いが無いものと考えられる。

第3章 調査成果

第1節 遺跡の立地と概要

台太郎遺跡は、803年に造営された古代城柵である志波城跡の東方約2.5kmに位置し（第1図）、西方に飯岡沢田・飯岡才川遺跡、南方に向中野館遺跡が位置している（第2図）。志波城跡からのびる低位沖積段丘が南に曲がる屈曲点にあたり、幅20～50m、比高差1m程度の細かな旧河道によって分断された微高地上に立地している。遺跡範囲は東西約800m、南北約500mをはかる（第3図）。

これまでの県埋文センター・市教委の発掘調査により、7世紀～10世紀の古代集落、中世の居館を中心とした集落跡や墓域、近世の村落跡などが確認されている。

古代（奈良・平安時代）の竪穴住居跡は600棟以上を数え、そのほかに掘立柱建物跡（2×2間総柱）や大溝などが確認されており、当時の「志波（斯波）」地域最大の集落といえる。遺構の分布をみると、7世紀末～8世紀の竪穴住居跡は、いくつかの群をつくりながら南西部を除く遺跡の全域に分布し、重複はみられない。それに対し、9世紀～10世紀の竪穴住居跡は、遺跡の西部と中央～北部の段丘縁辺部に分布が集中し、多くの重複がみられる。個別の竪穴住居跡の特徴をみると、7世紀末～8世紀は北西カマドが圧倒的で北東～南カマドもわずかにあり、カマドの作り替えは少ない。9世紀～10世紀は北西～北カマド、南東カマドなどさまざまで、大型住居にカマドの作り替えが多い。

中世（鎌倉～戦国時代）になると、12世紀後半の渥美の灰釉小形壺が遺跡北東端より単独出土している。13世紀後半には、遺跡中央部に不整五角形プランの在地領主の居館が営まれ、周辺域にはこれに関連する区画溝や道路跡、掘立柱建物跡、竪穴建物等が分布している。また、遺跡南部には中世の土坑墓群、掘立柱建物跡、竪穴建物跡、さらに現在の「諏訪神社」の周囲を囲むような掘跡や、社殿または仏堂らしい掘立柱建物跡も確認されている。これらは出土した陶磁器の年代から15世紀頃まで存続したと考えられる。居館北東側には幅6m内外で並行する道路側溝状の溝跡があり、この溝の東側には並行して区画整理工事前の道路も存在していた。この道は、遺跡北東部の段丘崖や居館の堀、館周辺の区画溝とも並行しており、居館や周辺村落と並存していた道路跡と考えられる。また、本遺跡の南方には、向中野館遺跡（北館・南館）が存在しているが、館跡を構成する曲輪（くるわ）が方形を基調としたプランであることや、北館付近では堀や土橋、小さな曲輪などの複雑な配置であることから、およそ16世紀を中心とした年代が考えられる。

近世（江戸時代）には零石川は現在の流れとなり、旧河道の東側には奥州道中（街道）が通じ、城下の玄関口にあたる仙北組町が開かれる。これにより向中野はこの町の郊外となった。この時代の遺構としては、掘立柱建物の曲屋（まがりや）跡や直屋（すごや）跡などが遺跡内に点在するようになり、水田地帯の中に農家が点在する近世の「向中野村」の一部と考えられる。

第2節 調査内容

(1) 第10次調査（平成7年度）

今次調査区は、遺跡の南部に位置し、盛岡南新都市開発整備事業に伴う試掘確認調査として実施した。調査対象面積 5,050㎡について、重機により試掘トレンチ 14 本を設定し（調査面積 1,200㎡）、遺構検出面まで掘り下げ、遺構・遺物の有無を確認した。その結果、全域で古代及び近世と推定される遺構・遺物が検出されたため、全範囲を要本調査地区とした（第3図）。

(2) 第12次調査（平成7年度）

今次調査区は、遺跡の中央東部に位置し、盛岡南新都市開発整備事業に伴う試掘確認調査として実施した。調査対象面積 33,390㎡について、重機により幅約 2 m の試掘トレンチ 86 本を設定し（調査面積 5,174㎡）、黄褐色シルト及び砂礫面まで掘り下げ、遺構・遺物の有無を確認した。その結果、全域で古代と推定される遺構・遺物が検出されたため、全範囲を要本調査地区とした（第3図）。

(3) 第13次調査（平成8年度）

今次調査区は、遺跡の北部及び西部に位置し、盛岡南新都市開発整備事業に伴う試掘確認調査として実施した。調査対象面積 28,667㎡について、重機により幅約 1.5 m の試掘トレンチ 124 本を設定し（調査面積 4,064㎡）、砂質シルト及びシルト漸移面まで掘り下げ、遺構・遺物の有無を確認した。その結果、北部及び西部の一部で古代と推定される遺構・遺物が検出されたため、その範囲を要本調査地区とし、その他の範囲は調査終了地区とした（第3図）。

(4) 第14次調査（平成8年度）

今次調査区は、遺跡の東部に位置し、下水道引込工事に伴う本調査として実施した。調査面積は 25㎡。人力により表土を除去し、遺構検出を行った。

a. 遺構と遺物

検出された遺構は、本調査区に隣接する昭和 60 年に実施した第 4 次調査区から続く平安時代の竪穴住居跡 1 棟（RA 016）と溝跡 1 条（RG 005）の一部である。溝跡については工事により掘削が行われる地表下約 1.2 m までを精査し、それ以下については保存措置とした。現地調査の図面・写真資料のすべてが罹災・焼失していること、また調査区が狭小であることから、各遺構の詳細な事実記載は省略する（第3図）。

(5) 第20次調査（平成10年度）

今次調査区は、遺跡の南端部に位置し、盛岡南新都市開発整備事業に伴う本調査として実施した。調査完了面積は 1,400㎡。重機により表土を除去し、遺構検出を行った。なお、本調査区の東側も一部表土を除去

し遺構検出を試みたが、天候不順のため精査は断念し、埋め戻しを行っている。また、現地調査の図面・写真資料の大部分が罹災・焼失していることから、遺構図の提示と事実記載は可能な範囲までとした。

a. 遺構と遺物

調査の結果、古代以降と考えられる土坑 9 基 (RD20001～20009)・溝跡 19 条 (RG20001～20019)、ピット多数を検出した。また、調査区南部は低湿地となっており、遺跡の南限を示すものと考えられる (第 4 図)。

・土坑

RD20001～20009 (第 4 図)

調査区内で 9 基の土坑が検出されており、各土坑の詳細は第 2 表のとおりである。一部の埋土より縄文晩期土器破片や中世 14～15 世紀頃の中国青磁破片が出土しているが、非常に少数である。

・溝跡

RG20001～20019 (第 4 図)

調査区内で 19 条の溝跡が検出されており、各溝跡の詳細は第 3 表のとおりである。出土遺物はほとんどなく、RG20008 より江戸時代 17 世紀の瀬戸・美濃灰釉皿の破片が出土している。

・ピット

調査区内からは多数のピット (柱穴跡) が検出されている (第 4 図)。平面形は不整円形から不整楕円形であり、土坑や溝跡との重複もある。これらの一部が掘立柱建物跡や柱列跡を構成するとの調査時の所見はあるものの、現時点で詳細な検討を行うことができる資料が罹災・焼失しているため、それらに関する事実記載は省略する。遺物は、ピット埋土より平安時代のあかやき土器坏・須恵器坏の破片少数と、江戸時代 18 世紀頃の肥前染付碗の破片 1 点が出土している。

・遺物

遺構検出面及び表土より、縄文時代の石器 (剥片)、古代の土師器坏・甕、あかやき土器坏、須恵器坏・甕が少数、近世 18～19 世紀の肥前染付皿の破片 1 点が出土している。

(6) 第 24 次調査 (平成 11 年度)

今次調査区は、遺跡の西端部に位置し、盛岡南新都市開発整備事業に伴う本調査として実施した (第 5 図)。調査面積は 3,425m²。重機により表土を除去し、遺構検出を行った。調査区については、道路により分断されていることから、東調査区を A 区、北西調査区を B 区、南西調査区を C 区とした (第 5～10 図)。

a. 遺構と遺物

調査の結果、奈良・平安時代の竪穴住居跡 20 棟 (RA304～323)、古代以降の土坑 15 基 (RD836・837・839～851)・溝跡 51 条 (RG282～332)・道路状遺構 1 本 (RX24001)・ピット多数、中世以降の掘立柱建物跡 1 棟 (RB24001)・柱列 (板塀) 跡 2 基 (RC24001・24002) を検出した。

・ 竪穴住居跡

RA304 (第11図)

位置 A区北西部 重複関係 RA305 (新, 調査時はRA304を先に調査)

平面形 隅丸方形 規模 東西4.7m以上 (調査区外), 南北約6.3m, 深さ0.2~0.25m

カマド方向 西または南カマド? (調査区外) 埋土 第24表

貯蔵穴 1基 (Pit2) 柱穴 1口 床の状態 床面構築土, 硬化面あり

出土遺物 (第138・142図, 第29・31表) 土師器坏・甕・球胴甕, あかやき土器坏・甕破片, 須恵器坏破片, 土製品 (紡錘車) 時期 奈良時代 (8世紀)

RA305a・b (第12図)

位置 A区北西部 重複関係 RA304 (古, 調査時はRA304を先に調査)

平面形 隅丸方形 規模 北東-南西4.3~4.5m, 北西-南東約4.5m, 深さ約4.0m

カマド方向 a期 (新) - N34.0° E, 北東カマド, 長い煙道 (トンネル状, 1.05m)

b期 (古) - W35.5° N, 北西カマド, 長い煙道 (トンネル状, 1.67m)

埋土 第24・25表 貯蔵穴 a期カマド右隣に1基 (Pit8) 柱穴 11口

カマド a期両袖残存, b期袖残存せず, 両期とも焚き口の焼け面あり

床の状態 床面構築土, 硬化面あり

出土遺物 (第139図, 第29表) 土師器坏・高台付坏・甕, あかやき土器坏・甕, 須恵器坏・長頸瓶, 鉄製品 (刀子?) 1点 時期 平安時代 (9世紀)

RA306 (第13図)

位置 A区北部 重複関係 なし 平面形 隅丸方形? (調査区外)

規模 東西約2.7m, 南北1.2m以上 (調査区外), 深さ0.05~0.25m

カマド方向 E21.0° S, 東カマド, 長い煙道 (1.65m) 埋土 第25表

カマド 両袖なし 出土遺物 鉄製品 (鎌?) 1点 時期 奈良・平安時代 (8・9世紀)

RA307 (第14図)

位置 A区北部 重複関係 RG283 (新) 平面形 隅丸方形

規模 南北3.8~4.0m, 東西4.1~4.2m, 深さ約0.2m

カマド方向 N12.5° E, 北カマド, 長い煙道 (1.6m) 埋土 第25表

カマド 両袖残存, 焚き口の焼け面あり 柱穴 2口 床の状態 床面構築土, 硬化面あり

出土遺物 (第138図, 第29表) 土師器坏・甕, あかやき土器坏・甕, 須恵器坏・甕, 石製品 (砥石?) 1点

時期 平安時代 (9世紀)

RA308 (第15図)

位置 A区北部 重複関係 RA309 (古) 平面形 隅丸方形

規模 東西約3.6m, 南北4.0~4.3m, 深さ0.1~0.15m

カマド方向 E8.0° S, 東カマド, 長い煙道 (1.2m) 埋土 第25表

カマド 両袖残存, 焚き口の焼け面あり 床の状態 床面構築土, 硬化面あり

出土遺物(第138・142図, 第29・31表)土師器坏・高台付坏・甕, あかやき土器坏・甕, 須恵器坏・甕, 土製品(土
錘) 2点, 鉄滓1点 時期 平安時代(9世紀)

RA309 (第16図)

位置 A区北部 重複関係 RA308(新) 平面形 不整隅丸方形

規模 東西2.3m以上, 南北2.5~3.1m, 深さ約0.1m

カマド方向 東カマド?(RA308に重複) 埋土 第25表 床の状態 床面構築土あり

出土遺物 土師器坏・甕, あかやき土器坏・高台付坏・甕破片 時期 平安時代(9世紀?)

RA310 (第17図)

位置 A区中央部 重複関係 RB24001(新), RG289・303(古) 平面形 隅丸方形

規模 北西-南東3.2~3.5m, 北東-南西3.2~3.5m, 深さ0.15~0.2m

カマド方向 E24.5° S, 南東カマド, 長い煙道(0.85m) 埋土 第26表

カマド 両袖残存, 焚き口の焼け面あり 床の状態 床面構築土・硬化面あり, 中央に焼け面あり

出土遺物 土師器坏・甕, あかやき土器坏・甕, 須恵器坏・甕破片, 軽石(砥石?) 1点

時期 平安時代(9世紀?)

RA311 (第18図)

位置 A区南部 重複関係 RG301(新), RD839(古) 平面形 不整隅丸方形

規模 北東-南西2.4~2.6m, 北西-南東2.4~2.6m, 深さ0.05~0.15m

カマド方向 E1.5° N, 東カマド, 長い煙道(0.7m) 埋土 第26表

カマド 袖残存せず, 焚き口の焼け面あり 床の状態 南側に焼け面あり

出土遺物 土師器坏・甕, あかやき土器坏・甕, 須恵器坏・甕破片 時期 平安時代(9世紀?)

RA312 (第19図)

位置 A区南部 重複関係 なし 平面形 隅丸方形

規模 東西2.5~2.6m, 南北2.4~2.5m, 深さ約0.3m

カマド方向 E21.5° S, 東カマド, 長い煙道(トンネル状, 1.1m) 埋土 第26表

カマド 両袖残存, 焚き口の焼け面あり 柱穴 1口 床の状態 床面構築土あり

出土遺物(第138図, 第29表) 土師器坏・高台付坏・甕, あかやき土器坏・甕, 須恵器坏

時期 平安時代(9世紀)

RA313 (第20図)

位置 A区南東部 重複関係 なし 平面形 隅丸方形

規模 北西-南東3.2~3.6m, 北東-南西3.2~3.5m, 深さ約0.15m

カマド方向 S37.5° E, 南東カマド, 長い煙道(1.25m) 埋土 第26表

カマド 両袖残存(礫使用), 焚き口の焼け面あり 床の状態 東側2ヶ所に焼け面あり

出土遺物 (第140図, 第29表) 土師器坏・甕, あかやき土器坏・甕, 須恵器坏・甕, 刻書土器「×」

時期 平安時代 (9世紀?)

RA314 (第21図)

位置 A区南東部 重複関係 なし 平面形 隅丸方形

規模 東西約33m, 南北3.3m, 深さ約0.2m

カマド方向 W22.0° N, 西カマド, 長い煙道 (1.5m) 埋土 第26表

カマド 右袖のみ残存, 焚き口より離れて焼け面あり 床の状態 床構築土・硬化面あり 柱穴 4口

出土遺物 (第138図, 第29表) 土師器坏・高台付坏・甕破片, あかやき土器坏・甕破片, 須恵器坏・甕・長頸瓶破片, 石製品 (砥石?) 1点 時期 平安時代 (9世紀)

RA315 (第22図)

位置 A区南東部 重複関係 なし 平面形 隅丸方形

規模 東西約2.5m, 南北2.4m以上 (調査区外), 深さ約0.05m

カマド方向 北または東カマド (調査区外) 埋土 第27表 柱穴 1口

出土遺物 (第138図, 第29表) 土師器甕破片, あかやき土器坏, 須恵器坏・長頸瓶破片

時期 平安時代 (9世紀)

RA316 (第23図)

位置 A区南東部 重複関係 なし 平面形 隅丸方形? (調査区外)

規模 南北約2.9m, 東西1.6m以上 (調査区外), 深さ約0.15m

カマド方向 東カマド? (調査区外) 埋土 第27表

出土遺物 (第138図, 第29表) 須恵器坏 時期 平安時代 (9世紀)

RA317 (第24図)

位置 B区北西部 重複関係 RG307 (新) 平面形 隅丸方形? (調査区外)

規模 南北約4.3m, 東西3.0m以上 (調査区外), 深さ約0.2m

カマド方向 北または西カマド (調査区外) 埋土 第27表 床の状態 床構築土あり

柱穴 2口 出土遺物 (第140図, 第30表) 土師器坏・甕・球胴甕, あかやき土器坏・甕破片

時期 奈良時代 (8世紀)

RA318 (第25図)

位置 B区北部 重複関係 RA319 (古), RG307 (新) 平面形 隅丸方形

規模 北東-南西2.8~2.9m, 北西-南東3.1~3.3m, 深さ0.1~0.15m

カマド方向 W34.0° S, 南西カマド, 長い煙道 (1.4m) 埋土 第27表

カマド 両袖残存, 焚き口に焼け面あり 床の状態 床構築土・硬化面あり

出土遺物 土師器坏・甕破片, あかやき土器坏・甕破片, 須恵器坏・甕・長頸瓶破片,

時期 平安時代 (9世紀)

RA319 (第26図)

位置 B区北部 **重複関係** RA318 (新) **平面形** 隅丸方形
規模 北西-南東 3.9~4.0 m, 北東-南西 4.0~4.2 m, 深さ約 0.15 m
カマド方向 N45.0° W, 北西カマド, 長い煙道 (1.5 m) **埋土** 第27表
カマド 両袖残存, 焚き口に焼け面あり **床の状態** 床構築土・硬化面あり **貯蔵穴** 1基(カマド右隣)
出土遺物 (第140図, 第30表) 土師器坏・甕・球胴甕, あかやき土器坏破片, 刻書土器「×」, 鉄製品 (不明)
時期 奈良時代 (8世紀)

RA320 (第27図)

位置 B区北東部 **重複関係** RG316 (新) **平面形** 隅丸方形? (調査区外)
規模 北東-南西 4.4 m以上 (調査区外), 北西-南東 4.8~4.9 m, 深さ約 0.2 m
カマド方向 北東カマド? (調査区外) **埋土** 第27表 **床の状態** 床構築土・硬化面あり
出土遺物 (第140図, 第30表) 土師器坏・甕破片, あかやき土器坏・甕破片, 須恵器坏・甕破片
時期 平安時代 (9世紀)

RA321 (第28図)

位置 B区南西部 **重複関係** RG310 (新) **平面形** 隅丸方形? (調査区外)
規模 南北 4.4 m以上, 東西 2.0 m以上 (調査区外), 深さ約 0.15 m
カマド方向 南または西カマド (調査区外) **埋土** 第28表 **床の状態** 床構築土あり
出土遺物 (第141図, 第30表) 土師器坏・甕・球胴甕, あかやき土器坏・甕破片 [検出面のみ]
時期 奈良時代 (8世紀)

RA322 (第29図)

位置 B区南東部 **重複関係** なし **平面形** 隅丸方形? (調査区外)
規模 東西 2.7 m以上, 南北 4.7 m以上 (調査区外), 深さ約 0.2 m
カマド方向 W0°, 西カマド, 長い煙道 (1.3 m) **埋土** 第28表
カマド 両袖残存, 焚き口に焼け面あり **床の状態** 床構築土・硬化面あり
出土遺物 (第141・142図, 第30・31表) 土師器坏・甕, あかやき土器坏・甕, 須恵器坏・甕, 石製品 (砥石)
時期 平安時代 (9世紀)

RA323 (第30図)

位置 B区南西部 **重複関係** RG308 (新) **平面形** 隅丸方形
規模 東西 2.8~2.9 m, 南北 2.9~3.1 m, 深さ約 0.1 m
カマド方向 E25° S, 東カマド, 長い煙道 (1.7 m) **埋土** 第28表 **床の状態** 床構築土あり
出土遺物 なし
時期 奈良・平安時代 (8・9世紀?)

・掘立柱建物跡

RB24001 (第31図)

位置 A区中央部, RC24001が西側柱筋より1.65m(5.5尺)離れてほぼ平行に並ぶ

重複関係 RG283・285・288・289・290・299(新), RA310(古)

構造 南北桁行4間・東西梁行3間の身舎に, 北側2間の廂または下屋が付く(妻入建物か?)

棟方向 南北棟, 西側柱筋N0°・東側柱筋N25°E

規模

身舎: 桁行西側柱筋-総長81m(27尺), 柱間北から18m(6尺)+21m(7尺)+24m(8尺)+18m(6尺)

桁行東側柱筋-総長78m(26尺), 柱間北から18m(6尺)+27m(9尺)+15m(5尺)+18m(6尺)

梁行南側柱筋-総長5.7m(19尺), 柱間西から2.4m(8尺)+1.8m(6尺)+1.5m(5尺)

梁行北側柱筋-総長6.0m(20尺), 柱間西から2.1m(7尺)+2.1m(7尺)+1.8m(6尺)

廂(下屋): 桁行-東西とも1.5m(5尺)

梁行-総長4.2m(14尺), 柱間2.1m(7尺)等間

柱掘穴

	掘方1	掘方2	掘方3	掘方4	掘方5	掘方6
直径(m)	0.35	0.35~0.4	0.3~0.35	0.3~0.85	0.4~0.45	0.3
深さ(m)	0.3	0.4	0.35	0.4	0.5	0.4
平面形	不整円形	不整円形	不整円形	不整楕円形	不整円形	不整円形
柱痕跡	あり	あり	なし	なし	あり	あり

	掘方7	掘方8	掘方9	掘方10	掘方11	掘方12
直径(m)	0.3	0.35~0.4	0.3~0.65	0.3	0.45	0.35~0.45
深さ(m)	0.3	0.4	-	0.25	0.35	0.3
平面形	不整円形	不整円形	不整楕円形	不整円形	不整円形	不整円形
柱痕跡	あり	あり	-	あり	あり	なし

	掘方13	掘方14	掘方15	掘方16	掘方17
直径(m)	0.25~0.35	0.3	0.25~0.3	※削平	0.5~0.65
深さ(m)	0.1	0.1	0.15	※削平	0.3
平面形	不整円形	不整円形	不整円形	※削平	不整円形
柱痕跡	なし	なし	なし	※削平	なし

時期 中世以降

・柱列(板塀)跡

RC24001(第31図)

位置 A区中央部, RB24001西側柱筋より1.65m(5.5尺)離れてほぼ平行に並ぶ

重複関係 RG282・289・290・300 (新) 構造 南北桁行4間 (推定)

規模 総長102 m (34尺), 柱間北から2.1 m (7尺) + 2.7 m (9尺) + 推定2.7 m (9尺) + 推定2.7 m (9尺)

桁方向 N0°

柱掘方

	掘方1	掘方2	掘方3	掘方4	掘方5
直径 (m)	0.3 ~ 0.35	0.25 ~ 0.3	0.25	※削平	0.25
深さ (m)	0.4	0.5	0.45	※削平	0.3
平面形	不整円形	不整楕円形	不整円形	※削平	不整円形
柱痕跡	あり	なし	あり	※削平	あり

時期 中世以降

RC24002 (第32図)

位置 A区北部 重複関係 なし

構造 L字形に並ぶ板塀, 北西-南東桁行2間・北東-南西桁行2間

規模 北西-南東桁行総長3.0 m (10尺), 柱間1.5 m (5尺) 等間

北東-南西桁行総長3.0 m (10尺), 柱間1.5 m (5尺) 等間

桁方向 北西-南東柱筋 W39.0° N, 南東-南西柱筋 N43.0° E

柱掘方

	掘方1	掘方2	掘方3	掘方4	掘方5
直径 (m)	約0.35	約0.4	約0.35	約0.4	0.35 ~ 0.4
深さ (m)	0.15	0.35	0.1	0.15	0.3
平面形	不整円形	不整円形	不整円形	不整円形	不整円形
柱痕跡	あり	あり	あり	あり	あり

時期 中世以降

・土坑

RD836・837・839~851 (第6~8図)

調査区内で15基の土坑を確認しており, 各土坑の概要は第4表のとおりである。なお, 土層観察については紙面の都合により省略した。一部の埋土より土師器, あかやき土器, 須恵器の破片が出土している。

・溝跡

RG282~331 (第6~10図)

調査区内で51条の溝跡を確認しており, 各溝跡の概要は第5・6表のとおりである。一部の埋土より土師器, あかやき土器, 須恵器が出土しており, RG282からは中世13~14世紀の中国青磁碗, RG327溝跡からは刻書土器「キ」が出土している (第141図, 第30表)。土層観察については紙面の都合により省略した。

・道路状遺構

RX24001 (第6図)

位置 A区中央部

重複関係 RA310, RB24001, RC24001, RG282・283・288・299・303

規模 RG290を北側側溝, RG285を南側側溝とする北東から南西方向の道路跡と考えられる。両側溝の芯々で幅約9.0m(30尺),路面幅約8.1m(27尺)。路面構築土等の痕跡や施設は特に確認されていない。

・ピット

調査区内で75口のピット(柱穴跡)を確認している。すべてA区で検出されており,埋土より土師器の破片が出土しているものもある。個別の概要については紙面の都合により省略した。

(7) 第25次調査(平成11年度)

今次調査区は,遺跡の北部に位置し,盛岡南新都市開発整備事業に伴う本調査として実施した。調査面積は3,674㎡。重機により表土を除去し,遺構検出を行った。調査区については,東西2地点に分かれていることから,東調査区をA区,西調査区をB区とした(第33・84図)。なお,B区については平成12年度実施の第27次調査A区と連続し,検出遺構も一連のものがあることから,遺構・遺物の詳細は其中で記述することとする。

a. 遺構と遺物

調査の結果,A区より弥生時代の土器埋設遺構1基(RP001),奈良・平安時代の竪穴住居跡65棟(RA222, 322~338, 340~354, 356, 357, 359~364, 366~375, 377~387, 389~391),古代以降の竪穴状遺構3基(RE046~048)・土坑墓2基(RZ025, 026)・土坑62基(RD852~914)・溝跡28条(RG322~336・338~352・354)・ピット多数,中世以降の大溝跡1条(RG25801)を検出した。後述するB区からは,奈良・平安時代の竪穴住居跡8棟(RA392~399),古代以降の土坑6基(RD915~918・920・921)・溝跡4条(RG348~351)・ピット多数を検出した。A区・B区合算の遺構数は,弥生時代の土器埋設遺構1基,奈良・平安時代の竪穴住居跡73棟,古代以降の土坑墓2基・土坑68基・溝跡32条・ピット多数,中世以降の大溝跡1条である。

・竪穴住居跡

RA322 (第36図)

位置 A区北東部 重複関係 RA324(古), RA329(古) 平面形 隅丸方形

規模 東西4.3m以上(攪乱により削平),南北5.4m,深さ0.15m

カマド方向 W115°N,西カマド,長い煙道(1.5m) カマド 両袖残存,焚き口の焼け面あり

床の状態 床構築土あり

出土遺物(第143図,第32表) 土師器坏・甕,あかやき土器坏・碗・甕,須恵器坏・甕

時期 平安時代(9世紀)

RA323 (第37図)

位置 A区北東部 **重複関係** RA329 (古) **平面形** 隅丸方形
規模 東西3.2～3.5 m, 南北4.0 m, 深さ0.05～0.1 m
カマド方向 W17.5° N, 西カマド, 長い煙道 (1.6 m) **カマド** 両袖残存 (芯材に土器使用)
床の状態 床構築土あり **出土遺物** (第143図, 第32表) 土師器坏・甕 **時期** 奈良時代 (8世紀)

RA324 (第36図)

位置 A区北東部 **重複関係** RA322 (新), RA327 (古) **平面形** 隅丸方形?
規模 東西2.45 m以上, 南北0.7 m以上 **カマド方向** 不明
床の状態 床構築土あり
出土遺物 (第143図, 第32表) 土師器坏・甕 **時期** 奈良時代 (8世紀)

RA325 (第38図)

位置 A区北東部 **重複関係** RA330 (古), RG25801 (新) **平面形** 隅丸方形?
規模 北西-南東2.55 m以上, 北東-南西2.0 m以上, 深さ0.15 m
カマド方向 不明 **床の状態** 床構築土あり
出土遺物 (第143図, 第32表) 土師器坏 (ロクロ・非ロクロ)・甕, あかやき土器坏・甕, 須恵器坏・甕
時期 平安時代 (9世紀)

RA326 (第39図)

位置 A区北東部 **重複関係** なし **平面形** 隅丸方形
規模 東西3.25 m, 南北3.3 m, 深さ0.08 m **カマド方向** 不明 (西カマド?)
床の状態 床構築土あり **出土遺物** 土師器坏・甕, あかやき土器坏 **時期** 平安時代 (9世紀)

RA327 (第38図)

位置 A区北東部 **重複関係** RA324 (新), RA328 (古), RA330 (古), RG25801 (新)
平面形 隅丸方形 **規模** 東西3.1 m, 南北3.1 m以上, 深さ0.2 m
カマド方向 E10.5° S, 東カマド, 長い煙道 (1.4 m) **カマド** 両袖残存, 焚き口に焼け面
床の状態 床構築土あり
出土遺物 (第143図, 第32表) 土師器坏・甕, あかやき土器坏・甕, 須恵器坏・甕
時期 平安時代 (9世紀)

RA328 (第38図)

位置 A区北東部 **重複関係** RA327 (新) **平面形** 隅丸方形?
規模 東西2.6 m, 南北1.8 m以上, 深さ0.15 m
カマド方向 W19.0° S, 西カマド, 長い煙道 (1.18 m) **カマド** 左袖残存 **床の状態** 床構築土あり
時期 平安時代 (9世紀)

RA329 (第40図)

位置 A区北東部 **重複関係** RA322 (新), RA323 (新) **平面形** 隅丸方形

規模 東西3.8 m, 南北3.6 m, 深さ0.05 m

カマド方向 E11.5° S, 東カマド, 長い煙道 (1.1 m) **カマド** 両袖残存, 焚き口に焼け面あり

床の状態 中央北寄りに炉跡の焼け面あり, 硬化面あり, 床構築土あり

出土遺物 (第143図, 第32表) 土師器坏・甕, あかやき土器甕, 須恵器坏

時期 平安時代 (9世紀)

RA330 (第38図)

位置 A区北東部 **重複関係** RA325 (新), RA327 (新), RG25801 (新)

平面形 隅丸方形? **規模** 北西-南東1.7 m以上, 北東-南西1.1 m以上, 深さ0.1 m

カマド方向 不明 **床の状態** 床構築土あり **出土遺物** 土師器甕

時期 平安時代 (9世紀)

RA331 (第41図)

位置 A区北東部 **重複関係** RA333 (古) **平面形** 隅丸長方形?

規模 東西3.15 m, 南北2.1 m以上, 深さ0.05 m **カマド方向** 不明 **床の状態** 床構築土あり

時期 平安時代 (9世紀)?

RA332 a・b (第41図)

位置 A区北東部 **重複関係** なし **平面形** 隅丸長方形

規模 南北3.2~3.4 m, 東西約4.5 m, 深さ0.1~0.15 m

カマド方向 カマドa (新): S3.0° W, 南カマド, 長い煙道 (1.05 m)

カマドb (古): W1.5° N, 西カマド, 長い煙道 (約1.2 m)

カマド カマドa (新): 右袖残存, 焚き口に焼け面あり カマドb (古): 焚き口に焼け面あり

床の状態 床構築土あり

出土遺物 (第144図, 第32表) 土師器坏 (ロクロ・非ロクロ)・鉢・甕, あかやき土器坏・高台付坏・甕, 須恵器坏 **時期** 奈良時代 (8世紀)

RA333 (第41図)

位置 A区北東部 **重複関係** RA331 (新) **平面形** 隅丸方形?

規模 東西3.2 m以上, 南北2.1 m以上, 深さ0.05 m

カマド方向 不明 **床の状態** 床構築土あり **時期** 平安時代 (9世紀)?

RA334 (第42図)

位置 A区北東部 **重複関係** なし **平面形** 隅丸長方形

規模 東西2.5~3.05 m, 南北4.5 m, 深さ0.05~0.08 m **カマド方向** 不明 (東カマド?)

出土遺物 土師器甕, 須恵器長頸瓶 **時期** 平安時代 (9世紀)?

RA335 (第46図)

位置 A区南東部 重複関係 RA342 (新), RG329 (古), ピット (新) 平面形 隅丸方形
規模 南北3.5 m, 東西3.65 m, 深さ0.3 m カマド方向 不明 床の状態 床構築土あり
出土遺物 (第143・144図, 第32表) 土師器坏 (非ロクロ)・片口鉢・甕・球胴甕, あかやき土器坏, 須恵器甕・長頸瓶, 砥石 (軽石), 刀子
時期 奈良時代 (8世紀)

RA336 (第43図)

位置 A区南東部 重複関係 RA222 (古), RA327 (新), RA328 (新) 平面形 隅丸方形
規模 北東-南西4.65 m, 北西-南東4.6 m以上, 深さ0.5 m
カマド方向 W25.5° N, 北西カマド, 長い煙道 (1.6 m) カマド 右袖残存 床の状態 床構築土あり
出土遺物 (第152図, 第36表) 土師器坏・甕, あかやき土器坏甕, 須恵器坏・甕, フイゴ羽口
時期 奈良・平安時代 (8・9世紀)

RA337 (第44図)

位置 A区南東部 重複関係 RD853 (古), RG325 (新) 平面形 隅丸方形
規模 北東-南西3.1 m, 北西-南東3.1 m, 深さ0.3 m
カマド方向 S180° W, 南カマド, 長い煙道 (1.0 m) カマド 両袖残存
出土遺物 (第144図, 第32表) 土師器坏 (ロクロ・非ロクロ)・甕, あかやき土器坏・甕, 須恵器坏・甕
時期 平安時代 (9世紀)

RA338 (第45図)

位置 A区南東部 重複関係 RA340 (古), RZ025 (新) 平面形 隅丸方形
規模 北東-南西3.5 m, 北西-南東3.2 m, 深さ0.45 m
カマド方向 不明 床の状態 硬化面あり, 床構築土あり
出土遺物 (第143図, 第32表) 土師器坏・甕, あかやき土器坏・甕, 須恵器坏・甕, 砂底土器
時期 平安時代 (9世紀)

RA340 (第45図)

位置 A区南東部 重複関係 RA338 (新), RD862 (新), ピット (新) 平面形 隅丸方形
規模 北西-南東2.7 m以上, 北東-南西3.75 m, 深さ0.2~0.6 m
カマド方向 W21.5° N, 西カマド, 長い煙道 (1.2 m) カマド 両袖残存, 焼き口に焼け面あり
床の状態 硬化面あり, 床構築土あり 出土遺物 土師器坏・甕, あかやき土器坏・甕, 軽石
時期 平安時代 (9世紀)

RA341 (第47図)

位置 A区南東部 重複関係 RA336 (新), RG327 (新) 平面形 隅丸長方形
規模 南北2.6 m, 東西3.1 m, 深さ0.3 m カマド方向 N20.5° E, 北カマド, 長い煙道 (0.9 m)

出土遺物 (第 144 図, 第 32 表) 土師器坏 (ロクロ・非ロクロ)・高台付坏 (ロクロ)・甕, あかやき土器坏・甕, 須恵器坏・甕, 砥石 **時期** 奈良時代 (8 世紀)

RA342 (第 46 図)

位置 A区南東部 **重複関係** RA335 (古), RA343 (古), ピット (新) **平面形** 隅丸長方形
規模 北西-南東 4.25 m, 北東-南西 4.7 m, 深さ 0.3~0.4 m
カマド方向 W23.0° N, 北西カマド, 長い煙道 (1.4 m) **カマド** 両袖残存, 焚き口に焼け面あり
床の状態 硬化面あり, 床構築土あり **時期** 平安時代 (9 世紀)

RA343 (第 46 図)

位置 A区南東部 **重複関係** RA342 (新), RD866 (新) **平面形** 隅丸長方形
規模 北西-南東 3.15 m, 北東-南西 3.5 m, 深さ 0.5 m
カマド方向 不明 (北西カマド?) **床の状態** 硬化面あり, 床構築土あり
出土遺物 土師器坏・甕, あかやき土器坏・甕, 須恵器坏 **時期** 平安時代 (9 世紀)

RA344 (第 48 図)

位置 A区南東部 **重複関係** RZ026 (新), ピット (新) **平面形** 隅丸方形
規模 北西-南東 3.5 m, 北東-南西 3.55 m, 深さ 0.25 m
カマド方向 W24.0° N, 北西カマド, 長い煙道 (1.5 m) **カマド** 焚き口に焼け面あり
出土遺物 土師器坏 (非ロクロ)・甕, 鉄製品 (刀子) **時期** 奈良時代 (8 世紀)

RA345 (第 49 図)

位置 A区中央部 **重複関係** RA360 (古) **平面形** 隅丸方形?
規模 北西-南東 6.85 m, 北東-南西 4.2 m 以上 (調査区外), 深さ 0.25 m
カマド方向 N33.0° W, 北西カマド, 長い煙道 (1.65 m) **カマド** 両袖残存, 焚き口に焼け面あり
床の状態 硬化面あり, 床構築土あり
出土遺物 (第 145・152 図, 第 33・36 表) 土師器坏 (非ロクロ)・甕・球胴甕, フイゴ羽口, 刻書土器「×」
時期 奈良時代 (8 世紀)

RA346 (第 50 図)

位置 A区中央部 **重複関係** RG324 (新) **平面形** 隅丸方形
規模 東西約 2.5 m, 南北 2.35 m, 深さ 0.3 m **カマド方向** 不明
出土遺物 (第 145 図, 第 33 表) 土師器坏・甕, あかやき土器坏・甕, 須恵器坏・甕, 砥石 (軽石)
時期 平安時代 (9 世紀)

RA347 (第 51 図)

位置 A区中央部 **重複関係** RA356 (古), RA357 (古), RA361 (古), RG332 (新)
平面形 隅丸長方形 **規模** 北西-南東 4.9 m, 北東-南西 5.75 m, 深さ 0.1 m

カマド方向 煙道方向 W6.0° N, 西カマド, 長い煙道 (2.1 m) 辺長方向 W35.0° N

カマド 両袖残存, 焚き口に焼け面あり **床の状態** 硬化面あり, 床構築土あり

埋土 床面付近に炭化材が残存

出土遺物 (第 146・152 図, 第 33・36 表) 土師器坏・高台付坏・甕, あかやき土器坏・甕, 須恵器坏・甕・瓶, フイゴ羽口, 軽石, 刻書土器「×」 **時期** 平安時代 (9 世紀)

RA348 (第 52 図)

位置 A区中央部 **重複関係** RA353 (古), RA357 (古) **平面形** 隅丸方形

規模 南北 3.1 m, 東西 3.1 m, 深さ 0.1 m **カマド方向** S13.5° W, 南カマド, 長い煙道 (1.5 m)

床の状態 硬化面あり, 床構築土あり

出土遺物 (第 145 図, 第 33 表) 土師器坏・甕, あかやき土器坏・甕, 須恵器坏・甕, 砥石 (軽石)

時期 平安時代 (9 世紀)

RA349 (第 55 図)

位置 A区中央部 **重複関係** RA350 (古), RG332 (新), RG333 (新) **平面形** 隅丸方形

規模 北東-南西 4.1 m, 北西-南東 4.2 m, 深さ 0.2 m

カマド方向 E24.0° N, 北東カマド, 長い煙道 (1.55 m)

カマド 右袖残存 **床の状態** 床構築土あり **貯蔵穴** カマド右脇に 1 基 (pit1)

出土遺物 (第 145 図, 第 33 表) 土師器坏・甕, あかやき土器坏・甕, 須恵器坏・脚付盤皿

時期 平安時代 (9 世紀)

RA350 (第 55 図)

位置 A区中央部 **重複関係** RA349 (新) **平面形** 隅丸方形

規模 東西 2.1 m 以上, 南北 3.4 m, 深さ 0.15 m **カマド方向** 不明 **床の状態** 床構築土あり

出土遺物 (第 146 図, 第 33 表) 土師器甕・球胴甕, あかやき土器高台付坏・甕, 須恵器坏, 砥石

時期 奈良・平安時代 (8・9 世紀)

RA351 (第 53 図)

位置 A区中央部 **重複関係** RG326 (新) **平面形** 隅丸方形?

規模 北東-南西 2.9 m 以上, 北西-南東 2.4 m 以上, 深さ 0.05 m

カマド方向 不明 (北東カマド?) **カマド** 焚き口に焼け面あり **床の状態** 床構築土あり

出土遺物 土師器坏 (非ロクロ)・甕, あかやき土器甕 **時期** 奈良・平安時代 (8・9 世紀)

RA352 (第 54 図)

位置 A区中央部 **重複関係** なし **平面形** 隅丸方形

規模 東西 2.5 m, 南北約 2.6 m, 深さ 0.1 m **カマド方向** E5.5° N, 東カマド, 長い煙道 (1.3 m)

出土遺物 土師器坏・甕, あかやき土器坏・甕, 須恵器坏・甕・長頸瓶, 砂底土器, 軽石

時期 平安時代 (9 世紀)

RA353 (第52図)

位置 A区中央部 **重複関係** RA348 (新) **平面形** 隅丸長方形

規模 北西-南東2.9 m以上, 北東-南西約2.1 m, 深さ0.05~0.1 m

カマド方向 E35.0° S, 南東カマド, 長い煙道 (1.0 m)

出土遺物 (第147図, 第33表) 土師器坏・甕, あかやき土器坏・高台付坏・甕, 須恵器坏・甕, 鉄製品

時期 平安時代 (9世紀)

RA354 (第56図)

位置 A区中央部 **重複関係** RG326 (新) **平面形** 隅丸方形

規模 北西-南東4.1 m, 北東-南西3.4 m以上, 深さ0.25 m

カマド方向 E35.5° S, 南東カマド, 長い煙道 (1.4 m) **カマド** 両袖残存

出土遺物 (第146図, 第33表) 土師器坏・甕・球胴甕, あかやき土器坏・甕, 須恵器坏・長頸瓶

時期 平安時代 (9世紀)

RA356 a・b (第57図)

位置 A区中央部 **重複関係** RA347 (新), RA357 (新) **平面形** 隅丸方形?

規模 北西-南東3.85 m以上, 北東-南西5.75 m, 深さ0.15 m

カマド方向 カマドa (新): W24.0° N, 北西カマド, 長い煙道 (1.5 m)

カマドb (古): W37.0° N, 北西カマド, 長い煙道 (約1.4 m)

カマド カマドa (新): 両袖残存, カマド手前に焼け面あり カマドb (古): カマド手前付近に焼け面あり

貯蔵穴 カマドa右袖脇に1基 (pit1) **床の状態** 床構築土あり

出土遺物 (第147-149図, 第33-34表) 土師器坏, あかやき土器坏・甕, 須恵器坏・甕, 砥石 (軽石)

時期 平安時代 (9世紀)

RA357 (第57図)

位置 A区中央部 **重複関係** RA347 (新), RA348 (新), RA356 (古), RA361 (古)

平面形 隅丸長方形 **規模** 南北4.0 m, 東西3.2 m, 深さ0.1 m

カマド方向 煙道方向: S15° E, 南カマド, 長い煙道 (1.2 m) 辺長方向: S25.0° W

カマド 焚口に焼け面あり **貯蔵穴** カマド左袖脇に1基 (pit1)

床の状態 床構築土あり **柱穴** ビット1口

出土遺物 (第147図, 第33表) 土師器坏・高台付坏, あかやき土器坏・甕, 須恵器坏・甕・長頸瓶

時期 平安時代 (9世紀)

RA359 (第56図)

位置 A区中央部 **重複関係** RG326 (新) **平面形** 隅丸長方形?

規模 北西-南東4.0 m, 北東-南西2.6 m以上, 深さ0.05 m **カマド方向** 不明

出土遺物 土師器坏・甕, あかやき土器坏・甕, 須恵器坏・甕

時期 平安時代 (9世紀)

RA360 (第58図)

位置 A区中央部 **重複関係** RA345 (新), RG324 (新)
平面形 隅丸方形 **規模** 東西2.4 m, 南北2.3 m, 深さ0.15 m
カマド方向 W34.0° N, 北西カマド, 長い煙道 (1.1 m)
出土遺物 (第147図, 第34表) 土師器坏・甕, あかやき土器坏・甕, 須恵器坏
時期 平安時代 (9世紀)

RA361 (第57図)

位置 A区中央部 **重複関係** RA347 (新), RA348 (新), RA357 (新)
平面形 隅丸方形? **規模** 東西1.8 m以上, 南北1.0 m以上, 深さ0.15 m **カマド方向** 不明
出土遺物 (第147図, 第33表) 土師器坏 (非ロクロ)・甕
時期 奈良時代 (8世紀)

RA362 (第59図)

位置 A区中央部 **重複関係** RE047 (新), RG25801 (新)
平面形 隅丸方形? **規模** 北西-南東4.3 m以上, 北東-南西2.5 m以上, 深さ0.1 m
カマド方向 不明 **出土遺物** 土師器坏・甕, あかやき土器坏・高台付坏, 須恵器坏・甕
時期 平安時代 (9世紀)

RA363 (第60図)

位置 A区中央部 **重複関係** なし **平面形** 隅丸長方形?
規模 北西-南東3.0 m, 北東-南西2.4 m, 深さ0.1 m **カマド方向** 不明
時期 奈良・平安時代 (8-9世紀)

RA364 (第61図)

位置 A区中央部 **重複関係** RA356 (新) **平面形** 隅丸方形?
規模 北東-南西1.9 m以上, 北西-南東2.45 m, 深さ0.1 m **カマド方向** 不明
時期 奈良・平安時代 (8-9世紀)

RA366a・b (第62図)

位置 A区中央部 **重複関係** RA381 (古), RG335 (新), RG337 (新), RG338 (新)
平面形 隅丸方形 **規模** 東西4.6 m, 南北4.9 m, 深さ0.1 m
カマド方向 カマドa (新): E13.0° N, 東カマド, 長い煙道 (1.6 m)
カマドb (古): W26.0° N, 北西カマド, 長い煙道? (0.2 m以上)
カマド カマドa (新): 右袖残存, 焚き口の焼け面あり カマドb (古): 焚き口の焼け面あり
床の状態 床構築土あり **柱穴** ピット11口
出土遺物 (第147図, 第34表) 土師器坏・甕, あかやき土器坏・甕, 須恵器坏・甕・瓶
時期 平安時代 (9世紀)

RA367 (第63図)

位置 A区中央部 **重複関係** RA368 (新), RD873 (新), RG335 (新), RG336 (新)
平面形 隅丸方形 **規模** 北西-南東3.1 m, 北東-南西3.3 m, 深さ0.15 m
カマド方向 N26.0° W, 北西カマド, 長い煙道 (1.3 m)
カマド 右袖残存・焚口に焼け面あり **貯蔵穴** カマド右袖脇に2基 (pit1・2)
床の状態 床構築土あり **出土遺物** (第147図, 第34表) 土師器甕・球胴甕 **時期** 奈良時代 (8世紀)

RA368 (第64図)

位置 A区中央部 **重複関係** RA367 (古), RA382 (古), RG335 (新), RG336 (新)
平面形 隅丸長方形 **規模** 東西2.7 m, 南北2.2 m, 深さ0.1 m
カマド方向 E21.0° N, 東カマド, 長い煙道 (1.25 m) **カマド** 右袖残存・焚口に焼け面あり
出土遺物 土師器甕, 砂底土器 **時期** 平安時代 (9世紀)

RA369 a・b (第65図)

位置 A区中央部 **重複関係** RD886 (新), RG335 (新), RG25801 (新), ピット (新)
平面形 隅丸方形 **規模** 北西-南東3.5 m, 北東-南西3.6 m, 深さ0.35 m
カマド方向 カマドa (新): W43.0° N, 北西カマド, 長い煙道 (1.5 m)
カマドb (古): E42.0° N, 北東カマド, 長い煙道 (1.0 m以上)
カマド カマドa (新): 両袖残存, 焚口に焼け面あり
床の状態 周溝あり 床構築土あり **出土遺物** 土師器坏・甕, あかやき土器坏・甕, 須恵器坏
時期 平安時代 (9世紀)

RA370 (第66図)

位置 A区中央部 **重複関係** ピット (新) **平面形** 隅丸方形
規模 北西-南東3.1 m, 北東-南西3.1 m, 深さ0.25 m
カマド方向 N25.0° W, 北西カマド, 長い煙道 (1.15 m)
カマド 両袖残存, 焚口に焼け面あり **貯蔵穴** カマド右袖脇に1基 (pit1) **床の状態** 床構築土あり
出土遺物 (第148図, 第34表) 土師器坏 (非ロクロ)・甕・球胴甕, 刻書土器「×」
時期 奈良時代 (8世紀)

RA371 (第67図)

位置 A区南西部 **重複関係** なし **平面形** 隅丸方形
規模 北西-南東3.1 m, 北東-南西3.25 m, 深さ0.3 m
カマド方向 N25.0° W, 北西カマド, 長い煙道 (1.4 m)
カマド 両袖残存, 焚口に焼け面あり **床の状態** 床構築土あり
出土遺物 (第148図, 第34表) 土師器坏 (非ロクロ)・甕・球胴甕, 砥石, 軽石
時期 奈良時代 (8世紀)

RA372 (第68図)

位置 A区南西部 重複関係 なし 平面形 隅丸長方形

規模 東西3.7 m, 南北4.2 m, 深さ0.4 m

カマド方向 W11.0° N, 西カマド, 長い煙道 (1.5 m)

カマド 両袖残存, 焚口に焼け面あり 床の状態 床構築土あり

出土遺物 (第148・152図, 第34・36表) 土師器坏 (非ロクロ)・甕, あかやき土器坏, 須恵器坏, 土製品 (紡錘車・フイゴ羽口), 砥石 (軽石) 時期 奈良時代 (8世紀)

RA373 (第69図)

位置 A区南西部 重複関係 なし 平面形 隅丸方形

規模 北西-南東4.0 m, 北東-南西4.0 m, 深さ0.2 m

カマド方向 W34.5° N, 北西カマド, 長い煙道 (1.55 m) カマド 両袖残存, 焚口に焼け面あり

床の状態 硬化面あり, 床構築土あり, 東部に焼け面2箇所あり

出土遺物 (第148図, 第34表) 土師器坏 (非ロクロ)・鉢・甕・球胴甕, あかやき土器坏, 軽石, 鉄製品 (刀子)

時期 奈良時代 (8世紀)

RA374 (第70図)

位置 A区南西部 重複関係 RD881 (新), RG347 (新) 平面形 隅丸方形?

規模 南北3.3 m, 東西2.0 m以上, 深さ0.4 m カマド方向 不明 床の状態 床構築土あり

出土遺物 (第149・152図, 第34・36表) 土師器坏 (非ロクロ)・鉢・球胴甕・甌, あかやき土器坏, 須恵器甕, 土製品 (紡錘車), 軽石 時期 奈良時代 (8世紀)

RA375 (第75図)

位置 A区北西部 重複関係 RG324 (新), RG25801 (新), ピット (新) 平面形 隅丸方形

規模 北西-南東約6.3 m, 北東-南西6.2 m, 深さ0.1 m カマド方向 不明 (北西カマド?)

出土遺物 土師器坏・甕, あかやき土器坏, 軽石 時期 奈良・平安時代 (8・9世紀)

RA377 (第71図)

位置 A区中央部 重複関係 RA356 (新), RD868 (古), RG333 (新), RG335 (新), RG336 (古), ピット (新) 平面形 隅丸方形

規模 北西-南東4.0 m, 北東-南西2.8 m以上, 深さ0.1 m

カマド方向 W37.5° N, 北西カマド, 長い煙道 (1.65 m) カマド 焚口に焼け面あり

床の状態 床構築土あり 出土遺物 土師器甕 時期 奈良・平安時代 (8・9世紀)

RA378 (第62図)

位置 A区中央部 重複関係 RA381 (古), RG339 (新) 平面形 不明 (煙道のみ)

規模 不明 (煙道のみ) カマド方向 S9.5° E, 南カマド, 長い煙道? (1.1 m以上)

出土遺物 (第149図, 第34表) 須恵器坏 時期 平安時代 (9世紀)

RA379 (第73図)

位置 A区中央部 **重複関係** RA380 (古), RA383 (新), ピット (新) **平面形** 隅丸長方形?
規模 東西約2.0 m, 南北3.0 m, 深さ0.05 m **カマド方向** E2.0° N, 東カマド, 長い煙道 (1.3 m)
カマド 焚口に焼け面あり **出土遺物** (第149図, 第34表) 須恵器坏・甕 **時期** 平安時代 (9世紀)

RA380 (第74図)

位置 A区中央部 **重複関係** RA379 (新), RA383 (新), RG338 (古)
平面形 隅丸方形? **規模** 北東-南西約6.0 m, 北西-南東2.6 m以上, 深さ0.05 m
カマド方向 不明 **柱穴** 2口
出土遺物 (第149図, 第35表) 土師器坏・埴・鉢・甕, あかやき土器坏, 須恵器坏
時期 奈良・平安時代 (8-9世紀)

RA381 (第76図)

位置 A区中央部 **重複関係** RA366 (新), RA378 (新), RG324 (新), RG339 (新),
ピット (新) **平面形** 隅丸方形?
規模 北西-南東5.6 m, 北東-南西4.8 m以上, 深さ0.2 m
カマド方向 W33.0° N, 北西カマド, 長い煙道 (1.7 m) **カマド** 両袖残存, 焚口に焼け面あり
貯蔵穴 床面南部に1基 (pit4) **床の状態** 硬化面あり, 床構築土あり
柱穴 主柱穴3口, その他ピット4口

	Pit5	Pit6	Pit7
直径 (m)	0.3~0.4	0.3	0.35
深さ (m)	0.35	0.45	0.1 (削平)
平面形	不整楕円形	不整円形	不整円形
柱痕跡	あり	あり	なし

出土遺物 (第149図, 第34表) 土師器坏 (非ロクロ)・大形坏 (非ロクロ)・高台付坏 (非ロクロ)・甕・球胴甕,
須恵器甕, 軽石 **時期** 奈良時代 (8世紀)

RA382 (第77図)

位置 A区中央部 **重複関係** RA368 (新), RG335 (新), RG336 (新) **平面形** 隅丸方形?
規模 東西2.3 m, 南北1.7 m以上, 深さ0.05 m **カマド方向** E9.0° N, 東カマド, 長い煙道 (1.35 m)
時期 奈良・平安時代 (8-9世紀)

RA383 (第72図)

位置 A区中央部 **重複関係** RA379 (古), RA380 (古), RG338 (新) **平面形** 隅丸方形
規模 東西2.5 m, 南北2.6 m, 深さ0.15 m **カマド方向** E10.0° S, 東カマド, 長い煙道 (約1.5 m)
カマド 両袖残存, 芯材に礫使用, 焚口に焼け面あり **床の状態** 硬化面あり, 床構築土あり
出土遺物 (第149図, 第35表) 土師器坏・甕, あかやき土器坏, 須恵器坏・甕
時期 平安時代 (9世紀)

RA384 (第65図)

位置 A区中央部 **重複関係** RG335 (新), RG339 (新), ピット (新)
平面形 隅丸方形 **規模** 北西-南東1.9 m, 北東-南西2.0 m, 深さ0.05 m
カマド方向 W31.0° N, 北西カマド, 長い煙道 (約0.7 m以上) **床の状態** 周溝あり, 床構築土あり
時期 奈良・平安時代 (8・9世紀)

RA385 (第78図)

位置 A区中央部 **重複関係** RG324 (新), RG340 (新) **平面形** 隅丸方形
規模 東西3.3 m, 南北3.5 m, 深さ0.25 m
カマド方向 辺長W19.0° N, 西カマド (煙道はRG324により削平)
カマド 両袖残存, 焚口に焼け面あり **貯蔵穴** 床面東部に1基 (pit1) **出土遺物** 土師器甕
時期 奈良・平安時代 (8・9世紀)

RA386 (第79図)

位置 A区南西部 **重複関係** なし **平面形** 隅丸方形
規模 東西2.9 m, 南北3.2 m, 深さ0.45 m **カマド方向** W16.0° N, 西カマド, 長い煙道 (約1.3 m)
カマド 両袖残存, 芯材に礫使用, 焚口に焼け面あり **床の状態** 硬化面あり, 床構築土あり
出土遺物 土師器甕・球胴甕, あかやき土器坏・甕, 須恵器甕, 軽石, 火打石? (メノウ剥片)
時期 平安時代 (9世紀)

RA387 (第80図)

位置 A区南西部 **重複関係** なし **平面形** 隅丸方形?
規模 北西-南東1.3 m以上, 北東-南西3.2 m以上, 深さ0.05 m **カマド方向** 不明
床の状態 床構築土あり **出土遺物** 砥石 **時期** 平安時代 (9世紀)

RA389 (第81図)

位置 A区南西部 **重複関係** なし **平面形** 隅丸方形
規模 北西-南東2.1 m, 北東-南西2.2 m, 深さ0.45 m **カマド方向** 不明
出土遺物 土師器甕, あかやき土器坏・甕, 砥石 **時期** 奈良・平安時代 (8・9世紀)

RA390 (第82図)

位置 A区中央部 **重複関係** なし **平面形** 隅丸方形? (調査区外)
規模 北西-南東3.1 m, 北東-南西1.7 m以上, 深さ0.05 m **カマド方向** 不明
床の状態 床構築土あり **時期** 奈良・平安時代 (8・9世紀)

RA391 (第68図)

位置 A区南西部

※ 25次調査では煙道先端のみの精査であり, 31次調査で全体を検出しているため, 詳細は後述。

RA222 (第43図)

位置 A区南東部 重複関係 RA336 (新) 平面形 隅丸方形?

規模 東西1.8m以上(調査区外), 深さ0.35m

※県埋文センターによる18次調査RA222の一部

・ 竪穴状遺構

RE046 (第44図)

位置 A区南東部 重複関係 RG324 (新) 平面形 隅丸長方形

規模 東西2.55m, 南北1.65m, 深さ0.25~0.3m

出土遺物 (第150図, 第35表) 土師器坏・甕, あかやき土器坏, 須恵器坏・甕 時期 古代以降

RE047 (第59図)

位置 A区北東部 重複関係 RA362 (古), RG25801 (新) 平面形 隅丸方形?

規模 東西5.7m, 南北3.65m, 深さ0.5m

出土遺物 (第150図, 第35表) 土師器坏・甕, あかやき土器坏, 須恵器坏・甕 時期 古代以降

RE048 (第83図)

位置 A区南西部 重複関係 なし 平面形 隅丸方形

規模 北西-南東3.0m, 北東-南西2.6m, 深さ0.35m 底面の状態 ピット5口 時期 古代以降

・ 土坑墓

RZ025 (第45図)

位置 A区南東部 重複関係 RA338 (古) 平面形 隅丸長方形

規模 南北3.15m, 東西2.2m, 深さ0.9~1.0m 時期 古代以降

RZ026 (第48図)

位置 A区南東部 重複関係 RA344 (古) 平面形 隅丸長方形に近い長楕円形

規模 長軸3.4m, 短軸1.9m, 深さ0.65~0.8m 底面の状態 北側の段差部分に焼け面あり

出土遺物 土師器坏・甕, あかやき土器坏・甕, 須恵器坏・甕 時期 古代以降

・ 土器埋設遺構

RP001 (第34図)

位置 A区中央部 重複関係 なし 平面形 不整形円形 規模 径0.42m

状態 壺形土器(第165図512)が正位に埋設され, 上部は削平されたと考えられる 時期 弥生時代前期?

・土坑

RD852～914 (第34・35図)

A区内では62基の土坑を確認しており、各土坑の概要は第7・8表のとおりである。土層については紙面の都合により省略した。一部の埋土より土師器、あかやき土器、須恵器、フイゴ羽口、基石、火打石(メノウ)などが出土している(第150図・第35表)。

・溝跡

RG322～336・338～352・354・25801 (第34・35図)

A区内では、古代以降の溝跡28条、中世以降の大溝跡1条を確認しており、各溝跡の概要は第9表のとおりである。土層については紙面の都合により省略した。一部の埋土より土師器、あかやき土器、須恵器、フイゴ羽口、鉄滓、鉄製品、砥石、近世陶磁器、馬歯骨などが出土している(第150・151図・第35表)。

・ピット

A区では、多数のピット(柱穴跡)を確認している。個別の概要については紙面の都合により省略した。これらの中には、中世以降の建物跡を構成するものが含まれている可能性もあるが、遺構の重複が多いことから詳細な検討は困難であった。

・縄文土器・弥生土器・続縄文土器

25次調査A・B区の遺構埋土及び検出面等から、縄文時代晩期土器(大洞A式期)、弥生時代前期(山王Ⅲ層式期)・後期土器(赤穴式期)、北海道系の続縄文土器(後北式C2-D式期)が出土している(第165・166図、第46表)。

(8) 第27次調査(平成12年度)

今次調査区は、遺跡の北部に位置し、盛岡南新都市開発整備事業に伴う本調査として実施した。調査面積は2,513㎡。重機により表土を除去し、遺構検出を行った。調査区については、3地点に分かれていることから、西調査区をA区、東調査区をB区、南調査区をC区とした(第84・101図)。なお、A区については平成11年度実施の第25次調査B区と連続し、検出遺構も一連のものが多くことから、遺構・遺物の詳細をこの中で記述することとする。全地区を合わせた遺構数は、奈良・平安時代の竪穴住居21棟、古代以降の土坑23基・溝跡30条・ピット多数、近世以降の土坑墓2基である。なお、現地調査の図面・写真資料の大部分が罹災・焼失していることから、遺構図の提示と事実記載は可能な範囲までとした。

A区(西調査区、第25次調査B区)

a. 遺構と遺物

調査の結果、25次調査B区より、奈良・平安時代の竪穴住居跡8棟(RA392～399)、古代以降の土坑6基(RD915～918・920・921)・溝跡4条(RG348～351)・ピット多数、27次調査A区より、奈良・平安時代の竪穴住居跡6棟(RA462～467)、古代以降の土坑16基(RD1039～1054)・溝跡11条(RG348・349・351・359～366)・ピット多数、近世以降の土坑墓2基(RZ029・030)を検出した(第85・86図)。

・竪穴住居跡

RA392 (第87図)

位置 25次B区南部 重複関係 RA393 (古) 平面形 隅丸方形?

規模 東西1.3m以上 (調査区外), 南北3.4m以上 (調査区外), 深さ0.3m

カマド方向 W80° S, 西カマド, 長い煙道 (1.1m) カマド 両袖残存, 焚口に焼け面あり 柱穴 1口

出土遺物 (第154・155図, 第37・38表) 土師器坏 (ロクロ, 非ロクロ)・甕, あかやき土器坏・甕, 須恵器甕, 土製品 (紡錘車) 時期 平安時代 (10世紀)

RA393 (第88図)

位置 25次B区南部 重複関係 RA392 (新), RA394 (古), ピット (新) 平面形 隅丸方形?

規模 北東-南西2.45m, 北西-南東1.5m以上 (調査区外), 深さ0.6m

カマド方向 E28.5° N, 北東カマド, 長い煙道 (1.35m)

カマド 両袖残存, 芯材に礫使用, 焚口に焼け面あり 床の状態 硬化面あり, 床構築土あり

出土遺物 (第154図, 第37表) 土師器坏・甕, あかやき土器坏・甕・小皿, 須恵器坏・甕

時期 平安時代 (10世紀)

RA394 (第89図)

位置 25次B区南部 重複関係 RA393 (新) 平面形 隅丸方形?

規模 南北1.25m以上 (調査区外), 東西4.1m以上 (調査区外), 深さ0.5m カマド方向 不明

出土遺物 土師器坏・甕, あかやき土器坏・高台付坏 時期 平安時代 (9世紀)

RA395 (第92図)

位置 25次B区中央部 重複関係 RG350 (新) 平面形 隅丸方形?

規模 南北2.5m以上, 東西1.1m以上 (調査区外), 深さ0.1m カマド方向 不明

時期 奈良・平安時代 (8・9世紀)

RA396 (第90図)

位置 25次B区北部 重複関係 なし 平面形 隅丸方形?

規模 東西3.2m以上 (調査区外), 南北6.8m, 深さ0.5m

カマド方向 W18.5° N, 西カマド, 長い煙道 (1.7m) カマド 両袖残存, 焚口に焼け面あり

床の状態 硬化面あり, 床構築土あり 貯蔵穴 カマド左袖脇に2基 (pit1, 2)

出土遺物 (第154・155図, 第37・38表) 土師器坏 (非ロクロ)・大形坏 (非ロクロ)・甕・球胴甕, あかやき土器坏・甕, 須恵器甕, 紡錘車1点, 鉄釘? 1点 時期 奈良時代 (8世紀)

RA397 (第91図)

位置 25次B区中央部 重複関係 RD915 (新), ピット (新) 平面形 隅丸長方形

規模 北西-南東3.0m, 北東-南西4.0m, 深さ0.05m

カマド方向 N41.0° W, 北西カマド, 長い煙道 (1.35m) 時期 奈良・平安時代 (8・9世紀)

RA398 (第93図)

位置 25次B区南部・27次A区南東部 **重複関係** RA462 (新), RG350 (新)
平面形 隅丸方形 **規模** 北西-南東 3.35 m, 北東-南西 3.5 m, 深さ 0.2 m
カマド方向 W41.0° N, 北西カマド, 長い煙道 (1.2 m) **カマド** 両袖残存, 焚口に焼け面あり
床の状態 硬化面あり, 床構築土あり **貯蔵穴** カマド右袖脇に1基 (pit1) **柱穴** 1口
出土遺物 (第154図, 第37表) 土師器坏 (非口クロ)・球胴甕, あかやき土器坏・甕, 紡錘車
時期 奈良時代 (8世紀)

RA399 (第94図)

位置 25次B区北部 **重複関係** なし **平面形** 隅丸方形?
規模 北西-南東 2.4 m以上 (調査区外), 北東-南西 3.0 m, 深さ 0.35 m
カマド方向 W27.0° N, 北西カマド, 長い煙道 (1.45 m) **カマド** 右袖残存, 焚口に焼け面あり
床の状態 床構築土あり **出土遺物** 土師器坏・甕, あかやき土器坏・甕
時期 奈良・平安時代 (8-9世紀)

RA462 (第95図)

位置 27次A区南東部 **重複関係** RA398 (古), RG350 (新)
平面形 隅丸方形 **規模** 北東-南西 3.2 m, 北西-南東 3.5 m, 深さ 0.2 m
カマド方向 W34.5° S, 南西カマド, 長い煙道 (0.6 m) **カマド** 両袖残存, 焚口に焼け面あり
床の状態 床構築土あり **貯蔵穴** カマド右袖脇に1基 (pit1) **出土遺物** 土師器甕, あかやき土器坏
時期 奈良・平安時代 (8-9世紀)

RA463 (第96図)

位置 27次A区中央部 **重複関係** なし **平面形** 隅丸方形
規模 東西 4.2 m, 南北 4.2 m, 深さ 0.45 m
カマド方向 W22.0° N, 西カマド, 長い煙道 (トンネル状, 1.2 m) **カマド** 両袖残存
床の状態 周溝あり **貯蔵穴** 床面南部に1基 (pit1) **出土遺物** 土師器坏・甕, 白色粘土
時期 奈良・平安時代 (8-9世紀)

RA464 (第97図)

位置 27次A区南部 **重複関係** なし **平面形** 隅丸方形
規模 北西-南東 4.2 m, 北東-南西 4.5 m, 深さ 0.4 m
カマド方向 N30.5° W, 北西カマド, 長い煙道 (1.25 m) **カマド** 両袖残存
床の状態 床構築土あり **貯蔵穴** カマド左袖脇に1基 (pit1) **出土遺物** 土師器坏・甕
時期 奈良・平安時代 (8-9世紀)

RA465 (第98図)

位置 27次A区南部 **重複関係** なし **平面形** 隅丸方形

規模 南北2.6 m, 東西2.6 m, 深さ0.2 m

カマド方向 N17.0° W, 北カマド, 長い煙道 (1.1 m) カマド 左袖残存, 焚口に焼け面あり

床の状態 床構築土あり 出土遺物 土師器甕, あかやき土器坏 時期 奈良・平安時代 (8・9世紀)

RA466 (第99図)

位置 27次A区南部 重複関係 RD1050 (新) 平面形 隅丸方形

規模 東西3.5 m, 南北3.6 m, 深さ0.3 m カマド方向 W13.0° N, 西カマド, 長い煙道 (約1.1 m)

カマド 両袖残存, 焚口に焼け面あり 床の状態 床構築土あり 柱穴 2口

時期 奈良・平安時代 (8・9世紀)

RA467 (第100図)

位置 27次A区南部 重複関係 RG349 (新), ピット (新) 平面形 隅丸方形

規模 北西-南東3.6 m, 北東-南西3.8 m, 深さ0.15 m

カマド方向 N40.5° W, 北西カマド, 長い煙道 (1.3 m)

カマド 両袖残存, 芯材に土器使用, 焚口に焼け面あり 床の状態 周溝, 床構築土あり

出土遺物 (第156図, 第39・40表) 土師器坏 (非ロクロ)・甕, 紡錘車 時期 奈良時代 (8世紀)

・土坑墓

RZ029 (第85図)

位置 27次A区北部 重複関係 RZ030 平面形 不整長方形

規模 長辺1.8 m, 短辺1.7 m 出土遺物 (第169図) 寛永通宝 (新寛永, 文銭), 馬歯骨

時期 近世以降

RZ030 (第85図)

位置 27次A区北部 重複関係 RZ029 平面形 不整楕円形

規模 長軸1.7 m, 短軸1.1 m 出土遺物 なし 時期 近世以降

・土坑

RD915~918・920・921・1039~1054 (第85・86図)

25次調査B区では6基, 27次調査A区では16基の土坑を確認しており, 各土坑の概要は第10・12表のとおりである。土層については紙面の都合により省略した。一部の埋土より土師器, あかやき土器, 鉄滓などが出土している。

・溝跡

RG348~351・359~366 (第85・86図)

25次調査B区では4条, 27次調査A区では11条 (うち3条は同一遺構) の溝跡を確認しており, 各溝跡の概要は第11・13表のとおりである。土層については紙面の都合により省略した。一部の埋土より土師器, あかやき土器, 須恵器, 瓷器, 鉄滓などが出土している (第156図・第42表)。

・ピット

25次調査B区・27次調査A区では多数のピット（柱穴跡）を確認している。個別の概要については紙面の都合により省略した。これらの中には、中世以降の建物跡を構成するものが含まれている可能性もあるが、遺構の重複や罹災で不明な部分が多いことから詳細な検討は困難であった。

・縄文土器・弥生土器

27次調査A区の遺構埋土及び検出面等から、縄文時代晩期土器（大洞A式期）、弥生時代後期土器（赤穴式期）が出土している（第167・168図、第47表）。

B区（東調査区）

a. 遺構と遺物

調査の結果、B区より奈良・平安時代の竪穴住居跡15棟（RA482～496）、古代以降の土坑7基（RD1072～1078）・溝跡12条（RG339・344・368～377）・ピット多数を検出した（第102・103図）。

・竪穴住居跡

RA482（第104図）

位置 B区南部 重複関係 RG368 平面形 隅丸方形？

規模 東西約3.9m、南北2.0m以上（調査区外）、深さ0.1m

カマド方向 N25.5°W、北西カマド、長い煙道（1.3m） カマド 左袖残存 出土遺物 土師器坏・甕

時期 奈良・平安時代（8・9世紀）

RA483（第105図）

位置 B区中央部 重複関係 RA484（古） 平面形 隅丸長方形？

規模 東西約3.0m、南北3.3m以上（調査区外）、深さ0.4m

カマド方向 東カマド、長い煙道（約1.1m） 出土遺物 土師器坏・甕、あかやき土器坏

時期 奈良・平安時代（8・9世紀）

RA484（第106図）

位置 B区中央部 重複関係 RA483（新） 平面形 隅丸方形？

規模 北東-南西4.6m以上、北西-南東2.0m以上、深さ0.3m カマド方向 不明

出土遺物（第157図、第41表） 土師器甕・球胴甕 時期 奈良時代（8世紀）

RA485（第107図）

位置 B区東部 重複関係 RG371・372 平面形 隅丸方形？

規模 北東-南西3.3m以上（調査区外）、北西-南東3.4m、深さ0.15m

カマド方向 N43.0°E、北東カマド、長い煙道（2.1m） カマド 左袖残存、芯材に礫使用、焚口に焼け面

出土遺物（第157図、第41表） 土師器甕、あかやき土器高台付坏 時期 平安時代（9世紀）

RA486 (第108図)

位置 B区北東部 重複関係 RD1072 (新)・RG339 (新) 平面形 隅丸方形

規模 東西6.0m, 南北6.0m, 深さ0.35m カマド方向 不明

柱穴 主柱穴2口

	Pit1	Pit2
直径 (m)	0.55	0.45
深さ (m)	0.35	0.3
平面形	不整円形	不整円形
柱痕跡	あり	あり

出土遺物 土師器坏・甕・球胴甕, あかやき土器坏, 須恵器甕, 刀子? 1点 時期 奈良・平安時代 (8-9世紀)

RA487 (第109図)

位置 B区北東部 重複関係 RG339 (新) 平面形 隅丸方形?

規模 北西-南東3.8m, 北東-南西3.5m以上 (調査区外), 深さ0.2m

カマド方向 W21.0° N, 西カマド, 長い煙道 (0.4m以上) 床の状態 硬化面あり 柱穴 1口

出土遺物 (第157図, 第41表) 土師器坏 (非ロクロ)・甕, 刀子? 1点 時期 奈良時代 (8世紀)

RA488 (第102図)

位置 B区北東部 重複関係 RA486 (新) 平面形 隅丸方形?

規模 東西3.0m以上, 南北約3.0m, 床面のみ

カマド方向 不明 出土遺物 (第157図, 第41表) 土師器坏 (非ロクロ)・甕 時期 奈良時代 (8世紀)

RA489a・b (第111図)

位置 B区南東部 重複関係 RA496 (新)・RG339 (新) 平面形 隅丸方形

規模 東西約6.4m, 南北約6.5m以上, 深さ0.2m

カマド方向 カマドa (新): W6.0° N, 西カマド, 長い煙道 (0.8m)

カマドb (古): W5.0° N, 西カマド, 長い煙道 (約2.3m)

カマド カマドa (新): 左袖残存, 芯材に土器使用, 支脚に土器使用, 焚口に焼け面あり カマドb (古):

焚口に焼け面あり 床の状態 周溝あり

柱穴 主柱穴2口

	Pit1	Pit2
直径 (m)	0.4	0.25
深さ (m)	0.35	0.3
平面形	不整円形	不整円形
柱痕跡	あり (角柱状)	不明

出土遺物 (第157図, 第41表) 土師器坏 (非ロクロ)・甕・球胴甕, あかやき土器坏, 須恵器坏

時期 奈良時代 (8世紀)

RA490 (第110図)

位置 B区西部 **重複関係** RA491 (新) **平面形** 隅丸方形

規模 北西-南東3.1 m, 北東-南西3.1 m以上, 深さ0.2 m

カマド方向 N28.0° W, 北西カマド, 長い煙道 (0.8 m) **床の状態** 床構築土あり **柱穴** 1口

出土遺物 (第158図, 第41表) 土師器坏 (非ロクロ)・甕, あかやき土器坏, 墨書土器「井」, 基石? 1点

時期 奈良時代 (8世紀)

RA491 (第113図)

位置 B区西部 **重複関係** RA490 (古) **平面形** 隅丸方形

規模 北西-南東6.8 m, 北東-南西6.9 m, 深さ0.4 m

カマド方向 W32.5° N, 北西カマド, 長い煙道 (0.4 m以上)

カマド 左袖残存, 芯材に土器使用, 焚口に焼け面あり **床の状態** 周溝あり, 仕切り状溝あり

貯蔵穴 2基 (pit4・8)

柱穴 主柱穴2口, ピット3口

	Pit1	Pit2
直径 (m)	0.5	0.3
深さ (m)	0.8	0.8
平面形	不整円形	不整円形
柱痕跡	あり	不明

出土遺物 (第158・159図, 第41表) 土師器坏 (非ロクロ)・甕・球胴甕・大甕・大形鉢, あかやき土器坏, 須恵器坏・甕, ミニチュア土器, 砥石 (軽石), 環状鉄製品1点, 獣骨, 白色粘土

時期 奈良時代 (8世紀)

RA492 (第112図)

位置 B区中央部 **重複関係** なし **平面形** 隅丸方形

規模 北西-南東3.1 m, 北東-南西3.1 m, 深さ0.5 m

カマド方向 W36.0° N, 北西カマド, 長い煙道 (トンネル状, 1.25 m) **カマド** 両袖残存, 焚口に焼け面あり

柱穴 南東壁面に袋状ピット2口 (pit1・2)

出土遺物 (第159・161図, 第40・41表) 土師器坏 (非ロクロ)・高台付坏 (非ロクロ)・甕・鉢, あかやき土器坏, 須恵器坏・甕, ミニチュア土器2点, 鉄釘? 1点

時期 奈良時代 (8世紀)

RA493 (第114図)

位置 B区中央南部 **重複関係** RD1075 (新), RD1077 (新) **平面形** 隅丸方形

規模 北西-南東3.2 m, 北東-南西約3.0 m, 深さ0.2 m

カマド方向 N34.0° W, 北西カマド, 長い煙道 (トンネル状, 1.15 m) **カマド** 両袖残存, 焚口に焼け面あり

床の状態 床構築土あり **出土遺物** (第159図, 第41表) 土師器坏・甕, 須恵器坏

時期 奈良・平安時代 (8・9世紀)

RA494 (第115図)

位置 B区中央南部 **重複関係** RD1079 (新), RG376 (新) **平面形** 隅丸方形?
規模 北西-南東 3.1 m以上, 北東-南西 3.3 m以上, 深さ 0.1 m
カマド方向 N33.5° W, 北西カマド, 長い煙道 (1.7 m) **カマド** 両袖残存, 焚口に焼け面あり
床の状態 床構築土あり **貯蔵穴** カマド右袖脇に1基 (pit1) **出土遺物** 土師器甕
時期 奈良・平安時代 (8・9世紀)

RA495 (第116図)

位置 B区西部 **重複関係** なし **平面形** 隅丸方形?
規模 東西 3.5 m, 南北 2.4 m以上, 深さ 0.2 m **カマド方向** 不明
時期 奈良・平安時代 (8・9世紀)

RA496 (第102図)

位置 B区南東部 **重複関係** RA489 (古), RD1073 **平面形** 隅丸方形?
規模 北西-南東 3.5 m以上 (調査区外), 北東-南西 3.5 m以上 (調査区外) **カマド方向** 不明
出土遺物 (第159図, 第41表) 土師器坏・高台付坏・甕, あかやき土器坏, 須恵器坏・甕
時期 奈良・平安時代 (8・9世紀)

・土坑

RD1072~1078 (第102・103図)

27次調査B区では7基の土坑を確認しており, 各土坑の概要は第14表のとおりである。土層については紙面の都合により省略した。一部の埋土より土師器, あかやき土器が出土している (第161図・第42表)。

・溝跡

RG339・344・368~377 (第102・103図)

27次調査B区では12条の溝跡を確認しており, 各溝跡の概要は第15表のとおりである。特にRG339は幅約3.7, 深さ約1.1 mを測る大溝である。土層については紙面の都合により省略した。埋土の一部より土師器, あかやき土器, 須恵器などが出土している (第160・161図・第42表)。

・ピット

27次調査B区では多数のピット (柱穴跡) を確認している。個別の概要については紙面の都合により省略した。これらの中には, 中世以降の建物跡を構成するものが含まれている可能性もあるが, 遺構の重複や罹災で不明な部分が多いことから詳細な検討は困難であった。

C区 (南調査区)

a. 遺構と遺物

調査の結果, C区より古代以降の溝跡7条 (RG378~388) を検出した (第117図)。

・溝跡

RG378～388 (第117図)

27次調査C区では7条の溝跡を確認しており、各溝跡の概要は第16表のとおりである。埋土の一部より土師器、あかやき土器、須恵器が出土している。

(9) 第28次調査 (平成12年度)

今次調査区は、遺跡の中央部に位置し、盛岡南新都市開発整備事業に伴う本調査として実施した。調査面積は460㎡。重機により表土を除去し、遺構検出を行った。なお、現地調査の図面・写真資料の大部分が罹災・焼失していることから、遺構図の提示と事実記載は可能な範囲までとした。

a. 遺構と遺物

調査の結果、平安時代の竪穴住居跡9棟(RA471～475, 477～480)、中世以降の掘立柱建物跡1棟(RB28001)・柱列跡2基(RC28001・28002)、古代以降の土坑10基(RD1054～1065・1058・1060・1063～1065・1067・1068)・溝跡2条(RG387・388)を検出した(第118図)。

・竪穴住居跡

RA471 (第119図)

位置 調査区北西部 重複関係 RA472(新) 平面形 隅丸方形?

規模 北西-南東3.5m以上(調査区外)、北東-南西2.6m以上、深さ0.15m

カマド方向 不明 床の状態 床構築土あり

出土遺物 (第162図・第43表) 土師器甕、刀子?1点 時期 平安時代(9世紀)

RA472 (第119図)

位置 調査区北西部 重複関係 RA471(古)、ピット(新) 平面形 隅丸方形?

規模 北西-南東4.1m以上、北東-南西5.0m、深さ0.25m

カマド方向 不明 床の状態 床構築土あり

柱穴 主柱穴3口、ピット2口

	pit1	Pit2	pit3
直径(m)	0.45	0.35-0.45	0.35-0.4
深さ(m)	0.45	0.45	0.4
平面形	不整円形	不整楕円形	不整楕円形
柱痕跡	不明	あり	あり

出土遺物 土師器坏・甕 時期 平安時代(9世紀)

RA473 (第120図)

位置 調査区南西部 重複関係 RA474(新)、ピット(新) 平面形 隅丸方形

規模 東西3.3m、南北3.3m以上、深さ0.05m

カマド方向 W21.5° N, 西カマド, 長い煙道 (1.4 m) **カマド** 焚口に焼け面あり

床の状態 床構築土あり **柱穴** ピット5口 **時期** 平安時代 (9世紀)

RA474 (第121図)

位置 調査区南西部 **重複関係** RA473 (古)・480 (古), RD1054 (新), ピット (新)

平面形 隅丸方形 **規模** 東西2.8 m, 南北2.6, 深さ0.1 m **カマド方向** 不明

床の状態 床構築土あり **柱穴** ピット2口 **出土遺物** 土師器坏, あかやき土器坏

時期 平安時代 (9世紀)

RA475 (第122図)

位置 調査区南西部 **重複関係** RG387 (新), ピット (新) **平面形** 隅丸方形?

規模 東西3.5 m以上, 南北約3.0 m, 深さ0.1 m **カマド方向** E22.0° N, 東カマド, 長い煙道 (1.3 m)

カマド 右袖のみ残存 **出土遺物** 土師器坏・甕, 須恵器坏 **時期** 平安時代 (9世紀)

RA477 (第123図)

位置 調査区中央部 **重複関係** RA479 (新)・480 (新), RD1054 (新), ピット (新)

平面形 隅丸方形 **規模** 北西-南東3.5 m, 北東-南西3.6 m, 深さ0.15 m

カマド方向 S30.0° E, 南東カマド, 長い煙道 (1.0 m) **カマド** 右袖残存, 焚口に焼け面あり

床の状態 床構築土あり **出土遺物** 土師器坏・甕, あかやき土器坏, 須恵器坏, 砥石1点

時期 平安時代 (9世紀)

RA478 (第124図)

位置 調査区中央部 **重複関係** RA477 (古)・479, ピット (新) **平面形** 隅丸方形?

規模 南北4.2 m, 東西0.8 m以上, 深さ0.1 m **カマド方向** 不明 **出土遺物** 土師器坏

時期 平安時代 (9世紀)

RA479 (第124図)

位置 調査区中央部 **重複関係** RA477 (古)・478・480 (新), ピット (新)

平面形 隅丸長方形 **規模** 南北4.6 m, 東西3.6 m, 深さ0.2 m

カマド方向 N20.0° W, 北カマド, 長い煙道 (1.0 m) **カマド** 焚口に焼け面あり **柱穴** ピット1口

出土遺物 (第162図・第43表) 土師器坏, あかやき土器坏, 須恵器甕 **時期** 平安時代 (9世紀)

RA480 (第125図)

位置 調査区中央部 **重複関係** RA474 (新)・479 (古), RD1054 (新), ピット (新)

平面形 隅丸長方形 **規模** 北西-南東3.0 m, 北東-南西4.8 m, 深さ0.15 m

カマド 焚口に焼け面あり **床の状態** 中央部に焼け面, 床構築土あり **柱穴** 4口

出土遺物 (第162図・第43表) 土師器坏, あかやき土器坏, 須恵器坏, 砥石 (砂岩) 1点, 鉄釘1点, 環状鉄製品1点 **時期** 平安時代 (9世紀)

・掘立柱建物跡

RB28001 (第126図)

位置 調査区南東部 重複関係 RD1056 構造 桁行(南北)3間, 梁行(東西)1間

規模 桁行総長36m(21尺)・柱間2.1m(7尺)等間, 梁行柱間2.1m(7尺)

棟方向 南北棟, N3.0°E

柱掘方 7基

	掘方1	掘方2	掘方3	掘方4	掘方5	掘方6	掘方7
直径(m)	0.4	0.35	0.55	0.4	0.45	0.5	0.55
深さ(m)	0.45	0.2	0.25	0.3	0.3	0.4	0.3
平面形	不整形	不整形	不整形	不整形	不整形	不整形	不整形
柱痕跡	あり	なし	なし	あり	あり	あり	あり

時期 中世以降

・柱列(板塀)跡

RC28001 (第126図)

位置 調査区東部 重複関係 なし 構造 桁行(南北)2間, 板塀

規模 桁行総長4.2m(14尺)・柱間2.1m(7尺)等間 桁方向 N2.0°E

柱掘方 3基

	掘方1	掘方2	掘方3
直径(m)	0.35	0.45	0.4
深さ(m)	0.45	0.45	0.45
平面形	不整形	不整形	不整形
柱痕跡	あり	あり	あり

時期 中世以降

RC28002 (第126図)

位置 調査区中央部 重複関係 RA478(古) 構造 桁行(南北)4間, 板塀

規模 桁行総長9.0m(30尺)・柱間2.25m(7.5尺)等間 桁方向 N7.0°E

掘方 5基

	掘方1	掘方2	掘方3	掘方4	掘方5
直径(m)	0.3	0.35	0.35	0.35	0.35
深さ(m)	0.3	0.4	0.4	0.35	0.4
平面形	不整形	不整形	不整形	不整形	不整形
柱痕跡	あり	なし	あり	あり	あり

時期 中世以降

・土坑

RD1054～1056・1058・1060・1063～1065・1067・1068（第118図）

調査区内では10基の土坑を確認しており、各土坑の概要は第17表のとおりである。土層については紙面の都合により省略した。一部の埋土より土師器、あかやき土器、須恵器、鉄滓、中世の中国青磁などが出土している。

・溝跡

RG387・388（第118図）

調査区内では2条の溝跡を確認しており、各溝跡の概要は第18表のとおりである。土層については紙面の都合により省略した。一部の埋土よりあかやき土器が出土している。

・ピット

調査区内では多数のピット（柱穴跡）を確認している。個別の概要については紙面の都合により省略した。これらの中には、中世以降の建物跡を構成するものが含まれている可能性もあるが、遺構の重複や罹災で不明な部分が多いことから詳細な検討は困難であった。

(10) 第29次調査（平成12年度）

今次調査区は、遺跡の中央部に位置し、盛岡南新都市開発整備事業に伴う本調査として実施した。調査面積は125㎡。重機により表土を除去し、遺構検出を行った。なお、現地調査の図面・写真資料の大部分が罹災・焼失していることから、遺構図の提示と事実記載は可能な範囲までとした。

a. 遺構と遺物

調査の結果、奈良時代の竪穴住居跡1棟（RA503）、近世以降の土坑3基（RD1088～1090）・ピット5口を検出した（第127図）。

・竪穴住居跡

RA503（第128図）

位置 調査区南西部 重複関係 RD1088（新） 平面形 隅丸方形？

規模 南北5.2m、東西1.6m以上（調査区外）、深さ0.5m カマド方向 不明

床の状態 床構築土あり 柱穴 4口 出土遺物 土師器坏（非ロクロ）・甕

時期 奈良時代（8世紀）

・土坑

RD1088～1090（第127図）

調査区内では3基の土坑を確認しており、各土坑の概要は第19表のとおりである。土層については紙面の都合により省略した。一部の埋土より土師器、須恵器が出土している。

・ピット

調査区内では4口のピット(柱穴跡)を確認しているが、個別の概要については紙面の都合により省略した。

(11) 第30次調査(平成12年度)

今次調査区は、遺跡の北部に位置し、盛岡南新都市開発整備事業に伴う本調査として実施した。調査面積は35㎡。重機により表土を除去し、遺構検出を行った。なお、現地調査の図面・写真資料の大部分が罹災・焼失していることから、遺構図の提示と事実記載は可能な範囲までとした。

a. 遺構と遺物

調査の結果、平安時代の竪穴状遺構1基(RE049)、古代以降のピット1口を検出した(第34図)。

・竪穴状遺構

RE049(第34図)

位置 調査区中央 重複関係 なし 平面形 不整形?

規模 東西2.8m, 南北1.7m以上(調査区外) 底面の状態 ピット2口

出土遺物 土師器杯・甕, あかやき土器甕 時期 平安時代(9世紀)

(12) 第31次調査(平成12年度)

今次調査区は、遺跡の北部に位置し、盛岡南新都市開発整備事業に伴う本調査として実施した。調査面積は128㎡。重機により表土を除去し、遺構検出を行った。なお、現地調査の図面・写真資料の大部分が罹災・焼失していることから、遺構図の提示と事実記載は可能な範囲までとした。

a. 遺構と遺物

調査の結果、奈良・平安時代の竪穴住居跡2棟(RA391・481)、古代以降の溝跡2条(RG344・368)を検出した(第129図)。

・竪穴住居跡

RA391(第130図)

位置 調査区北部(煙出し部分を25次調査A区で精査) 重複関係 なし

平面形 隅丸長方形 規模 東西3.1m, 南北約4.5m, 深さ0.25m

カマド方向 W90°N, 西カマド, 長い煙道(約1.1m) 床の状態 周溝あり

時期 奈良・平安時代(8・9世紀)

RA481(第131図)

位置 調査区北部 重複関係 なし 平面形 隅丸方形?

規模 東西0.6m以上(調査区外), 南北2.3m, 深さ0.1m カマド方向 西カマド, 長い煙道(約1.2m)

時期 奈良・平安時代（8・9世紀）

・溝跡

RG344・368（第129図）

調査区内では2条の溝跡を確認しており、その概要は第20表のとおりである。これら2条の溝跡は南に隣接する27次調査B区から続いて平行に走っている。

(13) 第32次調査（平成12年度）

今次調査区は、遺跡の北部と中央部に位置し、盛岡南新都市開発整備事業に伴う本調査として実施した。調査面積は1,030㎡。重機により表土を除去し、遺構検出を行った。調査区については、北部で東西の2地点及び南部の1地点に分かれていることから、北部西調査区をA区、北部東調査区をB区、南部調査区をC区とした（第101図）。3地区を合わせた遺構数は、奈良・平安時代の竪穴住居跡6棟（RA499・193・500・151・501・502）、古代以降の土坑7基（RD1080・1081・1083～1087）・溝跡8条（RG383・077・137・385・386・045・048・131）・ピット多数、中世以降の溝跡1条（RG042a・b）、近世以降の井戸跡2基（RI101・102）である。なお今次調査については、現地調査の図面・写真資料の大部分が罹災・焼失していることから、遺構図の提示と事実記載は可能な範囲までとした。

A区（北部西調査区）

a. 遺構と遺物

調査の結果、A区より平安時代の竪穴住居跡1棟（RA499）、古代以降の土坑6基（RD1080・1081・1083～1086）・溝跡1条（RG383）・ピット、近世以降の井戸跡1基（RI101）を検出した（第132図）。

・竪穴住居跡

RA499（第132図）

位置 A区北部 重複関係 RD1080 平面形 隅丸長方形

規模 南北3.3m, 東西3.5m カマド方向 北カマド, 長い煙道（約1.1m）

出土遺物 土師器坏・高台付坏, あかやき土器坏, 須恵器坏・甕 時期 平安時代（9世紀）

・井戸跡

RI101（第132図）

位置 A区中央部 重複関係 なし 平面形 不整円形

規模 径約3.1m, 深さ2.6m 埋土 最下部に木製井戸枠残存

出土遺物 土師器坏, あかやき土器坏・高台付坏, 須恵器坏・甕, 近世陶器湯呑1点, 鉄釘1点

時期 近世以降

・土坑

RD1080・1081・1083～1086 (第132図)

32次調査A区では6基の土坑を確認しており、各土坑の概要は第21表のとおりである。土層については紙面の都合により省略した。埋土の一部より土師器、あかやき土器、須恵器、軽石、近世陶器などが出土している。

・溝跡

RG383 (第132図)

32次調査A区では1条の溝跡を確認しており、その概要は第22表のとおりである。土層については紙面の都合により省略した。

・ピット

32次調査A区では多数のピット(柱穴跡)を確認しているが、個別の概要については紙面の都合により省略した。これらの中には、中世以降の建物跡を構成するものが含まれている可能性もあるが、遺構の重複や罹災で不明な部分が多いことから詳細な検討は困難であった。

B区(北部東調査区)

a. 遺構と遺物

調査の結果、B区より奈良・平安時代の竪穴住居跡2棟(RG193・500)、古代以降の溝跡4条(RG077・137・385・386)・ピット多数を検出した(第133図)。

・竪穴住居跡

RA193 (第134図)

位置 B区南部 重複関係 RG077(新) 平面形 隅丸方形

規模 南北4.8m, 東西1.9m以上(調査区外) カマド方向 北カマド

出土遺物(第163図・第44表) 土師器坏(非ロクロ)・高台付坏・甕, あかやき土器坏, 須恵器坏

時期 奈良時代(8世紀)

※県埋文センターによる18次調査RA193の続き

RA500 (第135図)

位置 B区南部 重複関係 なし 平面形 隅丸長方形

規模 南北3.2m, 東西3.1m, 深さ0.05m

カマド方向 北カマド, 長い煙道(約1.3m) 床の状態 床構築土あり 柱穴 1口

出土遺物(第163図・第44表) 土師器坏・甕, あかやき土器坏1, 須恵器坏・甕, 墨書土器「(不明)」1点, ミニチュア土器1点

時期 平安時代(9世紀)

・溝跡

RG077・137・385・386 (第133図)

32次調査B区では4条の溝跡を確認しており、各溝跡の概要は第22表のとおりである。土層については紙面の都合により省略した。一部の埋土より土師器、あかやき土器、須恵器、フイゴ羽口などが出土している。

・ピット

32次調査B区では多数のピット(柱穴跡)を確認しているが、個別の概要については紙面の都合により省略した。これらの中には、中世以降の建物跡を構成するものが含まれている可能性もあるが、遺構の重複や罹災で不明な部分が多いことから詳細な検討は困難であった。

C区(南部調査区)

a. 遺構と遺物

調査の結果、C区より奈良・平安時代の竪穴住居跡3棟(RG151・501・502)、古代以降の土坑1基(RD1080)・溝跡3条(RG045・048・131)、中世以降の堀跡1条(RG042a・b)を検出した(第136図)。

・竪穴住居跡

RA151 (第136図)

位置 C区東部 重複関係 RG045 平面形 隅丸方形

規模 北東-南西3.0m以上, 北東-南西1.1m以上 カマド方向 北東カマド, 長い煙道(約2.0m)

出土遺物 土師器甕 時期 平安時代(9世紀)

※県埋文センターによる18次調査RA151の続き

RA501 (第136図)

位置 C区西部 重複関係 なし 平面形 隅丸方形

規模 北西-南東約2.4m, 北東-南西約2.4m

カマド方向 南東カマド, 長い煙道(約1.3m)

出土遺物 土師器甕, あかやき土器坏・甕 時期 平安時代(9世紀)

※精査なし, 検出のみ

RA502 (第136図)

位置 C区中央部 重複関係 RG042a 平面形 隅丸方形?

規模 東西約6.1m, 南北5.8m以上(調査区外) カマド方向 不明

出土遺物(第164図・第45表) 土師器坏(非ロクロ)・高台付坏・甕・球胴甕, あかやき土器坏, 須恵器坏・甕, 砥石(軽石)1点

時期 奈良時代(8世紀)

・井戸跡

RI102 (第136図)

位置 C区東部 重複関係 なし 平面形 円形 規模 径約1.9m 時期 近世以降

・土坑

RD1087 (第136図)

32次調査C区では1基の土坑を確認しており、その概要は第21表のとおりである。土層については紙面の都合により省略した。埋土より土師器が出土している(第164図・第45表)。

・溝跡

RD042・045・048・131 (第136図)

32次調査C区では4条の溝跡を確認しており、各溝跡の概要は第22表のとおりである。土層については紙面の都合により省略した。埋土より土師器、あかやき土器、須恵器、フイゴ羽口、鉄滓、鉄製品、砥石、中世の中国青磁、近世陶器などが出土している(第164図・第45表)。RG042a・bは県埋文センター第18次調査区から続く中世以降の堀跡の一部と考えられる。

(14) 第33次調査(平成12年度)

今次調査は、遺跡の東部に位置し、盛岡南新都市開発整備事業区域内の現地換地の住宅等新築に伴う試掘確認調査として実施した。調査面積は695㎡。重機により表土を全面除去し、遺構検出のみを行った。その結果、工事による予定掘削深が遺構検出面のより上であったことから、一部サブトレンチで深さ等を確認した以外の遺構精査は行わず、砂及び碎石盛土により保存措置とした。

a. 遺構と遺物

調査の結果、奈良・平安時代の竪穴住居跡3棟(RA504～506)、古代以降の溝跡3条(RG347・33001・33002)を検出した(第137図)。

・竪穴住居跡

RA504 (第137図)

位置 調査区西部 重複関係 RG347(新) 平面形 隅丸方形
規模 北西-南東40m, 北東-南西3.7m以上 カマド方向 北西カマド
時期 奈良・平安時代(8・9世紀)

RA505 (第137図)

位置 調査区西部 重複関係 なし 平面形 隅丸方形
規模 南北2.7m, 東西2.6m カマド方向 不明
時期 奈良・平安時代(8・9世紀)

RA506 (第137図)

位置 調査区西部 **重複関係** RG33001 (新) **平面形** 隅丸方形?

規模 北西-南東 2.8 m, 北東-南西 1.5 m以上 **カマド方向** 北西カマド?

時期 奈良・平安時代 (8・9世紀)

・溝跡

RD347・33001・33002 (第137図)

調査区内では3条の溝跡を確認しており、各溝跡の概要は第23表のとおりである。特にRG33001は、幅が5.2～7.3 mある大溝であり、中世以降の堀跡の可能性がある。

(15) 第34次調査 (平成12年度)

今次調査区は、遺跡の東部に位置し、住宅新築に伴う試掘確認調査として実施した。調査対象面積680㎡について、重機により幅約1.5 mの試掘トレンチ4本を設定し(調査面積156㎡)、遺構・遺物の有無を確認した。その結果、建物建築予定部分で表土下0.1～0.4 mの黄褐色シルト層上面より、古代の竪穴住居跡3棟・溝跡1条が検出された。これら遺構についての精査は行わず、施工者との協議により盛土による保存措置とした(第3図)。

第4章 総括

盛岡市教育委員会で行った平成5～12年度の台太郎遺跡の発掘調査により、第3章に記載した内容の成果を得ることができた。

以下、遺跡で主体となっている、古代の遺物と遺構について、まとめを行い、総括とする。

1. 古代の遺物

平成5～12年度の発掘調査で出土した遺物について、実測図化（拓本含む）を行うことのできた、計328点を掲載した。その内訳は、土器が313点、土製品が11点、石製品4点である。

(1) 土器

出土した古代の土器については、土師器、あかやき土器、須恵器があり、その成形において、回転台であるロクロを使用していない土器群（Ⅰ群土器）と、ロクロを使用している土器群（Ⅱ群土器）に大別することができる。

・Ⅰ群土器

土師器のみで構成され、器種は、坏、大形坏、高台付坏、舟底形坏、埴、甕、球胴甕、大甕、鉢、大形鉢、甗などが出土している。特徴となる土師器坏について見ると、底部は、丸底のもの、平底風丸底のもの、平底のものがある。外面体部は、有段のもの、有段風沈線のあるもの、段・沈線ともないものがあり、内面は黒色処理されている。また、口径より体部径が大きい球胴甕が組成するのが特徴である。第32次調査C区RA502 堅穴住居跡出土の舟底形坏（第164図316）は、一般的な器形の坏が押しつぶされたような形であり、珍しいものである。

これらⅠ群土器がまとめて出土している堅穴住居跡資料としては、第24次調査RA304（第138図）・317（第140図）・319（第140図）・321（第141図）、第25次調査A区RA332（第144図）・335（第144図）・341（第144図）・345（第145図）・370（第148図）・371（第148図）・373（第148図）・381（第149図）、第25次調査B区RA396（第154図）・398（第154図）、第27次調査A区RA467（第156図）、第27次調査B区RA484（第157図）・489（第157図）・490（第158図）・491（第158・159図）・492（第159図）がある。

年代としては、概ね8世紀代（奈良時代）と考えられる。

・Ⅱ群土器

土師器、あかやき土器、須恵器により構成され、器種はそれぞれ、土師器が坏、高台付坏、埴、甕、片口鉢、あかやき土器が坏、小皿、甕、須恵器が坏、脚付盤皿、甕、長頸瓶などが出土している。特徴となる坏について見ると、底部は平底であり、ロクロからの切り離し痕跡にヘラ切りと糸切りがある。また、切り離し後に底部の周りをヘラケズリ再調整しているものと、切り離したまま再調整を行わないものがある。土

土師器坏は、内面が黒色処理されている。土師器甕は、成形にロクロは使用されない。第25次調査A区RA349 堅穴住居跡出土の須恵器脚付盤皿（第145図118）は、盤皿によくみられる高台ではなく、三足と考えられる脚が付き、珍しいものである。

これらⅡ群土器がまとまって出土している堅穴住居跡資料としては、第24次調査RA305（第139図）・307（第138図）・308（第138図）・312（第138図）・313（第140図）・315（第138図）・322（第141図）、第25次調査A区RA322（第143図）・327（第143図）・337（第144図）・347（第146図）、349（第145図）・354（第146図）、356（第147図）・366（第147図）・378（第149図）・383（第149図）、第25次調査B区RA392（第155図）・393（第155図）がある。

年代としては概ね9・10世紀（平安時代）と考えられる。このうち、坏底部のヘラ切り、底部切り離し後のヘラケズリ再調整や、口径に比べ器高が低い坏は、9世紀代でも古い要素と考えられ、第24次調査RA313、第25次調査A区RA337・349・356・378・383にそれらが見られる。また、第25次調査B区RA392・393には、あかやき土器小皿、内外面ヘラミガキ・黒色処理の土師器坏があり、10世紀代と考えられる。

・墨書・刻書土器

出土した土器の中に、墨書または刻書の見られるものが10点ある。第24次調査で3点、第25次調査A区で4点、第27次調査B区で2点、第32次調査B区で1点出土しており、墨書は2点、刻書は8点である。

墨書は、文字として書かれており、坏の体部に「山」（281）、「（不明・文字の一部）」（313）が見られる。刻書は、記号的につけられたようであり、坏や甕の主に底部に、「×」（039, 106, 120, 159）、「×」「ユ」（050）、「キ」（064）、「井」（252）が見られる。

2. 古代の遺構

平成5～12年度の調査では、古代の堅穴住居跡133棟の精査を行っている。このうち、資料の罹災・焼失が少なく、集落の一部をまとまって調査することのできた、第24次調査（遺跡西端部）と第25次調査A区（遺跡北端部）の堅穴住居跡について、検討を行った。なお、検討対象とした堅穴住居跡は、出土土器からおよその年代が推定され、煙道がのびるカマド方向がわかるもの、または辺長と床面積から住居規模が推定できるものとした。

・第24次調査

精査を行った20棟の堅穴住居跡のうち、18棟について検討を行う。このうちカマドが2時期にわたるものが1棟ある。時期別にみると、先述したⅠ群土器が出土する奈良時代のもの（Ⅰ期）が3棟、Ⅱ群土器が出土する平安時代のもの（Ⅱ期）が15棟となる。

調査区内での平面分布を見ると、Ⅰ期住居跡は、A・B区の北西部にまとまっている。Ⅱ期住居跡は、A・B区の全体に広がっている。

各住居跡のカマド方向のまとまりを見ると（第48表）、Ⅰ期住居跡は、北西カマドが1棟わかるのみである。Ⅱ期住居跡は、北カマド1棟、北東カマド1棟、東カマド5棟、南東カマド2棟、南西カマド1棟、

西カマド2棟、北西カマド1棟であり、ばらつきがあるものの、概ね東方向が多い傾向にある。

次に住居規模のまとまりを見ると（第49表）、Ⅰ期住居跡は、床面積16.2～18.49㎡・辺長4.0～4.3mの中形住居が2棟、床面積39.69㎡・辺長6.3mの大形住居が1棟ある。Ⅱ期住居跡は、床面積6.25～9.12㎡・辺長2.5～2.9mの小形住居が7棟、床面積10.89～15.8㎡・辺長3.3～4.0mの中形住居が5棟、床面積19.8～24.0㎡・辺長4.5～4.9mの大形住居が2棟ある。

上屋を支える主柱穴、及び壁の板や杭を建てた周溝は、Ⅰ期住居跡・Ⅱ期住居跡ともみられない。

・第25次調査A区

精査を行った65棟の竪穴住居跡のうち、44棟について検討を行う。このうちカマドが2時期にわたるものが4棟ある。時期別にみると、Ⅰ期住居跡が12棟、Ⅱ期住居跡が32棟となる。

調査区内での平面分布を見ると、Ⅰ期住居跡は、調査区の南側に重複することなく広がっており、Ⅱ期住居跡は、段丘縁辺部となる北側まで広がり重複して密集している。

各住居跡のカマド方向のまとまりを見ると（第50表）、Ⅰ期住居跡は、北カマド1棟、北西カマド7棟、西カマド2棟、南カマド1棟であり、北から西方向にまとまっている。Ⅱ期住居跡は、北東カマド2棟、東カマド7棟、南東カマド2棟、南カマド3棟、西カマド6棟、北西カマド6棟であり、ばらつきがあるものの、概ね東から南方向が多いようである。

次に住居規模のまとまりを見ると（第51表）、Ⅰ期住居跡は、床面積8.06～9.61㎡・辺長2.6～3.1mの小形住居が2棟、床面積10.8～16㎡・辺長3.1～4.5mの中形住居が8棟、床面積31.36～46.92㎡・辺長5.6～6.85mの大形住居が2棟ある。Ⅱ期住居跡は、床面積5.52～9.61㎡・辺長2.4～3.4mの小形住居が13棟、床面積10.73～17.22㎡・辺長3.1～4.5mの中形住居が12棟、床面積21.62～39.06㎡・辺長4.65～6.3mの大形住居が7棟ある。Ⅰ期と比べⅡ期になると、小形住居の割合が大きくなっている。

主柱穴はⅠ期住居跡に1棟（RA381, 大型住居）、周溝はⅡ期住居跡に1棟（RA369, 中型住居）あるのみである。

表

第1表 台太郎遺跡発掘調査一覧表〔平成5～12年度〕

遺跡名	略号	回数	年度	調査方法	所在地	面積 (㎡)	調査期間	遺構・遺物	調査原因	調査主体	報告書
台太郎	ODT	9	H5	試掘確認	向中野字向中野 40	50	1993.5.11	なし	農作業小屋新築	市教委	本書
		10	H7	試掘確認	向中野字向中野地内	1,200 (対象 5,050)	1995.4.4～ 1995.4.6	古代土坑・溝跡・柱穴	土地区画整理 (盛南開発)	市教委	本書
		11	H7	試掘確認	向中野字台太郎 9 他 (現向中野 1 丁目地内)	320 (対象 1,274)	1995.6.19～ 1995.6.27	なし	倉庫新築	市教委	本書
		12	H7	試掘確認	向中野字八日市場地内	5,174 (対象 33,390)	1995.9.1～ 1995.11.30	古代竪穴住居跡・土坑・溝跡・柱穴	土地区画整理 (盛南開発)	市教委	本書
		13	H8	試掘確認	向中野字向中野 1-45 他	4,064 (対象 28,667)	1996.10.14～ 1996.10.25	古代竪穴住居跡・土坑・溝跡・柱穴	土地区画整理 (盛南開発)	市教委	本書
		14	H8	本調査	向中野字台太郎 18-1 (現向中野 3 丁目地内)	25	1996.11.25～ 1996.11.28	平安時代竪穴住居跡 1・溝跡 1	下水道引込工事	市教委	本書
		15	H9	本調査	向中野字八日市場 33-2 他	12,906	1997.4.4～ 1997.11.26	奈良時代竪穴住居跡 10、平安時代竪穴住居跡 52・土坑 2・炉跡 1・溝跡 6、中世竪穴住居跡 3・掘立柱建物跡 3・土坑 2・柱列 1・掘跡 1・橋脚跡 4、近世竪穴状遺構 4、土坑 39、焼土遺構 3、溝跡 48、柱穴 523	土地区画整理 (盛南開発)	県埋文	県 309 集
		16	H9	本調査	向中野字向中野 36-1 他	790	1997.8.1～ 1997.8.29	奈良時代竪穴住居跡 2、平安時代溝跡 2、中世掘立柱建物跡 3・柱列 1・堀跡 1、近世以降土坑 16・柱穴 165	土地区画整理 (盛南開発)	県埋文	県 293 集
		17	H9	試掘確認	向中野字向中野地内	10	1997.8.23	なし	下水道引込工事	市教委	本書
		18	H10	本調査	向中野字向中野 26-6 他	26,404	1998.4.15～ 1998.11.24	奈良時代竪穴住居跡 42、竪穴状遺構 5・土坑 14・溝跡 1、平安時代竪穴住居跡 65、竪穴状遺構 9・土坑 43、楕円形周溝 2、溝跡 19、波板状遺構 3、中世竪穴住居跡 1・掘立柱建物跡 6・土坑 3・堀跡 3、近世以降掘立柱建物跡 7・竪穴状遺構 5・土坑 27・焼土遺構 12・カマド状遺構 13・溝跡 90・井戸跡 2・柱穴 638・馬屋跡 2	土地区画整理 (盛南開発)	県埋文	県 369 集
		19	H10	本調査	向中野字向中野 16-6 他	4,755	1998.7.1～ 1998.8.31	竪穴住居跡 20・竪穴状遺構 5・土坑 18・掘立柱建物跡 3・溝跡 35・焼土遺構 1・道路跡 2・柱穴群	土地区画整理 (盛南開発)	県埋文	県 321 集
		20	H10	本調査	向中野字向中野地内	1,400	1998.9.17～ 1998.12.21	古代以降土坑 9・溝跡 19・柱穴群	土地区画整理 (盛南開発)	市教委	本書
		21	H10	試掘確認	向中野字台太郎 18-7 (現向中野 2 丁目地内)	28 (対象 324)	1998.9.25	なし	車庫新築	市教委	本書
		22	H11	本調査	向中野字向中野 39-1	2,500	1999.9.1～ 1999.11.2	縄文時代土坑 1、奈良時代竪穴住居跡 1・土坑 1、平安時代堀跡 1、中世土坑 2、近世以降土坑 6・溝跡 9・柱穴 62	県警待機倉庫建設 (盛南開発関連)	県埋文	県 365 集
		23	H11	本調査	向中野字向中野 16-15	27,800	1999.4.16～ 1999.11.15	奈良時代竪穴住居跡 35・竪穴状遺構 2、平安時代竪穴住居跡 27・竪穴状遺構 1・掘立柱建物跡 1・溝跡 3・土坑 3・円形周溝 5、中世土坑墓 330・竪穴建物跡 12・掘立柱建物跡 3・竪穴状遺構 7・焼土炉跡 25・堀跡 3・溝跡 3・井戸跡 3・土坑 28、近世以降掘立柱建物跡 4・竪穴状遺構 5・墓跡 4・土坑 38・井戸 2・溝跡 3	土地区画整理 (盛南開発)	県埋文	県 415 集
		24	H11	本調査	向中野字向中野地内	3,425	1999.5.6～ 1999.7.16	奈良・平安時代竪穴住居跡 20、古代以降土坑 15・溝跡 51・道路状遺構 1・柱穴群、中世以降掘立柱建物跡 1・柱列跡 2	土地区画整理 (盛南開発)	市教委	本書
		25	H11	本調査	向中野字八日市場地内	3,674	1999.7.7～ 1999.12.15	弥生時代土器埋設遺構 1、奈良・平安時代竪穴住居跡 73、古代以降土坑墓 2・土坑 68・溝跡 32、中世以降大溝跡 1	土地区画整理 (盛南開発)	市教委	本書
		26	H12	本調査	向中野字向中野 16-15 他	13,662	2000.4.19～ 2000.10.30	奈良時代竪穴住居跡 34・竪穴状遺構 1、平安時代竪穴住居跡 34・掘立柱建物跡 1・竪穴状遺構 1・溝跡 1・土坑 3・円形周溝 1、中世土坑墓 29・竪穴建物跡 4・掘立柱建物跡 6・竪穴状遺構 1・焼土炉跡 7・溝跡 6・井戸跡 2・土坑 21、掘立柱建物跡 2・土坑 69・井戸跡 1・溝跡 38	土地区画整理 (盛南開発)	県埋文	県 416 集
		27	H12	本調査	向中野字八日市場地内	2,513	2000.6.12～ 2000.11.14	奈良・平安時代竪穴住居跡 21、古代以降土坑 23・溝跡 30、近世以降土坑墓 2	土地区画整理 (盛南開発)	市教委	本書
		28	H12	本調査	向中野字八日市場地内	460	2000.6.12～ 2000.11.14	平安時代竪穴住居跡 9、中世以降掘立柱建物跡 1・柱列跡 2、古代以降土坑 10・溝跡 2	土地区画整理 (盛南開発)	市教委	本書
		29	H12	本調査	向中野字向中野 20-2	125	2000.7.19～ 2000.8.25	奈良時代竪穴住居跡 1、近世以降土坑 3	土地区画整理 (盛南開発)	市教委	本書
		30	H12	本調査	向中野字八日市場 43-1	35	2000.7.25～ 2000.7.31	平安時代竪穴状遺構 1、ピット	土地区画整理 (盛南開発)	市教委	本書
		31	H12	本調査	向中野字八日市場 45-2	128	2000.8.1～ 2000.8.8	奈良・平安時代竪穴住居跡 2、古代以降溝跡 2	土地区画整理 (盛南開発)	市教委	本書
		32	H12	本調査	向中野字八日市場 42 他	1,030	2000.9.18～ 2000.10.20	奈良・平安時代竪穴住居跡 6、古代以降土坑 7・溝跡 8、中世以降溝跡 1、近世井戸跡 2	土地区画整理 (盛南開発)	市教委	本書
		33	H12	試掘保存	向中野八日市場 50	695	2000.9.22～ 2000.10.13	奈良・平安時代竪穴住居跡 3、古代以降溝跡 3	住宅等新築	市教委	本書
		34	H12	試掘保存	向中野 2 丁目 4・5・6	156 (対象 680)	2000.11.20・21	古代竪穴住居跡・溝跡	住宅新築	市教委	本書

第2表 第20次調査土坑一覧

遺構名	位置	重複	平面形	規模	出土遺物
RD20001 土坑	調査区中央部	なし	不整楕円形	長軸 1.7 m, 短軸 0.8 m	なし
RD20002 土坑	調査区中央部	なし	不整楕円形	長軸 1.8 m, 短軸 0.6 m	なし
RD20003 土坑	調査区北部	RG20008	不整楕円形	長軸 3.1 m, 短軸 1.7 m	なし
RD20004 土坑	調査区中央部	RG20008	不整楕円形?	長軸 0.7 m以上, 短軸 1.7 m	なし
RD20005 土坑	調査区北部	RG20006・20009	不整楕円形	長軸 3.0 m以上 (調査区外), 短軸 2.3 m	なし
RD20006 土坑	調査区南東部	RG20018	不整円形	径 0.9 ~ 1.0 m	なし
RD20007 土坑	調査区南東部	RG20017	不整楕円形	長軸 2.8 m, 短軸 1.1 m	中国青磁碗 (14 ~ 15 世紀) 破片
RD20008 土坑	調査区南東部	RG20012	不整楕円形	長軸 1.3 m, 短軸 0.6 m	縄文晩期土器破片
RD20009 土坑	調査区北東部	RG20014	不整楕円形	長軸 1.7 m, 短軸 0.5 m	なし

第3表 第20次調査溝跡一覧

遺構名	位置	重複	規模等	出土遺物
RG20001 溝跡	調査区北部	RG20002・20005・20007・20008・20009・20011	ほぼ東西に走る。幅 0.4 ~ 0.8 m, 延長 30.5 m 以上 (調査区外)	なし
RG20002 溝跡	調査区北西部	RG20001	北東から南西に走る。幅 0.3 ~ 0.5 m, 延長 9.5 m 以上 (調査区外)	なし
RG20003 溝跡	調査区北西部	RG20004	北西から南東に走る。幅約 0.3 m, 延長 8.2 m (南部低湿地に入る)	なし
RG20004 溝跡	調査区北西部	RG20003	北西~南東に走る。幅 0.5 ~ 0.9 m, 延長 10.5 m 以上 (調査区外・南部低湿地に入る)	なし
RG20005 溝跡	調査区中央部	RG20001・20006・20013	ほぼ南北に走る。幅 1.8 ~ 2.4 m, 延長 29.0 m 以上 (調査区外・南部低湿地に入る)	なし
RG20006 溝跡	調査区北部	RD20005, RG20005・20008	ほぼ東西に走る。幅 0.4 ~ 0.6 m, 延長 9.6 m	なし
RG20007 溝跡	調査区北部	RG20001	北東から南西に走る。幅 0.3 ~ 0.5 m, 延長 6.4 m	なし
RG20008 溝跡	調査区中央部	RD20003, RG20001・20006・20009・20003	ほぼ南北に走る。幅 0.5 ~ 0.8 m, 延長 25.5 m 以上 (調査区外)	瀬戸・美濃灰釉皿 (17 世紀) 破片
RG20009 溝跡	調査区中央部	RD20005, RG20001・20008・20011・20012	ほぼ南北に走る。幅 1.0 ~ 1.2 m, 延長 21.7 m	なし
RG20010 溝跡	調査区南部	RG20008	ほぼ南北に走る。幅 0.4 ~ 0.7 m, 延長 5.0 m 以上 (南側低湿地に入る)	なし
RG20011 溝跡	調査区中央部	RG20001・20009・20012	北北東から南南西に走る。幅 0.6 ~ 0.9 m, 延長 22.5 m	なし
RG20012 溝跡	調査区中央部	RD20008, RG20008・20009・20011・20019	北北東から南南西に走る。幅 0.5 ~ 1.1 m, 延長 27.8 m (南部低湿地に入る)	なし
RG20013 溝跡	調査区北東部	なし	北北東から南南西に走る。幅 0.2 ~ 0.3 m, 延長 5.0 m	なし
RG20014 溝跡	調査区北東部	RD20009	L 字状に曲がり, 北北東から南南西に走る。幅約 0.8 m, 延長 7.5 m 以上	なし
RG20015 溝跡	調査区北東部	RG20016	ほぼ東西方向に走る。幅 0.9 ~ 1.1 m, 延長 7.5 m	なし
RG20016 溝跡	調査区北東部	RG20015	RG20015 から分岐するようにほぼ東西方向に走る。幅 0.5 ~ 0.9 m, 延長 5.3 m	なし
RG20017 溝跡	調査区南東部	RD20007	ほぼ南北方向に走るが北部で東に曲がっていく。幅 0.5 ~ 1.2 m, 延長 15.0 m 以上 (南部で低湿地に入る)	なし
RG20018 溝跡	調査区南東部	RD2006, RG20019	北東から南西に弧状に走る。幅 0.6 ~ 0.9 m, 延長 6.2 m 以上 (南部で低湿地に入る)	なし
RG20019 溝跡	調査区南東部	RG20012・20018	ほぼ東西に走る。幅約 0.4 m 以上 (南部で低湿地に入る), 延長 1.0 m	なし

第4表 第24次調査土坑一覧

遺構名	位置	重複	平面形	規模	出土遺物
RD836 土坑	A区北部	なし	不整楕円形	長軸 1.1 m, 短軸 0.6 m, 深さ 0.2 m	土師器坏・甕, あかやき土器坏, 須恵器坏破片
RD837 土坑	A区西部	RG284	不整楕円形	長軸 0.9 m, 短軸 0.55 m, 深さ 0.15 m	なし
RD838 [欠番]	—	—	—	—	—
RD839 土坑	A区南西部	RG301	不整円形	径 0.9-1.1 m, 深さ 0.1-0.15 m	なし
RD840 土坑	A区南西部	RG287	不整楕円形?	長軸 0.8 m以上, 短軸 1.2 m, 深さ 0.1-0.25 m	なし
RD841 土坑	A区南西部	なし	不整楕円形	長軸 1.0 m, 短軸 0.7 m, 深さ 0.1-0.15 m	土師器甕破片
RD842 土坑	A区南東部	なし	不整円形	径 0.6-0.7 m, 深さ 0.15 m	なし
RD843 土坑	A区南東部	なし	不整円形	径 0.6-0.65 m, 深さ 0.2 m	土師器坏・甕, あかやき土器坏, 須恵器坏・甕破片
RD844 土坑	A区南東部	なし	不整楕円形	長軸 1.1 m, 短軸 0.4 m, 深さ 0.15 m	なし
RD845 土坑	A区南東部	なし	不整楕円形	長軸 0.8 m, 短軸 0.35 m, 深さ 0.15-0.4 m	なし
RD846 土坑	A区南東部	なし	不整円形	径 0.6-0.7 m, 深さ 0.25 mm	なし
RD847 土坑	B区中央部	なし	不整円形	径 0.7-0.75 m, 深さ 0.1 m	なし
RD848 土坑	B区中央部	なし	不整円形	径 0.65-0.7 m, 深さ 0.1 m	土師器坏, あかやき土器坏破片
RD849 土坑	B区中央部	なし	不整円形	径 1.1-1.2 m, 深さ 0.15 m	なし
RD850 土坑	B区中央部	なし	不整円形	径 1.0-1.1 m, 深さ 0.2 m	なし
RD851 土坑	B区南部	RG310	不整円形	径 1.5-1.6 m, 深さ 0.8 m	縄文石器フレーク 1点, 土師器甕, あかやき土器坏, 須恵器甕

第5表 第24次調査溝跡一覧(1)

遺構名	位置	重複	規模等	出土遺物
RG282 溝跡	A区北部	RC24001, RG289・290	北北西から南南東に走る。幅0.9-1.4 m, 延長17.8 m, 深さ0.15 m	縄文晩期土器片1点, 石器フ レーク1点, 土師器坏・甕, あかやき土器坏・甕, 須恵器 破片, 中国青磁碗(13-14世紀) 破片
RG283 溝跡	A区北部	RA307, RB24001, RD285・288・289・290	北北西から南南東に走る。幅0.3-0.6 m, 延長17.8 m, 深さ0.1-0.15 m	なし
RG284 溝跡	A区西部中央	RD837, RG290	北北西から南南東に走る。幅0.5-0.6 m, 延長6.5 m, 深さ0.05 m	なし
RG285 溝跡 (RX24001 南側溝)	A区中央部	RB24001, RG283	北東から南西に走る(RG290と平行)。幅0.7-1.4 m, 延長18.4 m以上(調査区外), 深さ0.25~0.35 m	なし
RG286 溝跡	A区中央部	RG292	南北方向から屈曲しながら東西方向に走る。幅0.15-0.3 m, 延長19.0 m以上(調査区外), 深さ0.1~0.25 m	土師器坏, あかやき土器坏・甕, 須恵器破片
RG287 溝跡東半	A区南部	RD840, RG292・293・ 295・304・306	西北西から東南東に走る。幅1.0-1.4 m, 延長24.5 m以上(調査区外), 深さ0.35 m	土師器甕, あかやき土器坏, 須 恵器坏・甕破片
RG287 溝跡西半	B区中央	RG307・308・322	蛇行しながら東西に走る。幅1.3-1.7 m, 延長27.0 m以上(調査区外, 全延長72.0 m以上)	なし
RG288 溝跡	A区中央部	RB24001, RG283	北北東から南南西に走る。幅0.4-0.6 m, 延長2.5 m, 深さ0.1 m	なし
RG289 溝跡	A区中央部	RA310, RB24001, RC24001, RG282・ 283・299・300	北東から南西に走る。幅0.6-1.1 m, 延長18.6 m以上(調査区外), 深さ0.35 m	なし
RG290 溝跡 (RX24001 北側溝)	A区中央部	RB24001, RC24001, RG282・283・284	北東から南西に走る(RG285と平行)。幅0.5-0.8 m, 延長18.4 m以上(調査区外), 深さ0.1 m	なし
RG291 溝跡	A区南西部	なし	北西から南東に走る。幅0.4-0.7 m, 延長4.9 m以上(調査区外), 深さ0.05 m	なし
RG292 溝跡	A区南部	RG286・287・283	南北に走る。幅0.4-0.8 m, 延長18.5 m以上, 深さ0.05-0.2 m	土師器坏・甕, あかやき土器坏, 須恵器坏・甕破片
RG293 溝跡	A区南部	RG287・292・295・ 304・305・306	東北東から西南西に走る。幅0.2-0.7 m, 延長18.6 m, 深さ0.05-0.1 m	土師器坏, 須恵器坏破片
RG294 溝跡	A区中央部	なし	南北に走る。幅0.3-0.4 m, 延長2.7 m, 深さ0.05 m	土師器甕破片
RG295 溝跡	A区南部	RG287・293	北東から南西に走る。幅0.4-0.6 m, 延長7.7 m, 深さ0.2 m	なし
RG296 溝跡	A区東部中央	なし	北北西から南南東に走る。幅0.4-0.6 m, 延長4.4 m以上(調査区外), 深さ0.05 m	なし
RG297 溝跡	A区南西部	なし	東西に走る。幅0.4-0.5 m, 延長3.0 m以上, 深さ0.1 m	なし
RG298 溝跡	A区南東部	なし	途中1箇所途切れながら東北東から南西に走る。幅0.5-1.1 m, 延長10.5 m以上(調査区外), 深さ0.05 m	土師器甕, 須恵器坏・甕破片
RG299 溝跡	A区中央部	RB24001, RG289	北北西から南南東に走る。幅0.4 m, 延長2.8 m	なし
RG300 溝跡	A区西部中央	RC24001, RG289	北北西から南南東に走る。幅0.3-0.4 m, 延長3.2 m, 深さ0.05 m	なし
RG301 溝跡	A区南西部	RA311, RD839	東北東から西南西に走る。幅0.2 m, 延長3.2 m, 深さ0.05-0.1 m	なし
RG302 溝跡	A区南西部	なし	南北方向に走る。幅0.2 m, 延長1.7 m, 深さ0.05-0.15 m	なし
RG303 溝跡	A区中央部	RA310	北東から南西に走る。幅0.4-1.1 m, 延長3.1 m以上, 深さ0.05 m	なし
RG304 溝跡	A区南東部	RG287・283・306	北東から南西に走る。幅0.4-0.5 m, 延長5.0 m	なし
RG305 溝跡	A区南西部	RG293	南北に走る。幅0.2-0.4 m, 延長2.4 m	なし
RG306 溝跡	A区南東部	RG293・304	南北に走る。幅0.4-0.7 m, 延長3.1 m	なし

第6表 第24次調査溝跡一覧(2)

遺構名	位置	重複	規模等	出土遺物
RG307 溝跡	B区西部	RA317・318, RG287・309・311	北北西から南南東に走る。幅0.4-0.8 m, 延長16.7 m以上(調査区外), 深さ0.15-0.2 m	須恵器甕破片
RG308 溝跡	B区西部	RA308, RG287・310	北北西から南南東に走る。幅0.4-0.5 m, 延長10.4 m以上(調査区外), 深さ0.1-0.2 m	なし
RG309 溝跡	B区北西部	RG307	南北に弧状に走る。幅0.3-0.4 m, 延長8.0 m以上(調査区外), 深さ0.15 m	なし
RG310 溝跡	B区南部	RG308・313	蛇行しながら東西に走る。幅0.6-1.1 m, 延長26.0 m(調査区外), 深さ0.1-0.15 m	土師器坏・甕, あかやき土器坏, 須恵器甕破片, 筒形碗(近世)破片
RG311 溝跡	B区南東部	RG307	東西方向に走る。幅0.5-1.3 m, 延長13.5 m(調査区外), 深さ0.2-0.3 m	なし
RG312 溝跡	B区東部中央	RG287	北東から南西方向に走る。幅0.4 m, 延長3.7 m, 深さ0.2 m	なし
RG313 溝跡	B区南西部	RG310	東北東から西南西に走る。幅0.3 m, 延長4.0 m, 深さ0.05 m	なし
RG314 溝跡	B区南西部	なし	ほぼ東西に走る。幅0.2-0.3 m, 延長3.8 m, 深さ0.1-0.2 m	なし
RG315 溝跡	B区南部	なし	ほぼ東西に走る。幅0.7 m以上(調査区外), 延長15.5 m以上(調査区外)	なし
RG316 溝跡	B区北部	RA320	ほぼ南北に走る。幅0.6-0.8 m延長4.5 m以上, 深さ0.15 m	土師器坏, あかやき土器甕破片, 軽石1点, 砥石2点
RG317 溝跡	C区中央部	RG327・328	北東から南西方向に走る。幅0.4-0.8 m, 延長18.2 m以上(調査区外), 深さ0.2-0.25 m	なし
RG318 溝跡	C区中央部	RG329	北東から南西方向に走る。幅0.4 m, 延長14.0 m以上(調査区外), 深さ0.1-0.2 m	なし
RG319 溝跡	C区南部	RG320	北東から南西方向に走る。幅0.4-1.0 m, 延長12.2 m, 深さ0.2 m	なし
RG320 溝跡	C区南部	RG319	北東から南西方向に走る。幅0.3-0.5 m, 延長8.6 m以上, 深さ0.05-0.1 m	なし
RG321 溝跡	C区南部	RG322・323	西北西から東南東に走る。幅0.2-0.4 m, 延長21.0 m以上, 深さ0.15-0.3 m	なし
RG322 溝跡	C区南部	RG321	途中1箇所途切れながら北西から南東に走る。幅0.2-0.3 m, 延長13.3 m, 深さ0.05 m	なし
RG323 溝跡	C区南部	RG321	北東から南西に走る。幅0.3 m, 延長5.6 m以上(調査区外), 深さ0.3 m	なし
RG324 溝跡	C区東部	RG326・327・329	北西から南東に弧状に走る。幅1.6-4.0 m, 延長18.0 m以上(調査区外), 深さ0.25-0.3 m	土師器坏・高台付坏・甕, あかやき土器坏, 須恵器甕破片, 軽石1点
RG325 溝跡	C区北部	RG327・328・331	ほぼ東西に走る。幅0.6-1.0 m, 延長18.0 m以上(調査区外), 深さ0.1-0.15 m	土師器甕, あかやき土器坏, 須恵器坏破片
RG326 溝跡	C区東部	RG324	西北西から東南東に走る。幅0.3-0.5 m, 延長7.1 m, 深さ0.1 m	なし
RG327 溝跡	C区北部	RG317・324・325・328・329・330	北西から南東に走る。幅2.7-4.7 m, 延長34.0 m以上, 深さ0.35-0.5 m	土師器坏・甕, あかやき土器坏・甕, 須恵器坏・甕, 砥石1点
RG328 溝跡	C区北部	RG317・325・327	西北西から東南東に走る。幅0.6-1.1 m, 延長23.0 m, 深さ0.1-0.3 m	なし
RG329 溝跡	C区東部	RG318・324・327	北北東から南南西に走る。幅0.3-1.4 m, 延長7.2 m, 深さ0.1 m	なし
RG330 溝跡	C区北部	RG327	西北西から東南東に走る。幅0.4-0.7 m, 延長9.8 m以上(調査区外), 深さ0.1 m	なし
RG331 溝跡	C区北部	RG325	北西から南東方向に弧状に走る。幅0.6-0.8 m, 延長8.6 m, 深さ0.1 m	なし
RG331 溝跡	B区南東部	なし	北西から南東方向に走る。幅0.4-0.5 m, 延長5.8 m, 深さ0.2 m	なし

第7表 第25次調査A区土坑一覧(1)

遺構名	位置	重複	平面形	規模	出土遺物
RD852 土坑	A区北東部	なし	不整楕円形	長軸 1.3 m, 短軸 0.4 m, 深さ 0.1 m	なし
RD853 土坑	A区南東部	RA337	不整楕円形	長軸 1.8 m, 短軸 1.5 m, 深さ 0.2 m	土師器坏・甕, あかやき土器坏, 須恵器甕
RD854 土坑	A区南東部	RG829	不整円形	径約 1.1 m, 深さ 0.2 m	土師器坏, あかやき土器坏
RD855 土坑	A区南東部	RD866, ピット	不整長方形	長辺 1.7 m, 短辺 1.4 m, 深さ 0.5 m	なし
RD856 土坑	A区南東部	なし	不整楕円形	長辺 1.6 m, 短辺 1.2 m, 深さ 0.3 m	なし
RD857 土坑	A区南東部	RD866	不整楕円形	長軸 1.2 m, 短軸 0.7 m, 深さ 0.5 m	なし
RD858 土坑	A区南東部	なし	不整楕円形	長軸 0.9 m, 短軸 0.7 m, 深さ 0.2 m	須恵器甕
RD859 土坑	A区南東部	なし	不整円形	径約 0.8 m, 深さ 0.4 m	なし
RD860 土坑	A区南東部	なし	不整円形	径約 0.8 m, 深さ 0.4 m	なし
RD861 土坑	A区南東部	RG324	不整楕円形	長軸 2.8 m, 短軸 1.1 m 以上, 深さ 0.9 m	なし
RD862 土坑	A区南東部	RG340	不整形	一辺約 2.1 m, 深さ 0.55 m	土師器坏・甕, あかやき土器坏・甕, 須恵器坏
RD863 土坑	A区南東部	RG829	小判形	長軸 2.5 m, 短軸 1.3 m, 深さ 0.25 m	土師器坏・甕, あかやき土器坏・甕, 須恵器坏
RD864 土坑	A区南東部	RD865	不整楕円形	長軸 1.1 m, 短軸 0.8 m, 深さ 0.3 m	なし
RD865 土坑	A区南東部	RD864	不整楕円形	長軸 1.0 m, 短軸 0.4 m 以上, 深さ 0.3 m	なし
RD866 土坑	A区南東部	RD855	不整形	一辺約 1.3 m, 深さ 0.3 m	土師器坏・甕, あかやき土器坏・甕, 須恵器甕
RD867 土坑	A区北東部	RG336	不整円形	径約 0.8 m, 深さ 0.3 m	なし
RD868 土坑	A区北東部	RA377, RG332・333	不整円形	径約 1.8 m, 深さ 0.2 m	土師器坏, あかやき土器坏・甕, 須恵器坏
RD869 土坑	A区北東部	なし	不整楕円形	長軸 1.2 m, 短軸 0.8 m, 深さ 0.2 m	土師器坏・甕, あかやき土器坏・甕, 須恵器甕
RD870 土坑	A区北東部	なし	不整楕円形	長軸 1.4 m, 短軸 1.1 m, 深さ 0.1 m	土師器坏, あかやき土器坏・甕, 須恵器甕
RD871 土坑	A区南東部	RA343	不整楕円形	長軸 1.3 m, 短軸 1.0 m	土師器坏・甕, あかやき土器坏・甕, 須恵器坏
RD872 土坑	A区北西部	なし	隅丸長方形	長辺 1.4 m, 短辺 0.6 m, 深さ 0.1 m	あかやき土器坏・甕, 碁石, 火打石(メノウ)
RD873 土坑	A区中央部	RA368	隅丸長方形	長辺 1.5 m, 短辺 0.9 m, 深さ 0.7 m	土師器坏・甕・球胴甕, あかやき土器坏・甕
RD874 土坑	A区南西部	なし	不整円形	径約 2.1 m, 深さ 0.2 m	あかやき土器甕
RD875 土坑	A区南西部	なし	不整楕円形	長軸 2.2 m, 短軸 1.8 m, 深さ 0.15 m	土師器坏・甕, あかやき土器甕
RD876 土坑	A区南西部	なし	隅丸長方形	長辺 0.9 m, 短辺 0.6 m, 深さ 0.1 m	土師器坏, あかやき土器甕
RD877 土坑	A区西部	なし	長楕円形	長軸 1.9 m, 短軸 0.9 m, 深さ 0.35 m	土師器甕, あかやき土器甕
RD878 土坑	A区西部	ピット	不整楕円形	長軸 1.2 m, 短軸 0.8 m, 深さ 0.2 m	土師器甕, あかやき土器甕
RD879 土坑	A区中央部	ピット	不整円形	径約 1.1 m, 深さ 0.5 m	あかやき土器甕
RD880 土坑	A区西部	なし	不整楕円形	長軸 1.2 m, 短軸 0.8 m, 深さ 0.65 m	なし
RD881 土坑	A区南西部	RA374, RG344	不整楕円形	長軸 4.2 m, 短軸 3.5 m, 深さ 0.8 m	土師器坏・甕, あかやき土器甕
RD882 土坑	A区中央部	RA368, RG336, ピット	不整楕円形?	長軸 1.8 m 以上, 短軸 0.7 m 以上, 深さ 0.1 m	なし
RD883 土坑	A区北東部	RA379, RG25801	不整長方形?	長辺 1.5 m 以上, 短辺 0.5 m 以上, 深さ 0.05 m	土師器坏・甕, あかやき土器坏・甕, 須恵器坏・甕

第8表 第25次調査A区土坑一覧(2)

遺構名	位置	重複	平面形	規模	出土遺物
RD884 土坑	A区北東部	RG25801	不整円形	径約0.7 m, 深さ0.2 m	あかやき土器坏, 須恵器坏
RD885 土坑	A区中央部	RA369・384	不整楕円形	長軸1.1 m以上, 短軸0.5 m以上, 深さ0.2 m	なし
RD886 土坑	A区中央部	RG340, ピット	不整楕円形	長軸1.2 m, 短軸0.9 m, 深さ0.35 m	土師器甕
RD887 土坑	A区中央部	RG340	不整楕円形	長軸1.3 m, 短軸0.8 m以上, 深さ0.3 m	なし
RD888 土坑	A区中央部	なし	不整楕円形	長軸0.9 m, 短軸0.7 m, 深さ0.2 m	なし
RD889 土坑	A区中央部	RG324	不整円形?	径約0.7 m, 深さ0.2 m	なし
RD890 土坑	A区北西部	なし	隅丸長方形	長辺2.0 m, 短辺1.3 m, 深さ0.2 m	なし
RD891 土坑	A区西部	ピット	不整楕円形	長軸1.5 m, 短軸1.0 m, 深さ0.4 m	あかやき土器甕, フイゴ羽口
RD892 土坑	A区西部	RD893	不整楕円形	長軸1.4 m, 短軸1.0 m, 深さ0.3 m	あかやき土器甕
RD893 土坑	A区西部	RD892	不整楕円形	長軸0.8 m以上, 短軸1.0 m, 深さ0.3 m	なし
RD894 土坑	A区西部	なし	不整円形	径約1.8 m, 深さ0.15 m	あかやき土器甕
RD895 土坑	A区北西部	なし	不整楕円形	長軸1.0 m, 短軸0.8 m, 深さ0.35 m	なし
RD896 土坑	A区北西部	なし	不整楕円形	長軸1.0 m, 短軸0.7 m, 深さ0.25 m	なし
RD897 土坑	A区北西部	ピット	不整楕円形	長軸1.0 m, 短軸0.7 m, 深さ0.25 m	なし
RD898 土坑	A区北西部	なし	不整楕円形	長軸1.4 m, 短軸0.6 m, 深さ0.15 m	なし
RD899 土坑	A区北西部	なし	不整円形	径約0.9 m, 深さ0.2 m	なし
RD900 土坑	A区北西部	なし	隅丸長方形	長辺1.3 m, 短辺0.9 m, 深さ0.2 m	なし
RD901 土坑	A区西部	ピット	不整楕円形	長軸2.4 m, 短軸0.8 m, 深さ0.2 m	なし
RD902 土坑	A区北西部	なし	不整楕円形	長軸1.4 m, 短軸0.8 m, 深さ0.1 m	なし
RD903 土坑	A区北西部	なし	不整楕円形	長軸1.9 m, 短軸1.1 m, 深さ0.15 m	あかやき土器甕
RD904 土坑	A区西部	なし	不整楕円形	長軸0.9 m, 短軸0.6 m, 深さ0.2 m	なし
RD905 土坑	A区中央部	RG341	不整円形	径約0.7 m, 深さ0.35 m	なし
RD906 土坑	A区中央部	RG324	不整楕円形	長軸1.0 m, 短軸0.3 m以上, 深さ0.4 m	土師器甕, あかやき土器甕
RD907 土坑	A区北西部	ピット	不整楕円形	長軸0.8 m, 短軸0.4 m, 深さ0.4 m	なし
RD908 土坑	A区南西部	なし	不整楕円形	長軸2.0 m, 短軸1.1 m, 深さ0.45 m	土師器坏・甕, あかやき土器甕
RD909 土坑	A区北西部	なし	不整円形	径約0.8 m, 深さ0.4 m	あかやき土器甕
RD910 土坑	A区西部	なし	不整楕円形?	長軸2.0 m, 短軸0.7 m以上, 深さ0.3 m	なし
RD911 土坑	A区中央部	RG324	不整円形	径約0.9 m, 深さ0.3 m	なし
RD912 土坑	A区中央部	RG324	不整円形	径約0.9 m, 深さ0.2 m	なし
RD913 土坑	A区中央部	RG339	不整長方形?	長辺2.2 m, 短辺1.3 m以上, 深さ0.1 m	なし
RD914 土坑	A区北西部	ピット	不整円形	径約0.6 m, 深さ0.25 m	なし

第9表 第25次調査A区溝跡一覧

遺構名	位置	重複	規模等	出土遺物
RG322 溝跡	A区南東部	なし	南北に走る。幅0.4～0.6m, 延長3.9m, 深さ0.1m。	なし
RG323 溝跡	A区南東部	なし	北西から南東に走る。幅0.3～0.4m, 延長2.0m, 深さ0.1～0.15m。	なし
RG324 溝跡	A区北西～南東部	RA360・375・385, RD861・889・906・911・912, RG325・327・339・341, RG325・327・339・341, RE025	北から南東に走る。幅0.9～1.3m, 延長103.5m, 深さ0.2～0.5m。区画溝?	なし
RG325 溝跡	A区北西～南東部	RA337, RG324	西北西から東南東に走る。幅0.3～0.5m, 延長25.4m, 深さ0.05～0.2m。	土師器環・高台付環・鉢・甕, あかやき土器環・甕, 須恵器環・高台付環・甕
RG326 溝跡	A区北西～南東部	RA351・354・359, RG324	北西から南東に走り, 北端で屈曲, 北東から南西に走る。幅0.8～1.5m, 延長44.5m, 深さ0.1～0.25m。区画溝?	土師器環・甕, あかやき土器環・高台付環・甕, 須恵器環・甕, 鉄製品(刀子?)
RG327 溝跡	A区南東部	RA212・336・341, RG324・328	北東から南西に走る。RG324に垂直に交わる。幅0.8～1.7m, 延長10.5m, 深さ0.6～0.65m。	土師器環, あかやき土器環・甕, 須恵器環・甕
RG328 溝跡	A区南東部	RA336, RG327	北西から南東に走る。幅約0.8m, 延長3.9m, 深さ0.2m。	土師器環・甕, あかやき土器環・甕, 須恵器環・甕
RG329 溝跡	A区南東部	RA335, RD854・863	北北東から南南西に走る。幅約0.3m, 延長2.8m, 深さ0.15m。	なし
RG330 溝跡	A区南東部	RA344	北北東から南南西に走る。幅約0.3m, 延長3.0m, 深さ0.05～0.1m。	土師器環, 須恵器環
RG331 溝跡	A区南東部	RA338	東西に走る。幅0.2～0.3m, 延長1.3m, 深さ0.05m。	なし
RG332 溝跡	A区北東部	RA349, RD867・868	北西から南東に走る。幅約0.5m, 延長7.6m, 深さ0.2m。	なし
RG333a・b 溝跡	A区北東部	RA349・354・377, RD868	途切れながら北西から南東に走る (RG326・332と平行)。幅0.5～0.7m, 延長18m, 深さ0.05～0.15m。	あかやき土器環・甕, 須恵器環
RG334 溝跡	A区中央部	RA366	途切れながら北北西から南南東に走る。幅0.5～0.6m, 延長18.5m, 深さ0.2m。	土師器環・甕, あかやき土器環・甕
RG335 溝跡	A区中央部	RA366・367・368・369・377・382・384, RG338	北西から南東に走る。幅0.4～0.5m, 延長23.1m, 深さ0.15～0.25m。	土師器環, あかやき土器環・甕, 須恵器環・甕
RG336 溝跡	A区中央部	RA366・367・368・369・377・382, RD881, RG338	北西から南東に走る。幅0.4～0.6m, 延長16.7m, 深さ0.1～0.2m。	土師器環・甕, あかやき土器環・甕, 須恵器環・甕
RG337 [欠番]	—	—	—	—
RG338 溝跡	A区中央部	RA366・377・380・383, RG335・336	南北に走る。幅0.4～0.7m, 延長12.3m, 深さ0.05m。	なし
RG339 溝跡	A区中央部	RA378・381・384, RD913, RG324・335・341・25801	北西から南東に走る。幅3.0～3.6m, 延長28.5m, 深さ約1.25m。大溝	土師器環・甕・球胴甕, あかやき土器環・甕, 須恵器環・甕, フイゴ羽口, 砥石, 鉄滓, 近世陶磁器
RG340 溝跡	A区中央部	RD886・887, RG324	北西から南東に走る。幅0.5～0.7m, 延長26.5m, 深さ0.25～0.3m。	土師器環, あかやき土器環・甕
RG341 溝跡	A区中央部	RD905, RG324・339	北東から南西に走る。幅0.4～0.9m, 延長4.5m, 深さ0.15m。	なし
RG342 溝跡	A区西部	なし	北北東から南南西に走る。幅0.4～1.0m, 延長27.5m, 深さ0.05～0.6m。	土師器甕
RG343 溝跡	A区北西部	RG25801	西北西から東南東に走り, 屈曲して東北東から西南西に走る。幅0.3～0.9m, 延長10.5m, 深さ0.1m。	あかやき土器甕
RG344a・b・c 溝跡	A区西部	RD881	途切れながら北北西から南南東に走る。幅0.3～0.6m, 延長25.5m, 深さ0.05m。	あかやき土器甕
RG345 溝跡	A区西部	なし	南北に走る。幅0.2～0.3m, 延長3.0m, 深さ0.05m。	なし
RG346 溝跡	A区西部	なし	北北東から南南西に走る。幅約0.4m, 延長3.1m, 深さ0.1m。	なし
RG347 溝跡	A区西部	RA374	東西に走る。幅0.2～0.3m, 延長2.3m, 深さ0.05m。	なし
RG352 溝跡	A区北西部	なし	北西から南東に走る。幅0.4～0.5m, 延長6.1m, 深さ0.05m。	なし
RG353 [欠番]	—	—	—	—
RG354 溝跡	A区中央部	RG25801	東西に走る。幅約0.4m, 延長2.0m, 深さ0.1m。	なし
RG25801W・E 溝跡	A区北端縁部	RA325・327・330・362・369・375, RD883, RE047, RG334・335・339・343・354	西部で土橋状に途切れながら, 西北西から東南東に走る。幅0.8～2.7m, 延長119m, 深さ0.35～0.9m。区画溝	土師器環・鉢・甕, あかやき土器環・甕, 須恵器環・甕, 砥石, 馬歯骨, 近世陶器

第10表 第25次調査B区土坑一覧

遺構名	位置	重複	平面形	規模	出土遺物
RD915 土坑	B区中央部	RA397	不整楕円形	長軸 1.5 m, 短軸 1.1 m, 深さ 0.6 m	あかやき土器甕
RD916 土坑	B区南部	なし	隅丸長方形	長辺 3.2 m, 短辺 2.0 m, 深さ 0.2 m	あかやき土器坏
RD917 土坑	B区南部	ピット	不整円形	径約 1.1 m, 深さ 0.3 m	あかやき土器甕
RD918 土坑	B区南部	ピット	不整楕円形	長軸 0.9 m, 短軸 0.6 m, 深さ 0.2 m	あかやき土器甕
RD919 [欠番]	—	—	—	—	—
RD920 土坑	B区南部	なし	不整楕円形	長軸 1.5 m, 短軸 1.1 m, 深さ 0.25 m	なし
RD921 土坑	B区中央部	なし	不整円形	径約 0.9 m, 深さ 0.2 m	なし

第11表 第25次調査B区溝跡一覧

遺構名	位置	重複	規模等	出土遺物
RG348 溝跡	B区南部	なし	※ 27 次A区参照	土師器甕, あかやき土器坏・甕
RG349 溝跡	B区南部	RG350・351	※ 27 次A区参照	土師器坏, あかやき土器坏・甕, 須恵器甕
RG350 溝跡	B区南部	RG349	北東から南西に走る。幅 1.15 m, 延長 6.0 m, 深さ 0.4 m	土師器甕, あかやき土器坏
RG351 溝跡	B区南部	RG349	※ 27 次A区参照	土師器坏

第12表 第27次調査A区土坑一覧

遺構名	位置	重複	平面形	規模	出土遺物
RD1039 土坑	A区南西部	なし	不整長方形	長辺2.5 m, 短辺2.1 m, 深さ0.1 m	なし
RD1040 土坑	A区南西部	なし	不整円形	径約0.8 m, 深さ0.1 m	なし
RD1041 土坑	A区南西部	なし	不整楕円形	長軸1.6 m, 短軸1.2 m, 深さ0.15 m	土師器甕
RD1042 土坑	A区南西部	なし	不整長方形?	長辺1.5 m以上, 短辺0.8 m以上	土師器坏・甕, あかやき土器甕
RD1043 土坑	A区南西部	なし	不整長方形?	長辺3.0 m, 短辺2.2 m以上, 深さ0.1 m	なし
RD1044 土坑	A区南西部	なし	隅丸長方形	長辺2.2 m, 短辺1.3 m, 深さ0.5 m	あかやき土器甕
RD1045 土坑	A区南西部	なし	不整楕円形	長軸1.9 m, 短軸1.0 m, 深さ0.6 m	なし
RD1046 土坑	A区南西部	なし	長楕円形	長軸1.8 m, 短軸0.6 m, 深さ0.1 m	なし
RD1047 土坑	A区北東部	なし	隅丸長方形	長辺2.8 m, 短辺2.1 m, 深さ0.6 m	鉄滓
RD1048 土坑	A区北東部	なし	楕円形	長軸1.3 m, 短軸0.8 m, 深さ0.2 m	なし
RD1049 土坑	A区中央部	なし	楕円形	長軸1.5 m, 短軸1.1 m	なし
RD1050 土坑	A区南部	RA466	不整円形	径約2.4 m	なし
RD1051 土坑	A区南西部	なし	隅丸長方形	長辺約3.3 m, 短辺約2.7 m	土師器甕
RD1052 土坑	A区南部	なし	不整円形	径約2.8 m, 深さ0.3 m	土師器坏・甕
RD1053 土坑	A区北東部	RG362	不整長方形	長軸0.9 m以上, 短軸1.0 m	土師器甕
RD1054 土坑	A区南部	なし	不整円形	径約1.3 m, 深さ0.35 m	なし

第13表 第27次調査A区溝跡一覧

遺構名	位置	重複	規模等	出土遺物
RG348 溝跡	A区南部	RG365	東北東から西南西に走る。幅1.3～2.0 m, 延長16.5 m, 深さ0.5 m	土師器坏・高台付坏・鉢・甕, あかやき土器坏
RG349 溝跡	A区南部	RA398・467, RD1045, RG350・351・359・364	東北東から西南西に走る。幅1.1～2.4 m, 延長36 m, 深さ0.45 m	土師器坏・甕, あかやき土器坏・甕, 須恵器甕, 鉄滓, 瓷器
RG351 溝跡	A区南部	RG349	東北東から西南西に走る。幅0.7～1.0 m, 延長20 m, 深さ0.25 m。埋土に白色火山灰含む。	土師器坏・甕, あかやき土器坏・甕
RG359 溝跡	A区南西部	RG349・360	東西に走る。幅0.5～0.8 m, 延長9 m, 深さ0.2 m	なし
RG360 溝跡	A区南西部	RG359	南北に走る。幅1.0 m以上, 延長4.5 m, 深さ0.3 m	なし
RG361 溝跡	A区北部	RZ030	北東から南西に走る。幅0.9～1.6 m, 延長20.3 m	土師器甕
RG362 溝跡	A区西部	RD1053, RG363	北東から南西に走る。幅0.8～1.2 m, 延長42 m, 深さ0.3 m	なし
RG363 溝跡	A区西部	RG362	北東から南西に走る。幅0.9～1.6 m, 延長21 m, 深さ0.25 m	土師器坏・甕
RG364 溝跡	A区南部	RG349	東北東から西南西に走る。幅0.1～1.2 m, 延長12 m	土師器坏・甕・鉢, あかやき土器坏, 須恵器甕
RG365 溝跡	A区南東部	RG348・351・366	南北に走る。幅0.7～1.2 m, 延長4 m, 深さ0.3 m	土師器坏, 須恵器坏
RG366 溝跡	A区南東部	RG365	北北西から南南東に走る。幅0.5 m, 延長1.3 m, 深さ0.5 m	なし

第14表 第27次調査B区土坑一覧

遺構名	位置	重複	平面形	規模	出土遺物
RD1069〔欠番〕	—	—	—	—	—
RD1070〔欠番〕	—	—	—	—	—
RD1071〔欠番〕	—	—	—	—	—
RD1072 土坑	B区東部	RA489	隅丸長方形	長辺 1.1 m, 短辺 0.6 m, 深さ 0.25 m	なし
RD1073 土坑	B区東部	RA496	不整楕円形	長軸 2.0 m, 短軸 0.6 m 以上	なし
RD1074 土坑	B区中央部	なし	不整形円形	径約 2.0 m	土師器甕
RD1075 土坑	B区中央部	RA493	不整楕円形	長軸 1.7 m, 短軸 1.5 m, 深さ 0.5 m	土師器坏・甕, あかやき土器坏
RD1076 土坑	B区中央部	RA494, RG376b	不整形方形	一辺約 1.1 m, 深さ 0.15 m	土師器甕
RD1077 土坑	B区中央部	RA493	不整形円形	径約 0.7 m, 深さ 0.1 m	土師器坏・甕, あかやき土器坏
RD1078 土坑	B区中央部	RG375b	不整形方形	一辺約 1.8 m	土師器坏・甕・球胴甕
RD1079〔欠番〕	—	—	—	—	—

第15表 第27次調査B区溝跡一覧

遺構名	位置	重複	規模等	出土遺物
RG339 溝跡	B区東部	RA486・487・489	北西から南東に走る。幅約 3.7 m, 延長 23.5 m, 深さ 1.1 m, 大溝。	土師器坏・高台付坏・甕, あかやき土器坏・甕, 須恵器坏・甕
RG344 溝跡	B区中央部	なし	北北西から南南東に走る。幅 0.5 ~ 0.7 m, m, 延長 9.0 m, 深さ 0.1 m	なし
RG368 溝跡	B区中央部	RA482	北北西から南南東に走る。幅 0.7 ~ 1.1 m, m, 延長 5.5 m, 深さ 0.1 m	なし
RG369 溝跡	B区中央部	なし	北東から南西に走る。幅 0.5 ~ 0.6 m, 延長 5.1 m, 深さ 0.2 m	なし
RG370 溝跡	B区中央部	RA483	北北東から南南西に走る。幅 0.5 ~ 0.7 m, 延長 3.5 m, 深さ 0.4 m	あかやき土器坏・甕
RG371 溝跡	B区東部	RA485	北西から南東に走る。幅 0.4 ~ 0.6 m, 延長 4.2 m, 深さ 0.2 m	土師器坏・甕, あかやき土器坏, 須恵器坏・甕
RG372 溝跡	B区東部	RA485	南北に走る。幅 0.6 ~ 0.8 m, 延長 3.5 m, 深さ 0.25 m	土師器甕
RG373 溝跡	B区西部	RG374	円形周溝, 径 3.3 ~ 3.7 m, 溝幅 0.3 ~ 0.6 m, 深さ 0.15 m	土師器坏・甕, あかやき土器坏・甕, 須恵器甕
RG374 溝跡	B区西部	RG373	北西から南東にカーブしながら走る。幅 0.4 ~ 0.6 m, 延長 15.5 m, 深さ 0.15 m	土師器坏・甕, あかやき土器坏, 須恵器坏・甕
RG375a・b・c 溝跡	B区中央部	RD1078・RG377	途切れながら周円状に走る。幅 0.4 ~ 0.6 m, 深さ 0.1 ~ 0.25 m	土師器坏・高台付坏・甕, あかやき土器坏, 須恵器坏
RG376a・b 溝跡	B区南部	RA498・RD1076	分岐しながら東北東から西南西に走る。幅 0.8 ~ 1.7 m, 延長 12.5 m, 深さ 0.2 m	なし
RG377 溝跡	B区中央部	RG375	南北に走る。幅 0.4 ~ 0.6 m, 延長 9.6 m, 深さ 0.15 m	土師器甕

第16表 台太郎遺跡第27次調査C区溝跡一覧

遺構名	位置	重複	規模等	出土遺物
RG378 溝跡	C区北部	RG380・382・387	東西に走る。幅 1.0 ~ 2.0 m, 延長 23.0 m, 深さ 0.4 m	土師器坏・高台付坏・甕, あかやき土器坏, 須恵器坏・甕
RG379 溝跡	C区西部	RG378・380	東西に走る。幅 0.7 ~ 0.9 m, 延長 9.7 m, 深さ 0.3 m。RG378 に合流。	土師器坏・甕, あかやき土器坏, 須恵器甕
RG380 溝跡	C区西部	RG378・379・387	北北西から南南東に走る。幅 0.5 ~ 0.7 m, 延長 7.1 m, 深さ 0.2 m	土師器坏
RG381 溝跡	C区南部	RG379・387	北北東から西南西に走る。幅 0.5 ~ 0.8 m, 延長 3.6 m	土師器甕
RG382 溝跡	C区東部	RG378・387	南北に走る。幅 0.5 ~ 0.8 m, 延長 4.0 m	土師器坏・甕, 須恵器甕
RG387 溝跡	C区南部	RG378・380・381・382	東北東から西南西に走る。幅 0.6 ~ 0.8 m, 延長 16.0 m, 深さ 0.1 m。RG378 に合流。	なし
RG388 溝跡	C区北西部	なし	東北東から西南西に走る。幅 1.0 m, 延長 2.7 m, 深さ 0.3 m。	なし

第 17 表 第 28 次調査土坑一覧

遺構名	位置	重複	平面形	規模	出土遺物
RD1054 土坑	南西部	RA474・477・480, RG367	隅丸長方形	長辺 4.4 m, 短辺 2.2 m, 深さ 0.65 m	中世中国青磁梅瓶・皿
RD1055 土坑	南西部	RG367	不整形円形	径約 0.7 m	なし
RD1056 土坑	南東部	RB28001	隅丸長方形	長辺 2.8 m, 短辺 1.6 m, 深さ 0.1 m	なし
RD1057 [欠番]	—	—	—	—	—
RD1058 土坑	東部	なし	小判形	長軸 1.45 m, 短軸 0.9 m, 深さ 0.4 m	なし
RD1059 [欠番]	—	—	—	—	—
RD1060 土坑	北西部	なし	不整楕円形	長軸 0.9 m, 短軸 0.3 m, 深さ 0.25 m	なし
RD1061 [欠番]	—	—	—	—	—
RD1062 [欠番]	—	—	—	—	—
RD1063 土坑	中央部	なし	楕円形	長軸 1.2 m, 短軸 1.0 m, 深さ 0.55 m	土師器甕, あかやき土器坏
RD1064 土坑	北東部	RD1065	不整楕円形	長軸 3.2 m, 短軸 2.3 m	土師器坏・甕, 須恵器坏, 鉄滓
RD1065 土坑	北東部	RD1064	不整楕円形	長軸 1.3 m 以上, 短軸 0.7 m, 深さ 0.35 m	なし
RD1066 [欠番]	—	—	—	—	—
RD1067 土坑	北西部	なし	楕円形	長軸 0.7 m 以上, 短軸 0.6 m, 深さ 0.4 m	なし
RD1068 土坑	中央部	なし	円形	径 0.3 m, 深さ 0.3 m	なし

第 18 表 第 28 次調査溝跡一覧

遺構名	位置	重複	規模等	出土遺物
RG387 溝跡	南部	RA475・RB28001・RD1054・1055	西北西から東南東に走る。幅 0.6～0.9 m, 延長 19.4 m, 深さ 0.2 m	あかやき土器坏
RG388 溝跡	北西部	なし	北東から南西に走る。幅 0.3～0.5 m, 延長 2.5 m, 深さ 0.1 m	なし

第 19 表 第 29 次調査土坑一覧

遺構名	位置	重複	平面形	規模	出土遺物
RD1088 土坑	北西部	RA503	不整楕円形	長軸 3.4 m 以上, 短軸 2.7 m, 深さ 0.6 m	土師器坏・甕, 須恵器坏
RD1089 土坑	西部	なし	隅丸長方形	長辺 2.9 m, 短辺 2.4 m, 深さ 0.2 m	なし
RD1090 土坑	北部	なし	隅丸長方形	長辺 3.0 m, 短辺 2.2 m, 深さ 0.35 m。底面にビット 6 口。	なし

第 20 表 第 31 次調査溝跡一覧

遺構名	位置	重複	規模等	出土遺物
RG344 溝跡	南部	なし	北北西から南南西に走る。幅 0.4 m, 延長 4.7 m	なし
RG368 溝跡	北西部	なし	北北西から南南東に走る。幅 0.5～0.6 m, 延長 7.7 m	なし

第21表 第32次調査A・C区土坑一覧

遺構名	位置	重複	平面形	規模	出土遺物
RD1080 土坑	A区中央部	RA499	不整楕円形	長軸 1.3 m, 短軸 0.9 m, 深さ 0.3 m	土師器甕
RD1081 土坑	A区中央部	なし	不整円形?	径約 2.3 m, 深さ 0.65 m	土師器坏, あかやき土器坏, 須恵器甕, 近世陶器茶碗
RD1081 [欠番]	—	—	—	—	—
RD1083 土坑	A区南部	RD1084	不整楕円形?	長軸 3.0 m, 短軸 2.5 m, 深さ 0.3 m	土師器坏・甕, あかやき土器坏, 須恵器坏, 軽石
RD1084 土坑	A区南部	RD1083	不整円形?	径約 3.0 m, 深さ 0.4 m	土師器坏・甕, あかやき土器坏・甕, 須恵器坏・甕
RD1085 土坑	A区南部	RD1086	不整円形	径約 1.2 m	なし
RD1086 土坑	A区南部	RD1085	不整円形	径約 0.9 m	なし
遺構名	位置	重複	平面形	規模	出土遺物
RD1087 土坑	C区中央部	なし	不整円形	径約 1.0 m	土師器坏 (非ロク口)・甕

第22表 第32次調査A・B・C区溝跡一覧

遺構名	位置	重複	規模等	出土遺物
RG383 溝跡	A区北部	なし	北東から南西に走る。幅 0.9 ~ 1.2 m, 延長 3.5 m	なし
遺構名	位置	重複	規模等	出土遺物
RG077 溝跡	B区南部	RA193	北東から南西に走る。幅約 0.7 m, 延長 10 m, 深さ 0.25 m。※県埋文 18 次調査に続く	土師器坏・甕, あかやき土器坏, 須恵器坏・甕, フイゴ羽口
RG137 溝跡	B区中央部	なし	東西に走る。幅約 1.0 m, 延長 8.5 m, 深さ 0.1 m。※県埋文 18 次調査に続く	土師器坏・甕, あかやき土器坏, 須恵器坏・甕
RG385 溝跡	B区北部	なし	東西に走る。幅約 0.9 ~ 1.3 m, 延長 6.1 m, 深さ 0.2 m	土師器甕, 須恵器坏・甕
RG386 溝跡	B区北部	なし	西北西から東南東に走る。幅 0.8 ~ 1.9 m, 延長 6.8 m, 深さ 0.1 m	なし
遺構名	位置	重複	規模等	出土遺物
RG042a・b 溝跡	C区西部・東部	RA502, RG048	a: 東北東から西南西に走る。幅 2.7 ~ 3.8 m, 延長 23 m b: 北西から南東に走る。幅 2.1 ~ 4.0 m, 延長 9 m ※県埋文 18 次調査に続き, 北部で屈曲	土師器坏・高台付坏・甕, あかやき土器坏, 須恵器坏・甕, 砥石 (軽石), 鉄滓, 中世中国青磁碗, 摺鉢, 近世灰釉壺
RG045 溝跡	C区中央部	RA151	北西から南東に走る。幅 2.4 ~ 3.5 m, 延長 13.5 m	土師器坏・高台付坏・甕, あかやき土器坏・甕, 須恵器坏・甕, フイゴ羽口, 刀子?, 砥石 (軽石)
RG048 溝跡	C区西部	RG042	北東から南西に走る。幅 0.8 ~ 0.9 m, 延長 7.3 m	なし
RG131 溝跡	C区東部	なし	北西から南東に走る。幅 2.4 ~ 2.6 m, 延長 17.5 m	土師器甕, 須恵器甕

第23表 第33次調査溝跡一覧

遺構名	位置	重複	規模等	出土遺物
RG347 溝跡	西部	RA504, RG33002	北北西から南南西に走り, 西に曲がり東北東から西南西に走る。幅 0.1 ~ 2.5 m, 延長 24.5 m	なし
RG33001 溝跡	中央部	RA506	北北西から南南東に走る。幅 5.2 ~ 7.3 m, 延長 27 m	なし
RG33002 溝跡	南西部	RG347	東西に走る。幅 0.6 ~ 0.9 m, 延長 5.0 m以上	なし

第 24 表 第 24 次調査竪穴住居跡土層観察表 (1)

遺構名	層名	主要土		含有土				硬軟	密度	その他
		土色 (JIS)	土性 (略号)	土色 (JIS)	土性 (略号)	状態	%			
RA304	A1	10YR2/3 黒褐色	SiCL シルト質埴壤土	10YR4/6 褐色	SIL シルト質壤土	粉状	2	中	中~密	
	A2	10YR2/3 黒褐色	SiCL シルト質埴壤土	10YR4/4 褐色	SIL シルト質壤土	粒状	1	中	中	
	B1	10YR2/3 黒褐色	SiCL シルト質埴壤土	10YR4/4 ~ 4/6 褐色	SIL シルト質壤土	粒~塊状	15	中	中	
	B2	10YR3/3 ~ 3/4 暗褐色	SiCL シルト質埴壤土	10YR4/4 ~ 4/6 褐色	SIL シルト質壤土	粒~塊状	5	中	中	
	B3	10YR2/3 黒褐色	SiCL シルト質埴壤土	10YR4/4 ~ 4/6 褐色	SIL シルト質壤土	粒~塊状	5	中	中	
	B4	10YR2/2 ~ 2/3 黒褐色	SiCL シルト質埴壤土	10YR4/4 ~ 4/6 褐色	SIL シルト質壤土	粒~塊状	2	軟~中	粗~中	
	C1	10YR4/6 褐色	SIL シルト質壤土	10YR2/1 ~ 2/2 黒~黒褐色	SiCL シルト質埴壤土	-	40	軟~中	粗~中	
	L1	10YR2/3 黒褐色	SiCL シルト質埴壤土	10YR4/6 ~ 5/8 褐~黄褐色	SIL シルト質壤土	粒~塊状	30	中~硬	中~密	床構築土
RA304Pit1	A1	10YR2/3 黒褐色	-	10YR2/1 黒色	-	-	30	軟	粗	
	B1	10YR2/3 黒褐色	-	10YR4/6 褐色	-	-	5	軟	粗	
RA304Pit2	A1	10YR2/1 ~ 2/2 黒~黒褐色	-	10YR4/6 ~ 5/8 褐~黄褐色	-	-	30	軟~中	粗~中	
遺構名	層名	主要土		含有土				硬軟	密度	その他
		土色 (JIS)	土性 (略号)	土色 (JIS)	土性 (略号)	状態	%			
RA305	A1	10YR2/1 黒色	SiCL シルト質埴壤土	10YR4/6 ~ 5/8 褐~黄褐色	SIL シルト質壤土	粉~粒状	5	軟~中	中~密	
	A2	10YR2/2 黒褐色	SiCL シルト質埴壤土	10YR4/6 ~ 5/8 褐~黄褐色	SIL シルト質壤土	粉~粒状	2	中	密	
	A3	10YR2/2 黒褐色	SiCL シルト質埴壤土	10YR4/6 ~ 5/8 褐~黄褐色	SIL シルト質壤土	粉~粒状	10	軟~中	密	
	A4	10YR2/2 黒褐色	SiCL シルト質埴壤土	10YR2/1 黒色	SiCL シルト質埴壤土	塊状	30	軟~中	中	
				10YR4/6 ~ 5/8 褐~黄褐色	SIL シルト質壤土	粒状	10			
	A5	10YR2/2 ~ 2/3 黒褐色	SiCL シルト質埴壤土	10YR4/6 褐色	SIL シルト質壤土	-	-	-	-	
	A6	10YR2/3 黒褐色	SiCL シルト質埴壤土	10YR2/1 黒色	SiCL シルト質埴壤土	-	30	中	中	
				10YR4/6 褐色	SIL シルト質壤土	粒状	15			
	B1	10YR2/3 黒褐色	SiCL シルト質埴壤土	10YR4/6 褐色	SIL シルト質壤土	粒状	10	中	中~密	
	B2	10YR2/3 黒褐色	SiCL シルト質埴壤土	10YR4/6 褐色	SIL シルト質壤土	粒状	2	中	中	
				5YR5/8 明赤褐色	-	粒状	2			
	B3	10YR2/3 黒褐色	SIL シルト質壤土	10YR4/6 褐色	SIL シルト質壤土	粒状	20	中	中~密	
	B4	10YR2/3 黒褐色	SIL シルト質壤土	10YR4/6 褐色	SIL シルト質壤土	粒状	2	軟~中	粗~中	
	B5	10YR3/3 暗褐色	SiCL シルト質埴壤土	10YR4/6 褐色	SIL シルト質壤土	-	30	中	中	
	B6	10YR2/3 黒褐色	SiCL シルト質埴壤土	10YR4/6 褐色	SIL シルト質壤土	塊状	30	中	中	
				5YR5/8 明赤褐色	SIL シルト質壤土	粒~塊状	30			
	B7	10YR2/3 黒褐色	SiCL シルト質埴壤土	10YR4/6 褐色	SIL シルト質壤土	粉~粒状	2	軟	中	
	B8	10YR2/3 黒褐色	SiCL シルト質埴壤土	10YR4/6 褐色	SIL シルト質壤土	粉~粒状	10	中	中	
	B9	10YR3/3 暗褐色	SiCL シルト質埴壤土	10YR4/6 褐色	SIL シルト質壤土	粉~粒状	10	中	中	
	C1	-	-	-	-	-	-	-	-	
	D1	10YR2/1 黒色	SiCL シルト質埴壤土	10YR4/6 ~ 5/8 褐~黄褐色	SIL シルト質壤土	粉~粒状	2	軟	粗~中	
	D2	10YR4/6 ~ 5/8 褐~黄褐色	SL 砂壤土	10YR2/1 黒色	SiCL シルト質埴壤土	-	-	-	-	
	D3	10YR2/1 黒色	SiCL シルト質埴壤土	10YR4/6 褐色	SIL シルト質壤土	粉~粒状	5	軟~中	中	
	J1	10YR2/2 黒褐色	SiCL シルト質埴壤土	10YR4/4 褐色	SIL シルト質壤土	-	5	軟	中	カマド崩壊土
	J2	10YR2/2 黒褐色	SiCL シルト質埴壤土	10YR4/4 褐色	SIL シルト質壤土	-	2	軟	粗~中	
	J3	10YR2/3 黒褐色	SiCL シルト質埴壤土	10YR4/4 ~ 4/6 褐色	SIL シルト質壤土	粒状	10	軟	粗~中	
				5YR5/8 明赤褐色	SIL シルト質壤土	粒状	10			
J4	10YR3/3 暗褐色	SiCL シルト質埴壤土	10YR4/4 ~ 4/6 褐色	SIL シルト質壤土	-	5	中	粗~中		
J5	5YR4/6 赤褐色	SiCL シルト質埴壤土	5YR5/8 明赤褐色	SIL シルト質壤土	-	30	軟~中	中		
J6	10YR2/1 黒色	SiCL シルト質埴壤土	10YR4/6 褐色	SIL シルト質壤土	粒状	2	軟	粗		
K1	10YR2/1 黒色	SiCL シルト質埴壤土	10YR4/4 褐色	SIL シルト質壤土	-	30	中	中	カマド構築土	
K2	5YR5/8 ~ 6/8 明赤褐~橙色	SIL シルト質壤土	10YR3/3 ~ 4/4 暗褐~褐色	SiCL シルト質埴壤土	-	30	中	中~密		
K3	10YR3/4 ~ 4/4 暗褐~褐色	SIL シルト質壤土	10YR2/2 黒褐色	SiCL シルト質埴壤土	-	30	中	中		
K4	10YR4/4 ~ 5/4 褐~黄褐色	SIL シルト質壤土	10YR4/6 褐色	SIL シルト質壤土	-	30	中	中~密		
K5	10YR2/3 黒褐色	SIL シルト質壤土	-	-	-	-	中	中~密		
L1	10YR4/6 ~ 5/8 褐~黄褐色	-	10YR2/1 黒色	-	-	20	中~硬	中~密	床構築土	
L2	10YR4/3 に近い黄褐色	SIL シルト質壤土	10YR4/6 ~ 5/8 褐~黄褐色	-	-	10	中~硬	粗~中		
RA305 煙道 b	A1	10YR2/3 黒褐色	SiCL シルト質埴壤土	10YR6/8 明黄褐色	SIL シルト質壤土	塊状	30	軟	中	古い煙道
	B1	10YR2/3 黒褐色	SiCL シルト質埴壤土	10YR4/6 褐色	SIL シルト質壤土	粒状	5	中	中	
				10YR4/6 褐色	SIL シルト質壤土	粒~塊状	10	軟	中	
	C1	10YR4/6 褐色	SiCL シルト質埴壤土	5YR5/8 明赤褐色	-	粒状	5			
				10YR2/3 黒褐色	-	-	10			
	D1	10YR3/3 暗褐色	SiCL シルト質埴壤土	5YR5/8 明赤褐色	-	-	5	軟~中	粗~中	
	D2	10YR2/2 黒褐色	SiCL シルト質埴壤土	10YR2/3 黒褐色	-	-	10	軟	中	
	D3	10YR3/2 黒褐色	SiCL シルト質埴壤土	10YR4/6 褐色	-	-	5	軟	中	
D4	10YR3/2 黒褐色	SiCL シルト質埴壤土	10YR2/2 黒褐色	SiCL シルト質埴壤土	粒~塊状	10	中	密		

第25表 第24次調査竪穴住居跡土層観察表(2)

遺構名	層名	主要土		含有土				硬軟	密度	その他
		土色 (JIS)	土性 (略号)	土色 (JIS)	土性 (略号)	状態	%			
RA305Pit1	A1	10YR2/1 黒色	SiCL シルト質埴壤土	10YR4/6 褐色	SiL シルト質壤土	塊状	30	中	中～密	
	A2	10YR4/6 褐色	SiL シルト質壤土	10YR2/1 黒色	SiCL シルト質埴壤土	塊状	30	中	中～密	
RA305Pit2	A1	10YR2/2 黒褐色	SiCL シルト質埴壤土	10YR4/6 褐色	SiL シルト質壤土	塊状	30	軟	粗	
	B1	10YR4/6 褐色	SiL シルト質壤土	10YR2/2 黒褐色	SiCL シルト質埴壤土	塊状	30	軟～中	中	
RA305Pit3	A1	10YR2/1 黒色	SiCL シルト質埴壤土	10YR4/6 褐色	SiL シルト質壤土	塊状	10	軟～中	中	
RA305Pit5	A1	10YR4/6 褐色	SiL シルト質壤土	10YR2/1 黒色	SiCL シルト質埴壤土	粒～塊状	20	中	中～密	
RA305Pit6	A1	10YR2/1 黒色	SiCL シルト質埴壤土	10YR2/3 黒褐色	SiCL シルト質埴壤土	—	30	軟	粗～中	
RA305Pit8	A1	10YR4/6 褐色	SiCL シルト質埴壤土	5YR5/8 明赤褐色	SiL シルト質壤土	—	30	軟	粗	
	A2	10YR4/6 褐色	SiCL シルト質埴壤土	10YR2/1 黒色	SiCL シルト質埴壤土	粒状	5	軟	粗～中	
RA305Pit9	A1	10YR2/1 黒色	SiCL シルト質埴壤土	10YR2/3 黒褐色	SiCL シルト質埴壤土	—	30	中	中	
RA305Pit10	A1	10YR2/3 黒褐色	SiCL シルト質埴壤土	10YR4/6 褐色	SiL シルト質壤土	—	10	中	中	
RA305Pit11	A1	10YR4/4 褐色	SiCL シルト質埴壤土	10YR2/2 黒褐色	—	—	10	中	中	
	B1	10YR2/1 黒色	SiCL シルト質埴壤土	10YR4/4 褐色	—	—	10	中	中	
遺構名	層名	主要土		含有土				硬軟	密度	その他
		土色 (JIS)	土性 (略号)	土色 (JIS)	土性 (略号)	状態	%			
RA306	A1	10YR2/2 黒褐色	SiCL シルト質埴壤土	10YR4/6 褐色	SiL シルト質壤土	粒状	5	軟～中	中	
	B1	10YR2/2 黒褐色	SiCL シルト質埴壤土	10YR4/6 褐色	SiL シルト質壤土	—	5	軟	中	
	B2	10YR2/3 暗褐色	SiCL シルト質埴壤土	10YR4/6 褐色	SiL シルト質壤土	—	10	軟	中	
遺構名	層名	主要土		含有土				硬軟	密度	その他
		土色 (JIS)	土性 (略号)	土色 (JIS)	土性 (略号)	状態	%			
RA307	A1	10YR2/2 黒褐色	SiCL シルト質埴壤土	10YR3/3 暗褐色	SiCL シルト質埴壤土	塊状	20	中	中～密	
	A2	10YR2/2 黒褐色	SiCL シルト質埴壤土	10YR4/4 ～ 4/6 褐色	SiCL シルト質埴壤土	粒状	2	中	中	
	A3	10YR2/2 黒褐色	SiCL シルト質埴壤土	10YR4/4 ～ 4/6 褐色	SiL シルト質壤土	粉～粒状	15	中	中	
	B1	10YR3/3 暗褐色	SiCL シルト質埴壤土	10YR4/6 ～ 5/8 褐～黄褐色	SiL シルト質壤土	粉～粒状	10	中	中	
	B2	10YR2/2 黒褐色	SiCL シルト質埴壤土	5YR5/8 明赤褐色	—	塊状	40	軟～中	密	
	C1	10YR2/1 黒色	SiCL シルト質埴壤土	10YR2/3 黒褐色	SiCL シルト質埴壤土	—	30	中	中	
	D1	10YR3/3 暗褐色	SiCL シルト質埴壤土	10YR2/2 黒褐色	SiCL シルト質埴壤土	—	30	中	中	
	D2	10YR2/2 黒褐色	SiCL シルト質埴壤土	10YR3/3 暗褐色	SiCL シルト質埴壤土	—	20	中	中	
	D3	10YR3/3 暗褐色	SiCL シルト質埴壤土	10YR3/2 黒褐色	SiCL シルト質埴壤土	—	20	中	中	
	E1	10YR2/3 暗褐色	SiCL シルト質埴壤土	10YR2/2 黒褐色	SiCL シルト質埴壤土	—	30	中～硬	中～密	
	E2	10YR3/4 暗褐色	SiCL シルト質埴壤土	—	—	—	—	—	粗～中	砂少し混じる
	F1	10YR3/3 暗褐色	SiCL シルト質埴壤土	10YR2/2 黒褐色	SiCL シルト質埴壤土	塊状	30	中	中	
	F2	10YR2/1 黒色	SiCL シルト質埴壤土	10YR4/6 褐色	SiL シルト質壤土	粒状	10	軟～中	中	
	F3	10YR2/1 黒色	SiCL シルト質埴壤土	10YR4/6 褐色	SiL シルト質壤土	—	10	軟～中	粗～中	
	K1	10YR2/3 暗褐色	SiCL シルト質埴壤土	10YR4/6 褐色	SiL シルト質壤土	粒状	15	中	中	カマド構築土
	K2	10YR3/4 暗褐色	SiCL シルト質埴壤土	5YR5/8 明赤褐色	—	粒状	15	—	—	—
	K3	10YR4/6 ～ 5/8 褐～黄褐色	SiCL シルト質埴壤土	10YR4/6 褐色	SiL シルト質壤土	—	30	中	中	
K4	10YR2/3 暗褐色	SiCL シルト質埴壤土	10YR4/6 褐色	SiL シルト質壤土	—	5	中	中		
L1	10YR3/4 暗褐色	SiCL シルト質埴壤土	5YR5/8 明赤褐色	SiL シルト質壤土	—	30	軟	中	床構築土	
L2	10YR3/4 暗褐色	SiCL シルト質埴壤土	10YR2/1 黒色	—	—	30	中	密		
RA307Pit1	A1	10YR2/1 黒色	SiCL シルト質埴壤土	10YR2/3 黒褐色	—	塊状	30	軟	粗	
RA307Pit2	A1	10YR2/1 黒色	SiCL シルト質埴壤土	10YR2/3 黒褐色	—	塊状	30	軟	粗	
遺構名	層名	主要土		含有土				硬軟	密度	その他
		土色 (JIS)	土性 (略号)	土色 (JIS)	土性 (略号)	状態	%			
RA308	A1	10YR2/2 黒褐色	SiCL シルト質埴壤土	10YR6/8 明黄褐色	SiL シルト質壤土	粒状	2	中	中	
	A2	10YR2/2 ～ 2/3 黒褐色	SiCL シルト質埴壤土	10YR6/8 明黄褐色	SiL シルト質壤土	—	10	中	中	
	C1	10YR3/3 ～ 3/4 暗褐色	SiCL シルト質埴壤土	10YR2/3 黒褐色	SiCL シルト質埴壤土	—	30	中～硬	密	
	D1	10YR2/2 黒褐色	SiCL シルト質埴壤土	10YR4/4 ～ 4/6 褐色	SiCL シルト質埴壤土	粒状	2	中	中	
	D2	10YR2/1 ～ 2/2 黒～黒褐色	SiCL シルト質埴壤土	10YR4/4 ～ 4/6 褐色	SiCL シルト質埴壤土	粒状	5	中	中	
	D3	10YR2/1 黒色	SiCL シルト質埴壤土	10YR2/3 黒褐色	SiCL シルト質埴壤土	塊状	30	中	中	
	E1	10YR3/4 ～ 4/4 暗褐～褐色	SiCL シルト質埴壤土	10YR2/2 ～ 2/3 黒褐色	SiCL シルト質埴壤土	—	30	軟～中	中	
	E2	10YR2/2 黒褐色	SiCL シルト質埴壤土	5YR5/8 明赤褐色	—	粒状	2	中	中	
	E3	10YR2/3 黒褐色	SiCL シルト質埴壤土	10YR3/3 暗褐色	SiL シルト質壤土	塊状	30	中	中	
	E4	—	—	—	—	—	—	—	—	
	F1	10YR2/2 黒褐色	SiCL シルト質埴壤土	5YR5/8 明赤褐色	—	粒状	2	中	中	
	K1	10YR2/1 黒色	SiCL シルト質埴壤土	10YR4/6 褐色	SiL シルト質壤土	—	5	硬	中～密	カマド構築土
	K2	10YR2/2 黒褐色	SiCL シルト質埴壤土	10YR5/8 黄褐色	SiL シルト質壤土	—	30	硬	中～密	
K3	10YR2/3 黒褐色	SiCL シルト質埴壤土	10YR4/6 褐色	SiL シルト質壤土	—	10	中	中		
L1	10YR2/1 黒色	SiCL シルト質埴壤土	10YR4/4 褐色	SiL シルト質壤土	—	40	中～硬	中～密	床構築土	
遺構名	層名	主要土		含有土				硬軟	密度	その他
		土色 (JIS)	土性 (略号)	土色 (JIS)	土性 (略号)	状態	%			
RA309	A1	10YR2/3 黒褐色	SiCL シルト質埴壤土	10YR4/4 ～ 4/6 褐色	SiL シルト質壤土	粒～塊状	20	中	中	
	B1	10YR2/2 黒褐色	SiCL シルト質埴壤土	10YR4/6 褐色	SiL シルト質壤土	粒～塊状	5	中	中	
	B2	10YR2/2 黒褐色	SiCL シルト質埴壤土	10YR4/6 褐色	SiL シルト質壤土	粉～粒状	2	中	中	
	C1	10YR2/3 黒褐色	SiCL シルト質埴壤土	10YR2/2 黒褐色	SiL シルト質壤土	塊状	15	中	中	
L1	10YR2/3 ～ 3/3 黒褐～暗褐色	SiCL シルト質埴壤土	10YR4/4 褐色	SiL シルト質壤土	塊状	15	硬	密		

第26表 第24次調査竪穴住居跡土層観察表(3)

遺構名	層名	主要土		含有土				硬軟	密度	その他
		土色 (JIS)	土性 (略号)	土色 (JIS)	土性 (略号)	状態	%			
RA310	A1	10YR2/2 黒褐色	SiCL シルト質埴壤土	10YR4/6 褐色	SiL シルト質壤土	粒状	5	中~硬	中~密	
	A2	10YR2/3 黒褐色	SiCL シルト質埴壤土	10YR4/6 褐色	SiL シルト質壤土	粒状	10	軟~中	中~密	
	B1	10YR2/3 黒褐色	SiCL シルト質埴壤土	10YR4/6 ~ 5/8 褐~黄褐色	SiL シルト質壤土	塊状	20	中	中	
	B2	10YR2/3 黒褐色	SiCL シルト質埴壤土	10YR4/6 ~ 5/8 褐~黄褐色	SiL シルト質壤土	塊状	30	軟~中	中	
	B3	10YR2/2 黒褐色	SiCL シルト質埴壤土	10YR4/6 ~ 5/8 褐~黄褐色	SiL シルト質壤土	粒状	2	中	中	
	C1	10YR3/3 暗褐色	SiCL シルト質埴壤土	10YR4/4 ~ 4/6 褐色	SiL シルト質壤土	粒~塊状	30	中	中~密	
	C2	10YR2/2 ~ 2/3 黒褐色	SiCL シルト質埴壤土	10YR3/3 暗褐色	SiL シルト質壤土	—	30	中	中	
	D1	10YR2/3 黒褐色	SiCL シルト質埴壤土	10YR4/6 褐色	SiL シルト質壤土	粒状	2	軟~中	中~密	
	D2	10YR2/3 黒褐色	SiCL シルト質埴壤土	10YR4/4 ~ 4/6 褐色	SiL シルト質壤土	粒状	10	中	中	
	E1	10YR2/3 黒褐色	SiCL シルト質埴壤土	10YR4/6 褐色	SiCL シルト質埴壤土	塊状	30	中	中	
	E2	10YR2/3 黒褐色	SiCL シルト質埴壤土	5YR5/8 明赤褐色	焼土	粒状	2	—	—	
	E3	10YR2/3 黒褐色	SiCL シルト質埴壤土	5YR5/8 明赤褐色	焼土	粒状	30	中	中	
	K1	10YR5/8 黄褐色	SiCL シルト質埴壤土	—	—	—	—	—	硬	密
K2	10YR2/1 黒色	SiCL シルト質埴壤土	5YR4/8 赤褐色	—	—	—	—	中	中	
K3	10YR2/2 黒褐色	SiCL シルト質埴壤土	10YR4/6 褐色	—	—	—	—	硬	中~密	
L1	10YR3/3 ~ 3/4 暗褐色	SiCL シルト質埴壤土	10YR2/3 黒褐色	—	—	—	—	中~硬	中~密	床構築土
遺構名	層名	主要土		含有土				硬軟	密度	その他
		土色 (JIS)	土性 (略号)	土色 (JIS)	土性 (略号)	状態	%			
RA311	A1	10YR2/3 黒褐色	SiCL シルト質埴壤土	10YR4/6 ~ 5/8 褐~黄褐色	SiL シルト質壤土	塊状	30	中~硬	中~密	
	A2	10YR4/4 ~ 4/6 褐色	SiCL シルト質埴壤土	10YR2/2 黒褐色	—	塊状	20	硬	中~密	
遺構名	層名	主要土		含有土				硬軟	密度	その他
		土色 (JIS)	土性 (略号)	土色 (JIS)	土性 (略号)	状態	%			
RA312	A1	10YR2/3 黒褐色	SiCL シルト質埴壤土	10YR4/6 ~ 5/8 褐~黄褐色	SiL シルト質壤土	塊状	30	中~硬	中~密	
	A2	10YR3/3 暗褐色	SiCL シルト質埴壤土	10YR4/6 ~ 5/8 褐~黄褐色	SiL シルト質壤土	粒状	30	硬	中~密	
	B1	10YR2/2 ~ 2/3 黒褐色	SiCL シルト質埴壤土	10YR4/6 褐色	SiL シルト質壤土	粒状	5	中	中~密	
	B2	10YR2/2 ~ 2/3 黒褐色	SiCL シルト質埴壤土	10YR4/6 褐色	SiL シルト質壤土	粒状	2	中	中	
	C1	10YR2/2 黒褐色	SiCL シルト質埴壤土	10YR4/4 褐色	SiL シルト質壤土	—	30	中	中	
	D1	10YR2/3 黒褐色	SiCL シルト質埴壤土	10YR4/4 ~ 4/6 褐色	SiL シルト質壤土	—	20	中	中	
	J1	10YR2/3 ~ 3/2 黒褐色	SiCL シルト質埴壤土	10YR4/6 褐色	SiL シルト質壤土	粒状	5	中	中	カマド崩壊土
	J2	10YR2/3 黒褐色	SiCL シルト質埴壤土	—	—	—	—	—	—	
	K1	10YR4/6 褐色	SiCL シルト質埴壤土	5YR5/8 明赤褐色	—	—	—	軟~中	中~密	カマド構築土
	K2	10YR2/3 ~ 3/3 黒褐~暗褐色	SiCL シルト質埴壤土	—	—	—	—	中~硬	中~密	炭化物少し混じる
	L1	10YR3/3 ~ 3/4 暗褐色	SiL シルト質壤土	10YR4/6 ~ 5/8 褐~黄褐色	SiL シルト質壤土	粒~塊状	30	中~硬	中~密	床構築土
RA312Pit1	A1	10YR2/3 ~ 3/3 黒褐~暗褐色	SiCL シルト質埴壤土	10YR4/6 褐色	SiL シルト質壤土	粒状	10	中	中	
遺構名	層名	主要土		含有土				硬軟	密度	その他
		土色 (JIS)	土性 (略号)	土色 (JIS)	土性 (略号)	状態	%			
RA313	A1	10YR2/2 黒褐色	SiCL シルト質埴壤土	10YR4/6 褐色	SiL シルト質壤土	粒状	5	軟~中	中	
	A2	10YR2/1 ~ 2/2 黒~黒褐色	SiCL シルト質埴壤土	10YR4/6 褐色	SiL シルト質壤土	粉状	2	中	中	
	B1	10YR2/3 黒褐色	SiCL シルト質埴壤土	10YR4/4 ~ 4/6 褐色	SiL シルト質壤土	塊状	30	中	中	
	B2	10YR2/3 黒褐色	SiCL シルト質埴壤土	10YR3/3 ~ 3/4 暗褐色	SiCL シルト質埴壤土	塊状	30	中	中	
	E1	10YR2/3 黒褐色	SiCL シルト質埴壤土	10YR3/3 暗褐色	SiCL シルト質埴壤土	塊状	20	中	中	
	F1	10YR2/2 黒褐色	SiCL シルト質埴壤土	10YR4/6 褐色	SiCL シルト質埴壤土	粒状	2	中	中	
	F2	10YR2/3 黒褐色	SiCL シルト質埴壤土	10YR2/2 黒褐色	SiCL シルト質埴壤土	—	30	中	中	
	J1	5YR5/8 明赤褐色	—	10YR4/6 褐色	—	—	—	軟~中	粗~中	カマド崩壊土
	J2	5YR2/3 極暗赤褐色	—	10YR5/8 黄褐色	—	—	15	軟~中	粗~中	
	K1	10YR2/3 黒褐色	SiCL シルト質埴壤土	10YR5/8 黄褐色	SiCL シルト質埴壤土	—	30	硬	中	カマド構築土
	K2	10YR2/2 黒褐色	SiCL シルト質埴壤土	10YR5/8 黄褐色	SiCL シルト質埴壤土	—	5	硬	中	
	K3	10YR2/3 黒褐色	SiCL シルト質埴壤土	10YR5/6 黄褐色	SiCL シルト質埴壤土	—	15	硬	中	
	L1	—	—	—	—	—	—	—	—	床構築土
	L2	—	—	—	—	—	—	—	—	
遺構名	層名	主要土		含有土				硬軟	密度	その他
		土色 (JIS)	土性 (略号)	土色 (JIS)	土性 (略号)	状態	%			
RA314	A1	10YR2/2 黒褐色	SiCL シルト質埴壤土	10YR4/6 褐色	SiL シルト質壤土	粒状	1	中	中	
	A2	10YR2/2 黒褐色	SiCL シルト質埴壤土	10YR3/2 黒褐色	SiL シルト質壤土	粒状	5	中	中	
	B1	10YR2/3 黒褐色	SiCL シルト質埴壤土	10YR2/2 黒褐色	SiCL シルト質埴壤土	塊状	30	軟~中	中	
	C1	10YR2/3 黒褐色	SiCL シルト質埴壤土	10YR4/3 にぶい黄褐色	SiL シルト質壤土	塊状	30	中	中~密	
	C2	10YR3/1 ~ 3/4 黒褐~暗褐色	SiCL シルト質埴壤土	10YR4/3 にぶい黄褐色	SiL シルト質壤土	塊状	10	中	中	
	C3	10YR4/4 ~ 4/6 褐色	SiL シルト質壤土	—	—	—	—	—	—	
	C4	10YR2/2 黒褐色	SiL シルト質壤土	10YR4/6 褐色	SC 砂質埴土	—	—	軟~中	中	
	C5	10YR2/2 黒褐色	SiL シルト質壤土	10YR2/1 黒色	SiCL シルト質埴壤土	—	—	軟	粗	
	C6	10YR2/3 ~ 4/6 黒褐~褐色	S 砂土	—	—	—	—	—	—	
	K1	10YR2/2 黒褐色	SiCL シルト質埴壤土	10YR4/6 褐色	SiL シルト質壤土	塊状	30	中	中	カマド構築土
	K2	10YR4/6 ~ 5/8 褐~黄褐色	SiCL シルト質埴壤土	10YR2/2 黒褐色	—	—	—	硬	密	
	K3	10YR2/3 黒褐色	SiCL シルト質埴壤土	10YR4/6 ~ 5/8 褐~黄褐色	—	—	—	中	中	
	L1	—	—	—	—	—	—	—	—	床構築土
RA314 Pit1 ~ 4	A1	10YR2/1 黒色	SiCL シルト質埴壤土	10YR4/4 褐色	—	—	—	軟	中	

第 27 表 第 24 次調査竪穴住居跡土層観察表 (4)

遺構名	層名	主要土		含有土			硬軟	密度	その他		
		土色 (JIS)	土性 (略号)	土色 (JIS)	土性 (略号)	状態				%	
RA315	A1	10YR2/3 黒褐色	SiCL シルト質埴壤土	10YR4/6 褐色	SiL シルト質壤土	粒~塊状	10	中	中		
	L1	—	—	—	—	—	—	—	—	床構築土	
RA315Pit1	A1	10YR2/2 ~ 2/3 黒褐色	—	10YR4/6 褐色	—	粉状	2	軟	粗~中		
遺構名	層名	主要土		含有土			硬軟	密度	その他		
		土色 (JIS)	土性 (略号)	土色 (JIS)	土性 (略号)	状態				%	
RA316	A1	10YR2/2 黒褐色	SiCL シルト質埴壤土	10YR3/3 暗褐色	SiCL シルト質埴壤土	塊状	30	中	中~密		
	A2	10YR2/2 黒褐色	SiCL シルト質埴壤土	10YR4/6 ~ 5/8 褐~黄褐色	SiL シルト質壤土	粒状	10	中	中		
	B1	10YR2/3 黒褐色	SiCL シルト質埴壤土	10YR2/2 黒褐色	SiCL シルト質埴壤土	塊状	10	中	中		
遺構名	層名	主要土		含有土			硬軟	密度	その他		
		土色 (JIS)	土性 (略号)	土色 (JIS)	土性 (略号)	状態				%	
RA317	A1	10YR2/1 黒色	SiCL シルト質埴壤土	10YR3/3 暗褐色	SiL シルト質壤土	—	5	中	—		
	A2	10YR2/2 黒褐色	SiCL シルト質埴壤土	10YR3/3 暗褐色	SiL シルト質壤土	—	15	—	—		
	A3	10YR2/1 黒色	SiCL シルト質埴壤土	10YR4/4 褐色	SiL シルト質壤土	—	5	—	—		
	B1	10YR2/3 黒褐色	SiCL シルト質埴壤土	10YR2/1 黒色	SiL シルト質壤土	—	10	—	—		
	B2	10YR2/2 黒褐色	SiCL シルト質埴壤土	10YR2/3 暗褐色	SiL シルト質壤土	—	30	—	—		
	C1	10YR2/3 黒褐色	SiCL シルト質埴壤土	10YR4/6 褐色	SiL シルト質壤土	—	2	—	—		
	C2	10YR2/3 黒褐色	SiCL シルト質埴壤土	10YR4/6 ~ 5/8 褐~黄褐色	SiL シルト質壤土	—	—	—	—		
	L1	10YR3/1 黒褐色	SiCL シルト質埴壤土	10YR6/6 明黄褐色	SiL シルト質壤土	粒~塊状	15	中	密	床構築土	
RA317Pit1	A1	10YR2/1 黒色	SiCL シルト質埴壤土	10YR3/3 暗褐色	SiL シルト質壤土	粒~塊状	10	中	中~密	炭化物混じる	
RA317Pit2	A1	10YR2/1 黒色	SiCL シルト質埴壤土	10YR2/3 黒褐色	SiL シルト質壤土	粒~塊状	15	中	中~密	柱痕跡	
B1	10YR3/2 黒褐色	SiCL シルト質埴壤土	10YR4/4 褐色	SiL シルト質壤土	粒~塊状	7	中	中			
遺構名	層名	主要土		含有土			硬軟	密度	その他		
		土色 (JIS)	土性 (略号)	土色 (JIS)	土性 (略号)	状態				%	
RA318	A1	10YR2/2 黒褐色	SiCL シルト質埴壤土	10YR4/4 褐色	SiL シルト質壤土	粒~塊状	5	中	中		
	A2	10YR2/2 黒褐色	SiCL シルト質埴壤土	10YR4/6 褐色	SiL シルト質壤土	粒~塊状	10	中	中		
	A3	10YR2/1 黒色	SiCL シルト質埴壤土	10YR4/6 褐色	SiL シルト質壤土	—	2	中	中		
	B1	10YR2/2 ~ 2/3 黒褐色	SiCL シルト質埴壤土	10YR4/4 褐色	SiL シルト質壤土	—	10	中	中		
	D1	10YR2/3 黒褐色	SiL シルト質壤土	10YR2/2 黒褐色	SiL シルト質壤土	粒~塊状	10	硬	密	焼土・土器混じる	
	D2	10YR2/1 黒色	SiCL シルト質埴壤土	10YR3/3 暗褐色	SiL シルト質壤土	粒~塊状	10	中	中	炭化物混じる	
	D3	10YR4/3 にぶい黄褐色	SiL シルト質壤土	10YR3/2 黒褐色	SiL シルト質壤土	粒~塊状	15	中	中		
	J1	10YR5/4 にぶい黄褐色	SiL シルト質壤土	10YR3/4 暗褐色	SiL シルト質壤土	粒~塊状	10	中	中	焼土・炭化物混じる	
	J2	7.5YR4/4 褐色	SiL シルト質壤土	10YR4/4 褐色	SiL シルト質壤土	粒~塊状	10	中	中	焼土混じる	
	J3	7.5YR4/3 褐色	SiL シルト質壤土	10YR3/2 黒褐色	SiL シルト質壤土	粒~塊状	10	中	中		
	K1	10YR4/3 にぶい黄褐色	SiL シルト質壤土	10YR4/6 褐色	SiL シルト質壤土	粒状	10	中	中	カマド構築土	
	K2	10YR2/3 ~ 3/2 黒褐色	SiCL シルト質埴壤土	10YR4/6 褐色	SiL シルト質壤土	粒状	5	軟~中	中		
	L	10YR2/1 黒色	SiCL シルト質埴壤土	10YR5/6 黄褐色	SiL シルト質壤土	粒~塊状	15	中	—	床構築土	
	遺構名	層名	主要土		含有土			硬軟	密度	その他	
			土色 (JIS)	土性 (略号)	土色 (JIS)	土性 (略号)	状態				%
RA319	A1	10YR4/4 褐色	SiL シルト質壤土	10YR3/2 黒褐色	SiL シルト質壤土	粒~塊状	5	硬	密	炭化物少し混じる	
	A2	10YR3/2 黒褐色	SiL シルト質壤土	10YR5/4 にぶい黄褐色	SiL シルト質壤土	粒~塊状	15	硬	密	炭化物・土器混じる	
	A3	10YR3/1 黒褐色	SiCL シルト質埴壤土	10YR5/4 にぶい黄褐色	SiL シルト質壤土	粒~塊状	20	硬	密		
	A4	10YR3/2 黒褐色	SiL シルト質壤土	10YR4/3 にぶい黄褐色	SiL シルト質壤土	粒~塊状	10	硬	密		
	B1	10YR4/3 にぶい黄褐色	SiL シルト質壤土	10YR3/2 黒褐色	SiL シルト質壤土	粒~塊状	15	硬	密	炭化物少し混じる	
	B2	10YR2/1 黒色	SiCL シルト質埴壤土	10YR3/2 黒褐色	SiL シルト質壤土	粒~塊状	10	中	中	炭化物多く混じる	
	B3	10YR4/3 にぶい黄褐色	SiL シルト質壤土	10YR3/2 黒褐色	SiL シルト質壤土	粒~塊状	20	中	密	炭化物少し混じる	
	B4	10YR3/1 黒褐色	SiCL シルト質埴壤土	10YR4/3 にぶい黄褐色	SiL シルト質壤土	粒~塊状	25	中	密	炭化物多く混じる	
	C1	10YR3/3 暗褐色	SiL シルト質壤土	10YR4/4 褐色	SiL シルト質壤土	粒状	15	中	密		
	J1	10YR7/6 明黄褐色	SiL シルト質壤土	10YR5/2 灰黄褐色	SiL シルト質壤土	粒~塊状	10	中	密	炭化物・焼土わずかに混じる	
	J2	5YR6/4 にぶい褐色	SiL シルト質壤土	10YR6/2 灰褐色	SiL シルト質壤土	粒状	20	中	密		
	J3	10YR3/2 黒褐色	SiL シルト質壤土	10YR4/3 にぶい黄褐色	SiL シルト質壤土	粒~塊状	15	硬	密		
	J4	10YR5/4 にぶい黄褐色	SiL シルト質壤土	10YR3/2 黒褐色	SiL シルト質壤土	粒~塊状	10	硬	密		
	J5	10YR2/1 黒色	SiCL シルト質埴壤土	10YR3/3 暗褐色	SiL シルト質壤土	粒~塊状	7	軟	中	炭化物多く混じる	
	K1	10YR5/8 ~ 6/8 黄褐~明黄褐色	—	10YR2/2 黒褐色	SiL シルト質壤土	塊状	10	中	中	カマド構築土	
	K2	10YR4/6 ~ 5/8 黄褐~明黄褐色	—	10YR3/4 暗褐色	SiL シルト質壤土	—	10	中	中		
	K3	10YR2/2 黒褐色	—	10YR4/6 褐色	SiL シルト質壤土	—	10	中	中		
	L1	10YR2/2 黒褐色	SiL シルト質壤土	10YR4/6 褐色	SiL シルト質壤土	粒~塊状	15	中	中~密	床構築土	
	RA319Pit1	A1	10YR2/1 黒色	SiCL シルト質埴壤土	10YR2/3 黒褐色	SiL シルト質壤土	粒状	20	中	中	
	遺構名	層名	主要土		含有土			硬軟	密度	その他	
土色 (JIS)			土性 (略号)	土色 (JIS)	土性 (略号)	状態	%				
RA320	A1	10YR2/1 ~ 2/2 黒~黒褐色	SiCL シルト質埴壤土	—	—	—	—	—	—		
	A2	10YR2/2 黒褐色	SiCL シルト質埴壤土	—	—	—	—	—	—		
	B1	10YR2/3 黒褐色	SiCL シルト質埴壤土	—	—	—	—	—	—	中	
	B2	10YR2/1 ~ 2/2 黒~黒褐色	SiCL シルト質埴壤土	—	—	—	—	—	—	中	
	C1	10YR2/1 黒色	SiL シルト質壤土	—	—	SiL シルト質壤土	—	—	—	中~密	
	L1	10YR2/1 黒色	SiCL シルト質埴壤土	—	—	—	—	—	—	中	
L2	10YR2/3 黒褐色	SiCL シルト質埴壤土	—	—	—	—	—	—	中		

第28表 第24次調査竪穴住居跡土層観察表(5)

遺構名	層名	主要土		含有土				硬軟	密度	その他
		土色 (JIS)	土性 (略号)	土色 (JIS)	土性 (略号)	状態	%			
RA321	A1	10YR2/2 黒褐色	SiCL シルト質埴壤土	10YR3/3 暗褐色	SiL シルト質埴壤土	粒状	5	中	中	
				10YR2/2 黒褐色	SiCL シルト質埴壤土	塊状	10			
	A2	10YR2/2 黒褐色	SiCL シルト質埴壤土	10YR4/6 褐色	SiL シルト質埴壤土	粒状	5	中	中	
				10YR3/4 ~ 4/3 暗褐色にぶい黄褐色	SiCL シルト質埴壤土	塊状	10	中	中~密	
	B1	10YR2/1 黒褐色	SiCL シルト質埴壤土	10YR3/4 ~ 4/3 暗褐色にぶい黄褐色	SiL シルト質埴壤土	粒状	15	中	中	
				10YR2/1 黒褐色	SiCL シルト質埴壤土	粒状	5	硬~中	粗~中	
	C1	10YR2/1 黒褐色	SiCL シルト質埴壤土	10YR4/4 褐色	SiL シルト質埴壤土	粒状	5	硬~中	粗~中	
				10YR3/2 黒褐色	SiCL シルト質埴壤土	粒状	5	硬~中	粗~中	
D1	10YR3/2 黒褐色	SiCL シルト質埴壤土	10YR4/4 褐色	SiL シルト質埴壤土	粒状	5	硬~中	粗~中		
			10YR3/2 黒褐色	SiCL シルト質埴壤土	粒状	5	硬~中	粗~中		
L1	—	—	—	—	—	—	—	—	床構築土	
L2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
L3	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
遺構名	層名	主要土		含有土				硬軟	密度	その他
		土色 (JIS)	土性 (略号)	土色 (JIS)	土性 (略号)	状態	%			
RA322	A1	10YR2/1 黒色	SiCL シルト質埴壤土	10YR4/6 褐色	SiC シルト質埴壤土	粉~粒状	2	中	中	
	A2	10YR2/1 ~ 2/2 黒~黒褐色	SiCL シルト質埴壤土	10YR4/4 ~ 4/6 褐色	SiC シルト質埴壤土	粒状	5	軟~中	中	
	B1	10YR2/3 黒褐色	SiCL シルト質埴壤土	10YR4/4 ~ 5/8 褐~黄褐色	SiC シルト質埴壤土	粒状	20	軟~中	中	
	C1	10YR2/1 黒色	SiCL シルト質埴壤土	10YR4/4 ~ 4/6 褐色	SiC シルト質埴壤土	—	2	軟	粗	
	D1	10YR2/1 黒色	SiCL シルト質埴壤土	10YR3/3 暗褐色	SiL シルト質埴壤土	塊状	20	中	中	
	D2	10YR2/2 黒褐色	SiCL シルト質埴壤土	10YR4/6 ~ 5/6 褐~黄褐色	HC 重埴土	—	30	中	中~密	
	D3	10YR2/3 黒褐色	SiCL シルト質埴壤土	10YR4/6 褐色	SiL シルト質埴壤土	粒状	10	中	中	
	D4	10YR2/3 黒褐色	SiCL シルト質埴壤土	10YR2/1 黒色	SiL シルト質埴壤土	—	20	中	中	
	E1	10YR2/3 黒褐色	SiCL シルト質埴壤土	10YR4/4 褐色	SiL シルト質埴壤土	—	30	中	中	
	E2	10YR4/4 褐色	SiCL シルト質埴壤土	10YR5/8 黄褐色	SiL シルト質埴壤土	—	5	中	中	
	E3	10YR2/2 黒褐色	SiCL シルト質埴壤土	10YR5/8 黄褐色	SiL シルト質埴壤土	—	5	中	中	
	K1	10YR3/4 暗褐色	SiL シルト質埴壤土	10YR6/8 明黄褐色	SiL シルト質埴壤土	粒~塊状	30	中	中	カマド構築土
	K2	10YR6/8 明黄褐色	SiL シルト質埴壤土	—	—	—	—	—	—	少し炭化物混じる
	K3	10YR6/8 明黄褐色	SiL シルト質埴壤土	5YR5/8 明赤褐色	—	—	10	中	中~密	
K4	10YR2/3 ~ 3/2 黒褐色	SiL シルト質埴壤土	10YR6/8 明黄褐色	—	粒状	5	中	中		
L1	10YR3/1 黒褐色	SiCL シルト質埴壤土	10YR5/6 黄褐色	SiC シルト質埴壤土	粒~塊状	10	中	中~密	床構築土	
遺構名	層名	主要土		含有土				硬軟	密度	その他
		土色 (JIS)	土性 (略号)	土色 (JIS)	土性 (略号)	状態	%			
RA323	A1	10YR3/2 黒褐色	—	10YR4/6 褐色	SiL シルト質埴壤土	粒状	5	中	中~密	
	B1	10YR2/3 黒褐色	—	10YR4/6 褐色	SiL シルト質埴壤土	粒状	10	中	中	
	B2	10YR2/3 黒褐色	—	10YR4/6 褐色	SiL シルト質埴壤土	粒状	5	中	中	
	C1	10YR2/1 黒色	—	10YR4/6 褐色	—	粒状	2	軟	粗~中	煙道埋土
	C2	10YR2/2 黒褐色	—	10YR4/4 褐色	—	粒状	5	軟	粗~中	
	L1	10YR3/4 暗褐色	—	10YR4/6 褐色	—	粒状	30	中~硬	中~密	床構築土

第 35 表 第 25 次調査 A 区出土土器観察表 (4)

挿図	番号	写真 図版	遺跡名	略号	次数	遺構名	台帳 No.	形態		出土		寸法 (cm) ※完形・復元のみ					底部切離等	器面調整		墨書等・特徴	
								区分	器種	平面位置	層位	器高	口径	体径	底径	口径/器高		外面	内面		
149	183	8	台太郎	ODT	025A	RA380	3	土師器	甕	-	床面	7.5	17.4	-	7.0	2.5	2.3	回転糸切無調整	-	ヘラミガキ, 黒色処理	
形態 出土 寸法 (cm) ※完形・復元のみ 底部切離等 器面調整 墨書等・特徴																					
150	184	-	台太郎	ODT	025A	RA383	1	土師器	坏	カマド左袖 No.3	K	4.8	14.2	-	6.4	2.2	3.0	回転糸切ヘラケズリ再調整	-	ヘラミガキ, 黒色処理	
150	185	-	台太郎	ODT	025A	RA383	4	土師器	甕	カマド左袖 No.3	K	13.6	14.0	13.9	7.6	1.0	1.0	木製痕	口縁部ナデ, 体部ヘラケズリ	ヘラナデ	外面摩滅
形態 出土 寸法 (cm) ※完形・復元のみ 底部切離等 器面調整 墨書等・特徴																					
150	186	-	台太郎	ODT	025A	RE046	4	土師器	坏	-	A	5.0	14.0	-	5.8	2.4	2.8	回転糸切ヘラケズリ再調整	-	ヘラミガキ, 黒色処理	胎土に雲母含む, 全体にやや摩滅
150	187	-	台太郎	ODT	025A	RE046	2	あかやき土器	坏	-	A	5.6	13.4	-	5.2	2.6	2.4	回転糸切無調整	-	-	全体に摩滅
150	188	-	台太郎	ODT	025A	RE046	8	土師器	甕	-	A	-	22.2	22.0	-	1.0	/	欠損	口縁部ナデ, 体部ヘラナデ	口縁部ナデ, 体部ヘラナデ	全体に摩滅
形態 出土 寸法 (cm) ※完形・復元のみ 底部切離等 器面調整 墨書等・特徴																					
150	189	-	台太郎	ODT	025A	RE047	1	あかやき土器	坏	-	床面	3.8	13.6	-	5.6	2.4	3.6	回転糸切無調整	-	-	胎土に雲母含む, 内面やや摩滅
150	190	-	台太郎	ODT	025A	RE047	6	あかやき土器	坏	-	A	3.8	12.4	-	5.2	2.4	3.3	回転糸切無調整	-	-	
形態 出土 寸法 (cm) ※完形・復元のみ 底部切離等 器面調整 墨書等・特徴																					
150	191	8	台太郎	ODT	025A	RD871	2	土師器	坏	-	-	4.9	13.0	-	6.0	2.2	2.7	回転糸切回転ヘラケズリ再調整	-	ヘラミガキ, 黒色処理	胎土に雲母含む
150	192	8	台太郎	ODT	025A	RD906	7	土師器	坏	No.3	-	4.9	15.4	-	-	-	3.1	体部上半ヘラナデ, 体部下半ヘラケズリ	丸底	ヘラミガキ, 黒色処理	
150	193	-	台太郎	ODT	025A	RD868	4	土師器	甕	-	A	-	24.4	23.6	-	1.0	/	欠損	口縁部ナデ, 体部ヘラナデ	ヘラナデ	全体に摩滅, 外面瓶げ状炭化物
150	194	-	台太郎	ODT	025A	RD875	6	土師器	甕	-	-	30.4	20.4	19.9	8.6	1.0	0.7	ヘラケズリ	口縁部ナデ, 体部ヘラケズリ	ヘラナデ	内面摩滅
150	195	-	台太郎	ODT	025A	RD875	8	土師器	甕	-	-	-	18.9	16.0	-	1.1	/	欠損	ヘラナデ	ヘラナデ	
150	196	-	台太郎	ODT	025A	RD875	4	土師器	甕	-	A	-	12.6	12.4	-	1.0	/	欠損	口縁部ナデ, 体部ヘラナデ	ヘラナデ	全体に摩滅, 内面コゲ状炭化物
形態 出土 寸法 (cm) ※完形・復元のみ 底部切離等 器面調整 墨書等・特徴																					
150	197	-	台太郎	ODT	025A	RG327	13	土師器	坏	-	A	4.7	14.2	-	6.0	2.4	3.0	回転糸切回転ヘラケズリ再調整	-	ヘラミガキ, 黒色処理	内面やや摩滅, 外面赤彩痕あり
150	198	-	台太郎	ODT	025A	RG327	22	須恵器	甕	-	A	-	10.8	11.5	-	0.9	/	欠損	-	-	
150	199	-	台太郎	ODT	025A	RG327	23	須恵器	甕	-	A	-	16.8	-	-	-	/	欠損	-	-	外面自然釉
151	200	-	台太郎	ODT	025A	RG339	65	土師器	坏	ベルト①	A	5.7	15.2	-	6.4	2.4	2.7	回転糸切ヘラナデ再調整	底部付近ヘラナデ	ヘラミガキ, 黒色処理	胎土に雲母含む, 全体にやや摩滅
151	201	8	台太郎	ODT	025A	RG339	47	土師器	坏	IV区	B	5.3	13.0	-	6.0	2.2	2.5	回転糸切無調整	-	ヘラミガキ, 黒色処理	口縁に雲母あり
151	202	-	台太郎	ODT	025A	RG339	25	土師器	坏	C区	C	4.6	13.6	-	6.4	2.1	3.0	回転糸切ヘラケズリ再調整	底部付近ヘラケズリ	ヘラミガキ, 黒色処理	全体にやや摩滅
151	203	-	台太郎	ODT	025A	RG339	30	土師器	坏	C区	B	5.1	13.2	-	5.2	2.5	2.6	回転糸切ヘラナデ再調整	底部付近ヘラナデ	ヘラミガキ, 黒色処理 (やや黒トビ)	外面スス状炭化物
151	204	8	台太郎	ODT	025A	RG339	39	須恵器	坏	-	B	4.7	13.6	-	5.4	2.5	2.9	回転糸切無調整	-	-	
151	205	-	台太郎	ODT	025A	RG339	7	須恵器	坏	B区	D	4.9	14.6	-	5.6	2.6	3.0	回転糸切無調整	-	-	全体にやや摩滅
151	206	8	台太郎	ODT	025A	RG339	60	須恵器	坏	ベルト①	C	4.8	14.6	-	5.2	2.8	3.0	回転糸切無調整	-	-	
151	207	-	台太郎	ODT	025A	RG339	8	須恵器	坏	B区	C	4.9	14.0	-	5.8	2.4	2.9	回転糸切無調整	-	-	
151	208	-	台太郎	ODT	025A	RG339	22	須恵器	坏	B区	D	4.0	13.6	-	5.8	2.3	3.4	回転糸切無調整	-	-	外面スス状炭化物
151	209	-	台太郎	ODT	025A	RG339	63	土師器	甕	ベルト①	B	-	17.0	-	-	/	/	欠損	口縁部ナデ, 体部ヘラナデ	口縁部ナデ, 体部ヘラナデ	外面コゲ状炭化物
151	210	-	台太郎	ODT	025A	RG339	49	須恵器	長頸瓶	IV区	B	-	11.9	18.8	-	/	/	欠損	-	-	
151	211	-	台太郎	ODT	025A	RG349	7	あかやき土器	坏	I区	A	4.0	12.4	-	5.0	2.5	3.1	回転糸切無調整	-	-	胎土に雲母含む

第 36 表 台太郎遺跡第 25 次調査 A 区出土遺物観察表

挿図	番号	写真 図版	遺跡名	略号	次数	遺構名	台帳 No.	形態		出土		寸法 (cm)		形状	特徴	
								区分	器種	平面位置	層位	径	厚さ			
152	212	-	台太郎	ODT	025A	RA372	7	土製品	紡錘車	-	A	-	5.3	2.8	断面台形	中央穿孔
152	213	-	台太郎	ODT	025A	RA374	4	土製品	紡錘車	SW区	B	-	7.1	1.0	円盤状	中央穿孔, 側面に沈線, 胎土に雲母含む
形態 出土 寸法 (cm) 形状 特徴																
152	214	-	台太郎	ODT	025A	RA338	1	土製品	フィゴ羽口	-	A	-	(7.2)	(4.6)	円柱	穿孔, 破片
152	215	-	台太郎	ODT	025A	RA345	2	土製品	フィゴ羽口	-	床面	-	(9.5)	3.7~5.5	円柱	穿孔, 欠損
152	216	-	台太郎	ODT	025A	RA347	3	土製品	フィゴ羽口	W区	A	-	(3.7)	(5.0)	円柱	穿孔, 破片
形態 出土 寸法 (cm) 形状 特徴																
153	217	-	台太郎	ODT	025A	RA350	10	石製品	礫石	-	-	-	32.0	約 9.0	約 8.0	四面磨面
153	218	-	台太郎	ODT	025A	RA371	21	石製品	礫石	IV区	床面	-	8.0	3.5~6.5	約 4.0	四面磨面
153	219	-	台太郎	ODT	025A	RA375	23	石製品	礫石	-	-	-	16.0	約 5.3	約 3.0	四面磨面, 先端に敲き痕あり

第45表 第32次調査C区出土土器観察表

採回	番号	写真 図版	遺跡名	略号	次数	遺構名	台帳 No.	形態		出土		寸法 (cm) ※完形・復元のみ				底部切磨等	器面調整		墨書等・特徴			
								区分	器種	平面位置	層位	器高	口径	体径	底径		杯:口径/底径 甕:口径/体径	口径/器高		外面	内面	
164	314	—	台太郎	ODT	32C	RA502	15	土師器	坏	SE区	A	—	18.0	—	—	—	非ロクロ、有段丸底?	ヘラナデ+ヘラミガキ	ヘラミガキ、黒色処理(黒トビ)	外面・内面やや摩滅、胎土に炭屑含む		
164	315	—	台太郎	ODT	32C	RA502	3	土師器	坏	N区	L	4.3	12.7	—	—	—	非ロクロ、有段丸底	口縁部ヘラミガキ、体部ヘラナデ	ヘラミガキ、黒色処理	外面摩滅		
164	316	13	台太郎	ODT	32C	RA502	5	土師器	舟底形坏	SE区	B	4.0	8.6~11.8	—	—	—	非ロクロ、丸底	ヘラミガキ	ヘラナデ+ヘラミガキ、黒色処理	全体にやや摩滅、胎土に炭屑含む		
164	317	—	台太郎	ODT	32C	RA502	12	須恵器	甕	NW区	A	—	—	—	7.4	—	—	菊花紋	体部下半ヘラケズリ	—	—	
164	318	13	台太郎	ODT	32C	RG045	50	土師器	坏	—	A	5.0	13.2	—	5.4	2.4	2.6	回転系切無調整	—	ヘラミガキ、黒色処理(黒トビ)	全体にやや摩滅	
164	319	13	台太郎	ODT	32C	RG045	36	あかやき土器	坏	—	A	5.0	15.0	—	7.0	2.1	3.0	回転系切無調整	—	—	全体にやや摩滅	
164	320	13	台太郎	ODT	32C	RG045	2	須恵器	坏	—	B	4.8	15.2	—	5.6	2.7	3.2	回転系切無調整	—	—	—	
164	321	13	台太郎	ODT	32C	RG045	1	須恵器	坏	—	B	5.1	15.0	—	5.2	2.9	2.9	回転系切無調整	—	—	—	
164	322	—	台太郎	ODT	32C	RG045	44	須恵器	坏	—	A	4.6	13.8	—	5.6	2.5	3.0	回転系切無調整	—	—	—	
164	323	—	台太郎	ODT	32C	RG045	57	須恵器	長頸瓶	—	A	—	—	—	—	—	—	—	欠損	体部上半カキメ	—	頸部~体部上半
164	324	—	台太郎	ODT	32C	RG045	40	須恵器	甕	—	A	—	—	—	7.5	—	—	—	—	体部下半ヘラケズリ	体部下半ハケメ、底部付近ヘラナデ	—
164	325	—	台太郎	ODT	32C	RG042	18	土師器	甕	ベルト①	B	—	19.1	15.7	—	—	1.2	—	欠損	口縁部ナデ、体部ヘラナデ	口縁部ナデ、体部ヘラナデ	外面・内面やや摩滅、外面スス状炭化物、胎土に炭屑含む
164	326	—	台太郎	ODT	32C	RG042	17	土師器	甕	ベルト①	B	—	16.6	16.3	—	—	1.0	—	欠損	口縁部ヘラナデ、体部ヘラナデ+ヘラミガキ	口縁部ナデ、体部ハケメ	外面スス状炭化物、胎土に炭屑含む
164	327	13	台太郎	ODT	32C	RD1087	5	土師器	甕	ベルト①	B	32.1	20.8	19.9	7.2	1.0	0.6	—	口縁部ナデ、体部ヘラナデ	口縁部ナデ、体部ヘラナデ	外面・内面摩滅、外面スス状炭化物	

第46表 第25次調査A・B区出土縄文土器・弥生土器・続縄文土器観察表

採回	番号	写真 図版	遺跡名	略号	次数	遺構名	台帳 No.	形態			出土		特徴
								区分	器種	平面位置	層位		
165	501	—	台太郎	ODT	025A	—	97	縄文土器	浅鉢	A区西部	遺物包含層	口唇：刺突，頸部：メガネ状浮文，体部：流水工字文，縄文，時期：晩期	
165	502	—	台太郎	ODT	025A	RA322	1	縄文土器	浅鉢	攪乱内	—	口唇：刺突，頸部：メガネ状浮文，体部：流水工字文，時期：晩期	
165	503	—	台太郎	ODT	025A	RA354	43	縄文土器	鉢	燻道	—	口縁部：A突起，頸部：刺突，胎土に雲母を含む，時期：晩期	
165	504	—	台太郎	ODT	025A	RA332	40	縄文土器	鉢	SW区	A	口唇：刺突，頸部：平行沈線文，体部：縄文，時期：晩期	
165	505	—	台太郎	ODT	025A	RA355	45	縄文土器	鉢	NE区	A	口唇：刺突，頸部：平行沈線文，体部：縄文，時期：晩期	
165	506	—	台太郎	ODT	025A	RA322	9	縄文土器	深鉢	—	A	口縁部：小波状，頸部：平行沈線文，時期：晩期	
165	507	—	台太郎	ODT	025A	RA322	6	縄文土器	深鉢	—	A	口縁部：小波状，頸部：平行沈線文，時期：晩期	
165	508	—	台太郎	ODT	025A	RA325	13	縄文土器	深鉢	攪乱内	—	口縁部：小波状，頸部：平行沈線文，時期：晩期	
165	509	—	台太郎	ODT	025A	RA327	19	縄文土器	深鉢	SW区	B	口縁部：小波状，頸部：平行沈線文，時期：晩期	
165	510	—	台太郎	ODT	025A	RA327	20	縄文土器	深鉢	SW区	B	口縁部：小波状，頸部：平行沈線文，時期：晩期	
165	511	—	台太郎	ODT	025A	RA330	34	縄文土器	深鉢	—	構築土	口縁部：小波状，頸部：平行沈線文，時期：晩期	
形態													
出土													
特徴													
採回	番号	写真 図版	遺跡名	略号	次数	遺構名	台帳 No.	区分	器種	平面位置	層位	特徴	
165	512	—	台太郎	ODT	025A	RP001	100	弥生土器	壺	埋設	—	体部：縄文，時期：中期？	
166	513	—	台太郎	ODT	025A	—	162	弥生土器	高坏	A区東部	検出面	台部：平行沈線文・縄文，時期：前期	
166	514	—	台太郎	ODT	025A	RD886	141	弥生土器	壺	—	A	口縁部：交互刺突文，時期：後期	
166	515	—	台太郎	ODT	025A	RG348	117	弥生土器	壺	—	B	口縁部：交互刺突文，時期：後期	
166	516	—	台太郎	ODT	025A	RG25901	128	弥生土器	壺	—	A	口縁部：交互刺突文，時期：後期	
166	517	—	台太郎	ODT	025A	RD915	144	弥生土器	壺	—	A	口縁部：刺突文・沈線文，時期：後期	
166	518	—	台太郎	ODT	025A	RA393	21	弥生土器	壺	—	埋土	口縁部：交互刺突文，時期：後期	
166	519	—	台太郎	ODT	025A	RA396	15	弥生土器	壺	NE区	埋土	口唇：刺突，口縁部：沈線文，時期：後期	
166	520	—	台太郎	ODT	025A	RA398	11	弥生土器	壺	—	床面	口縁部：沈線文，時期：後期	
166	521	—	台太郎	ODT	025A	RA399	4	弥生土器	壺	NE区	B	体部：沈線文・刺突文，時期：後期	
166	522	—	台太郎	ODT	025A	RA399	6	弥生土器	壺	NE区	A	体部：沈線文・刺突文，時期：後期	
166	523	—	台太郎	ODT	025A	RA374	64	弥生土器	壺	—	L	体部：沈線文，時期：後期	
166	524	—	台太郎	ODT	025A	RA373	78	弥生土器	壺	NE区	C	口縁部：鋸歯文，体部：附加条縄文，時期：後期	
166	525	—	台太郎	ODT	025A	—	155	弥生土器	壺	A区西部	検出面	口縁部：波状，頸部：沈線文・附加条縄文，体部：菱状沈線文，時期：後期	
166	526	—	台太郎	ODT	025A	RD877	133	弥生土器	壺	—	A	口縁部：突起，体部：沈線文・附加条縄文，時期：後期	
166	527	—	台太郎	ODT	025A	RA398	16	弥生土器	壺	—	B	口唇：刺突，口縁部：沈線文・附加条縄文，時期：後期	
166	528	—	台太郎	ODT	025A	RA374	63	弥生土器	壺	NE区	A	口縁部：附加条縄文・沈線文，時期：後期	
166	529	—	台太郎	ODT	025A	RA381	59	弥生土器	壺	—	A	口縁部：菱状沈線文・附加条縄文，時期：後期	
166	530	—	台太郎	ODT	025A	RG333	104	弥生土器	壺	—	埋土	口縁部：弧状沈線文・附加条縄文，時期：後期	
166	531	—	台太郎	ODT	025A	RG369	85	弥生土器	壺	NE区	B	口縁部：弧状沈線文・附加条縄文，時期：後期	
166	532	—	台太郎	ODT	025A	RG25801	127	弥生土器	壺	—	A	口縁部：沈線文・附加条縄文，時期：後期	
166	533	—	台太郎	ODT	025A	RG324	94	弥生土器	壺	—	埋土	体部：菱状沈線文・附加条縄文，時期：後期	
166	534	—	台太郎	ODT	025A	RG342	115	弥生土器	壺	—	埋土	体部：弧状沈線文・附加条縄文，刺突文，時期：後期	
—	535	—	[欠番]	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
166	536	—	台太郎	ODT	025A	RA369	86	弥生土器	壺	SE区	A	体部：弧状沈線文・附加条縄文，時期：後期	
166	537	—	台太郎	ODT	025A	RA386	31	弥生土器	壺	SW区	B	体部：沈線文・附加条縄文，時期：後期	
166	538	—	台太郎	ODT	025A	RA386	32	弥生土器	壺	SW区	B	体部：沈線文・附加条縄文，時期：後期	
166	539	—	台太郎	ODT	025A	RA386	25	弥生土器	壺	SW区	B	口縁部：附加条縄文，体部：沈線文・附加条縄文，時期：後期	
166	540	—	台太郎	ODT	025B	—	163	弥生土器	壺	B区攪乱内	—	体部：附加条縄文・無文帯，時期：後期	
166	541	—	台太郎	ODT	025A	RA386	47	弥生土器	壺	SE区	A	口縁部：無文・附加条縄文，時期：後期	
166	542	—	台太郎	ODT	025A	RA386	38	弥生土器	壺	SW区	B	口縁部：附加条縄文，時期：後期	
166	543	—	台太郎	ODT	025A	RD881	138	弥生土器	壺	—	A	口縁部：附加条縄文，時期：後期	
166	544	—	台太郎	ODT	025A	RG343	116	弥生土器	壺	—	A	口縁部：附加条縄文，時期：後期	
166	545	—	台太郎	ODT	025A	RG25801	129	弥生土器	壺	—	埋土	体部：附加条縄文（縁線文），時期：後期	
166	546	—	台太郎	ODT	025A	RG349	122	弥生土器	壺	—	B	体部：附加条縄文・無文帯，時期：後期	
166	547	—	台太郎	ODT	025A	RG396	37	弥生土器	壺	NW区	C	体部：無文帯・羽状附加条縄文，時期：後期	
166	548	—	台太郎	ODT	025A	RG349	123	弥生土器	壺	—	A	体部：羽状附加条縄文，時期：後期	
166	549	—	台太郎	ODT	025A	RG396	17	弥生土器	壺	NE区	埋土	体部：羽状附加条縄文，時期：後期	
166	550	—	台太郎	ODT	025A	RA374	73	弥生土器	壺	—	埋土	体部：附加条縄文，時期：後期	
形態													
出土													
特徴													
採回	番号	写真 図版	遺跡名	略号	次数	遺構名	台帳 No.	区分	器種	平面位置	層位	特徴	
166	551	—	台太郎	ODT	025A	RD873	1	続縄文土器	深鉢	—	B	体部：微隆線文・刺突文・帯縄文，胎土に海綿骨針を含む，時期：後北式期	

第47表 第27次調査A区出土縄文土器・弥生土器観察表

採掘	番号	写真 図版	遺跡名	略号	次数	遺構名	台帳 No.	形態			出土		特徴
								区分	器種	平面位置	層位		
167	552	—	台太郎	ODT	027A	RG363	2	縄文土器	深鉢	—	A	口縁部：無文・コブ状突起。体部：縄文。時期：晩期	
167	553	—	台太郎	ODT	027A	RG348	4	縄文土器	深鉢	—	A	口縁部：小波状。頸部：無文。時期：晩期	
167	554	—	台太郎	ODT	027A	RG352	1	縄文土器	深鉢	—	A	体部：平行沈線。縄文。時期：晩期	
採掘	番号	写真 図版	遺跡名	略号	次数	遺構名	台帳 No.	形態			出土		特徴
								区分	器種	平面位置	層位		
168	555	—	台太郎	ODT	027A	RG364	6	弥生土器	鉢	—	A	体部：変形工字文？。時期：前期	
168	556	—	台太郎	ODT	027A	RG363	12	弥生土器	鉢	—	A	体部：変形工字文。時期：前期	
168	557	—	台太郎	ODT	027A	RG350	3	弥生土器	壺	—	A	体部：磨消縄文。時期：前期？	
168	558	—	台太郎	ODT	027A	RG350	16	弥生土器	壺	—	A	口縁部：交互刻突文。沈線文。時期：後期	
168	559	—	台太郎	ODT	027A	ピット	33	弥生土器	壺	—	埋土	口縁部：沈線文。時期：後期	
168	560	—	台太郎	ODT	027A	RG348	19	弥生土器	壺	—	D	口縁部：沈線文。時期：後期	
168	561	—	台太郎	ODT	027A	—	45	弥生土器	壺	A区検出面	—	口唇：刻突。口縁部：附加条縄文。時期：後期	
168	562	—	台太郎	ODT	027A	RG364	7	弥生土器	壺	—	A	口縁部：附加条縄文。時期：後期	
168	563	—	台太郎	ODT	027A	RD1052	32	弥生土器	壺	—	A	口縁部：附加条縄文。時期：後期	
168	564	—	台太郎	ODT	027A	—	44	弥生土器	壺	A区検出面	—	口縁部：附加条縄文。時期：後期	
168	565	—	台太郎	ODT	027A	RG348	21	弥生土器	壺	—	D	口縁部：附加条縄文。時期：後期	
168	566	—	台太郎	ODT	027A	RG352	3	弥生土器	壺	—	B	口縁部：附加条縄文。時期：後期	
168	567	—	台太郎	ODT	027A	RG348	22	弥生土器	壺	—	D	体部：附加条縄文。時期：後期	
168	568	—	台太郎	ODT	027A	RG350	14	弥生土器	壺	—	検出面	体部：附加条縄文。時期：後期	
168	569	—	台太郎	ODT	027A	RG350	15	弥生土器	壺	—	検出面	体部：附加条縄文。時期：後期	
168	570	—	台太郎	ODT	027A	RG348	17	弥生土器	壺	—	D	体部：附加条縄文。時期：後期	
168	571	—	台太郎	ODT	027A	RG364	24	弥生土器	壺	—	検出面	体部：附加条縄文。時期：後期	

第 48 表 第 24 次調査竪穴住居跡検討表 (1)

次数	遺構名	カマド方向	長軸一辺長 (m)	床面積 (㎡)	時期
24	RA319	N 45.0° W 北西	4.00	16.20	I 期
24	RA307	N 12.5° E 北	4.00	15.80	II 期
24	RA305a	N 34.0° E 北東	4.50	19.80	
24	RA311	E 1.5° N 東	2.60	6.25	
24	RA323	E 2.5° S 東	2.90	8.55	
24	RA308	E 8.0° S 東	3.60	14.94	
24	RA306	E 21.0° S 東	2.70	7.29	
24	RA312	E 21.5° S 東	2.60	6.25	
24	RA310	E 24.5° S 南東	3.50	10.89	
24	RA313	S 37.5° E 南東	3.60	11.56	
24	RA318	W 34.0° S 南西	2.90	9.12	
24	RA322	W 0.0° 西	-	-	
24	RA314	W 22.0° N 西	3.30	10.89	
24	RA305b	W 35.5° N 北西	4.50	19.80	

第 49 表 第 24 次調査竪穴住居跡検討表 (2)

次数	遺構名	長軸一辺長 (m)	床面積 (㎡)	主柱穴	周溝	規模	時期
24	RA304	6.30	39.69	×	×	大型	I 期
24	RA317	4.30	18.49	×	×	中型	
24	RA319	4.00	16.20	×	×		
24	RA320	4.90	24.01	×	×	大型	II 期
24	RA305a・b	4.50	19.80	×	×		
24	RA307	4.00	15.80	×	×	中型	
24	RA308	3.60	14.94	×	×		
24	RA313	3.60	11.56	×	×		
24	RA310	3.50	10.89	×	×		
24	RA314	3.30	10.89	×	×		
24	RA318	2.90	9.12	×	×	小型	
24	RA323	2.90	8.55	×	×		
24	RA316	2.90	8.41	×	×		
24	RA306	2.70	7.29	×	×		
24	RA311	2.60	6.25	×	×		
24	RA312	2.60	6.25	×	×		
24	RA315	2.50	6.25	×	×		

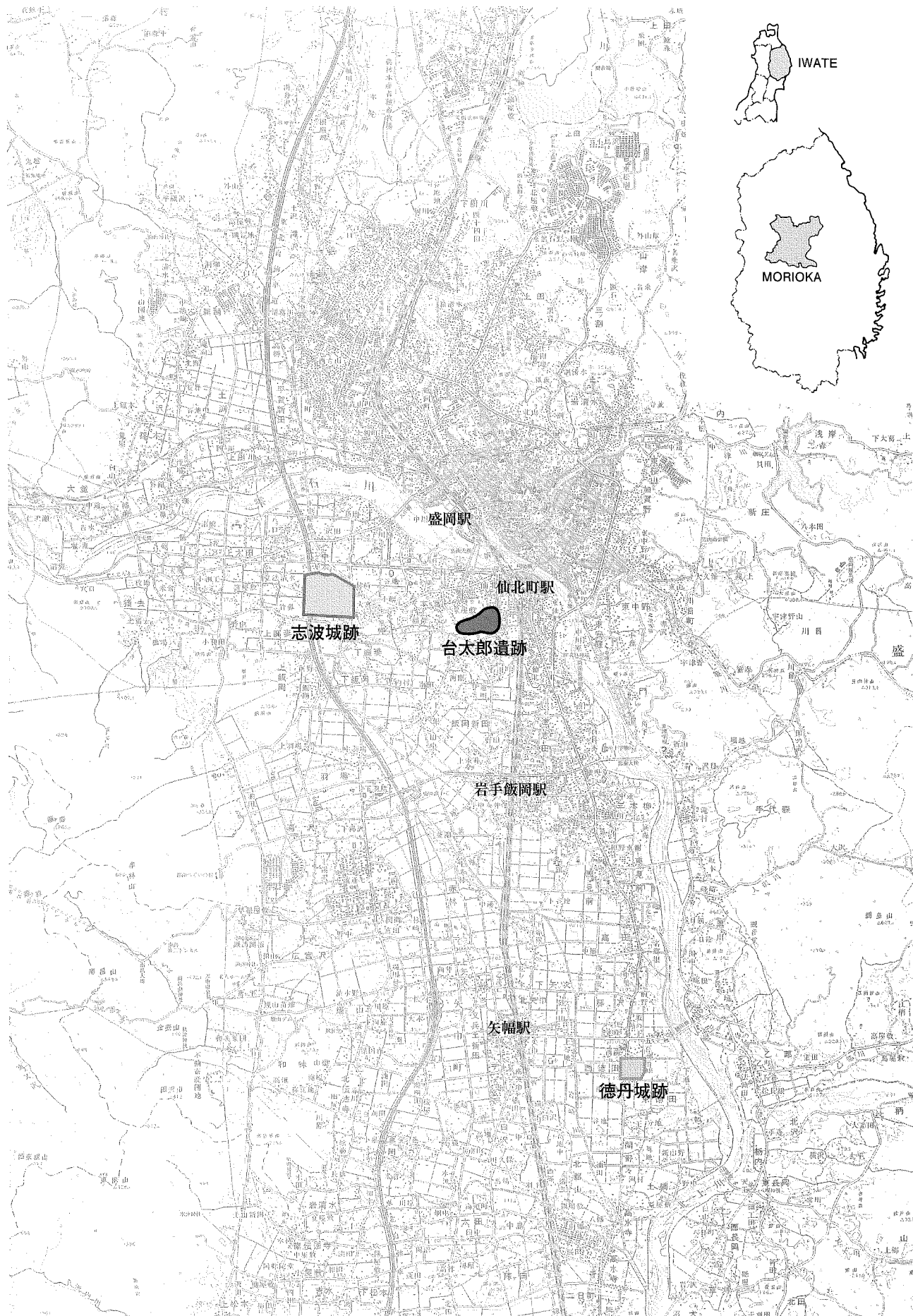
第 50 表 第 25 次調査 A 区竪穴住居跡検討表 (1)

次数	遺構名	カマド方向	長軸一辺長 (m)	床面積 (㎡)	時期	
25 A	RA341	N 20.5° E 北	2.60	8.06	I 期	
25 A	RA370	N 25.0° W 北西	3.10	9.61		
25 A	RA371	N 25.0° W 北西	3.10	10.08		
25 A	RA367	N 26.0° W 北西	3.10	10.23		
25 A	RA345	N 33.0° W 北西	6.85	46.92		
25 A	RA373	W 34.5° N 北西	4.00	16.00		
25 A	RA381	W 33.0° N 北西	5.60	31.36		
25 A	RA344	W 24.0° N 北西	3.50	12.43		
25 A	RA372	W 11.0° N 西	3.70	15.54		
25 A	RA332b	W 1.5° N 西	4.50	14.85		
25 A	RA332a	S 3.0° W 南	4.50	14.85		
25 A	RA369b	E 42.0° N 北東	3.50	12.60		II 期
25 A	RA349	E 24.0° N 北東	4.10	17.22		
25 A	RA368	E 21.0° N 東	2.70	5.94		
25 A	RA366a	E 13.0° N 東	4.90	22.54		
25 A	RA352	E 5.5° N 東	2.50	6.50		
25 A	RA379	E 2.0° N 東	2.00	6.00		
25 A	RA383	E 10.0° S 東	2.50	6.50		
25 A	RA327	E 10.5° S 東	3.10	9.61		
25 A	RA329	E 11.5° S 東	3.80	13.68		
25 A	RA353	E 35.0° S 南東	2.90	6.09		
25 A	RA354	E 35.5° S 南東	4.10	14.35		
25 A	RA357	S 1.5° E 南	4.00	12.80		
25 A	RA348	S 13.5° W 南	3.10	9.61		
25 A	RA337	S 18.0° W 南	3.10	9.61		
25 A	RA328	W 19.0° S 西	2.60	6.76		
25 A	RA347	W 6.0° N 西	4.90	28.18		
25 A	RA322	W 11.5° N 西	5.40	29.16		
25 A	RA386	W 16.0° N 西	2.90	9.28		
25 A	RA323	W 17.5° N 西	3.50	13.20		
25 A	RA340	W 21.5° N 西	3.10	11.63		
25 A	RA356a	W 24.0° N 北西	5.75	28.75		
25 A	RA336	W 25.5° N 北西	4.65	21.62		
25 A	RA366b	W 26.0° N 北西	4.90	22.54		
25 A	RA360	W 34.0° N 北西	2.40	5.52		
25 A	RA356b	W 37.0° N 北西	5.75	28.75		
25 A	RA369a	W 43.0° N 北西	3.50	12.60		

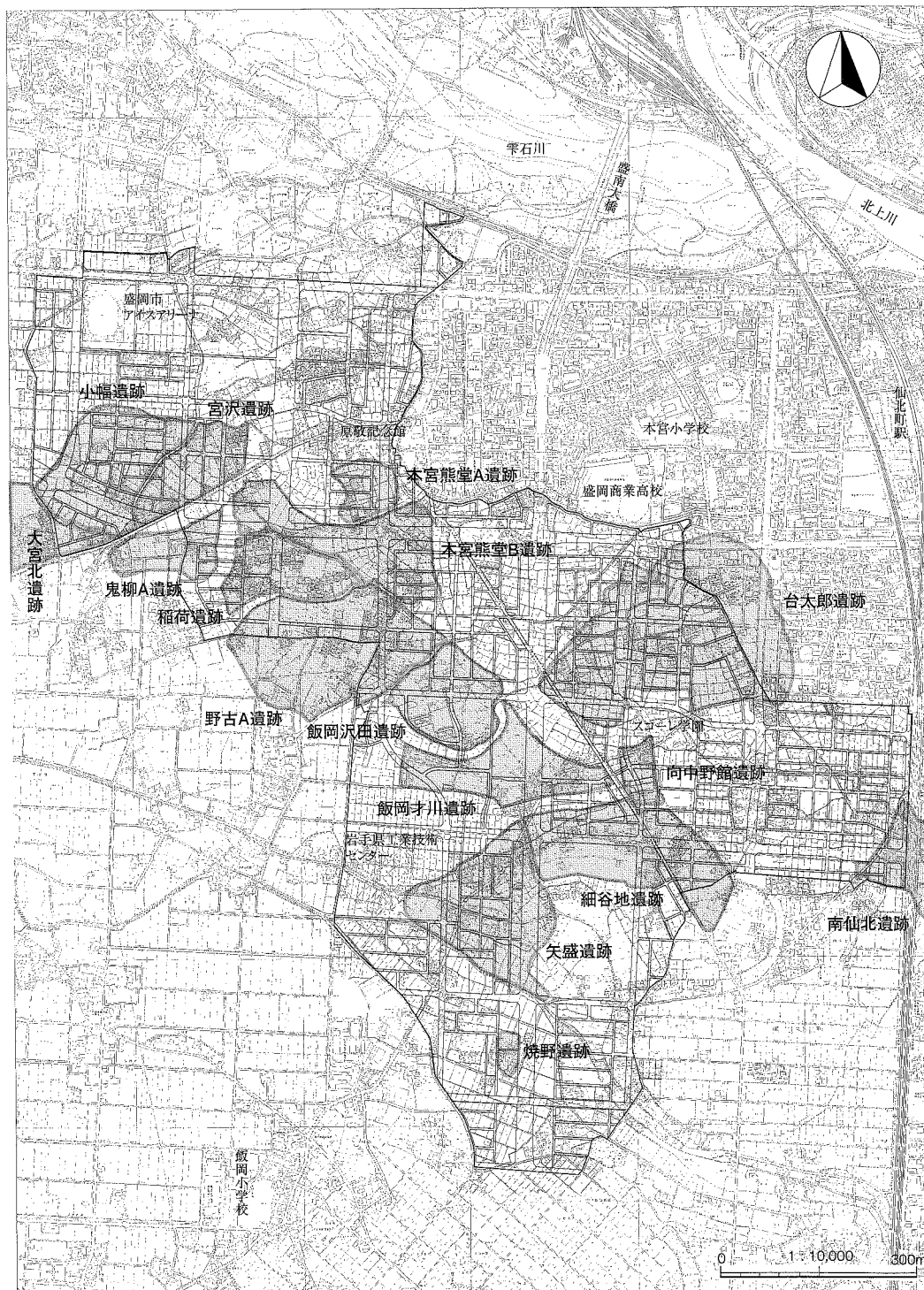
第 51 表 第 25 次調査 A 区竪穴住居跡検討表 (2)

次数	遺構名	長軸一辺長 (m)	床面積 (㎡)	主柱穴	周溝	規模	時期	
25 A	RA345	6.85	46.92	×	×	大型	I 期	
25 A	RA381	5.60	31.36	○	×			
25 A	RA373	4.00	16.00	×	×	中型		
25 A	RA372	3.70	15.54	×	×			
25 A	RA332a・b	4.50	14.85	×	×			
25 A	RA335	3.50	12.78	×	×			
25 A	RA344	3.50	12.43	×	×			
25 A	RA374	3.30	10.89	×	×			
25 A	RA367	3.10	10.23	×	×			
25 A	RA371	3.10	10.08	×	×			
25 A	RA370	3.10	9.61	×	×	小型		
25 A	RA341	2.60	8.06	×	×			
25 A	RA375	6.30	39.06	×	×	大型		II 期
25 A	RA380	6.00	36.00	×	×			
25 A	RA322	5.40	29.16	×	×			
25 A	RA356a・b	5.75	28.75	×	×			
25 A	RA347	4.90	28.18	×	×			
25 A	RA366a・b	4.90	22.54	×	×			
25 A	RA336	4.65	21.62	×	×			
25 A	RA349	4.10	17.22	×	×	中型		
25 A	RA354	4.10	14.35	×	×			
25 A	RA329	3.80	13.68	×	×			
25 A	RA323	3.50	13.20	×	×			
25 A	RA357	4.00	12.80	×	×			
25 A	RA369a・b	3.50	12.60	×	○			
25 A	RA334	4.50	12.49	×	×			
25 A	RA359	4.00	12.00	×	×			
25 A	RA340	3.10	11.63	×	×			
25 A	RA338	3.50	11.20	×	×			
25 A	RA343	3.15	11.03	×	×			
25 A	RA326	3.30	10.73	×	×			
25 A	RA348	3.10	9.61	×	×	小型		
25 A	RA337	3.10	9.61	×	×			
25 A	RA327	3.10	9.61	×	×			
25 A	RA386	2.90	9.28	×	×			
25 A	RA350	3.40	7.14	×	×			
25 A	RA328	2.60	6.76	×	×			
25 A	RA352	2.50	6.50	×	×			
25 A	RA383	2.50	6.50	×	×			
25 A	RA353	2.90	6.09	×	×			
25 A	RA379	2.00	6.00	×	×			
25 A	RA368	2.70	5.94	×	×			
25 A	RA346	2.50	5.88	×	×			
25 A	RA360	2.40	5.52	×	×			

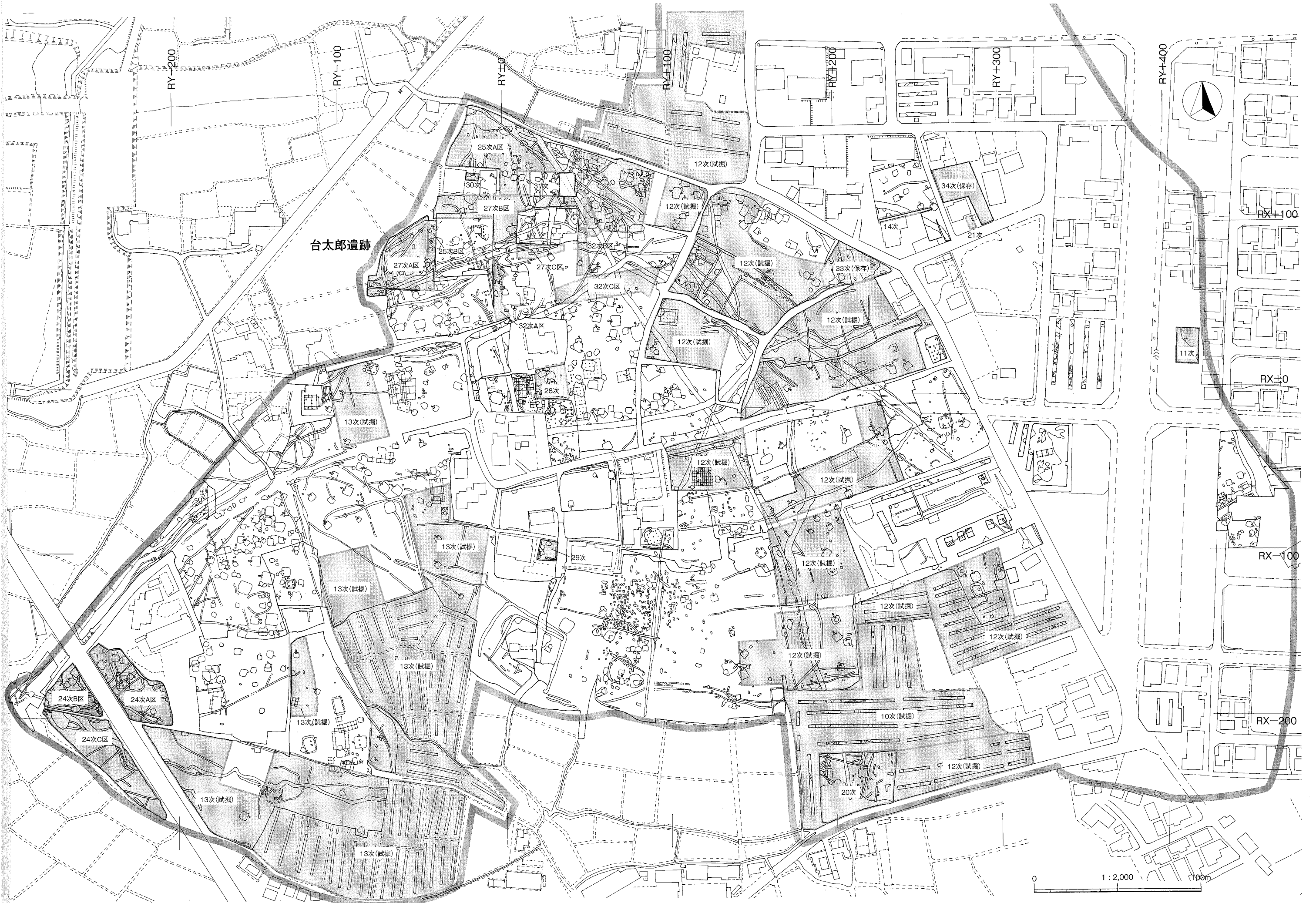
図



第1図 台太郎遺跡位置図 (1:100,000)



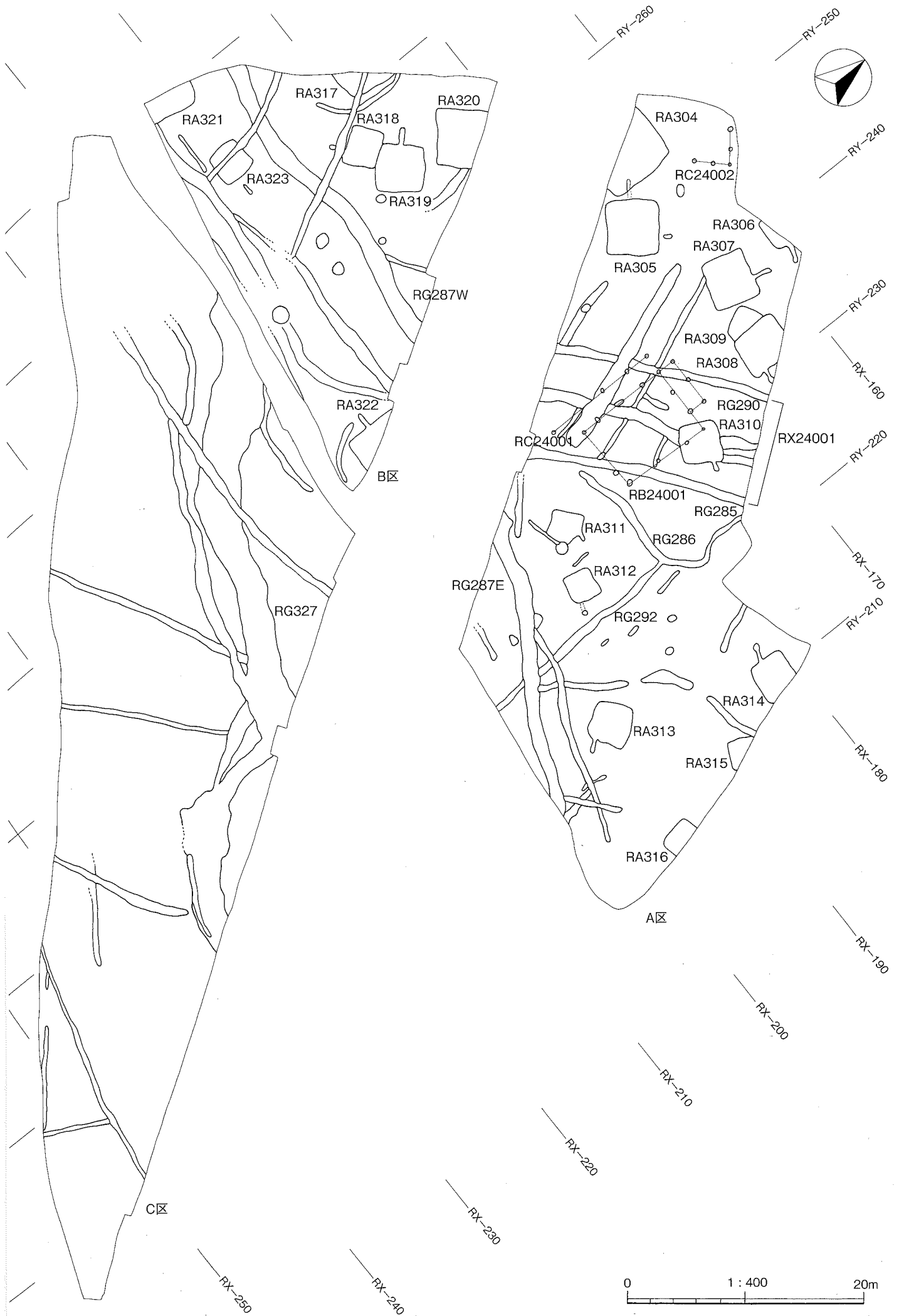
第2図 盛南地区遺跡群位置図（新街区は盛岡南新都市開発整備事業）



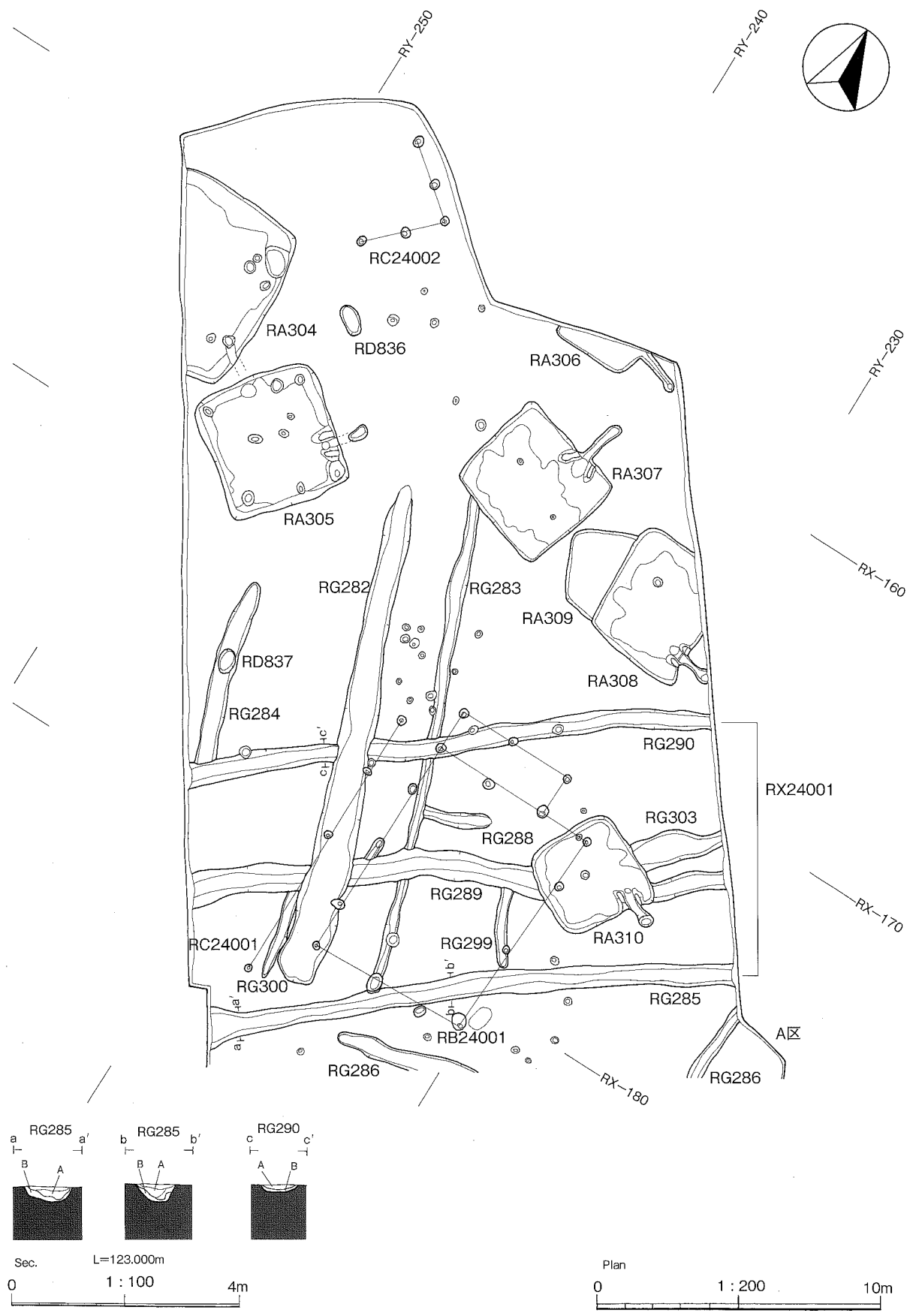
第3図 台太郎遺跡全体図



第4図 第20次調査区全体図



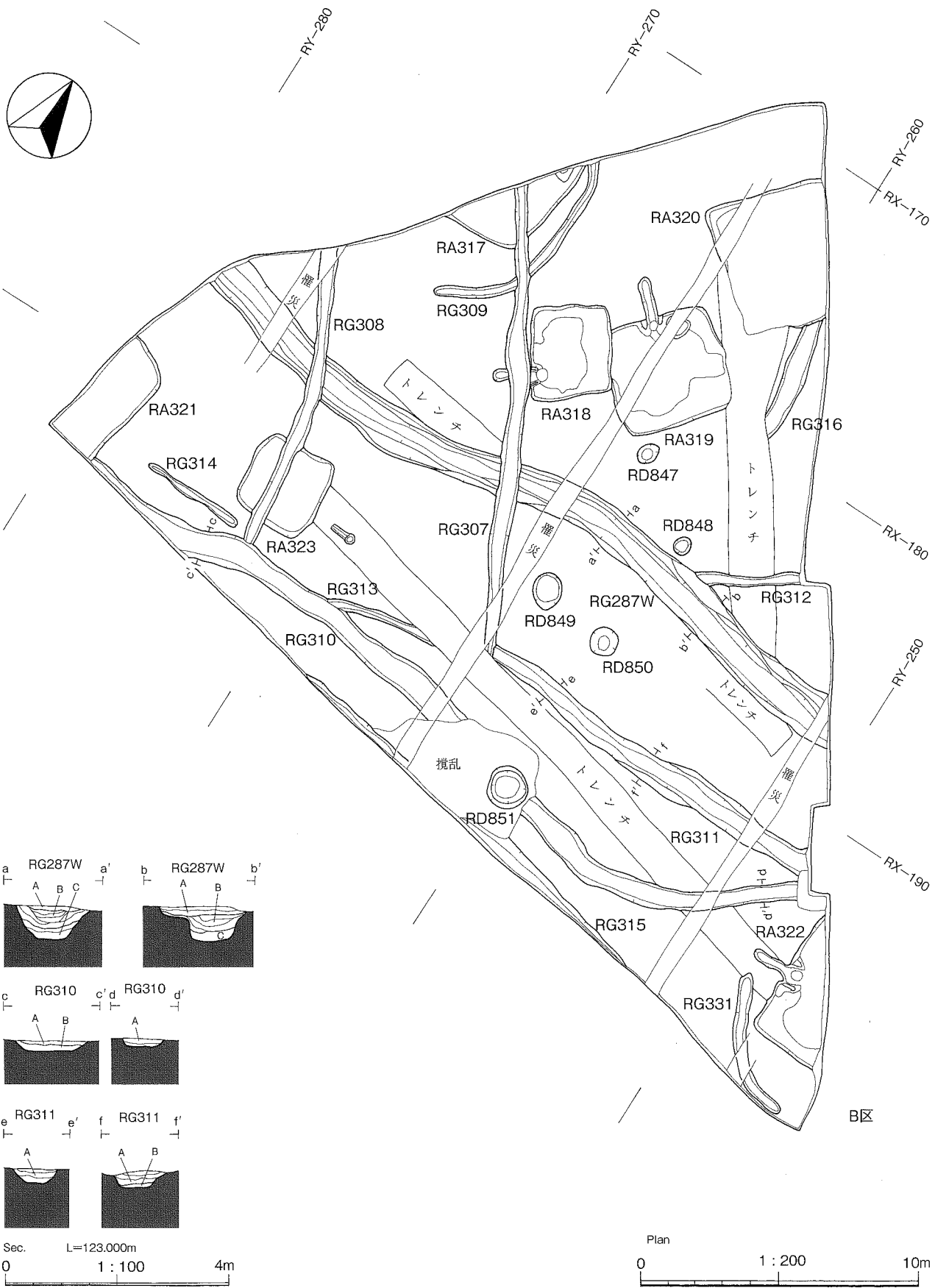
第5図 第24次調査区全体図



第 6 図 第 24 次調査 A 区北半部全体図



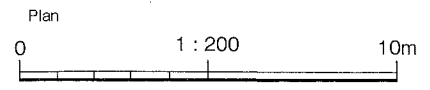
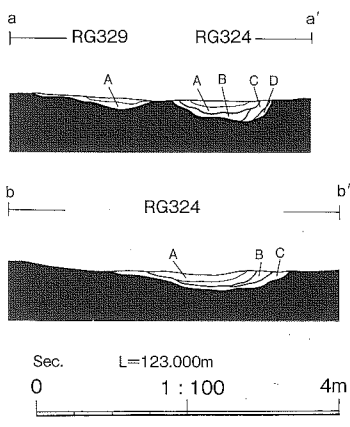
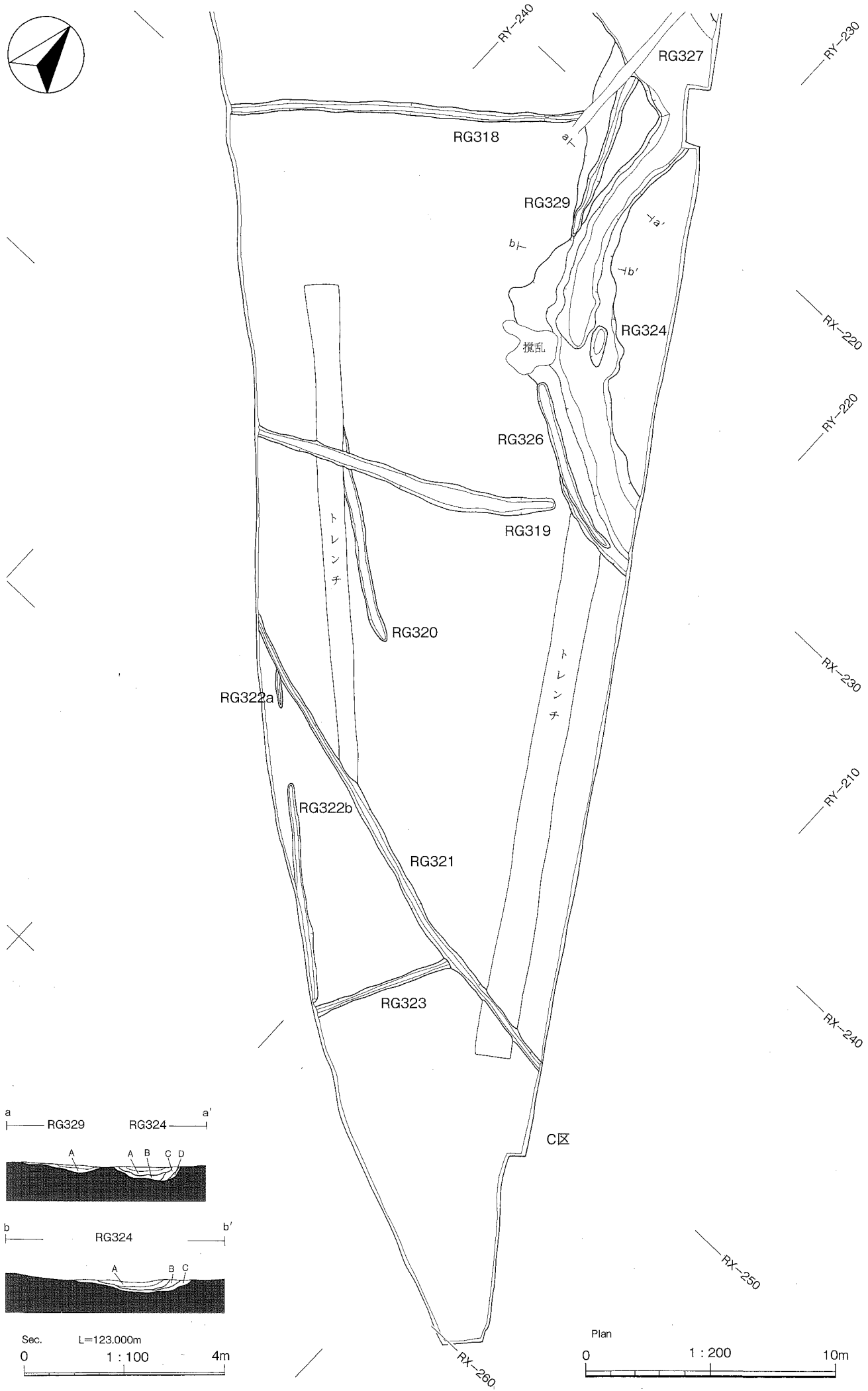
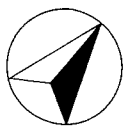
第7図 第24次調査A区南半部全体図



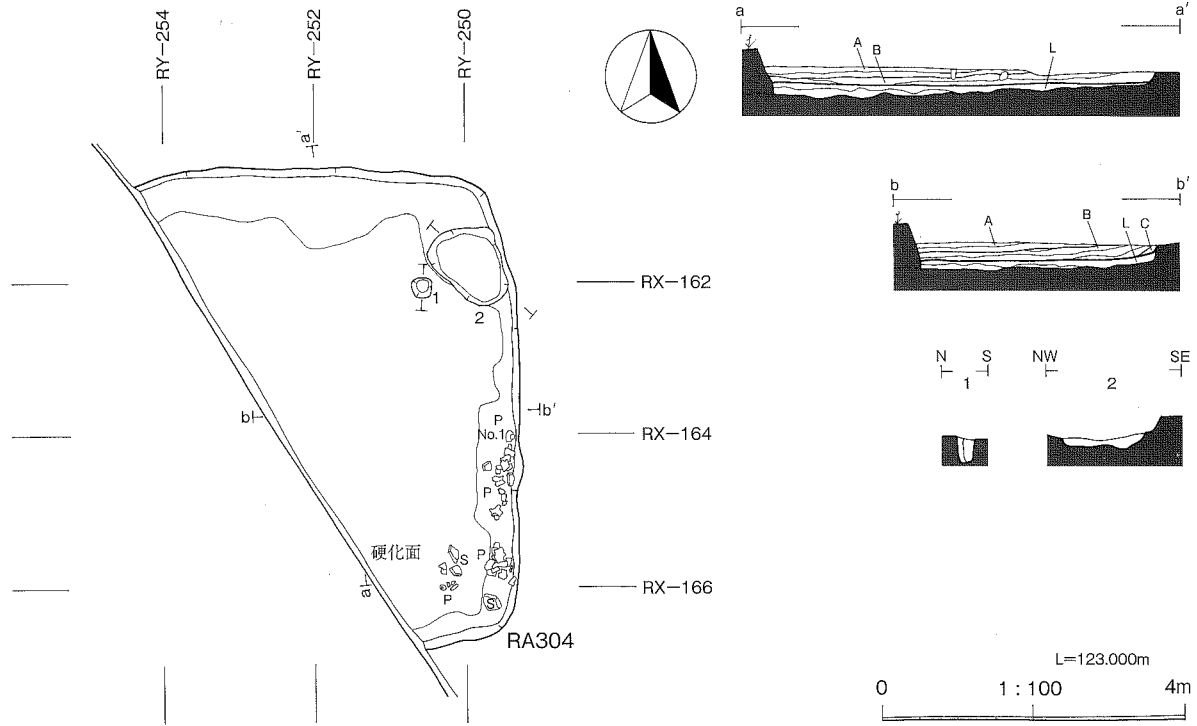
第 8 図 第 24 次調査 B 区全体図



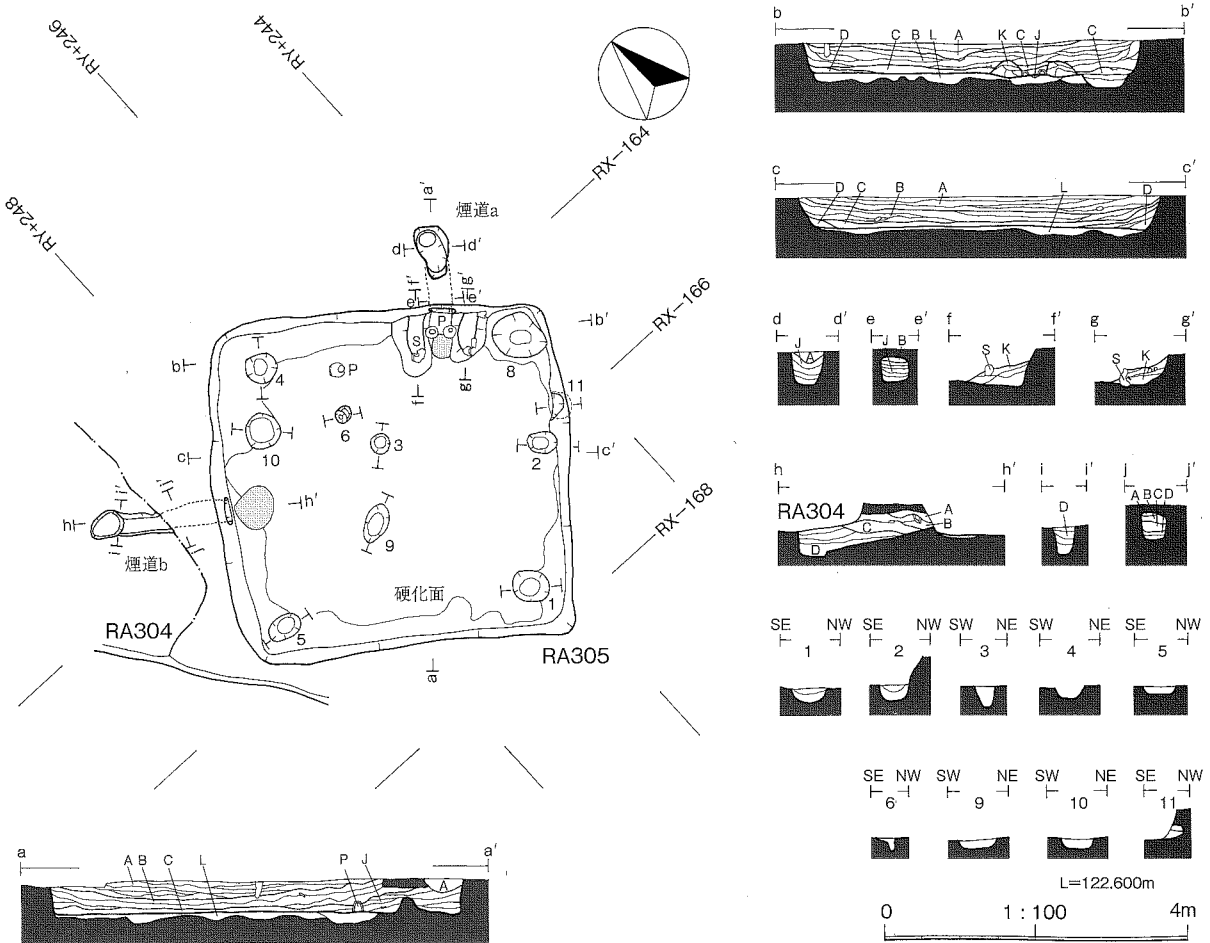
第9図 第24次調査C区北半部全体図



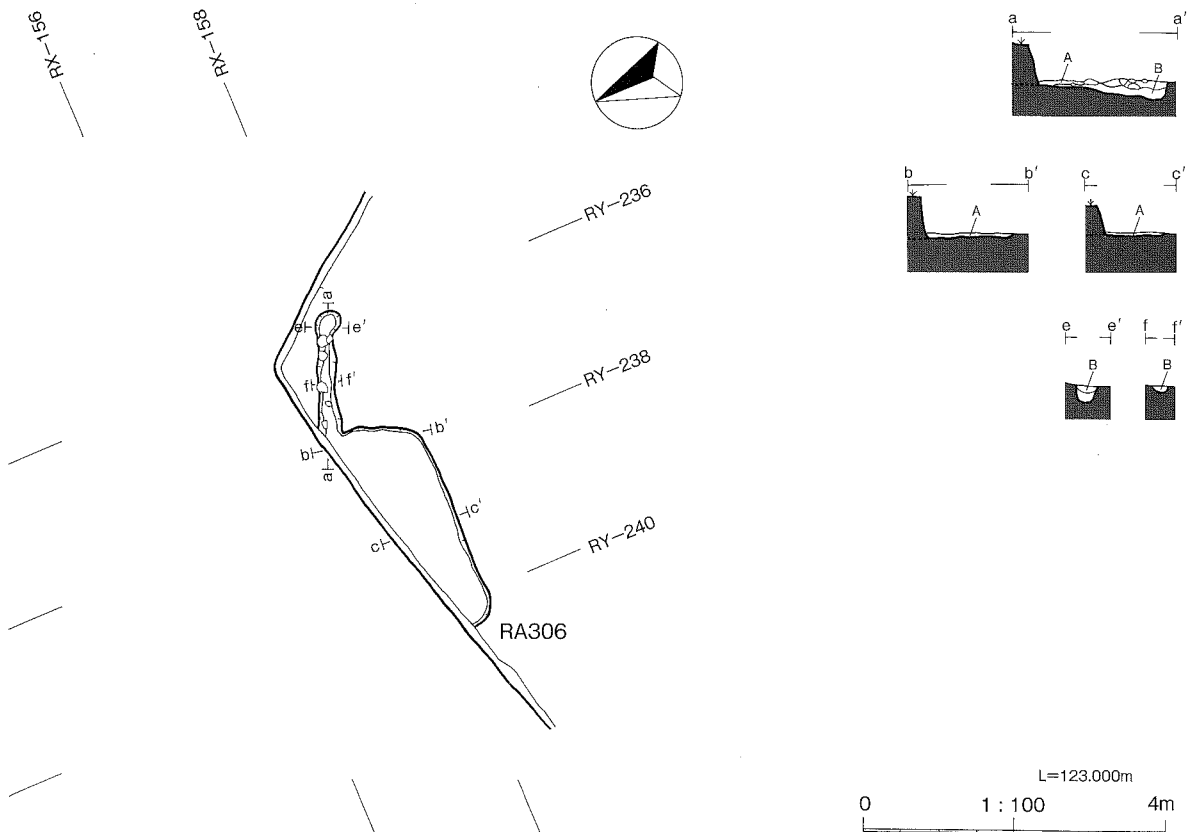
第10図 第24次調査C区南半部全体図



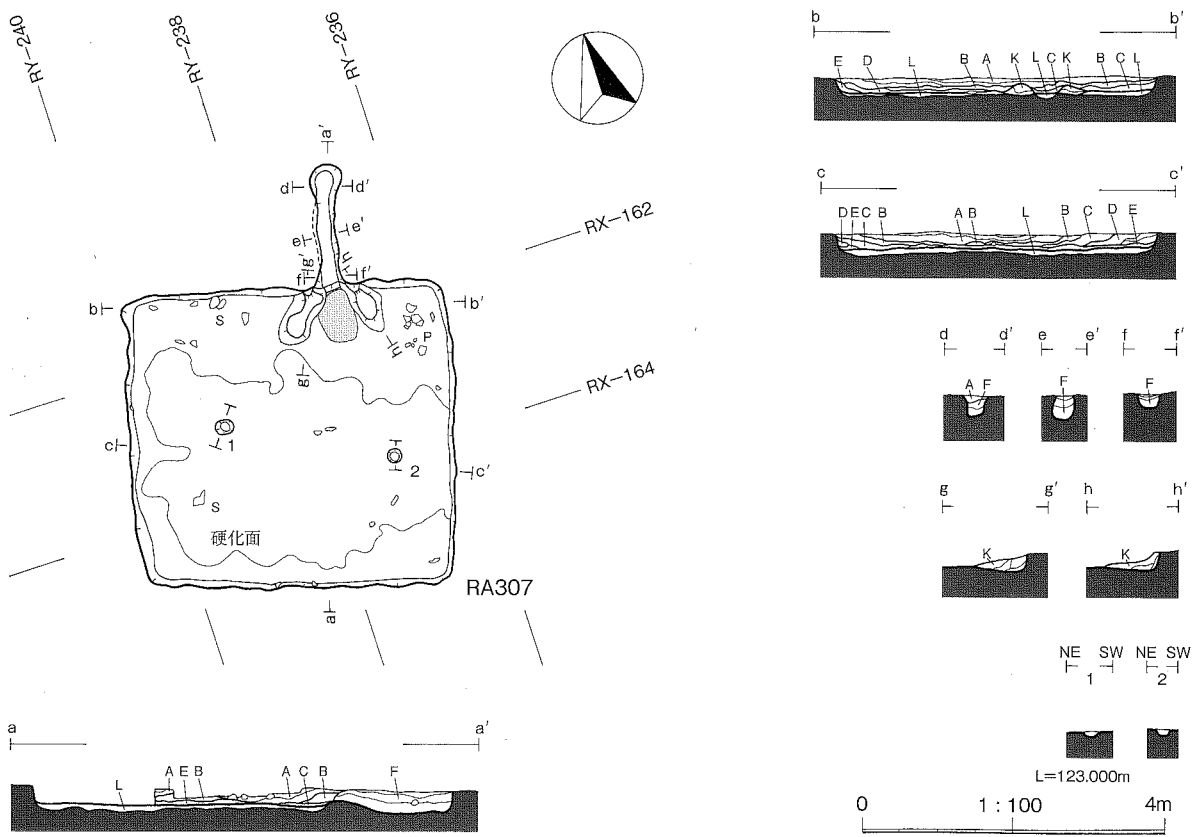
第 11 図 第 24 次調査 A 区 RA304 竪穴住居跡



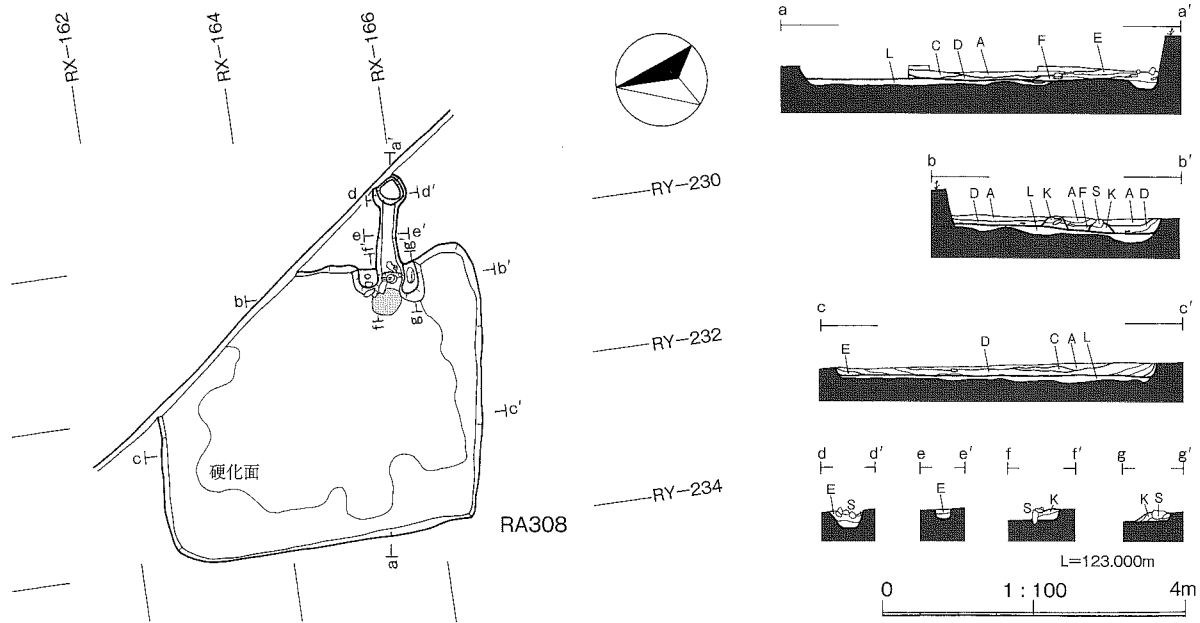
第 12 図 第 24 次調査 A 区 RA305 竪穴住居跡



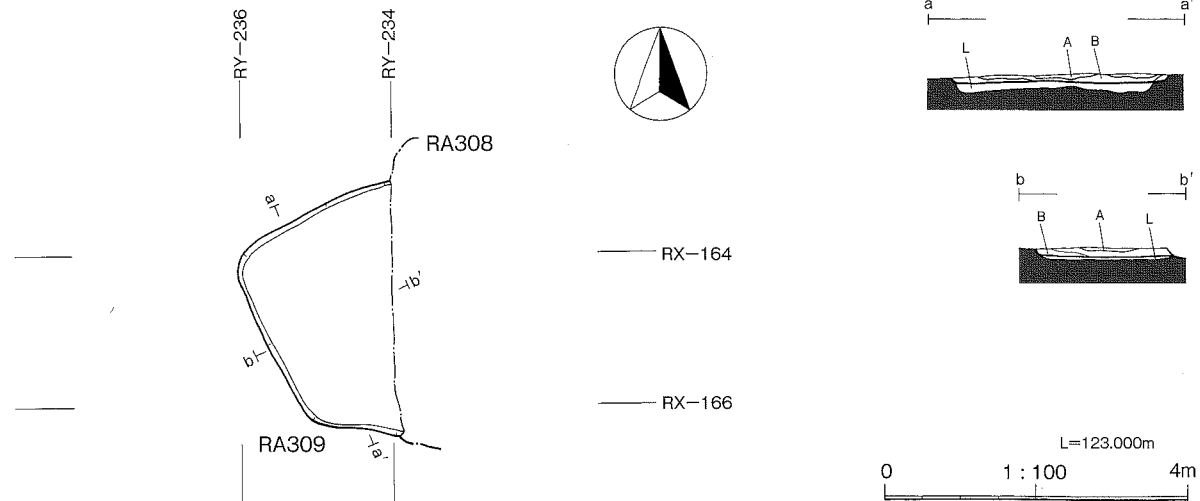
第 13 図 第 24 次調査 A 区 RA306 竪穴住居跡



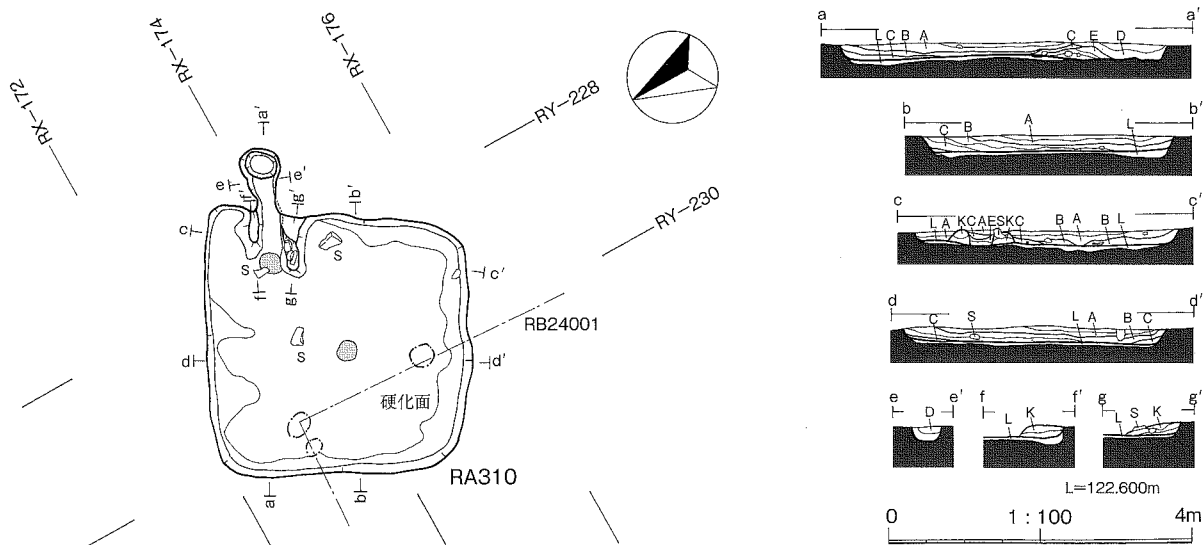
第 14 図 第 24 次調査 A 区 RA307 竪穴住居跡



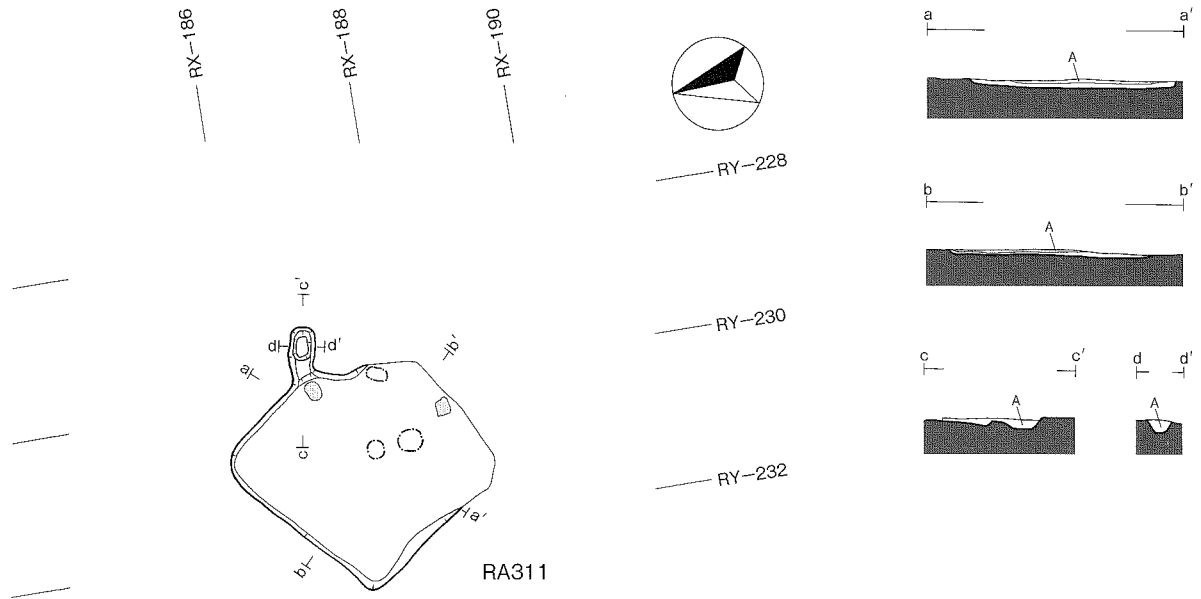
第15图 第24次調査A区 RA308 竖穴住居跡



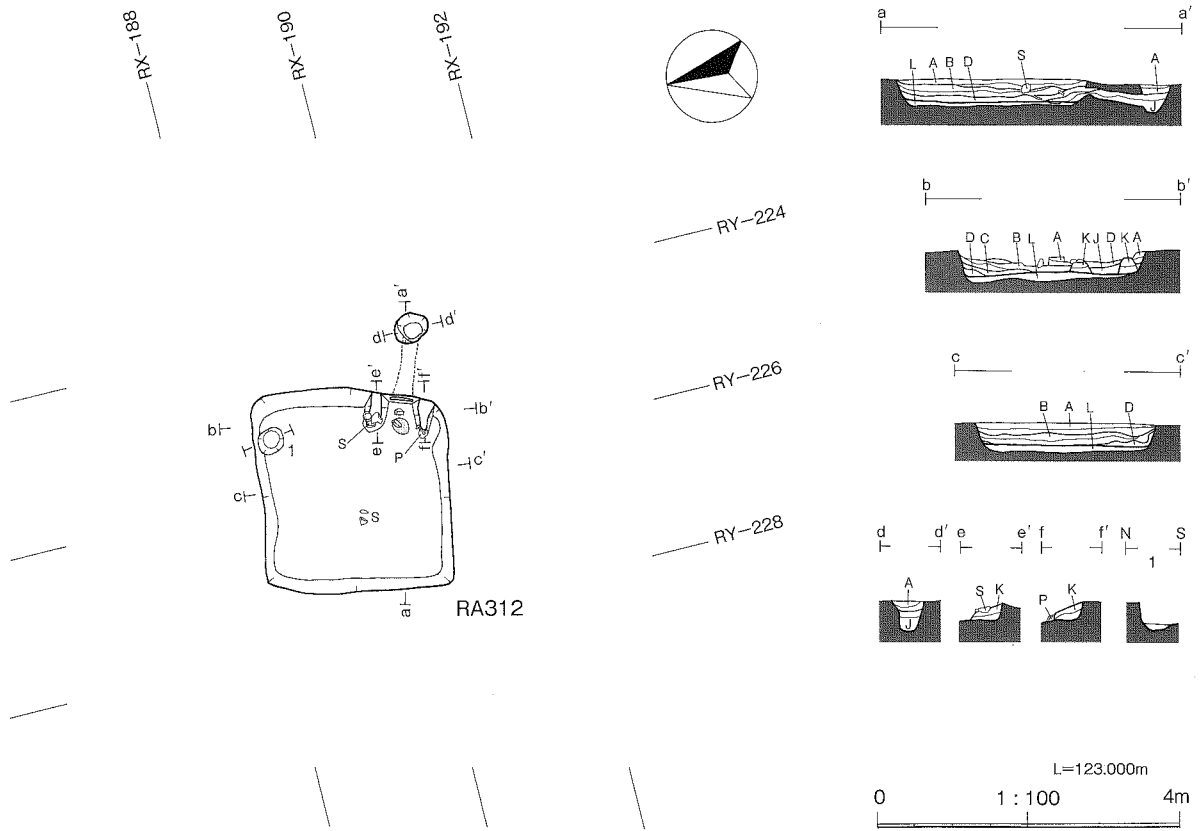
第16图 第24次調査A区 RA309 竖穴住居跡



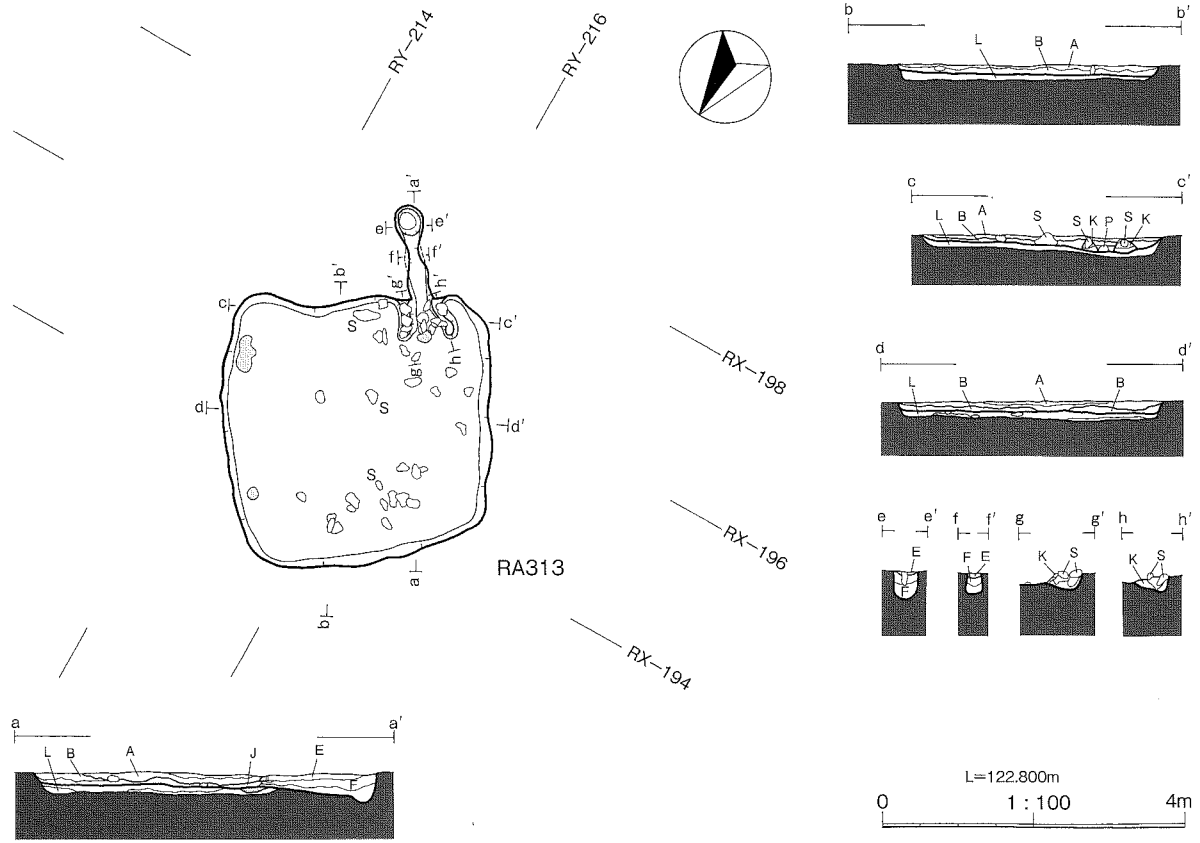
第17图 第24次調査A区 RA310 竖穴住居跡



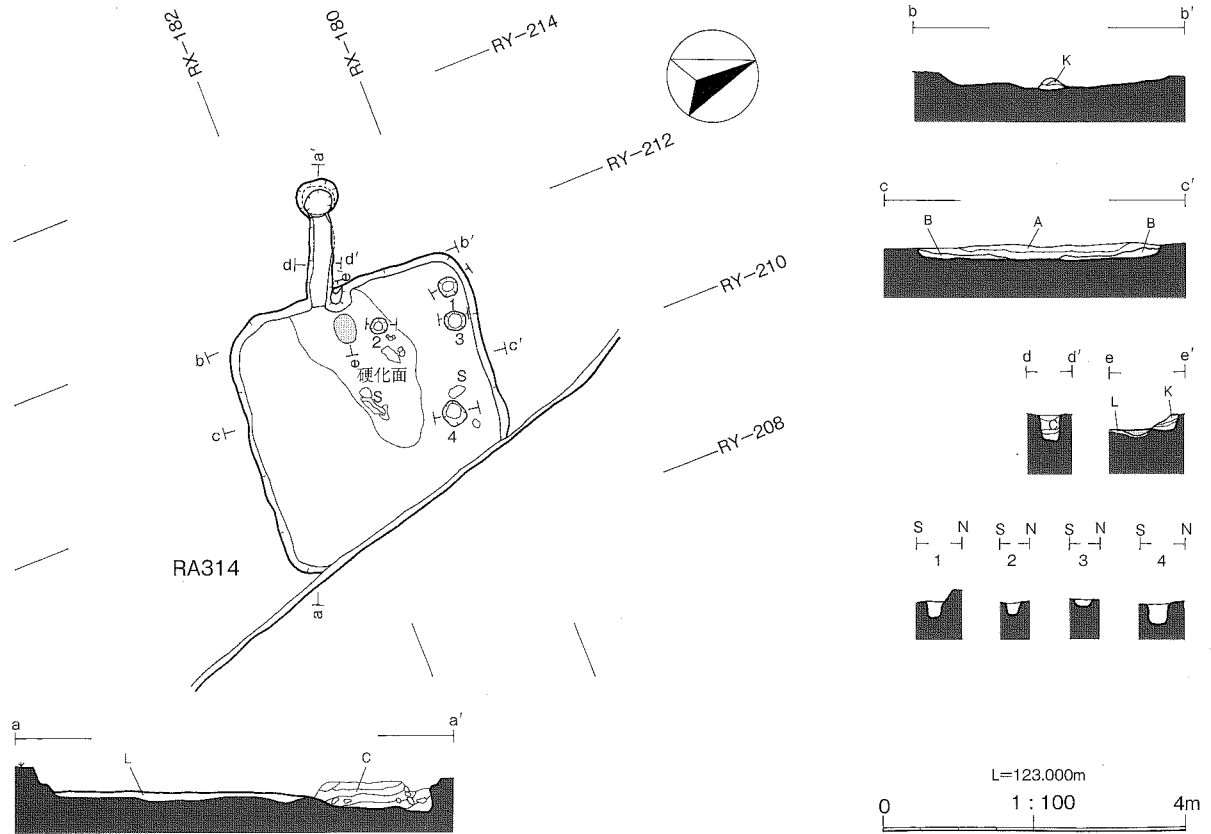
第 18 図 第 24 次調査 A 区 RA311 竪穴住居跡



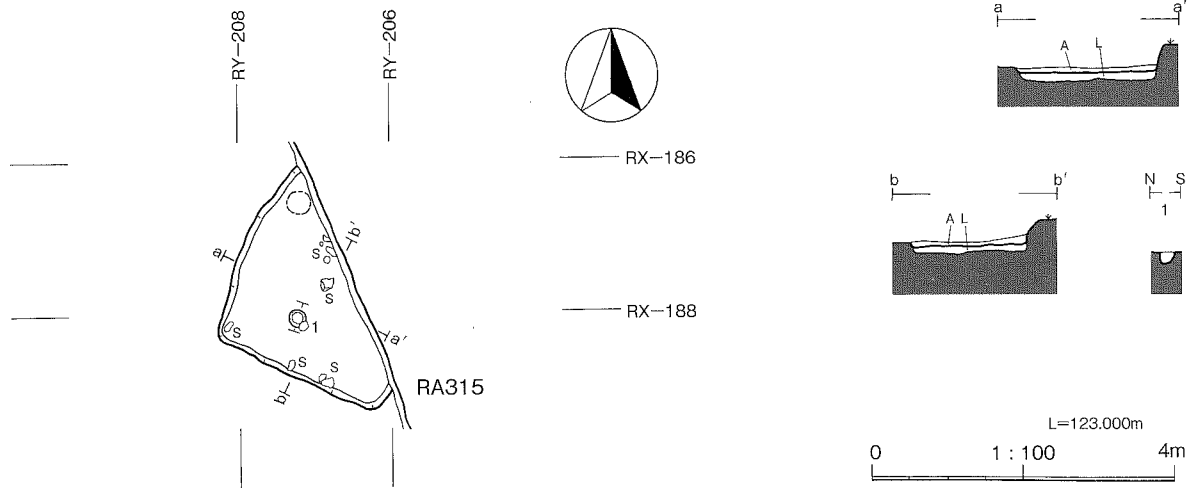
第 19 図 第 24 次調査 A 区 RA312 竪穴住居跡



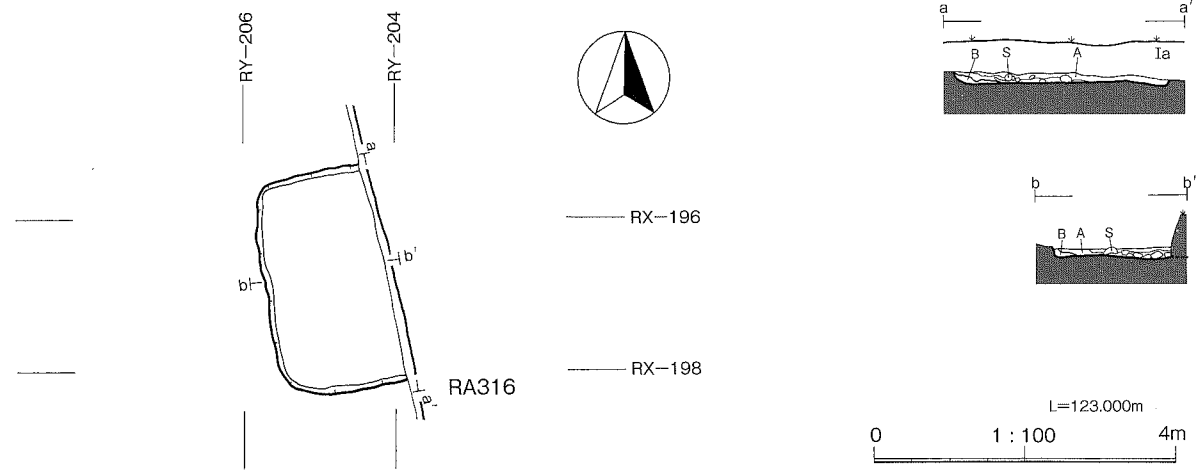
第20图 第24次調査A区 RA313 竖穴住居跡



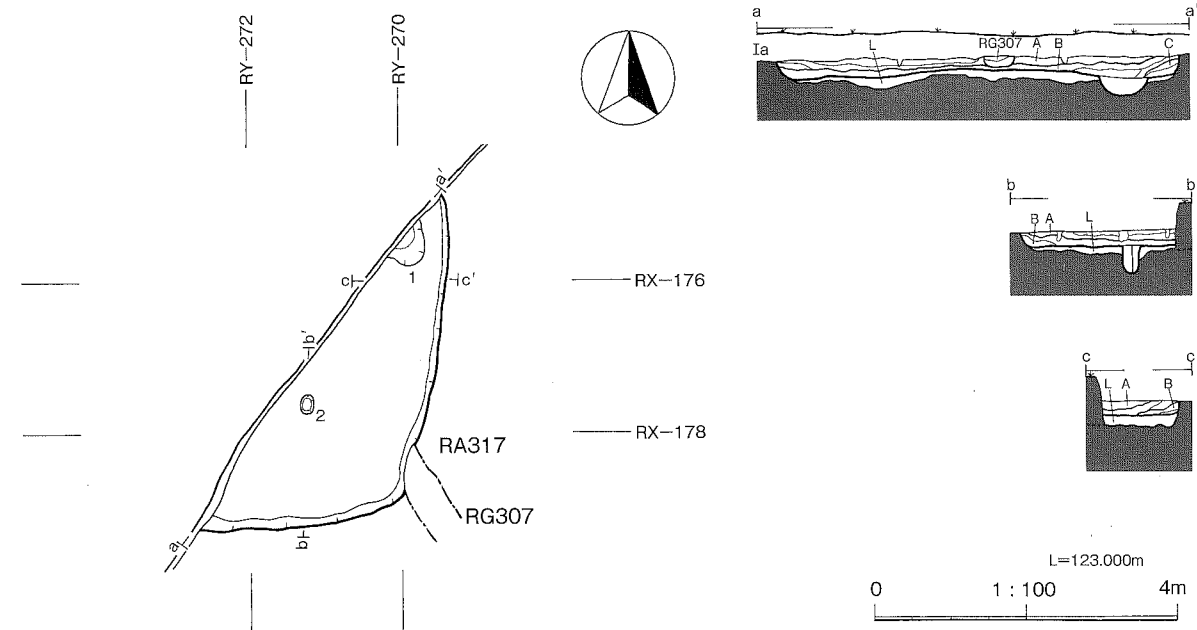
第21图 第24次調査A区 RA314 竖穴住居跡



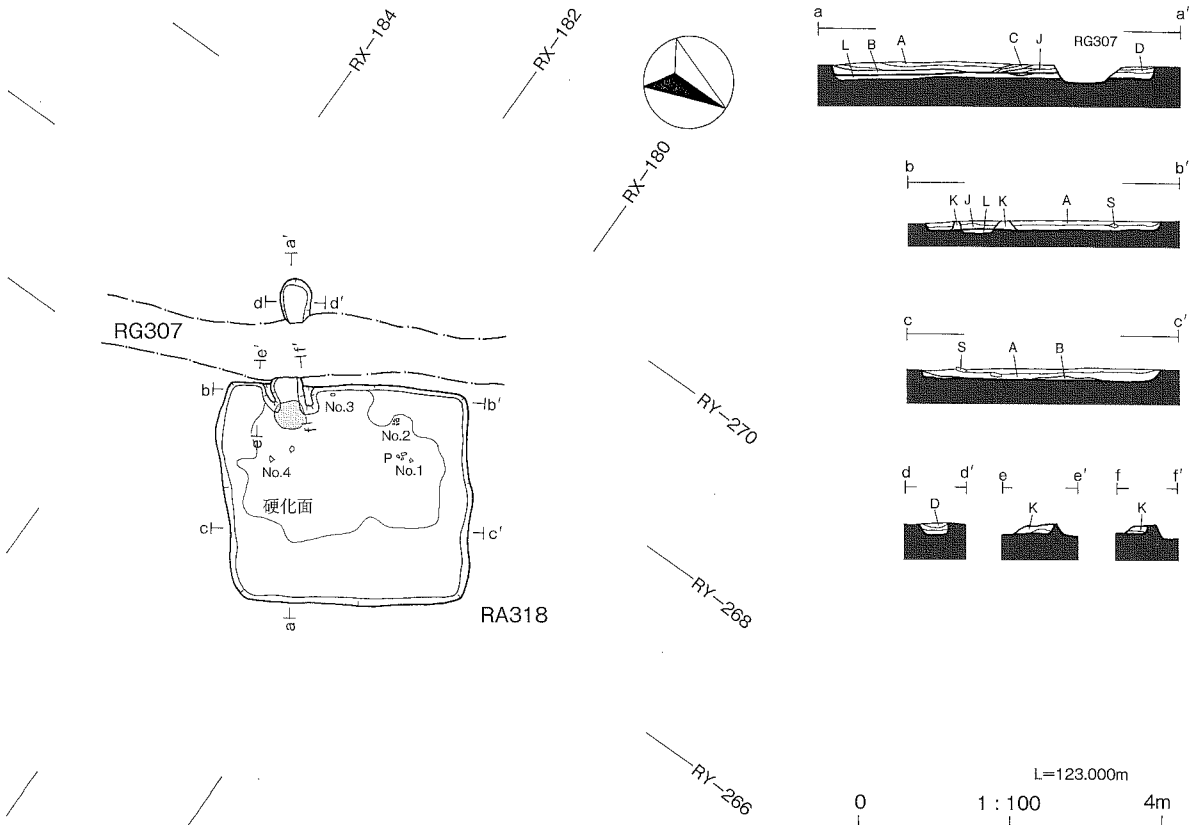
第22图 第24次調査A区 RA315 竖穴住居跡



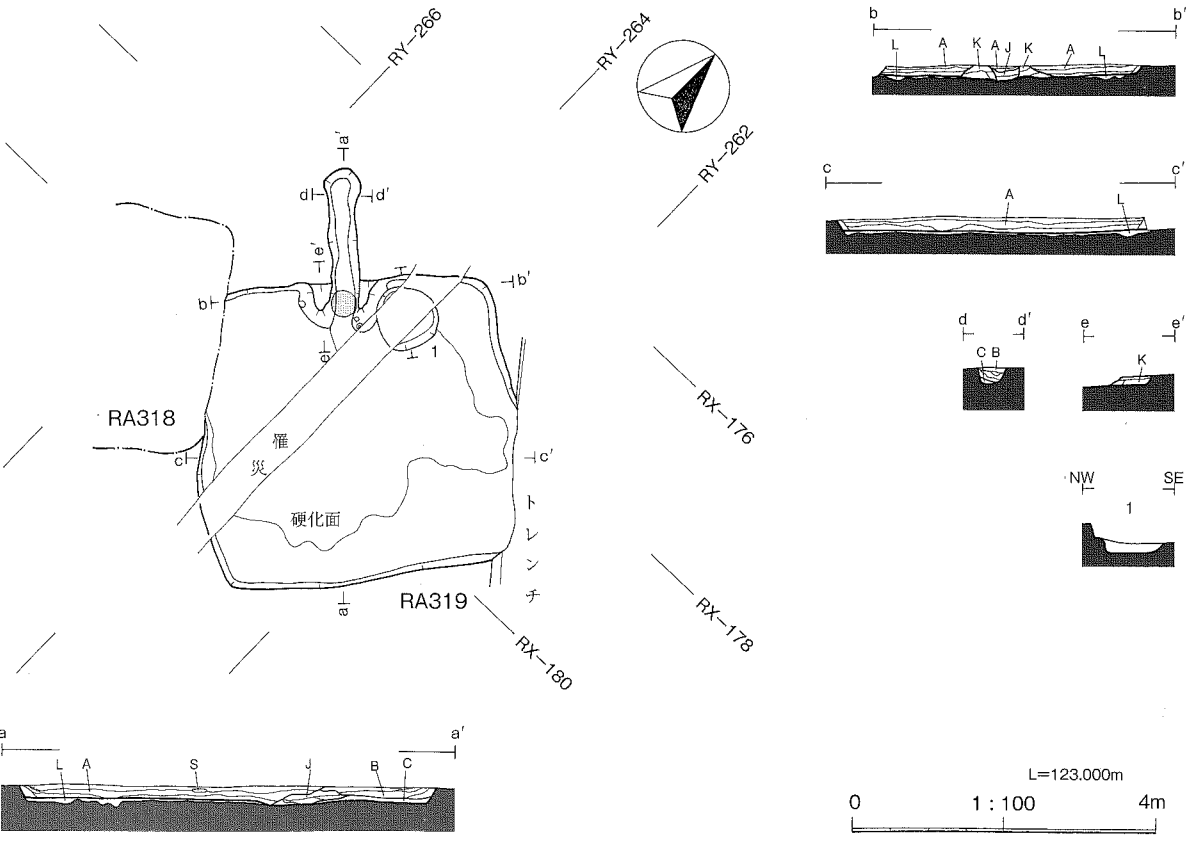
第23图 第24次調査A区 RA316 竖穴住居跡



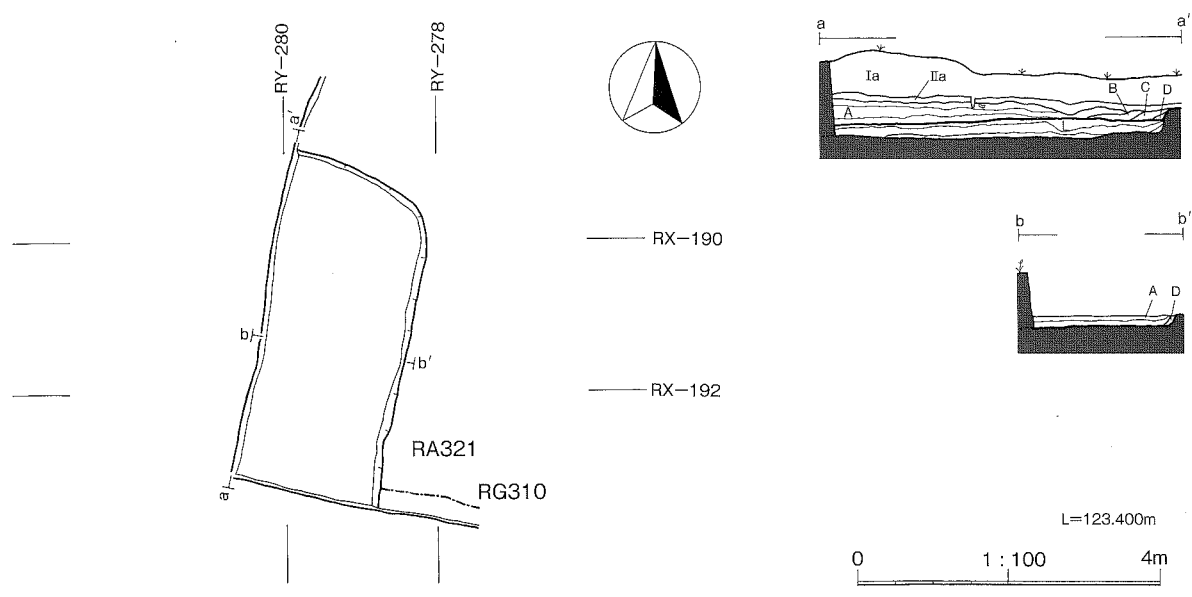
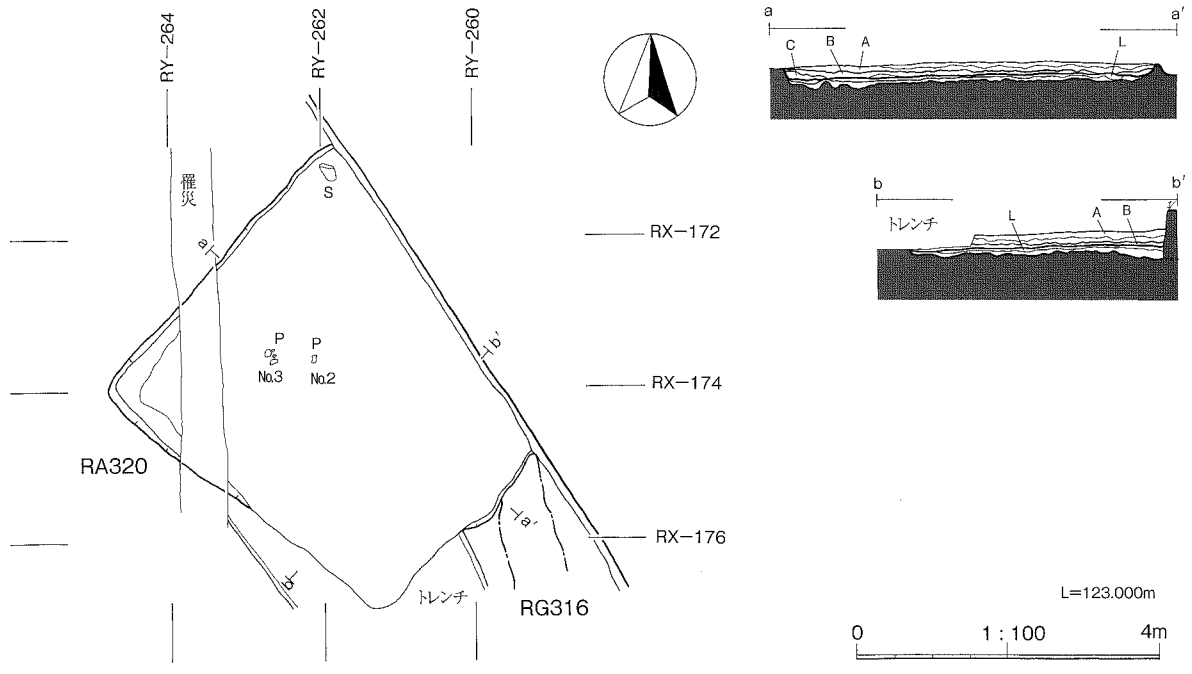
第24图 第24次調査B区 RA317 竖穴住居跡

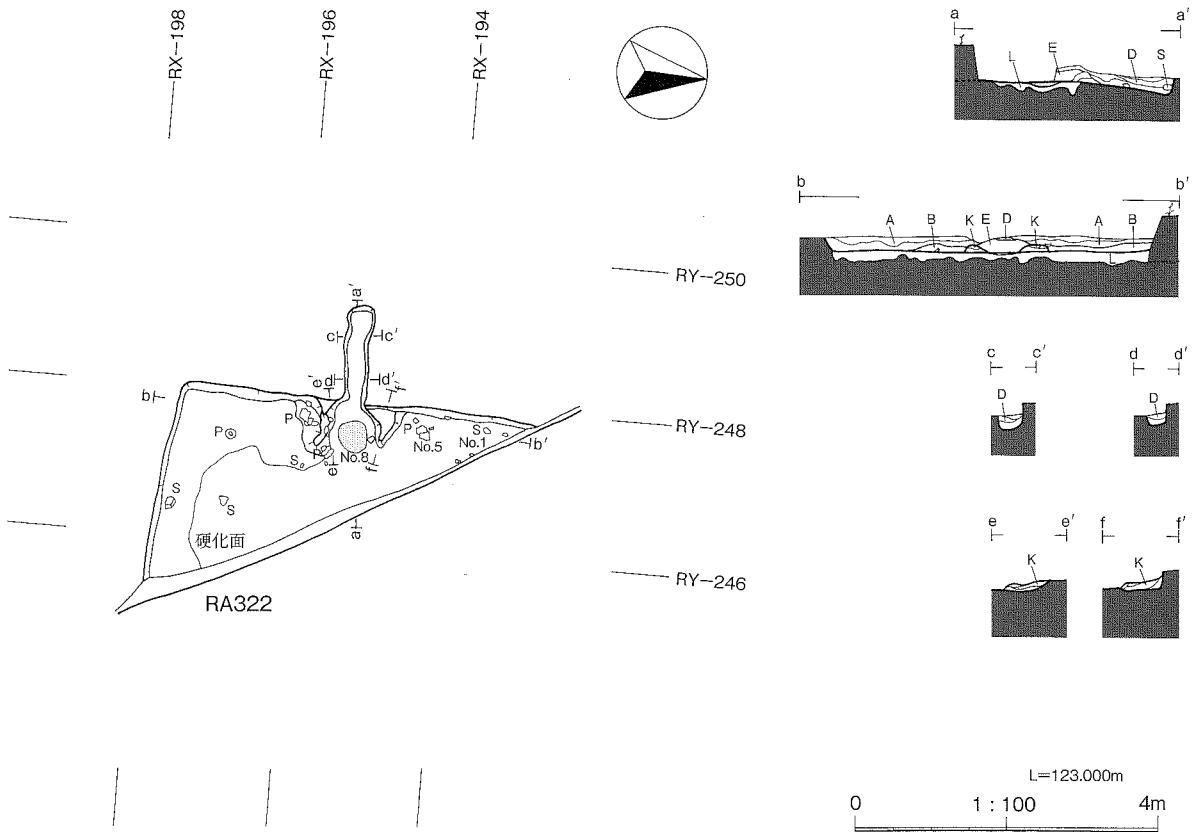


第25図 第24次調査B区 RA318 竪穴住居跡

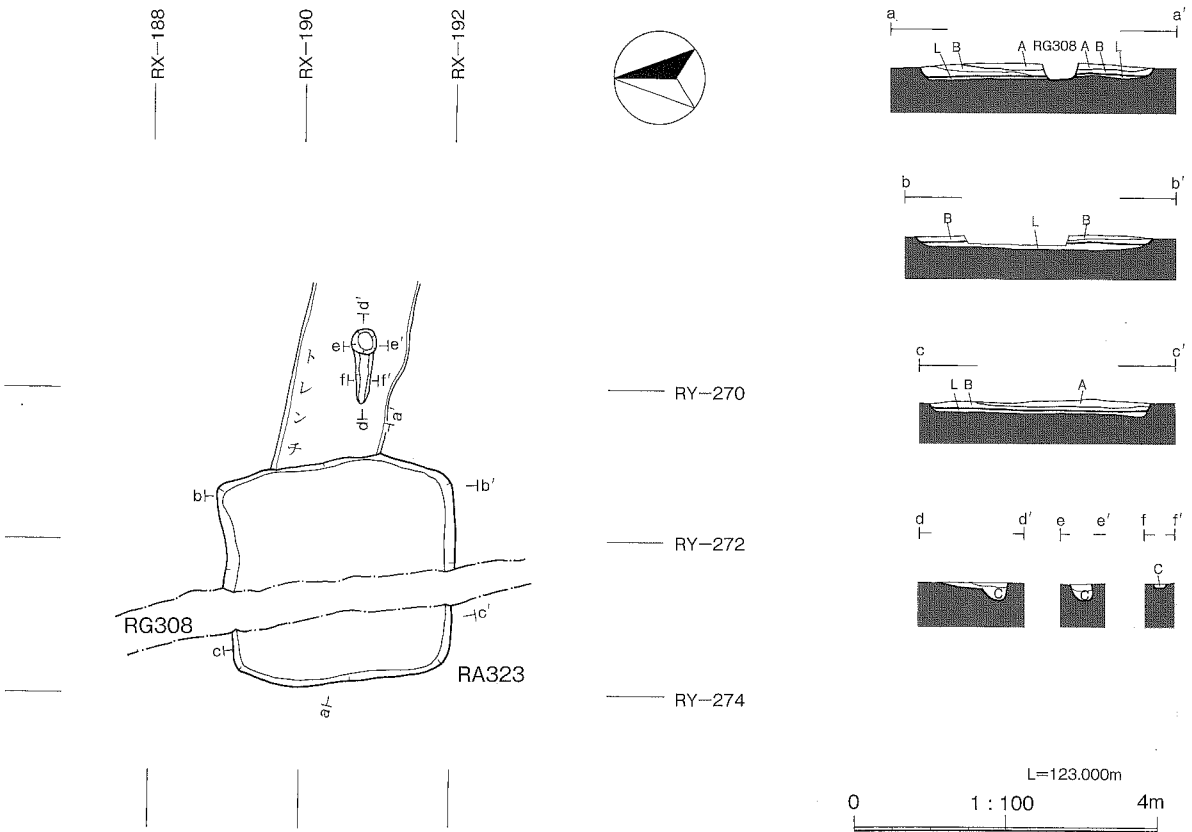


第26図 第24次調査B区 RA319 竪穴住居跡

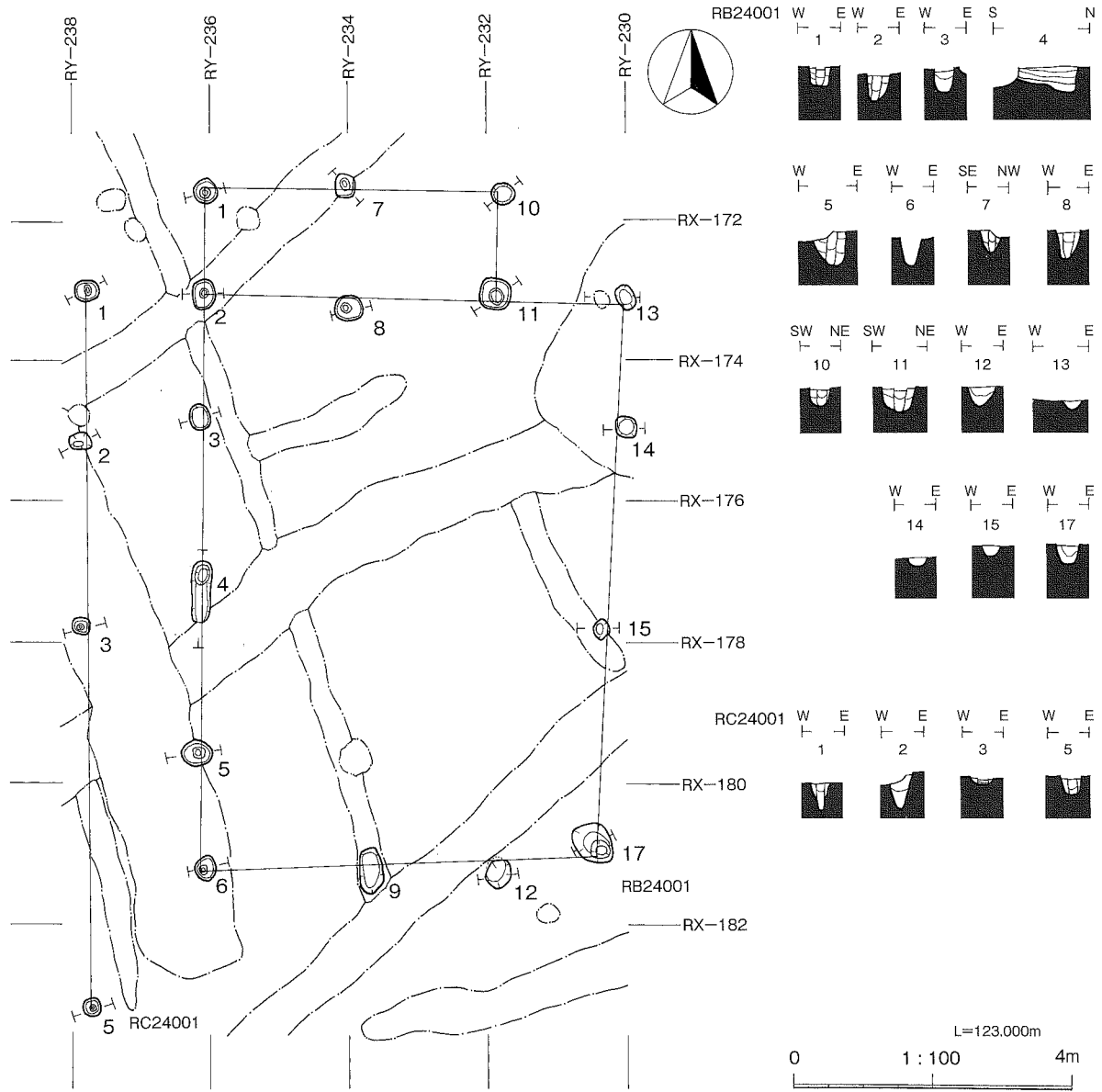




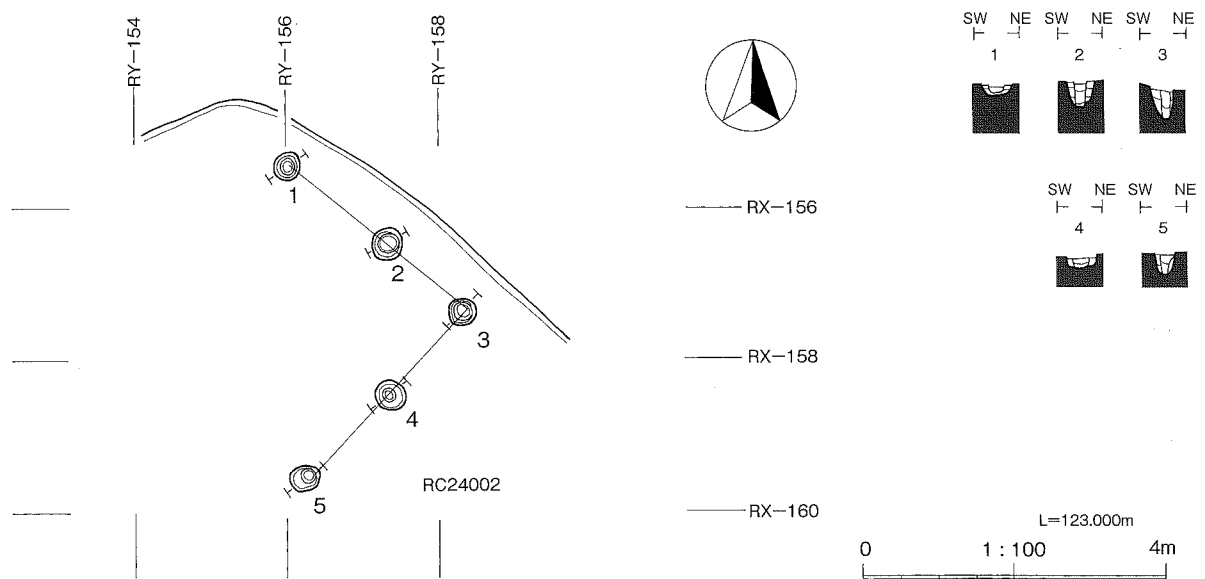
第29図 第24次調査B区 RA322 竪穴住居跡



第30図 第24次調査B区 RA323 竪穴住居跡



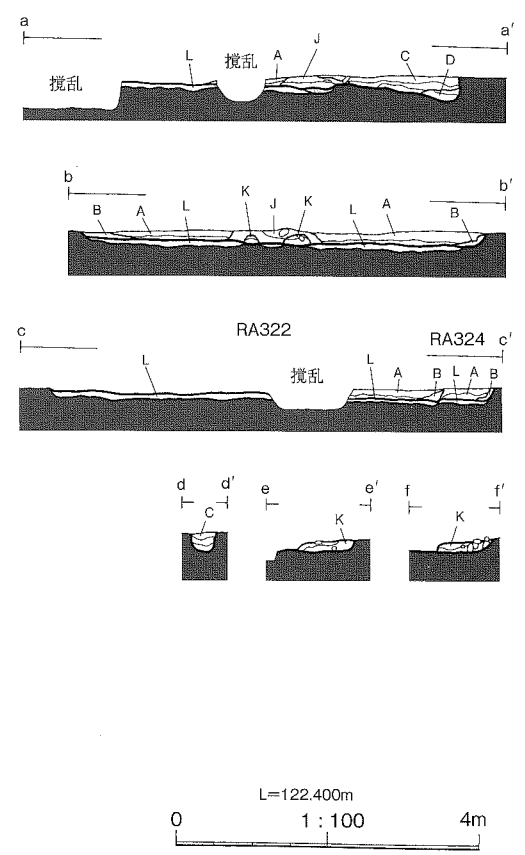
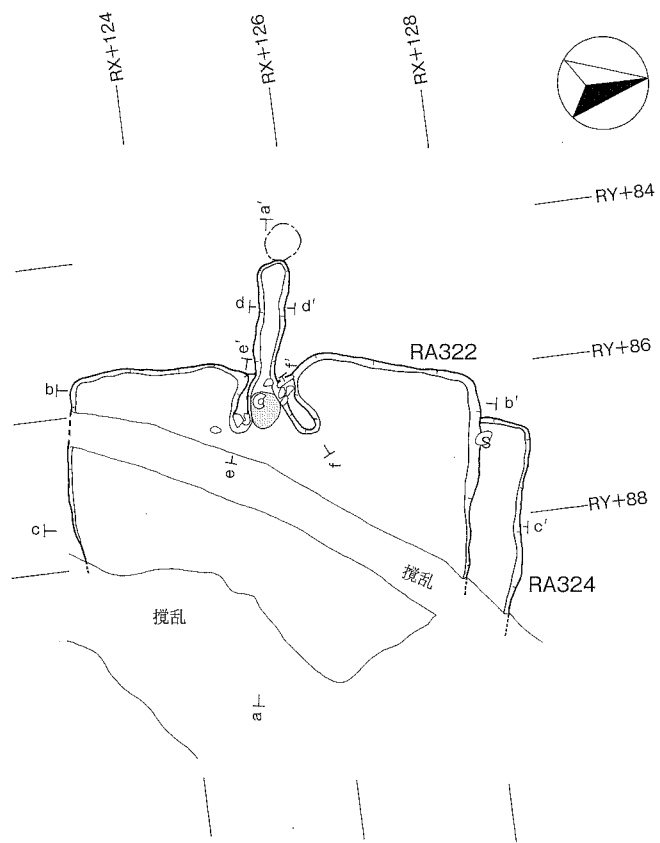
第 31 图 第 24 次調査A区 RB24001 掘立柱建物跡, RC24001 柱列跡



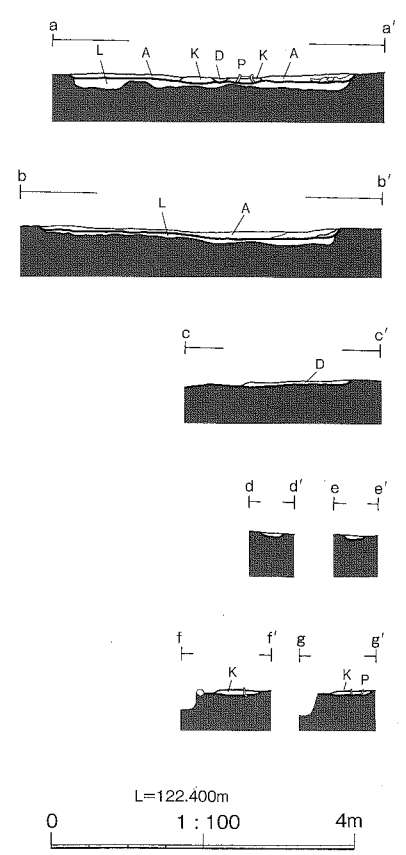
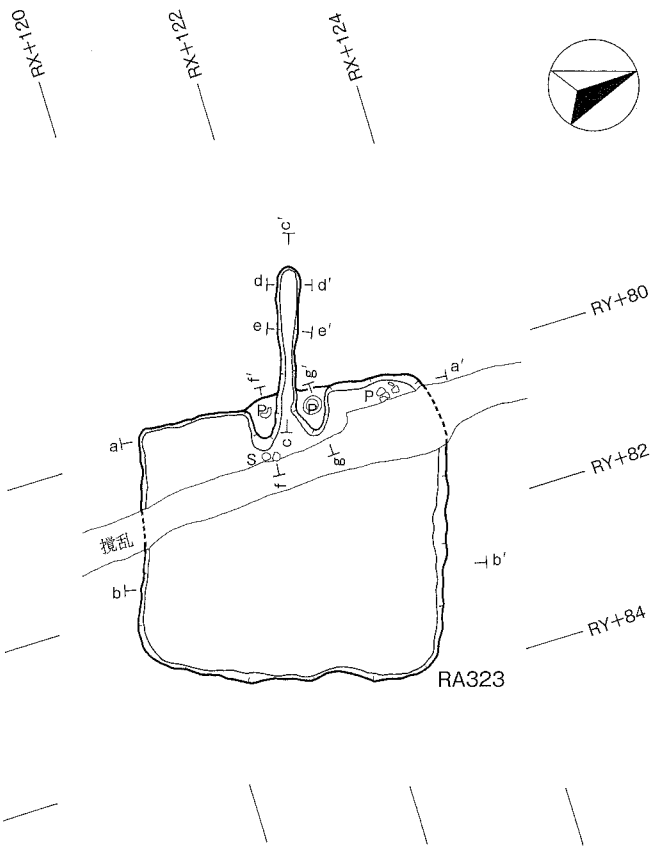
第 32 图 第 24 次調査A区 RC24002 柱列跡



第 34 図 第 25 次調査 A 区西半部・第 30 次調査区全体図



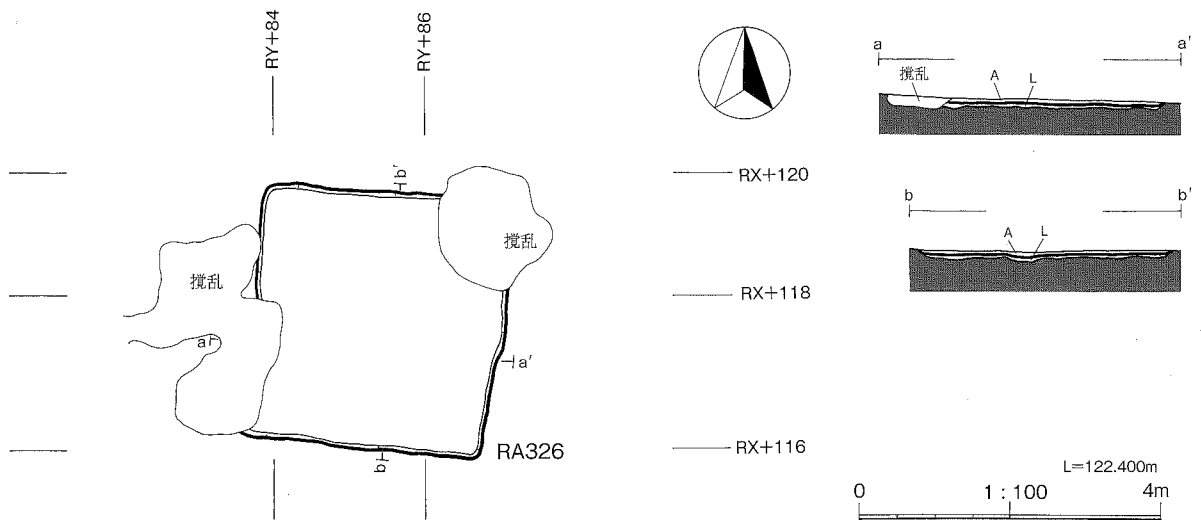
第36图 第25次調査A区 RA322・324 竖穴住居跡



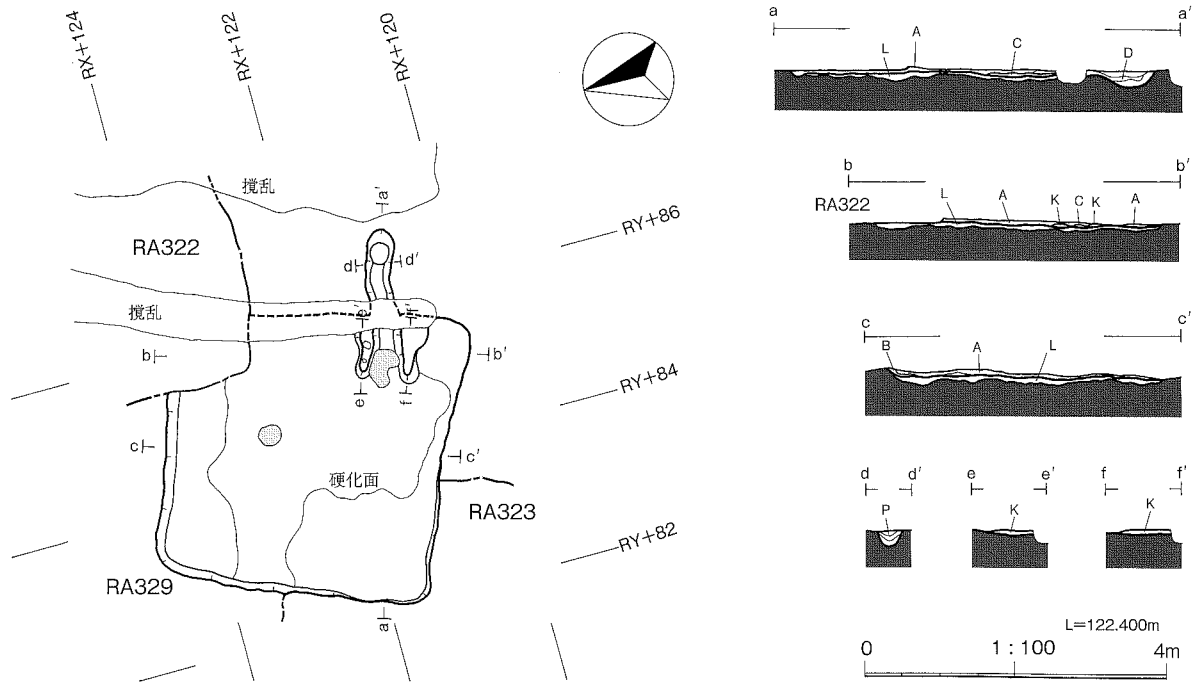
第37图 第25次調査A区 RA323 竖穴住居跡



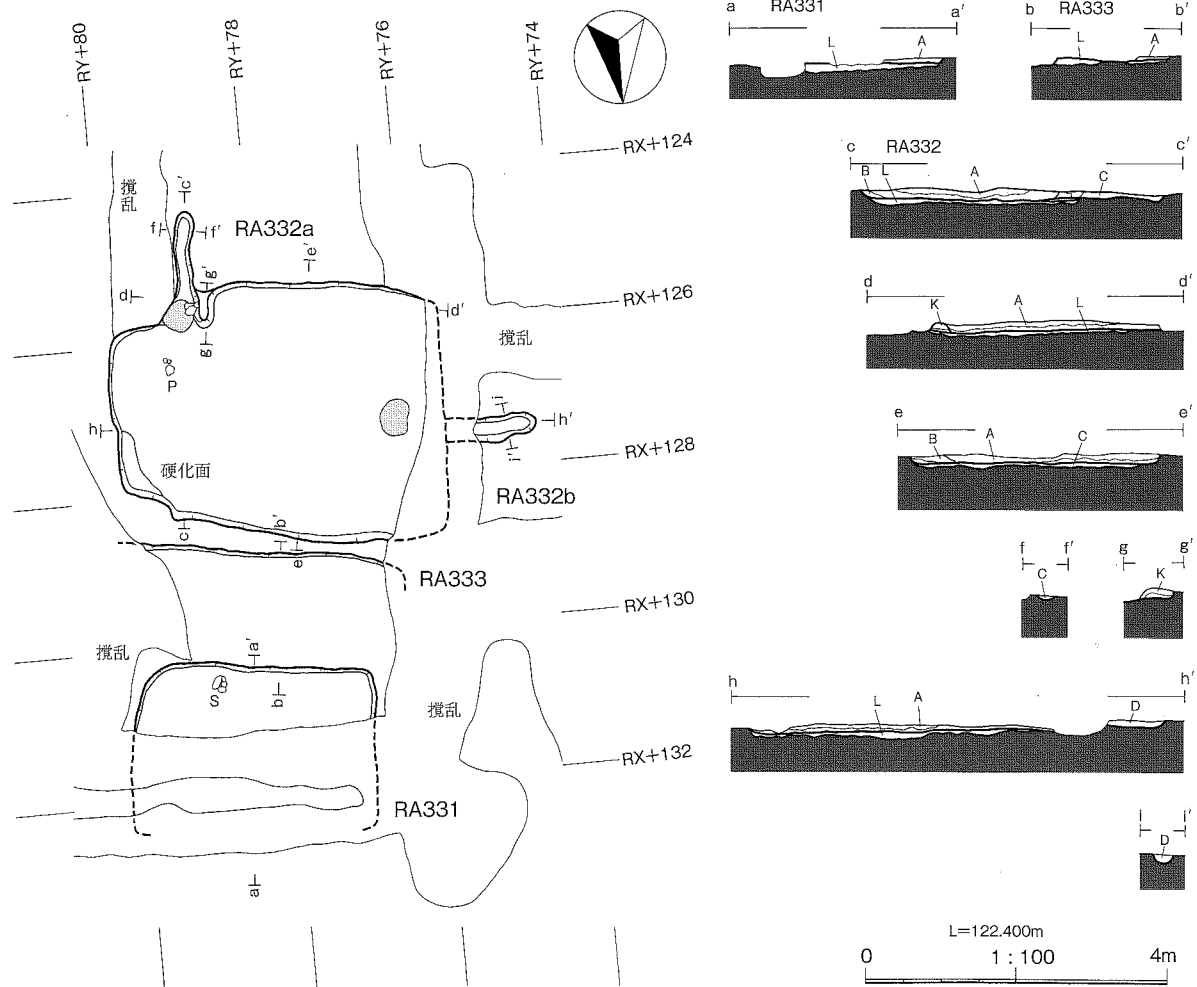
第 38 图 第 25 次调查 A 区 RA325 · 327 · 328 · 330 竖穴住居跡



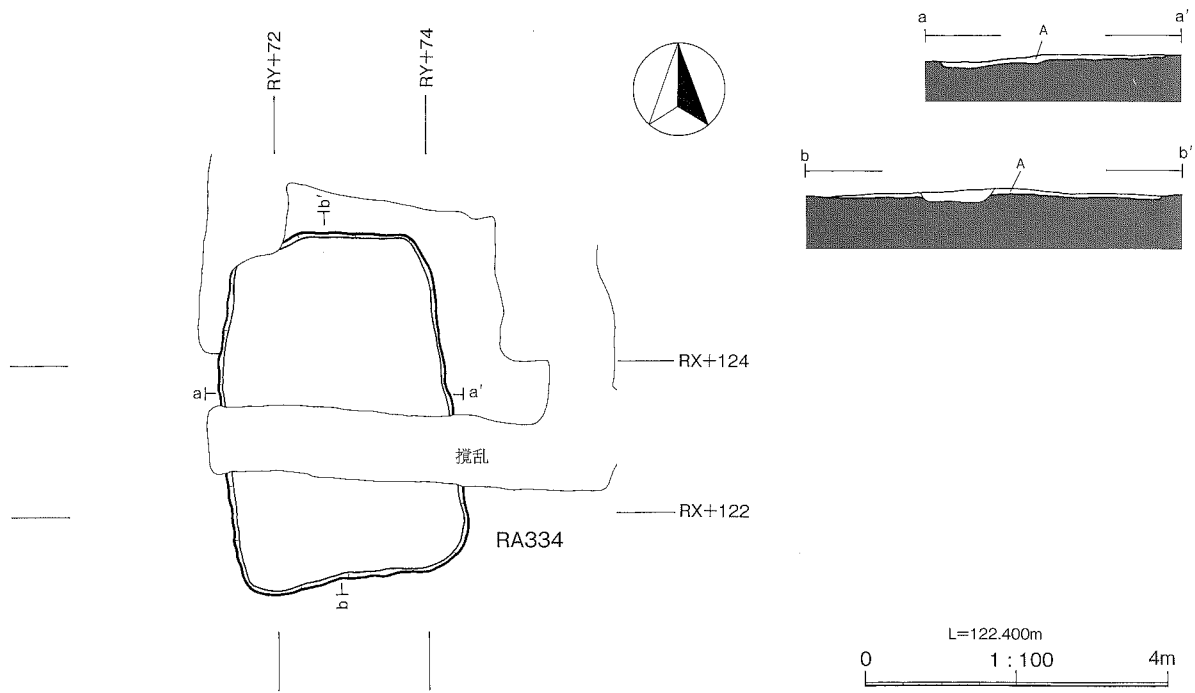
第 39 图 第 25 次调查 A 区 RA326 竖穴住居跡



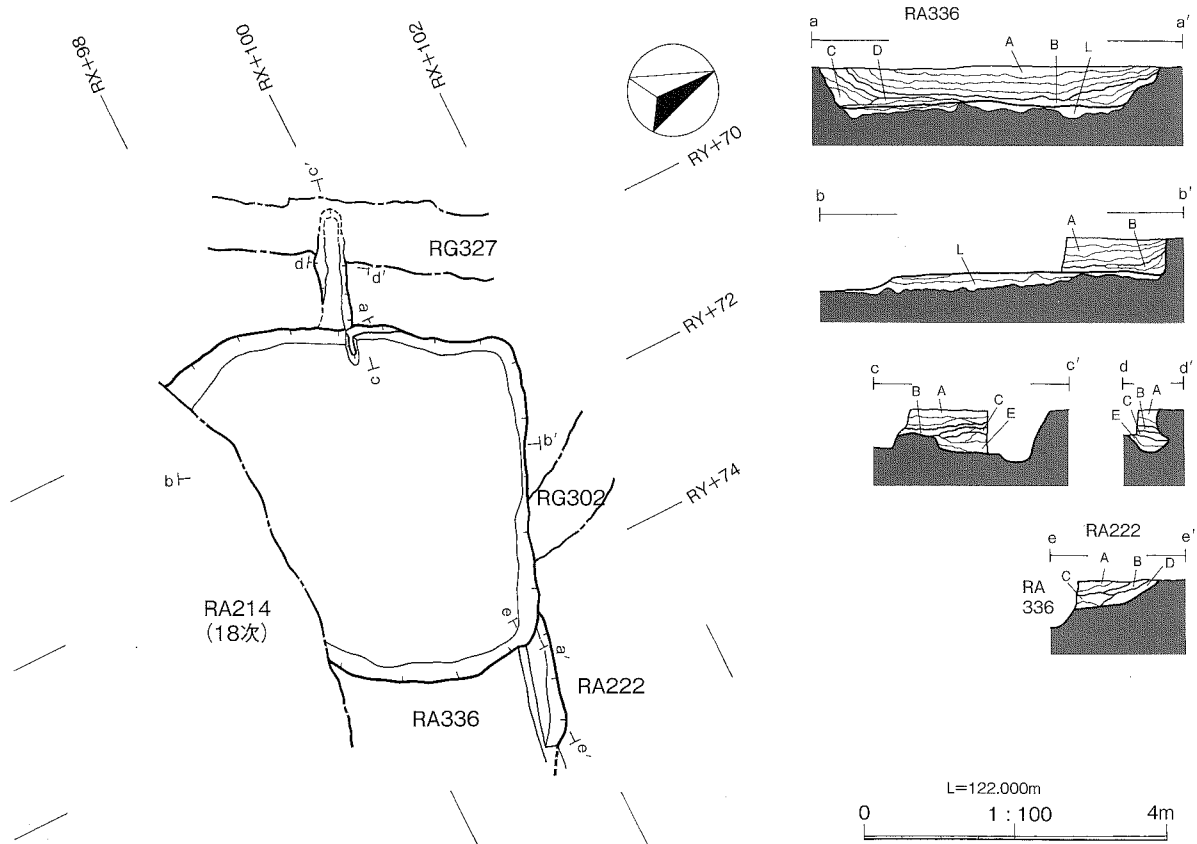
第40图 第25次調査A区 RA329 竖穴住居跡



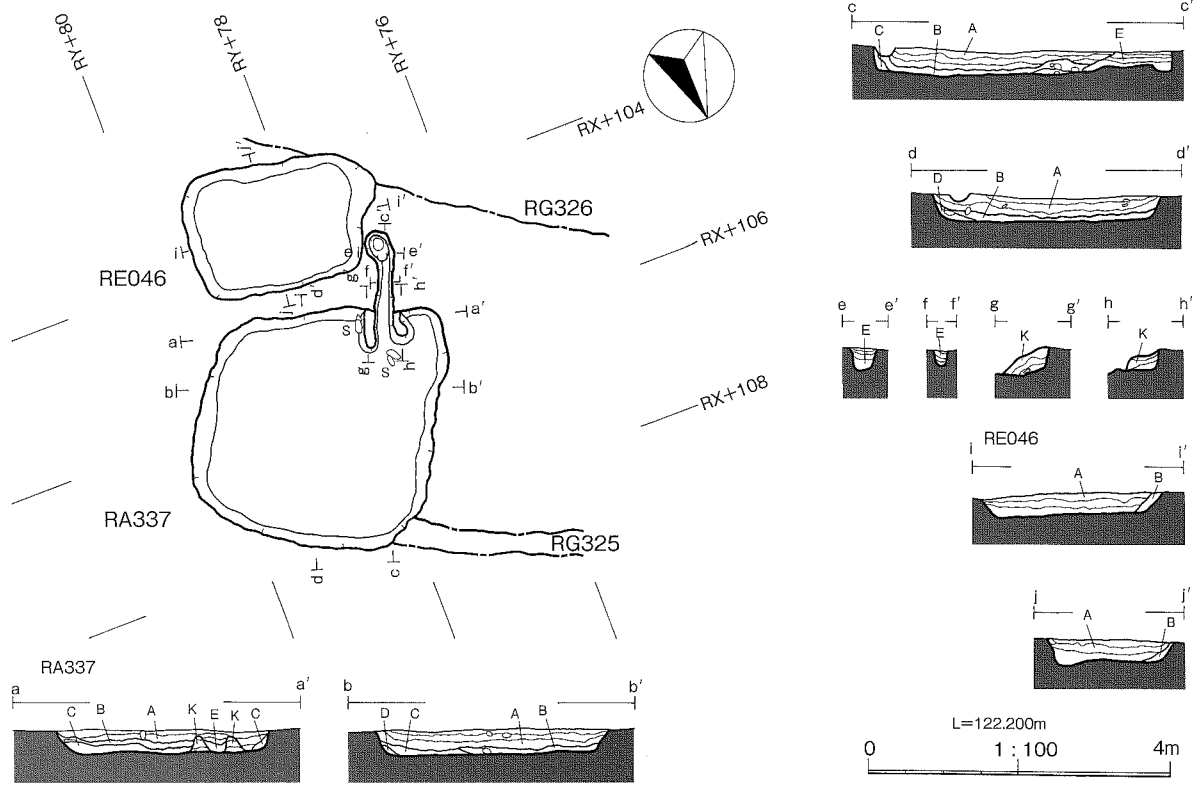
第41图 第25次調査A区 RA331・332a・b・333 竖穴住居跡



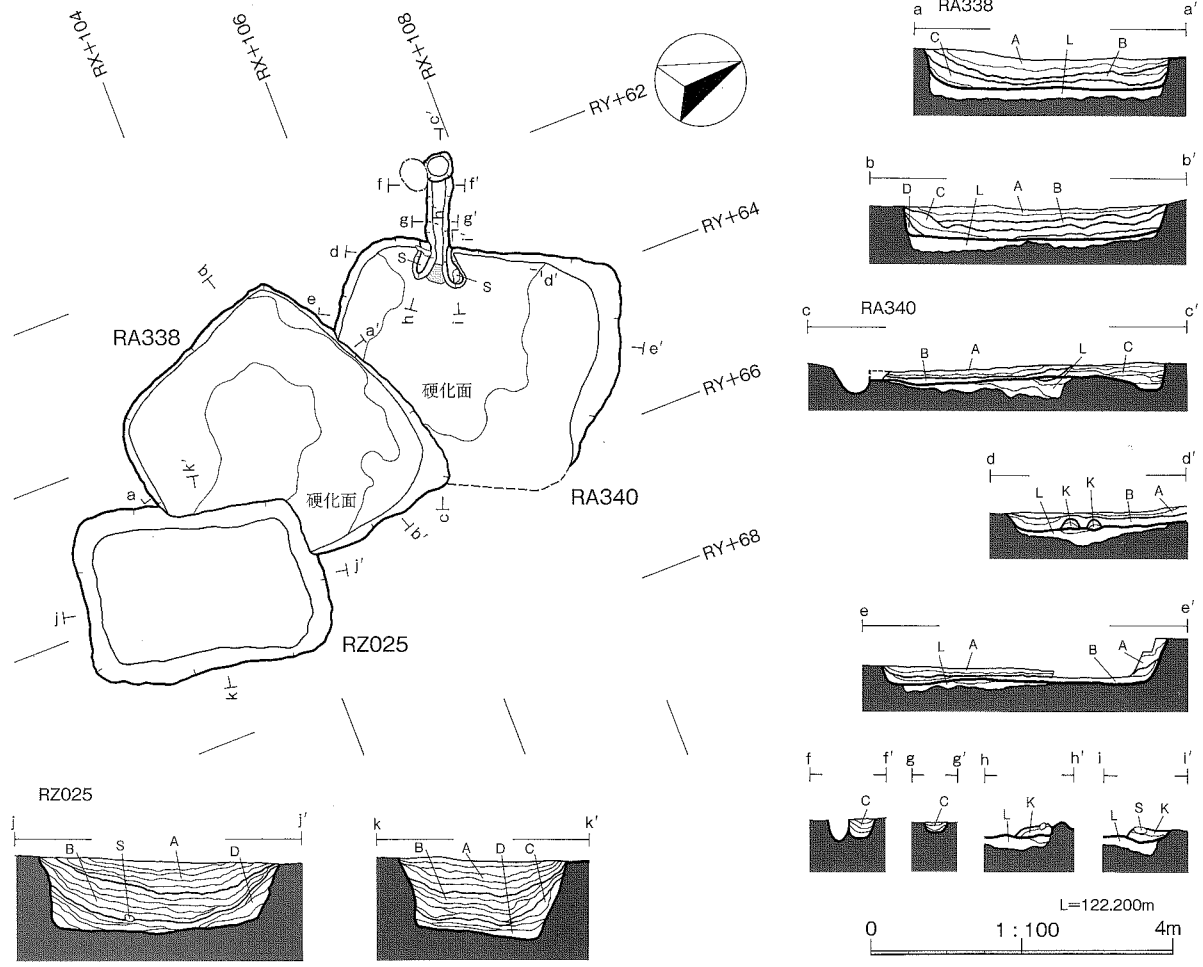
第 42 图 第 25 次調査A区 RA334 竖穴住居跡



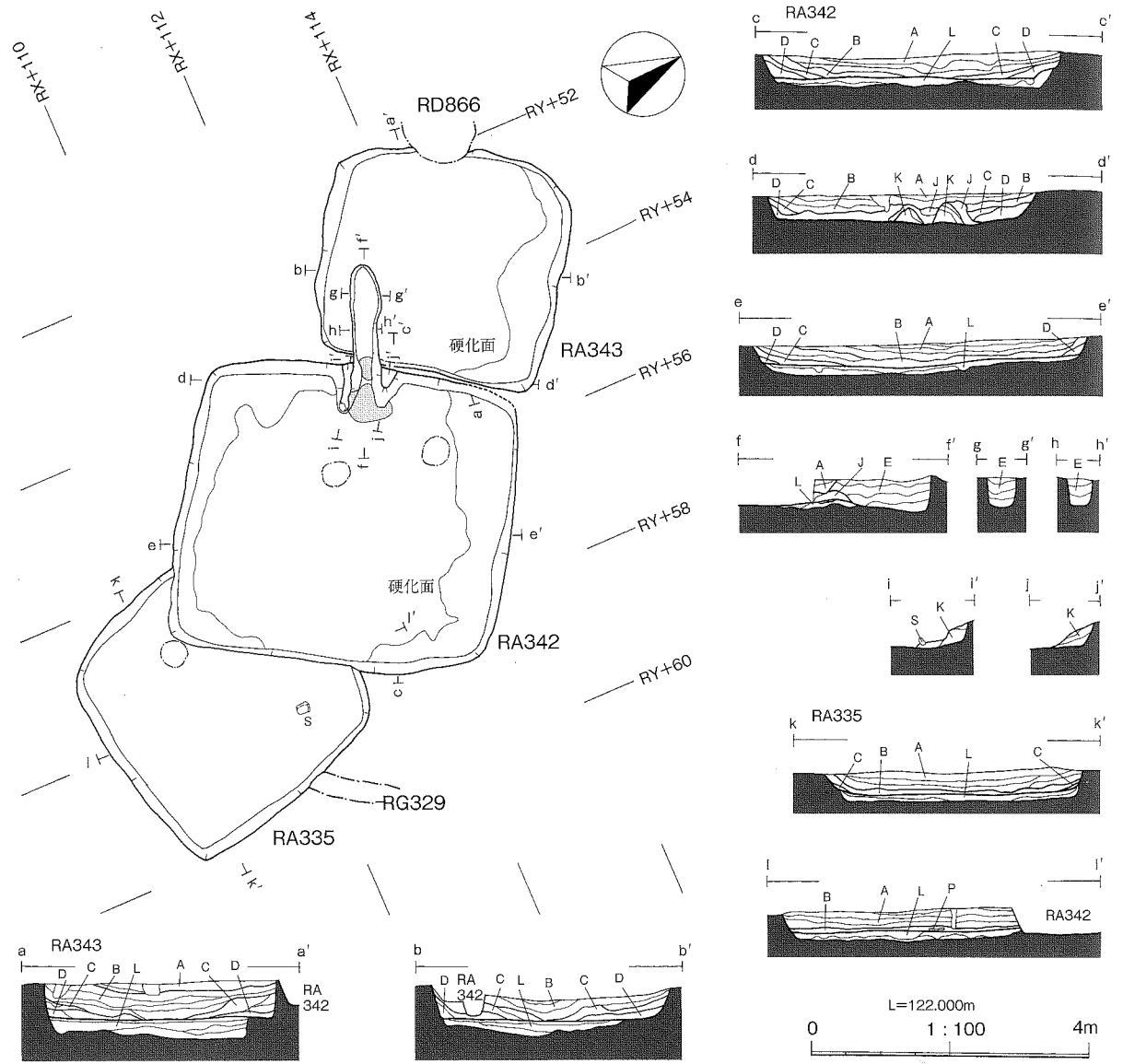
第 43 图 第 25 次調査A区 RA222・336 竖穴住居跡



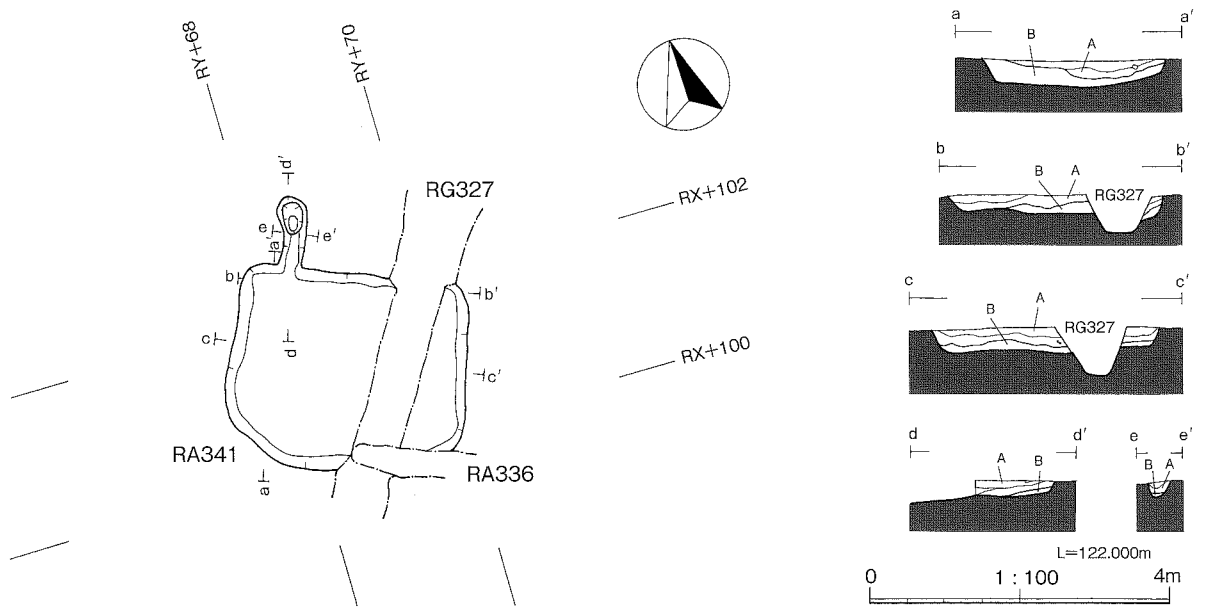
第 44 图 第 25 次調査 A 区 RA337 竖穴住居跡, RE046 竖穴状遺構



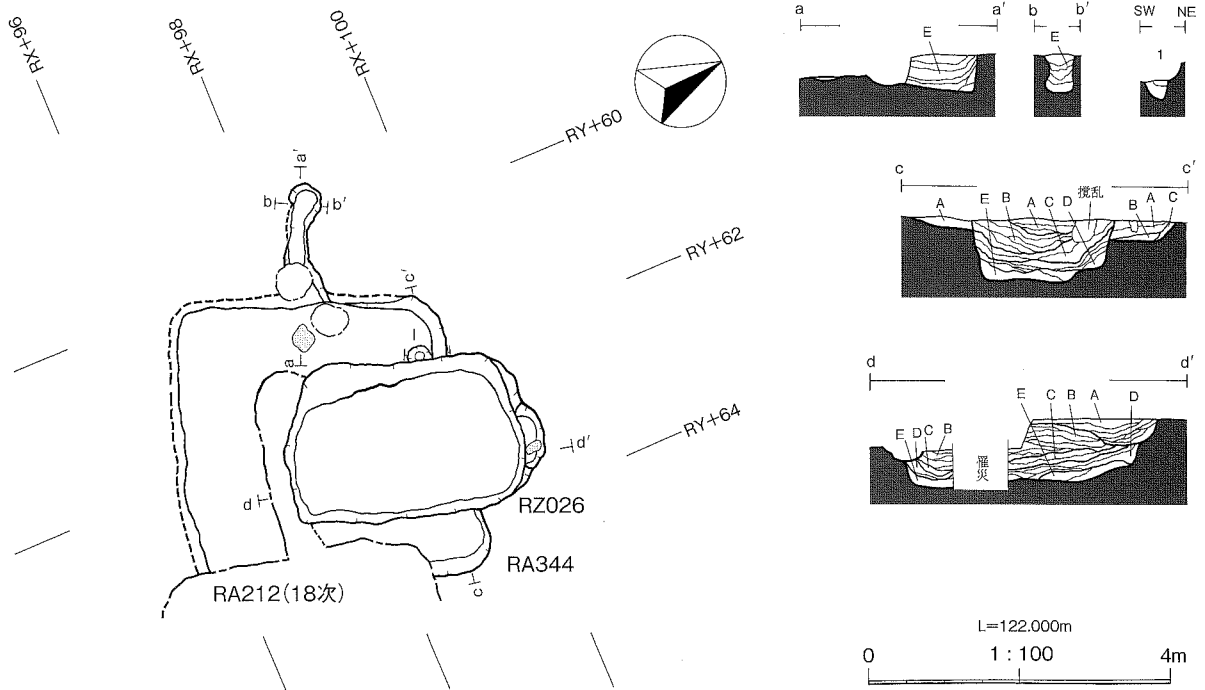
第 45 图 第 25 次調査 A 区 RA338・340 竖穴住居跡, RZ025 土坑墓



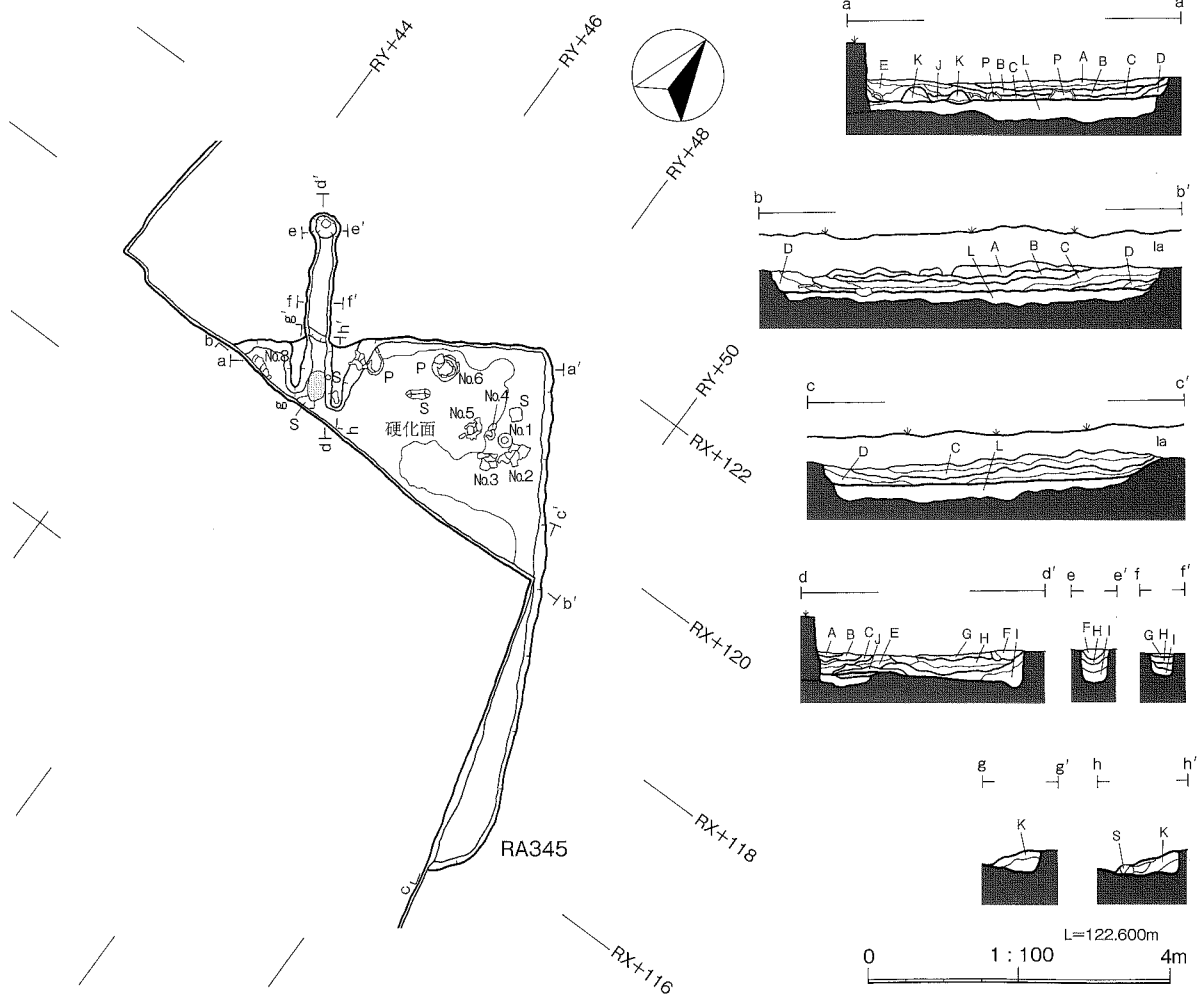
第46图 第25次調査A区 RA335・342・343 竪穴住居跡



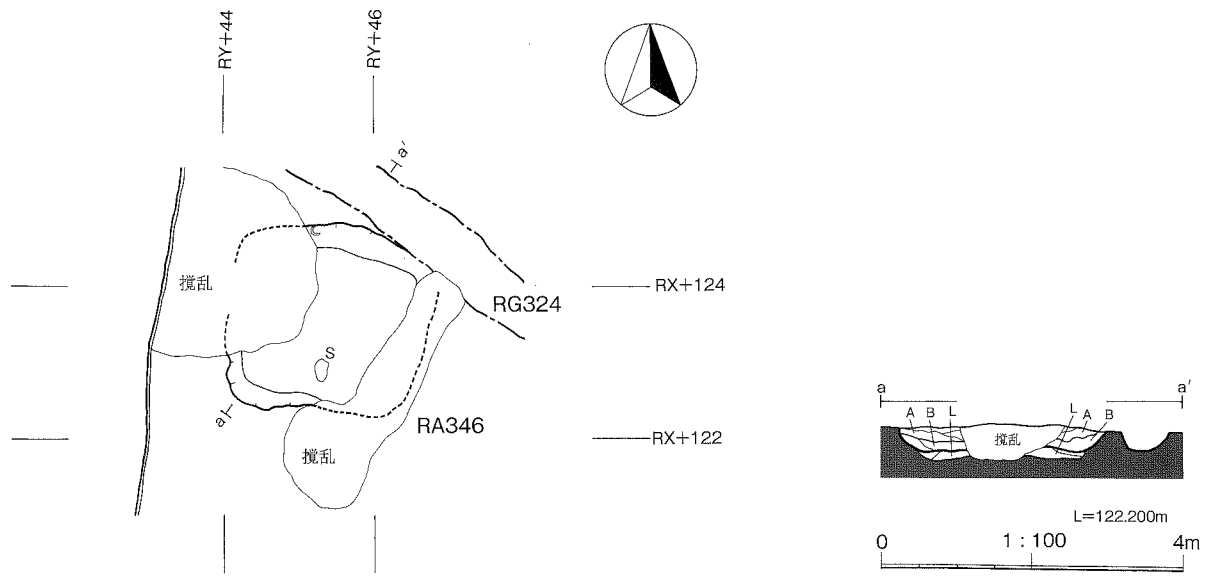
第47图 第25次調査A区 RA341 竪穴住居跡



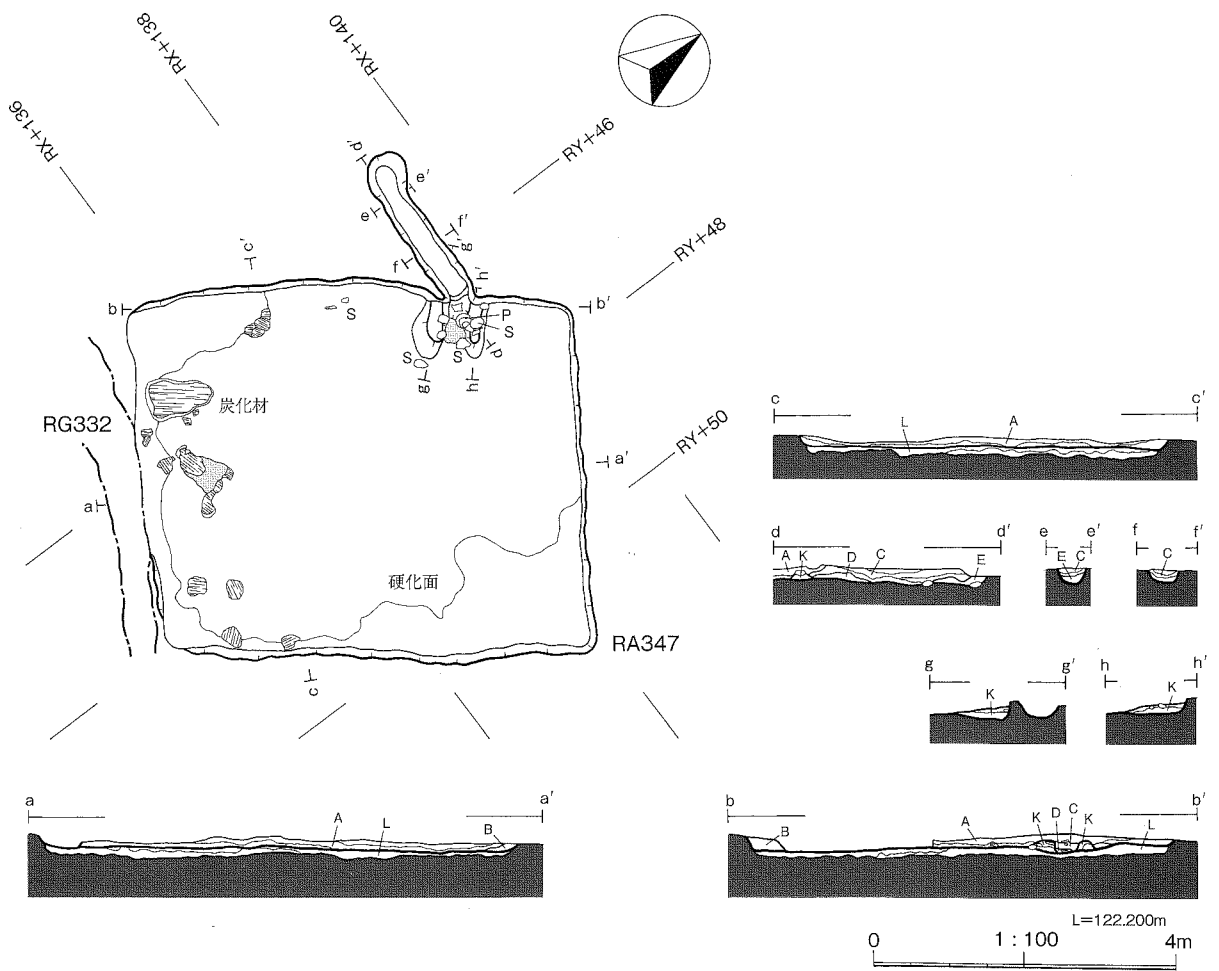
第48图 第25次調査A区 RA344 豎穴住居跡, RZ026 土坑墓



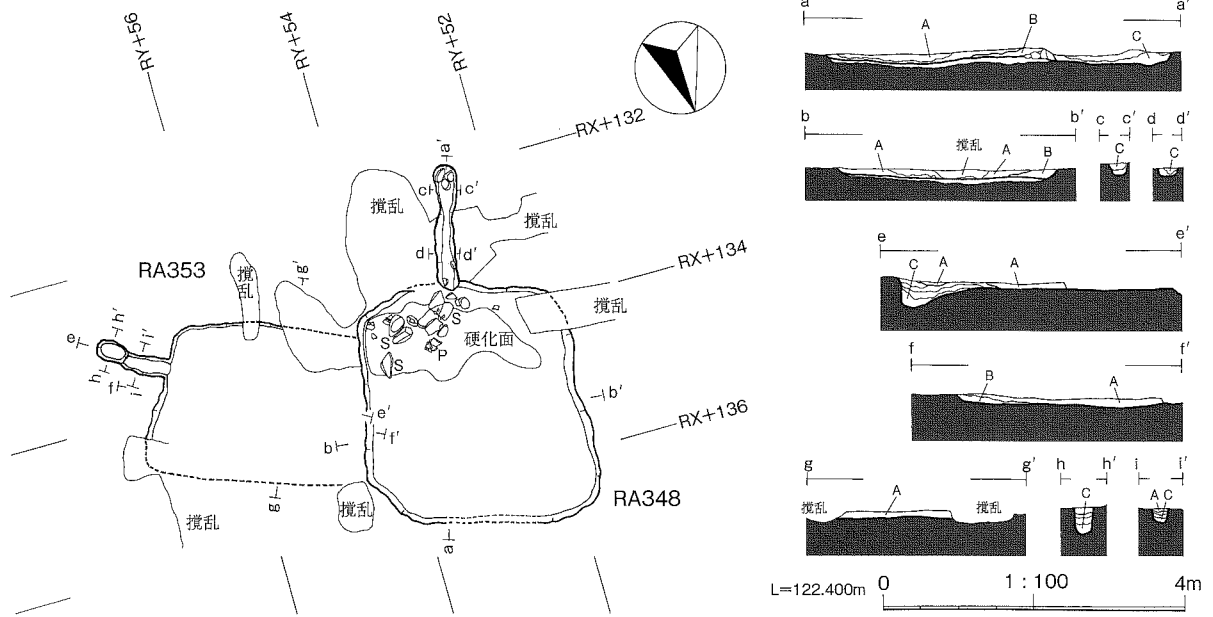
第49图 第25次調査A区 RA345 豎穴住居跡



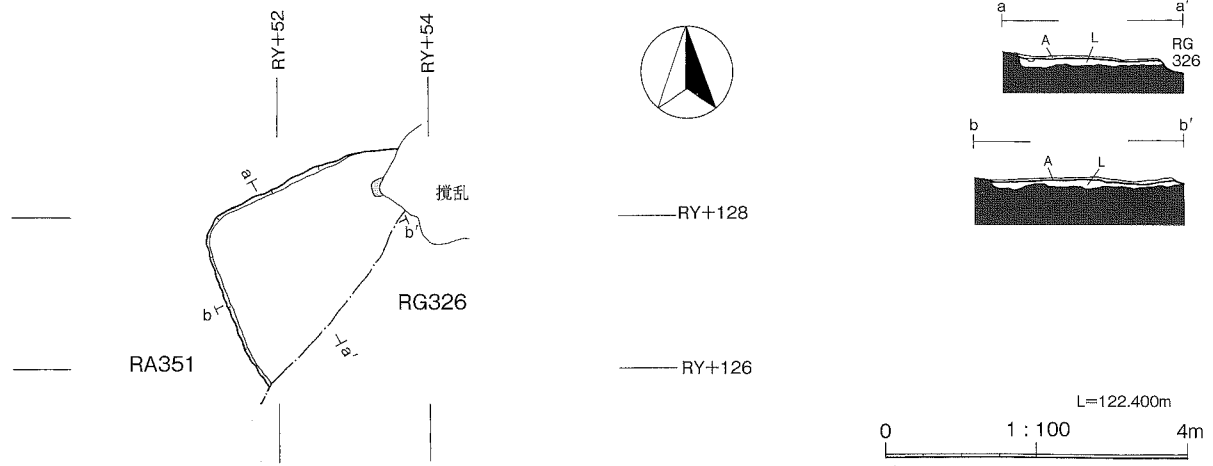
第 50 图 第 25 次調査 A 区 RA346 竖穴住居跡



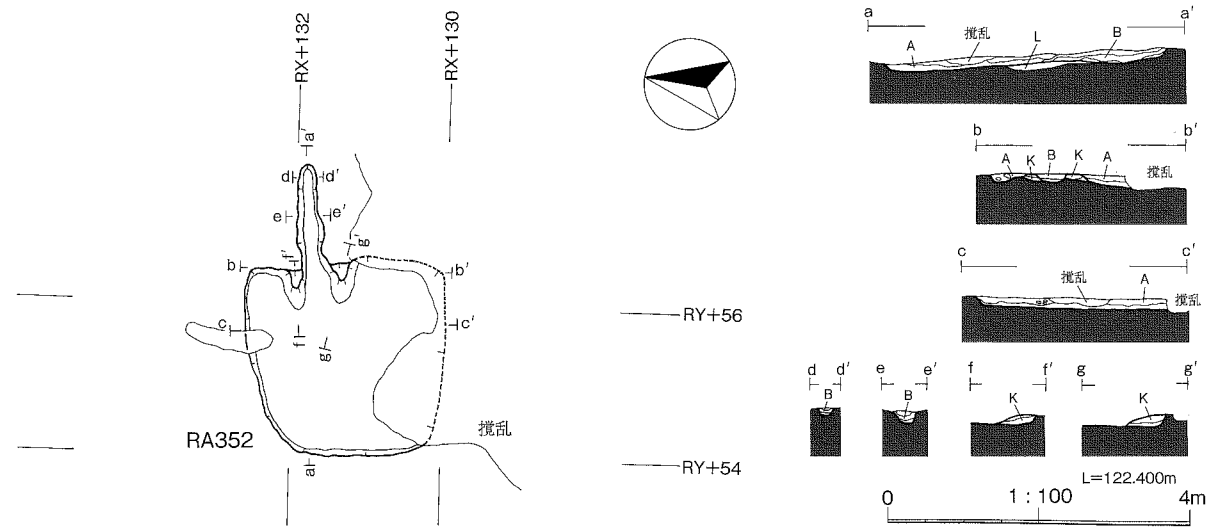
第 51 图 第 25 次調査 A 区 RA347 竖穴住居跡



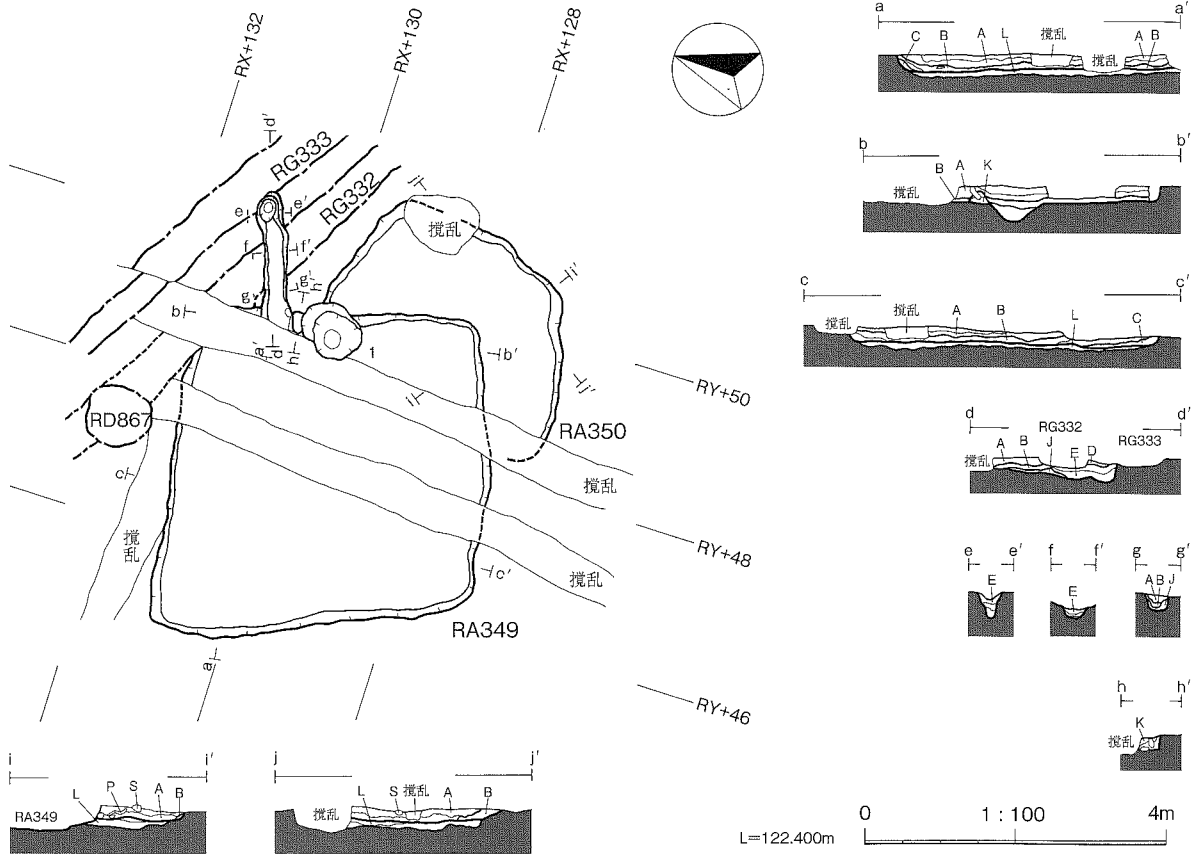
第 52 図 第 25 次調査 A 区 RA348・353 竪穴住居跡



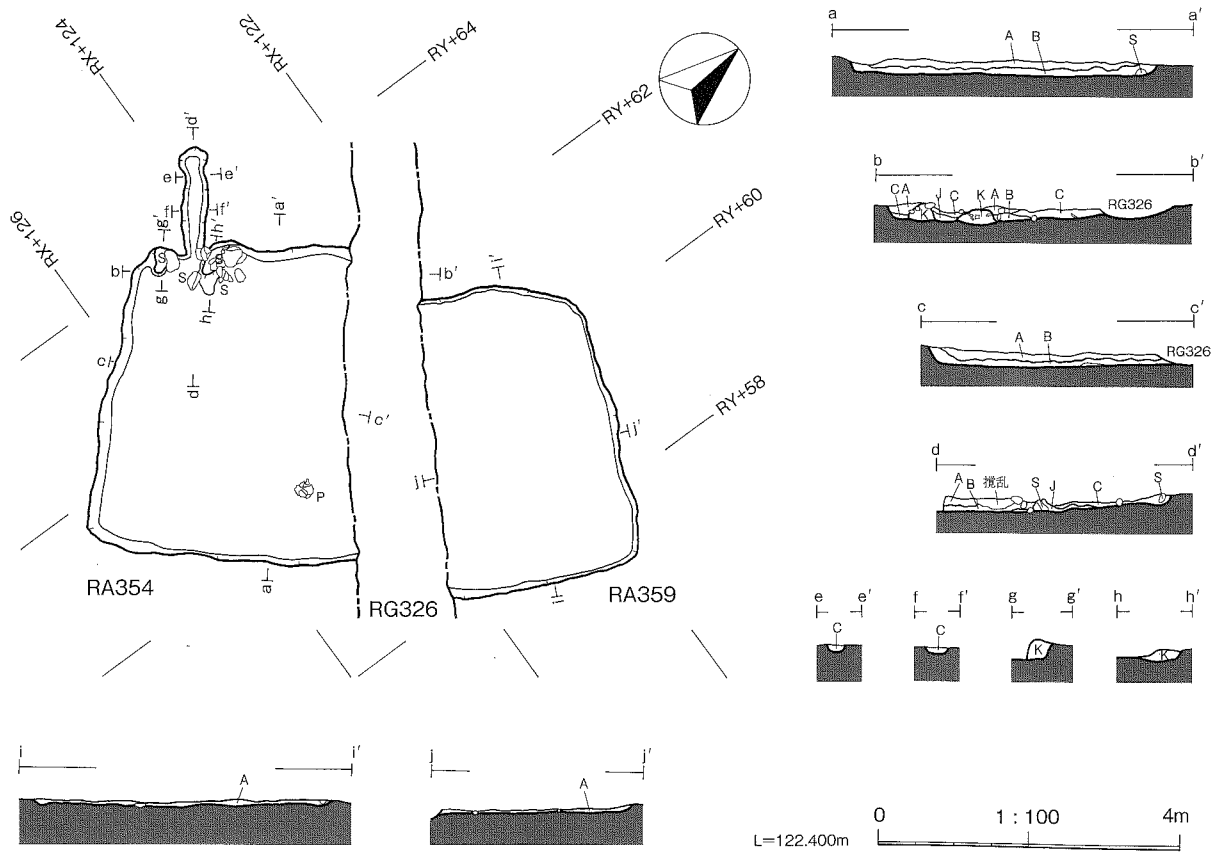
第 53 図 第 25 次調査 A 区 RA351 竪穴住居跡



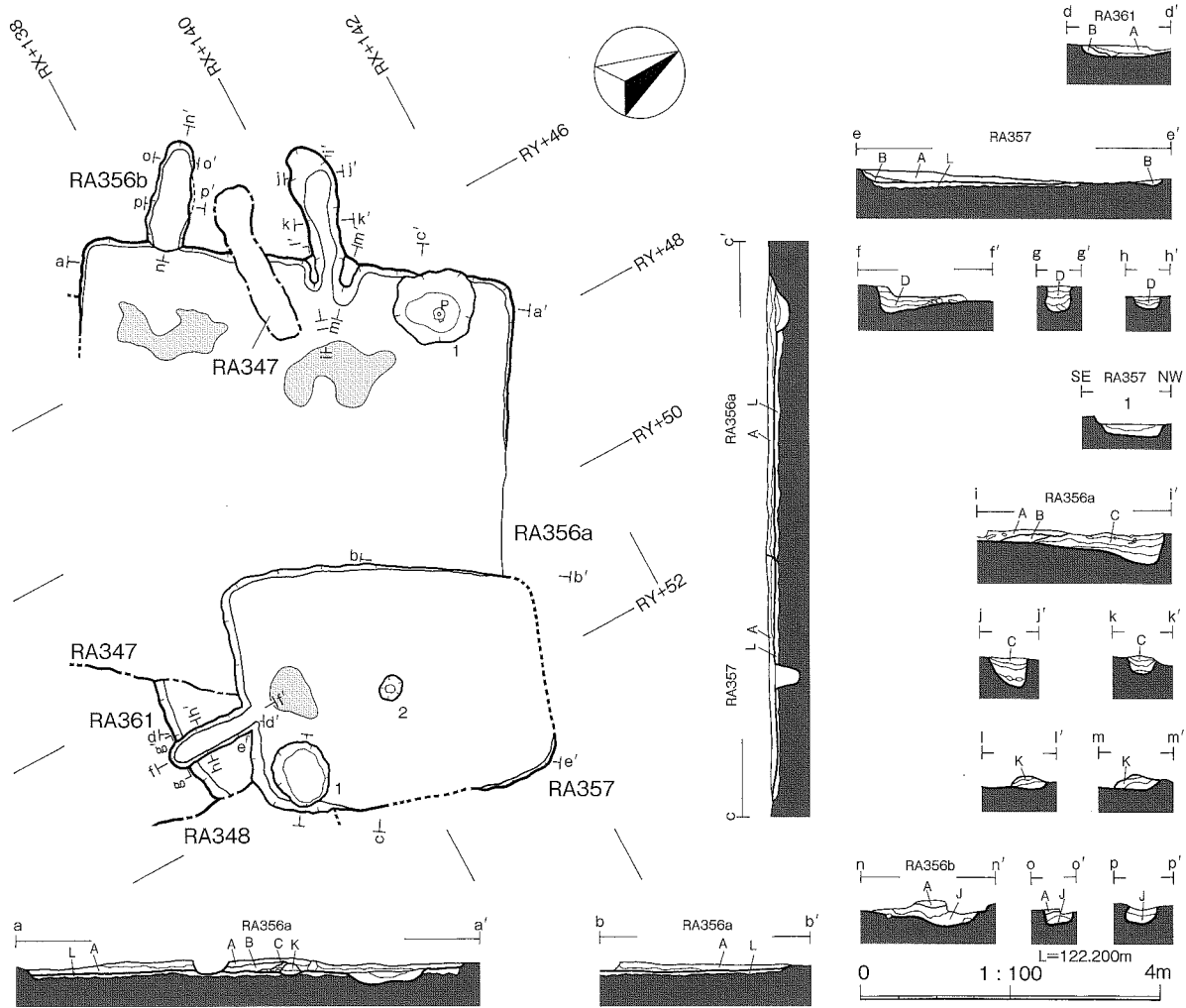
第 54 図 第 25 次調査 A 区 RA352 竪穴住居跡



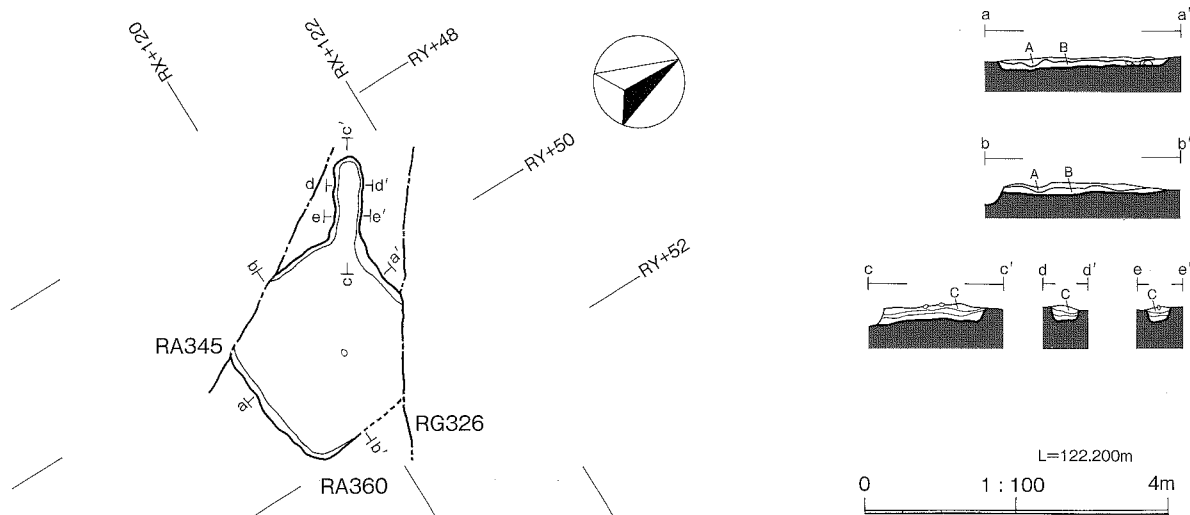
第 55 図 第 25 次調査A区 RA349・350 竪穴住居跡



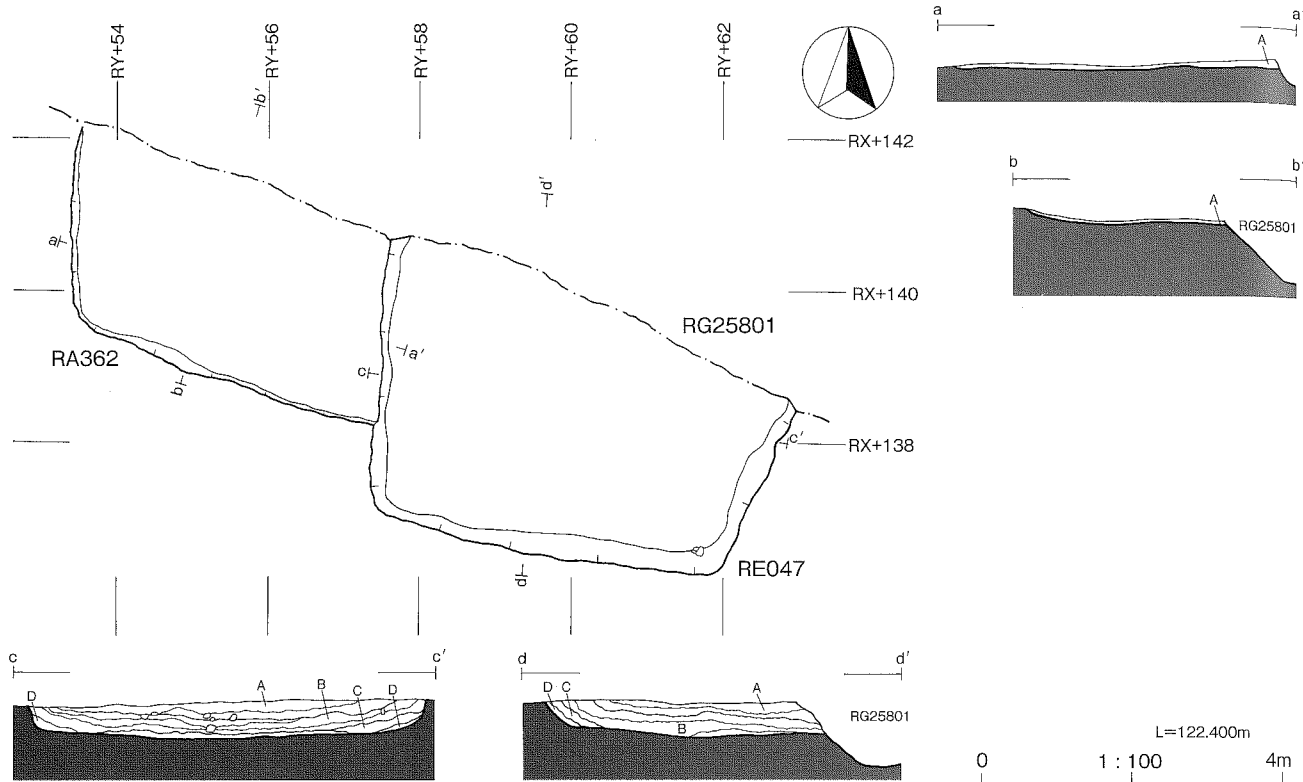
第 56 図 第 25 次調査A区 RA354・359 竪穴住居跡



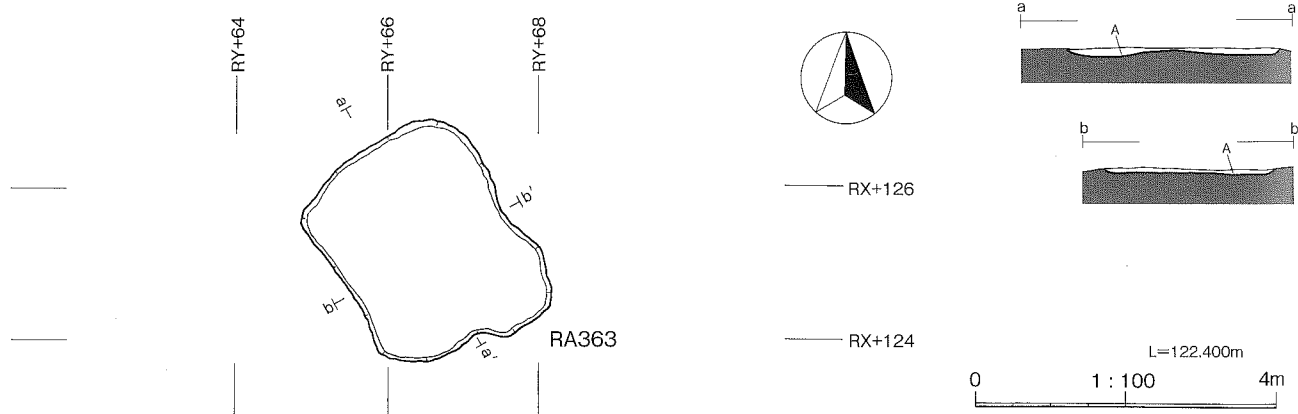
第 57 図 第 25 次調査 A 区 RA356a・b・357・361 竪穴住居跡



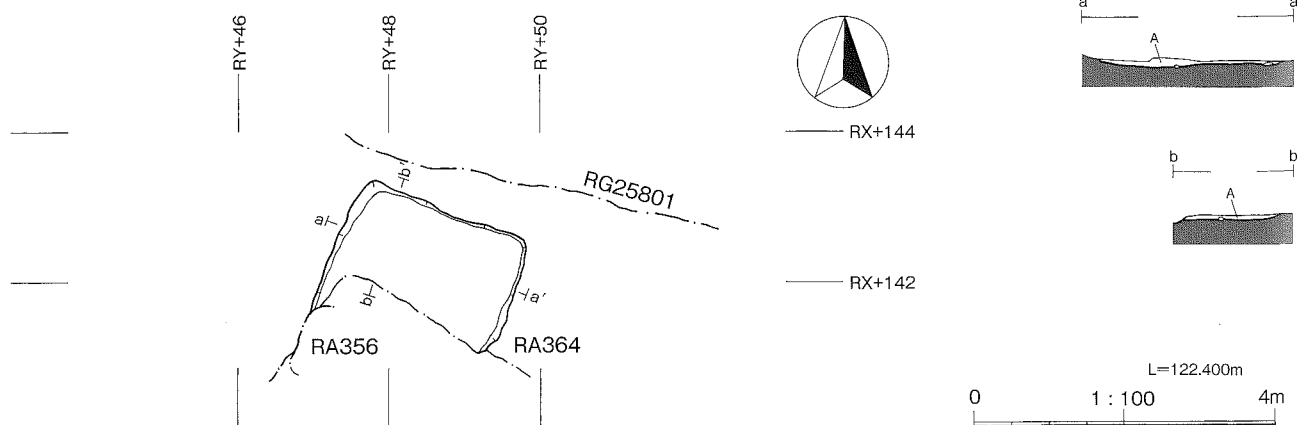
第 58 図 第 25 次調査 A 区 RA360 竪穴住居跡



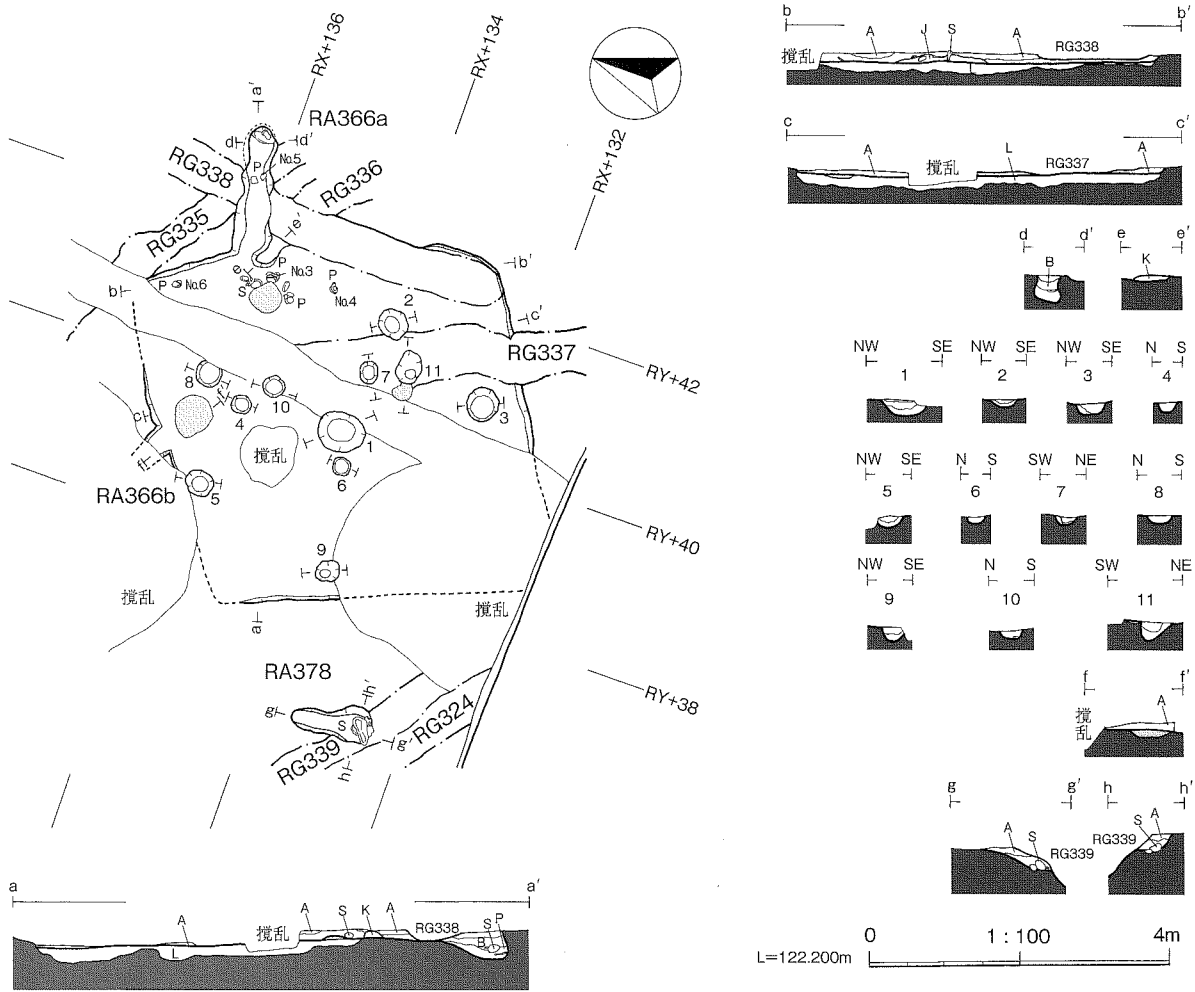
第59図 第25次調査A区 RA362 竪穴住居跡・RE047 竪穴状遺構



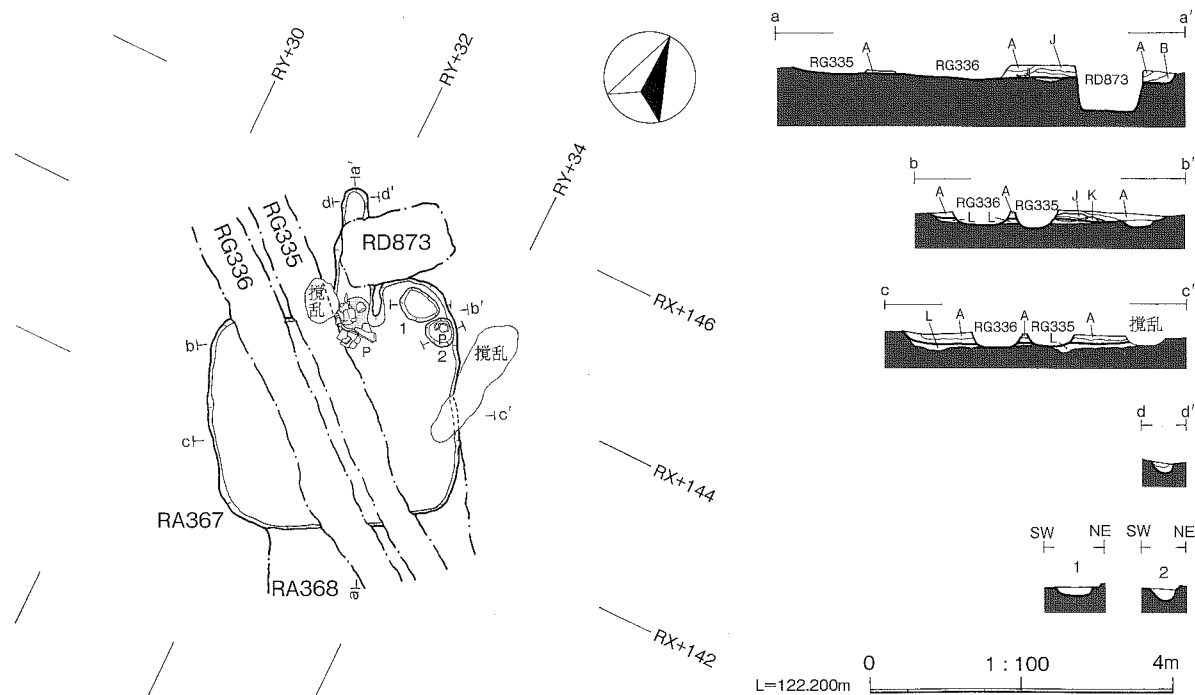
第60図 第25次調査A区 RA363 竪穴住居跡



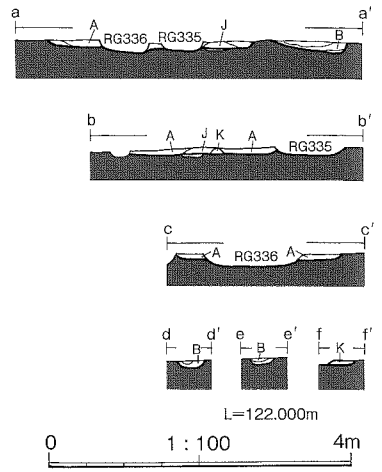
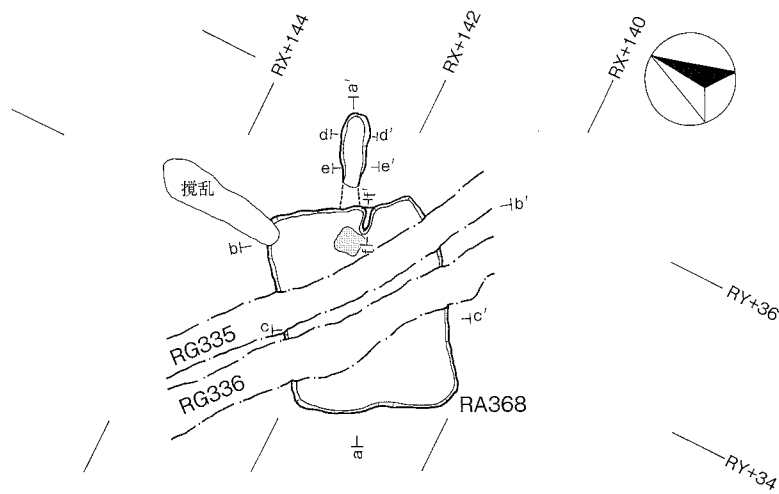
第61図 第25次調査A区 RA364 竪穴住居跡



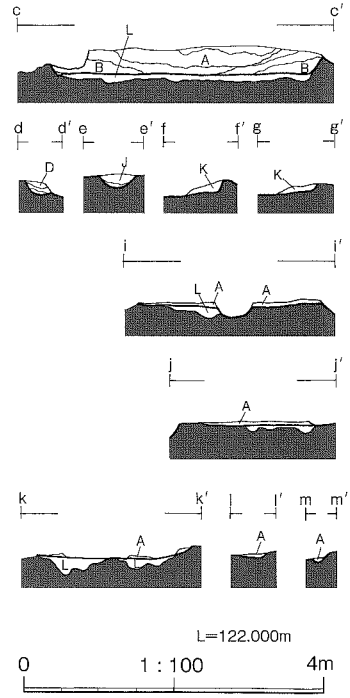
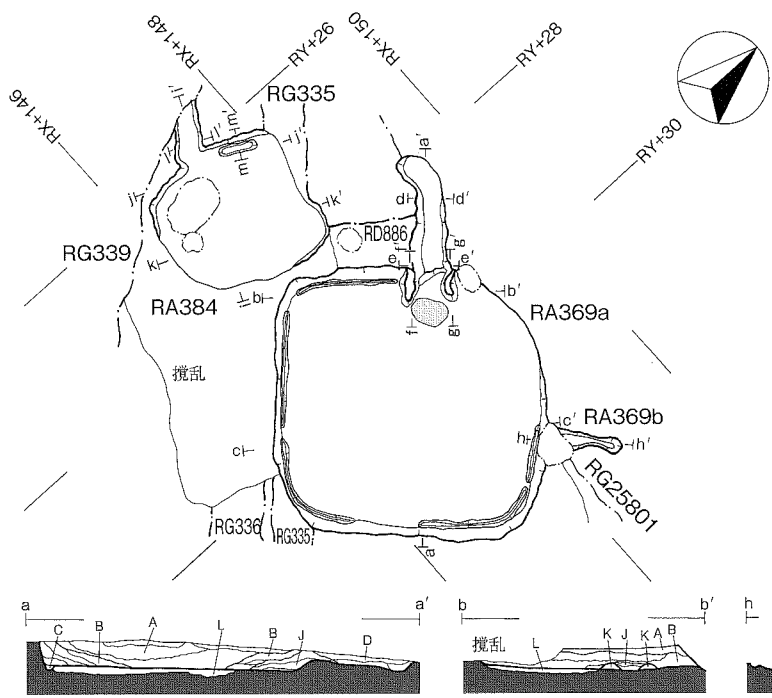
第 62 図 第 25 次調査 A 区 RA366a·b・378 竪穴住居跡



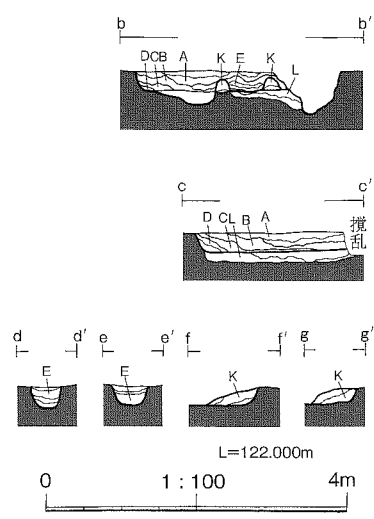
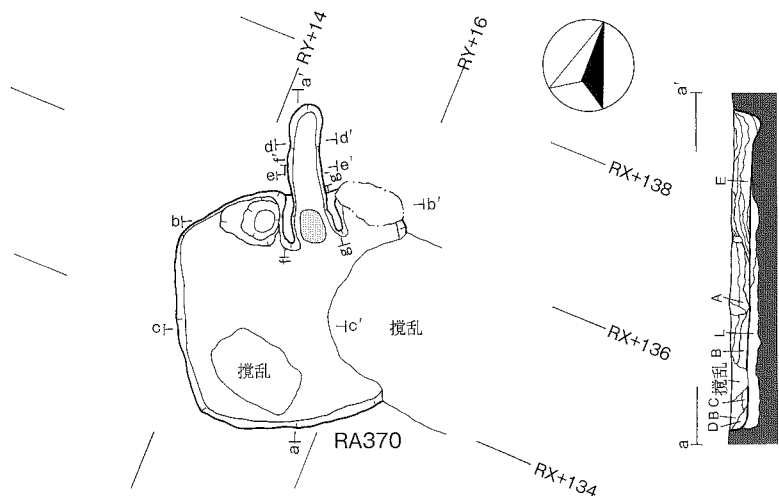
第 63 図 第 25 次調査 A 区 RA367 竪穴住居跡



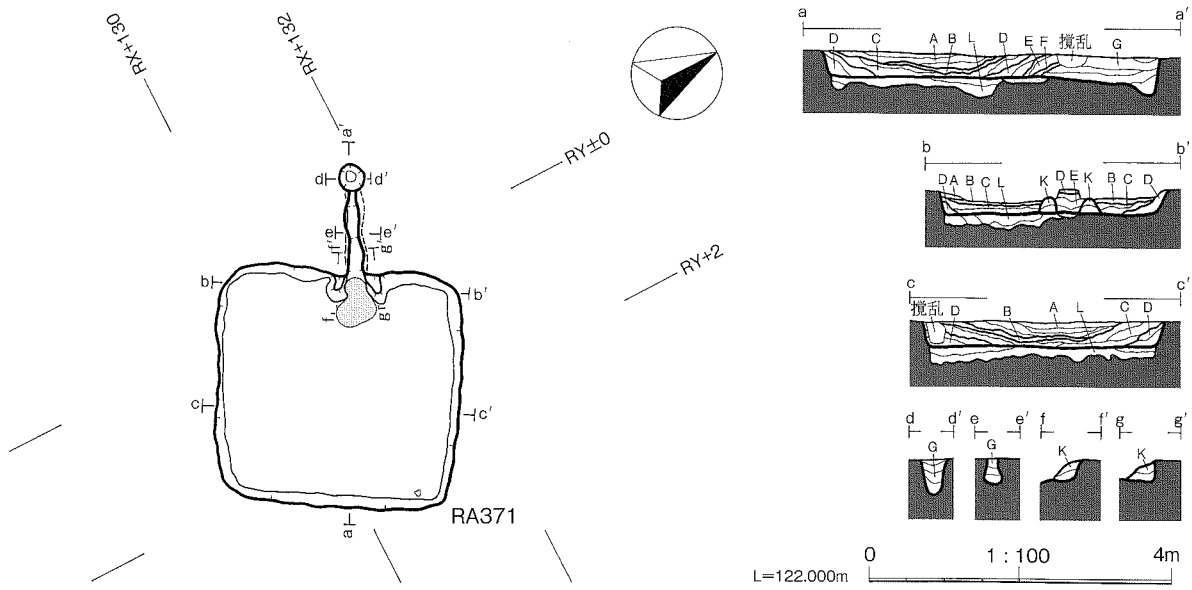
第 64 図 第 25 次調査 A 区 RA368 竪穴住居跡



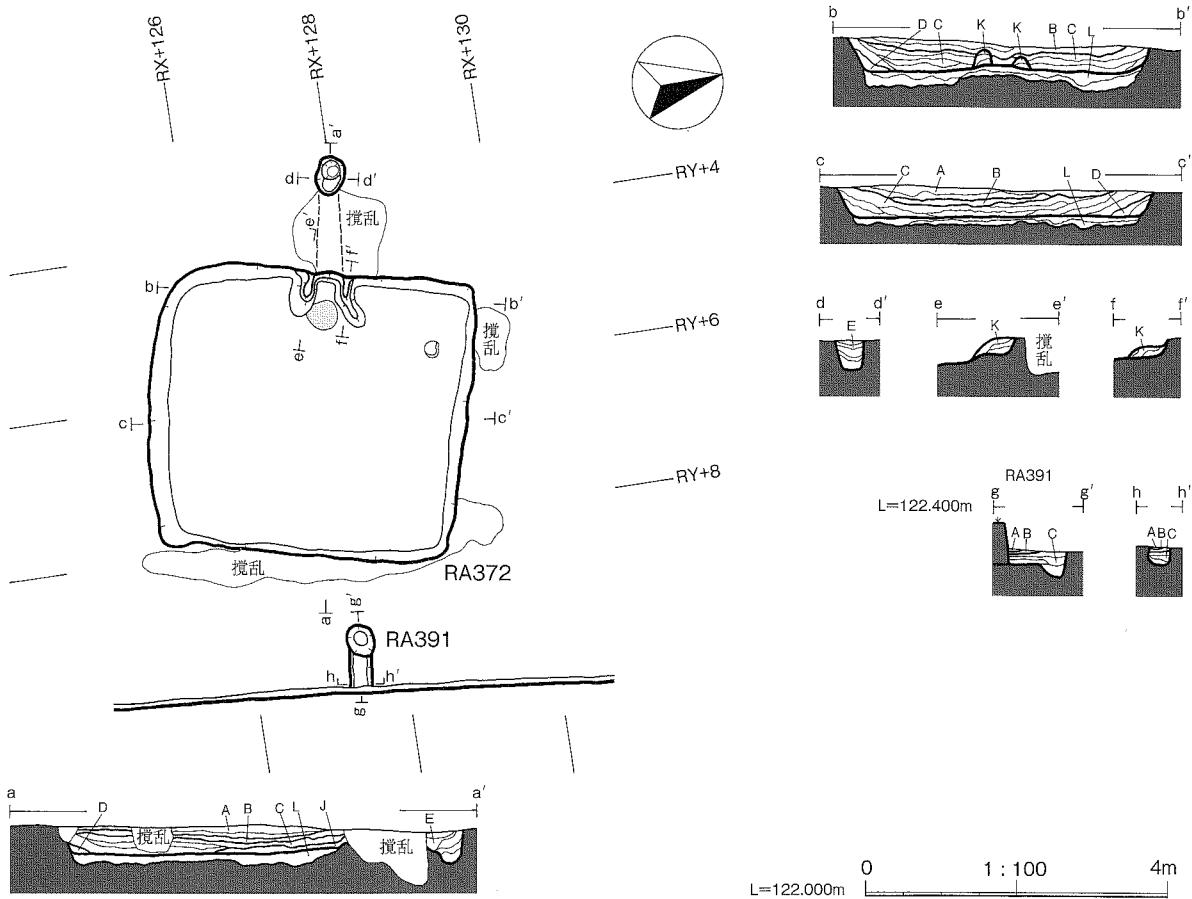
第 65 図 第 25 次調査 A 区 RA369a・b・384 竪穴住居跡



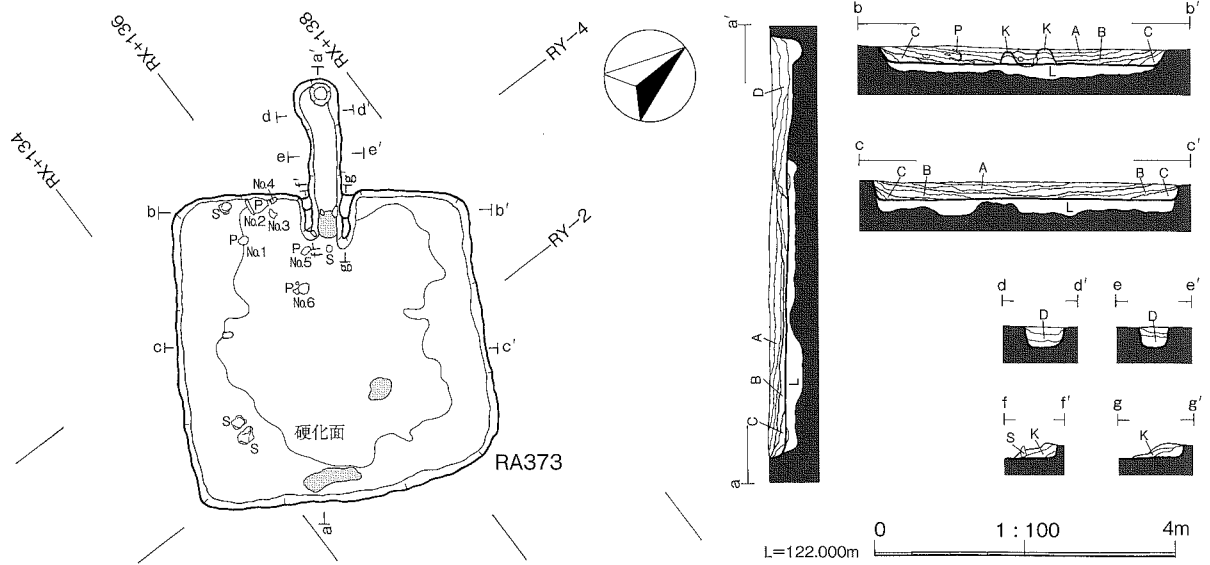
第 66 図 第 25 次調査 A 区 RA370 竪穴住居跡



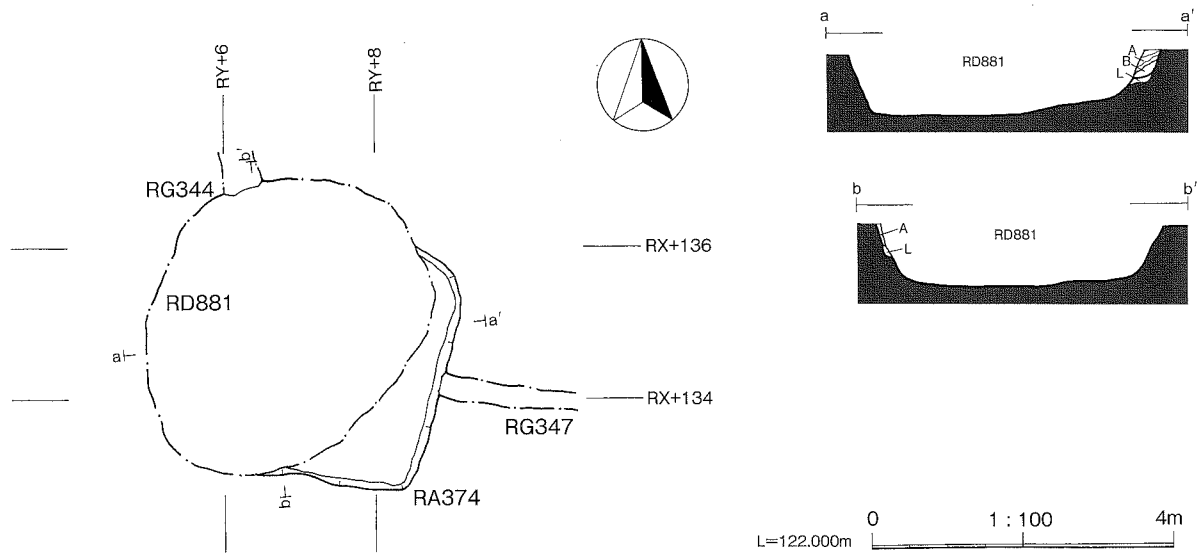
第 67 图 第 25 次調査 A 区 RA371 豎穴住居跡



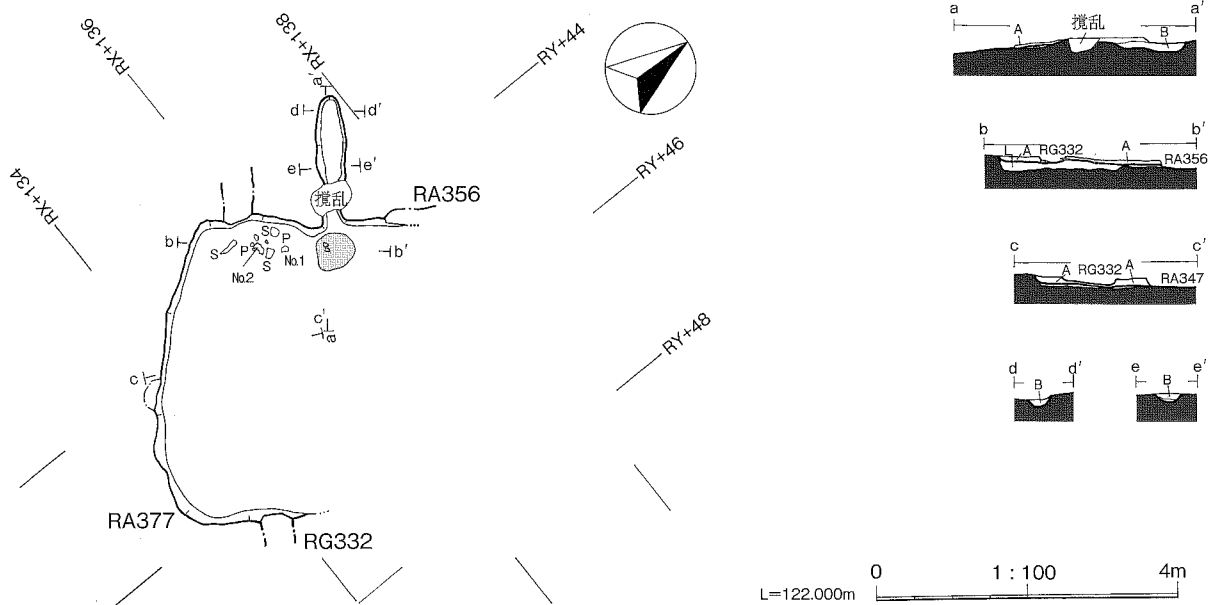
第 68 图 第 25 次調査 A 区 RA372・391 豎穴住居跡



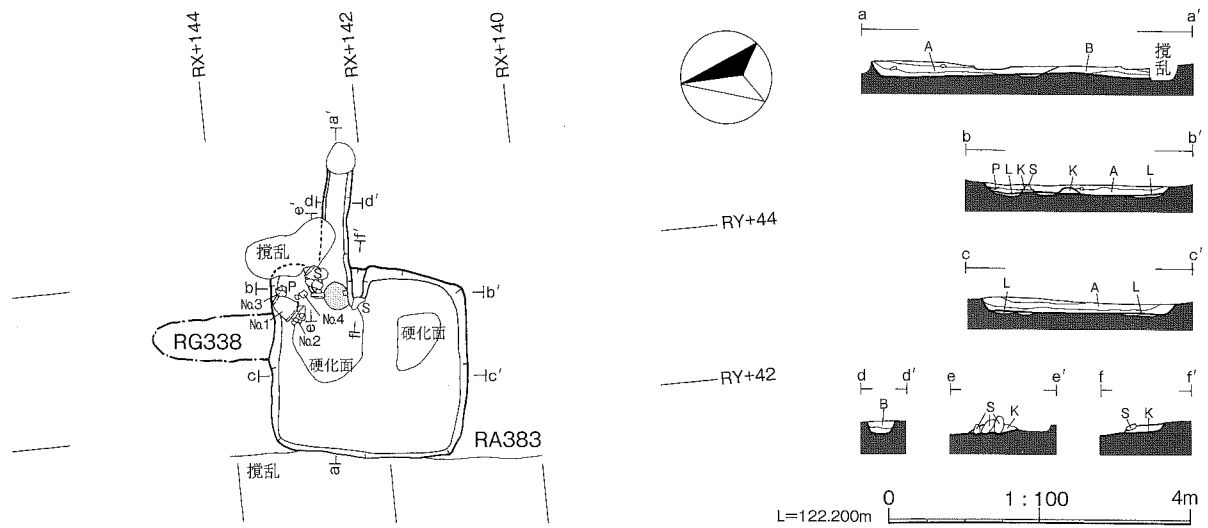
第 69 図 第 25 次調査 A 区 RA373 竪穴住居跡



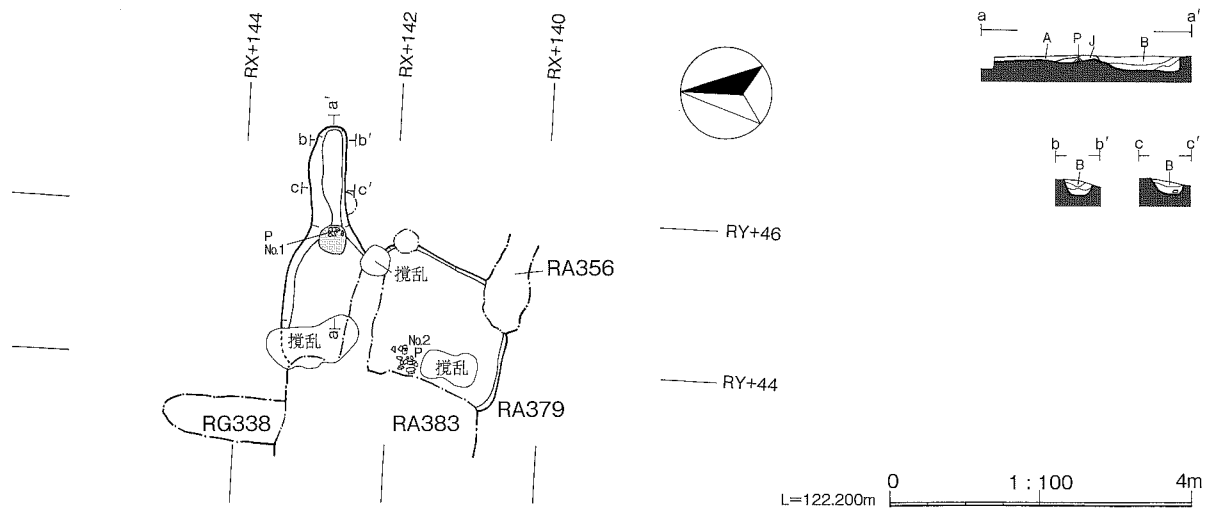
第 70 図 第 25 次調査 A 区 RA374 竪穴住居跡



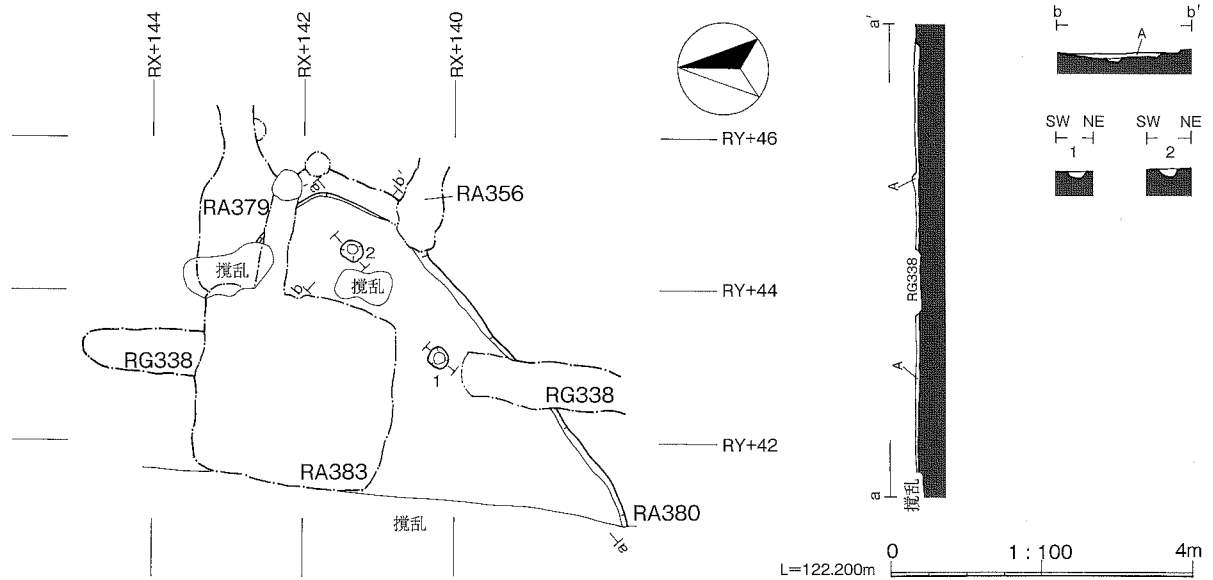
第 71 図 第 25 次調査 A 区 RA377 竪穴住居跡



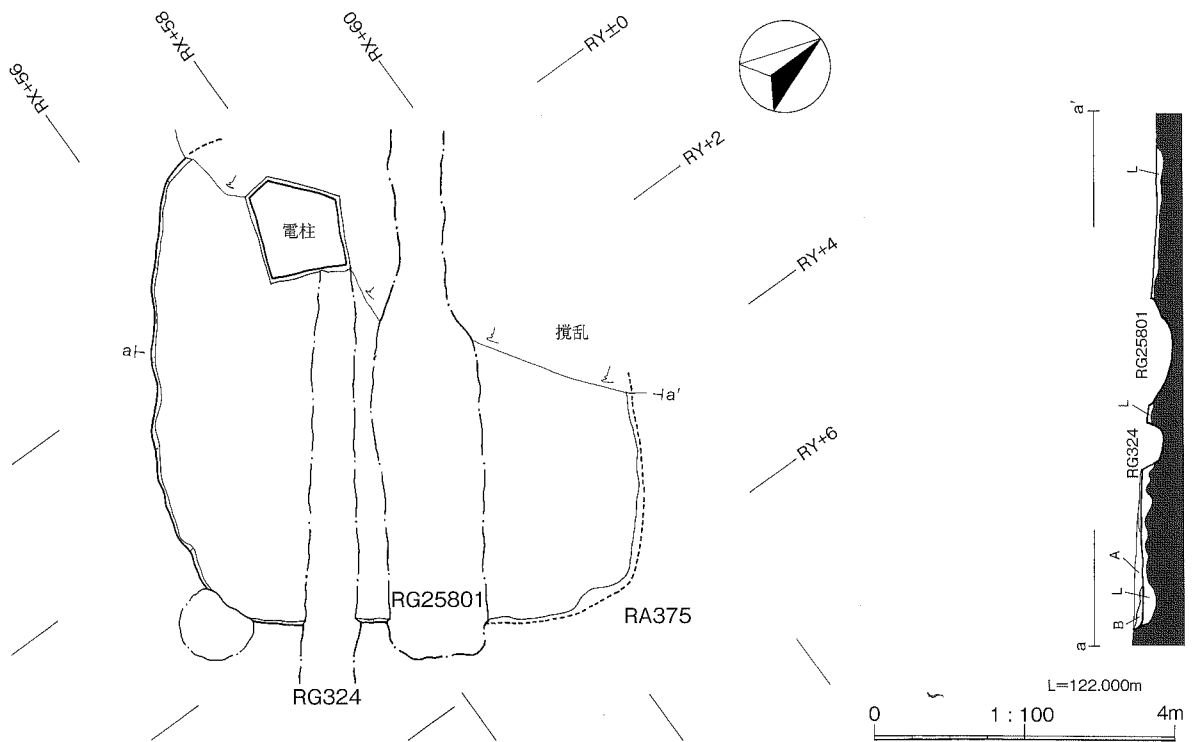
第72図 第25次調査A区 RA383 竪穴住居跡



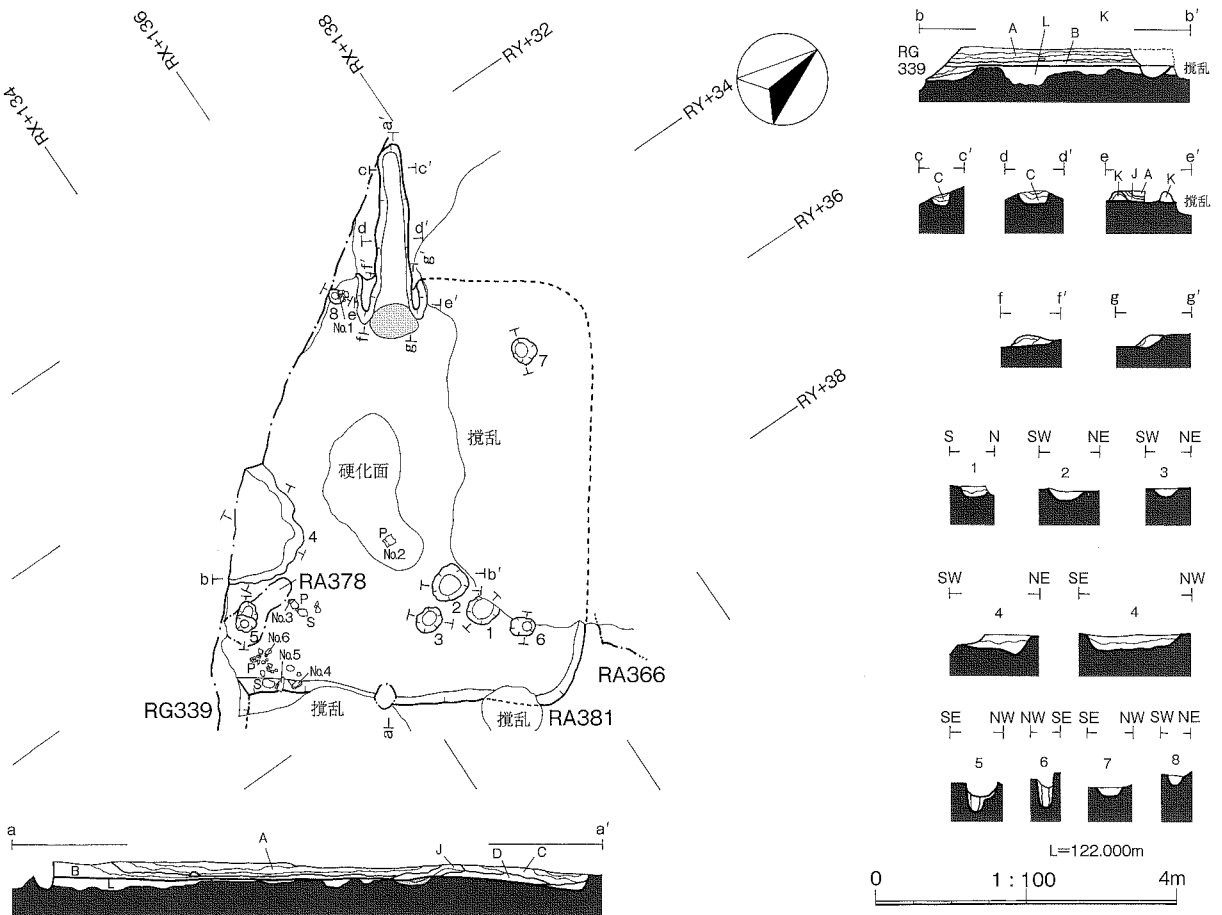
第73図 第25次調査A区 RA379 竪穴住居跡



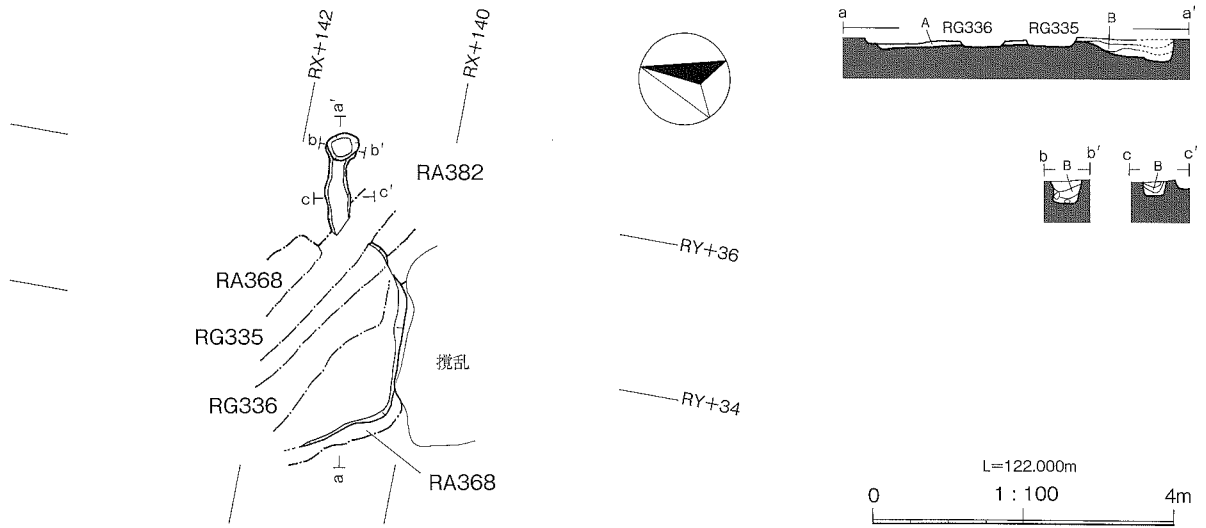
第74図 第25次調査A区 RA380 竪穴住居跡



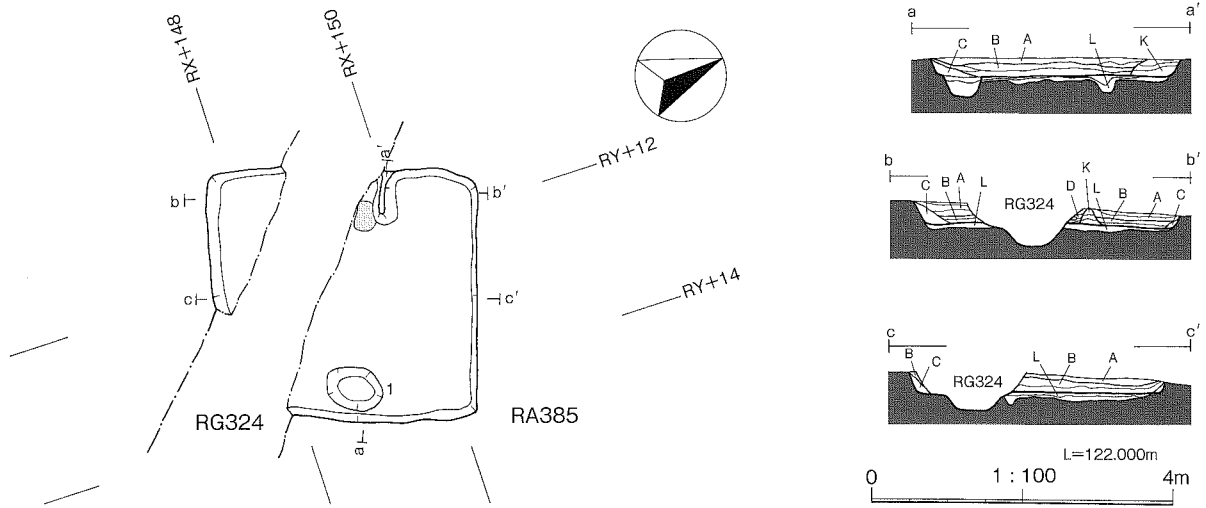
第75図 第25次調査A区 RA375 竪穴住居跡



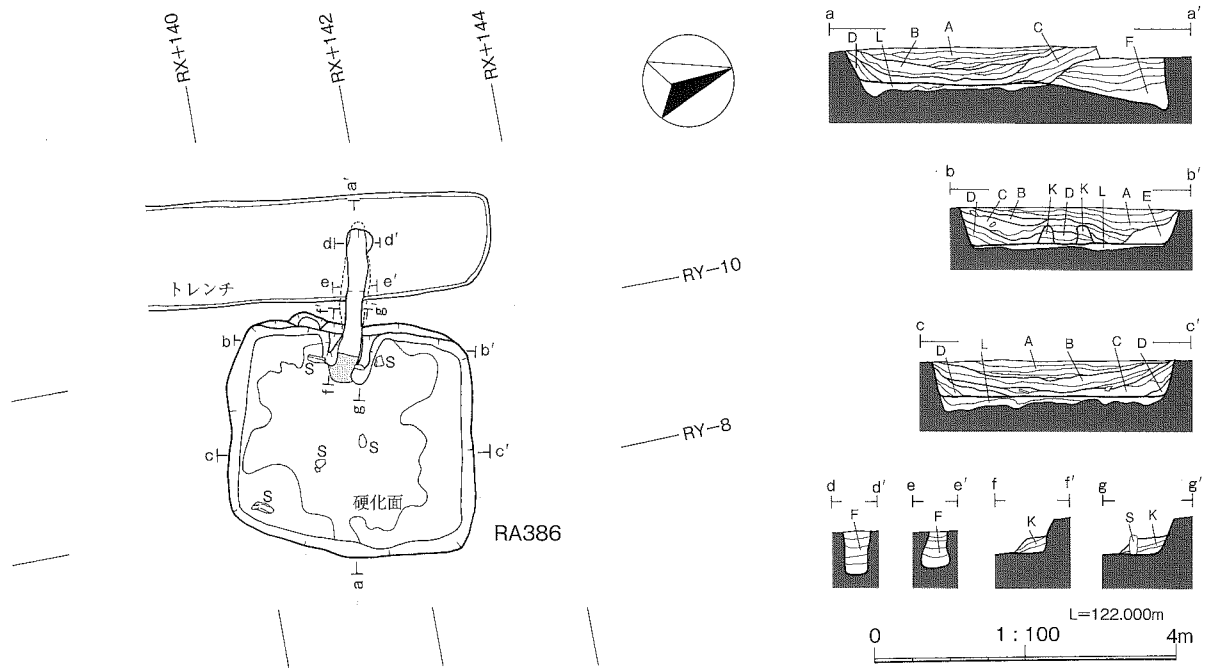
第76図 第25次調査A区 RA381 竪穴住居跡



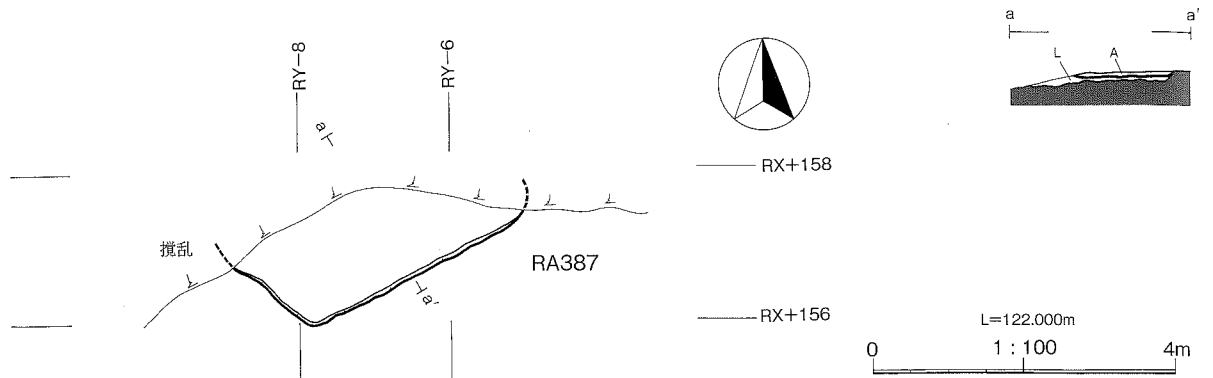
第77図 第25次調査A区 RA382 竪穴住居跡



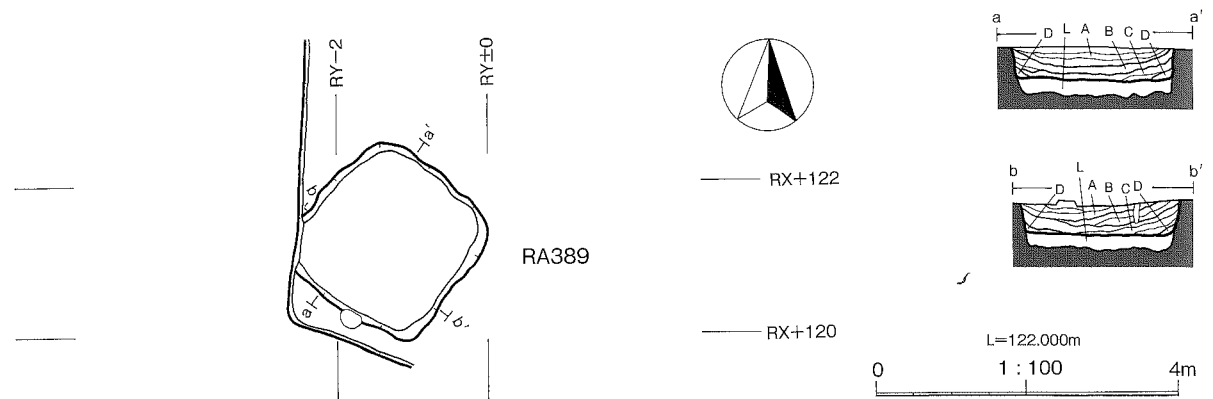
第78図 第25次調査A区 RA385 竪穴住居跡



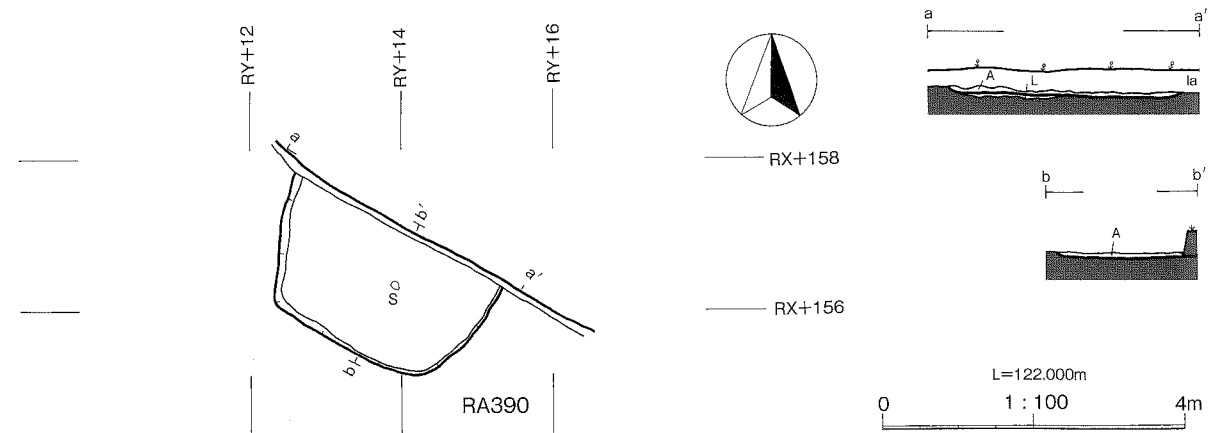
第79図 第25次調査A区 RA386 竪穴住居跡



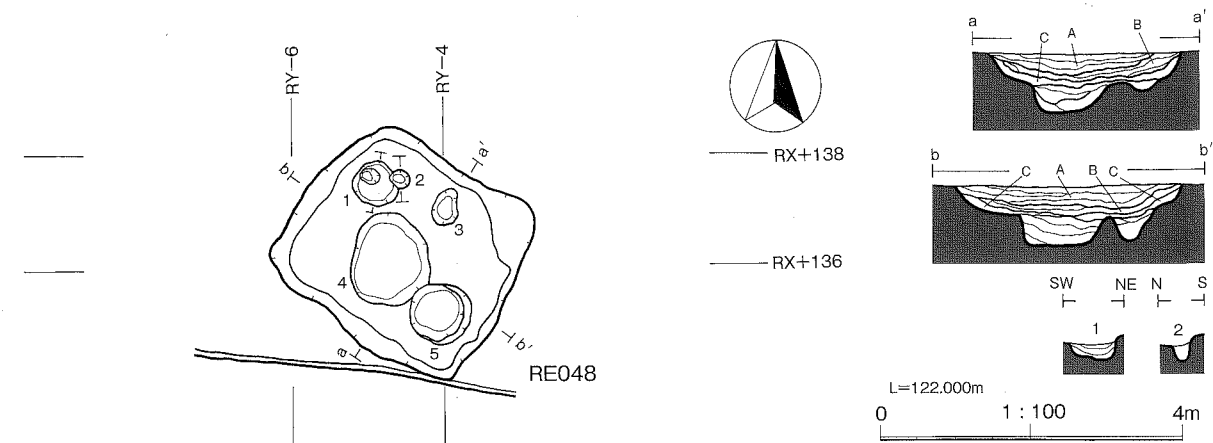
第 80 图 第 25 次調査 A 区 RA387 竖穴住居跡



第 81 图 第 25 次調査 A 区 RA389 竖穴住居跡



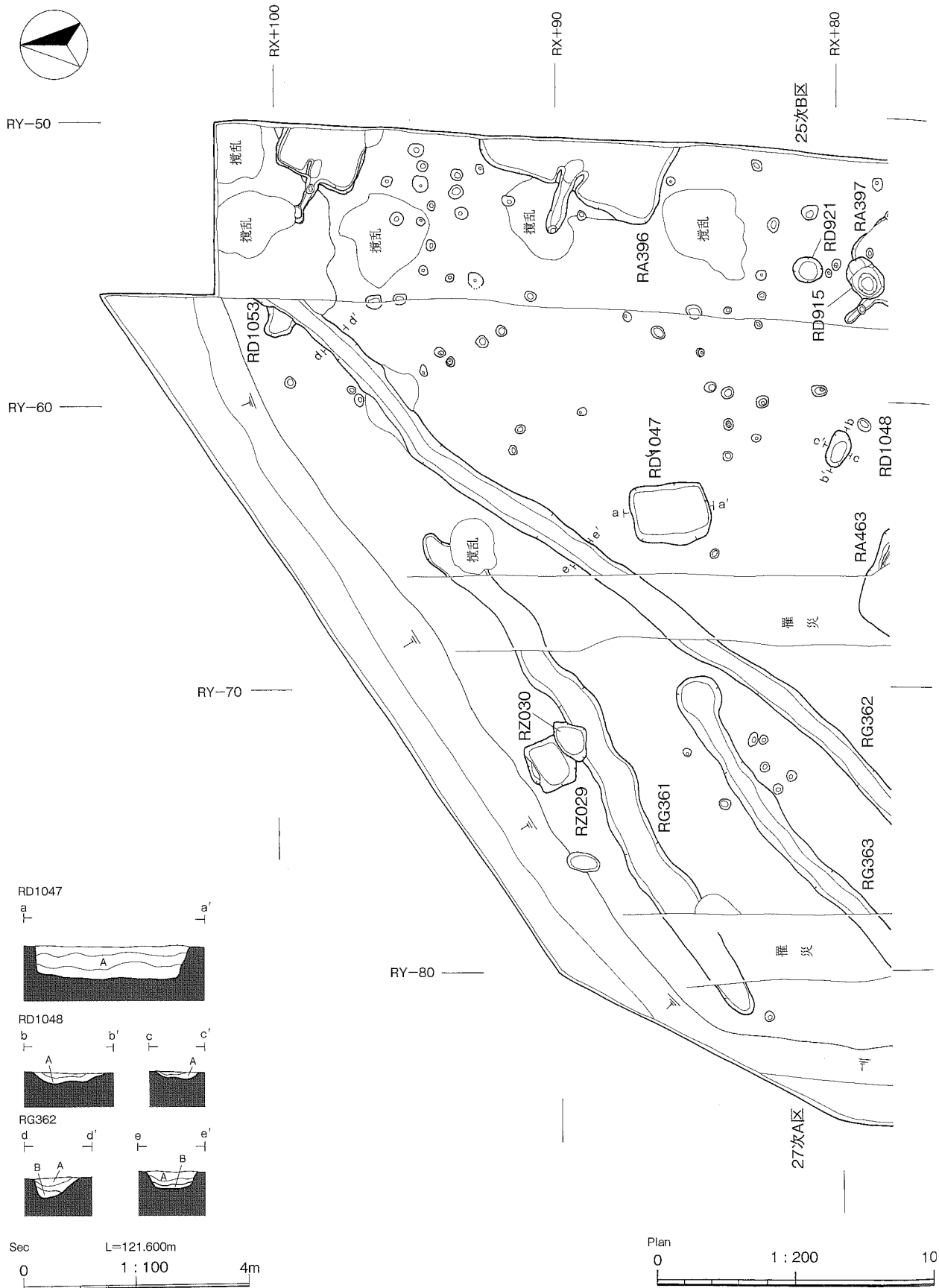
第 82 图 第 25 次調査 A 区 RA390 竖穴住居跡



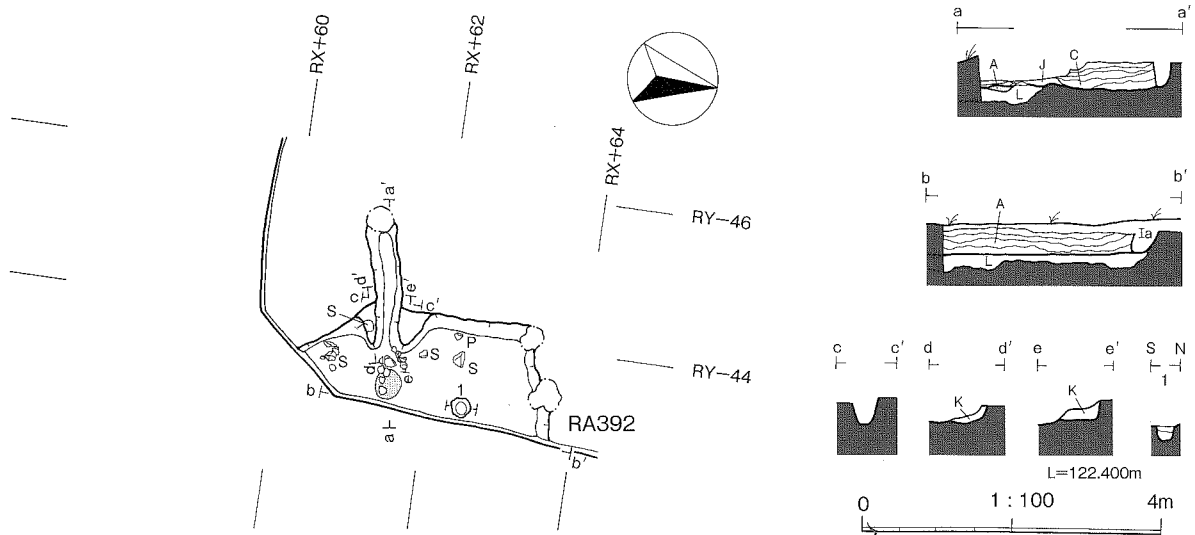
第 83 图 第 25 次調査 A 区 RE048 竖穴状遺構



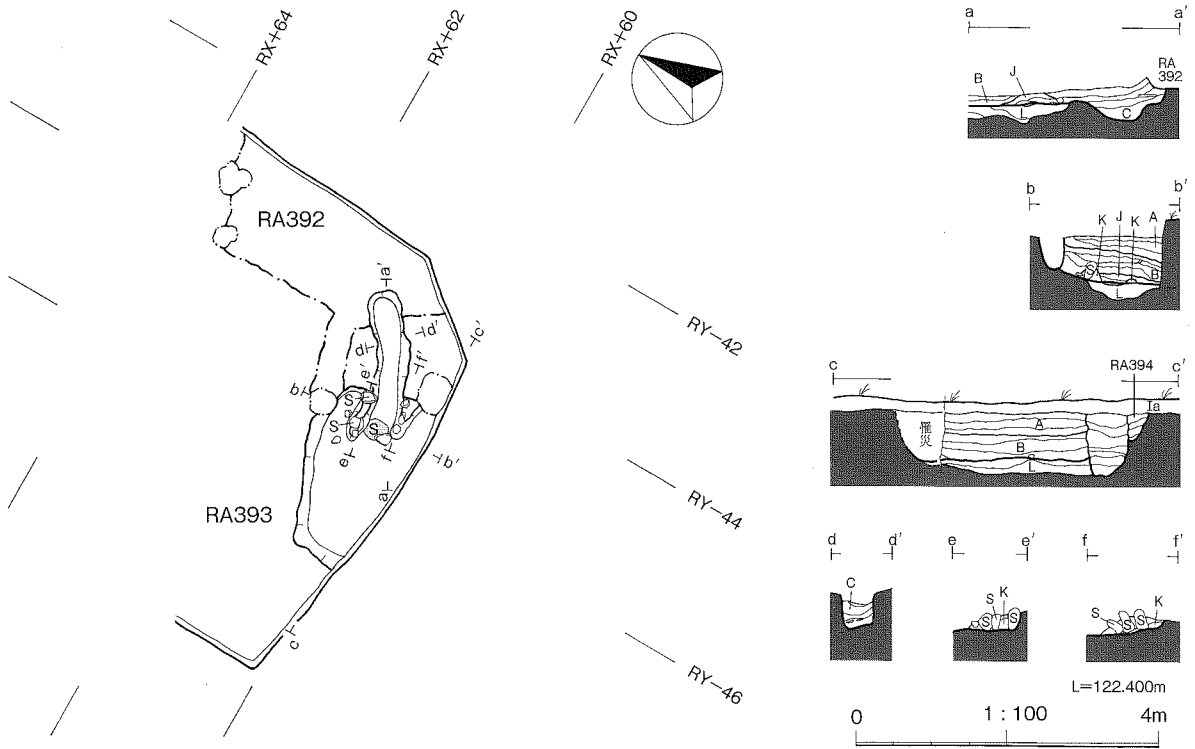
第84図 第25次調査B区・第27次調査A区全体図



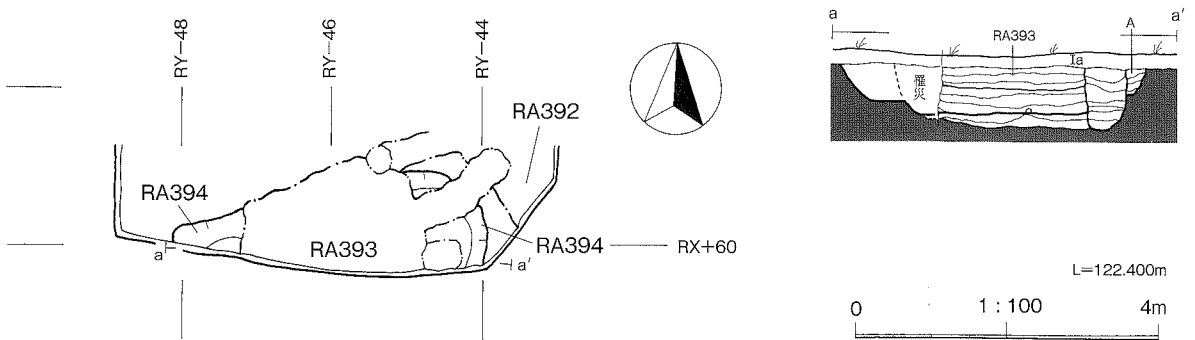
第 85 図 第 25 次調査 B 区・第 27 次調査 A 区北半部全体図



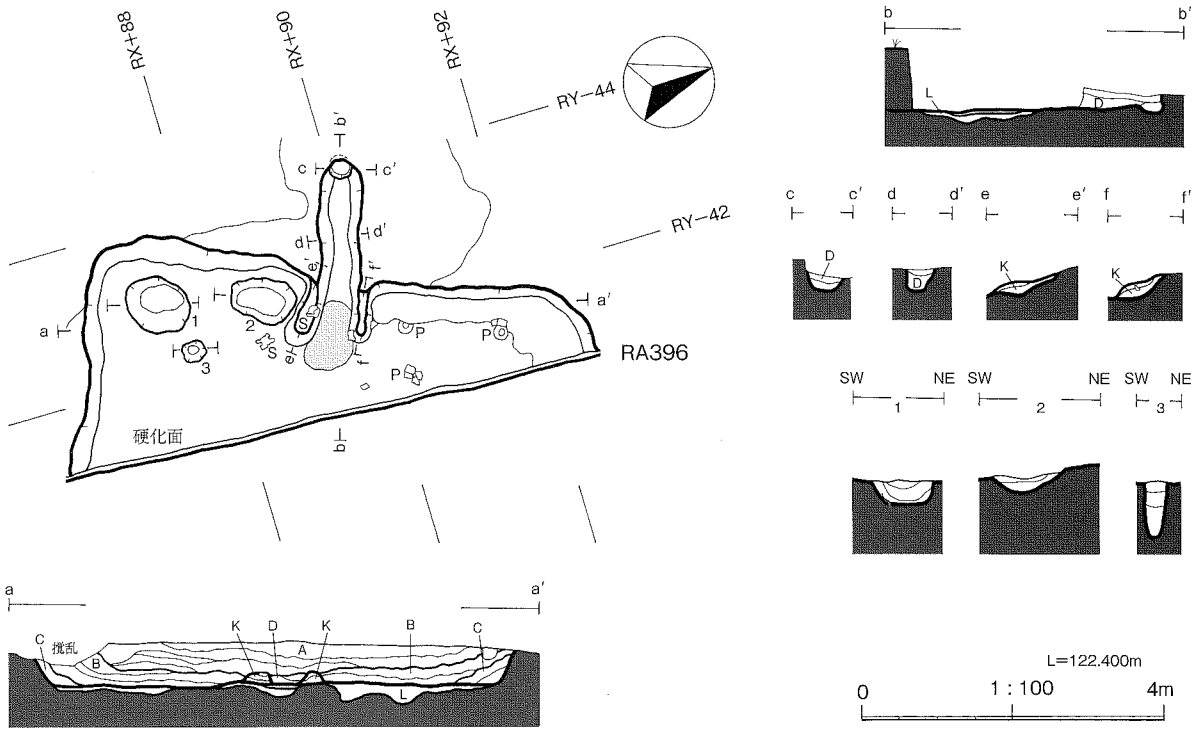
第 87 図 第 25 次調査 B 区 RA392 竪穴住居跡



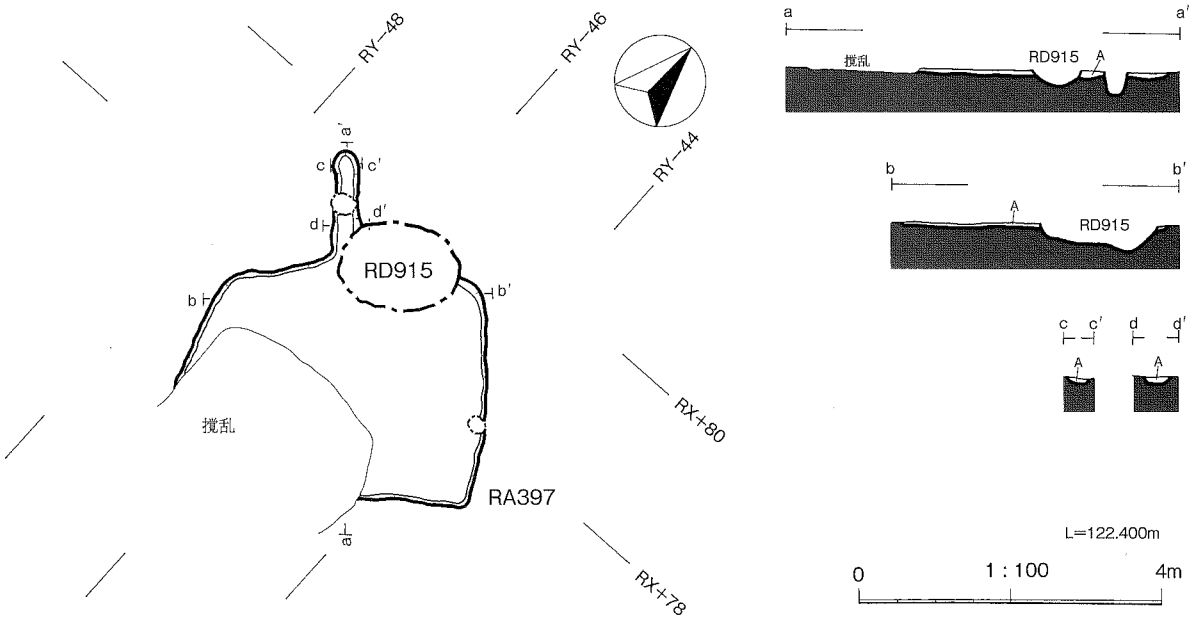
第 88 図 第 25 次調査 B 区 RA393 竪穴住居跡



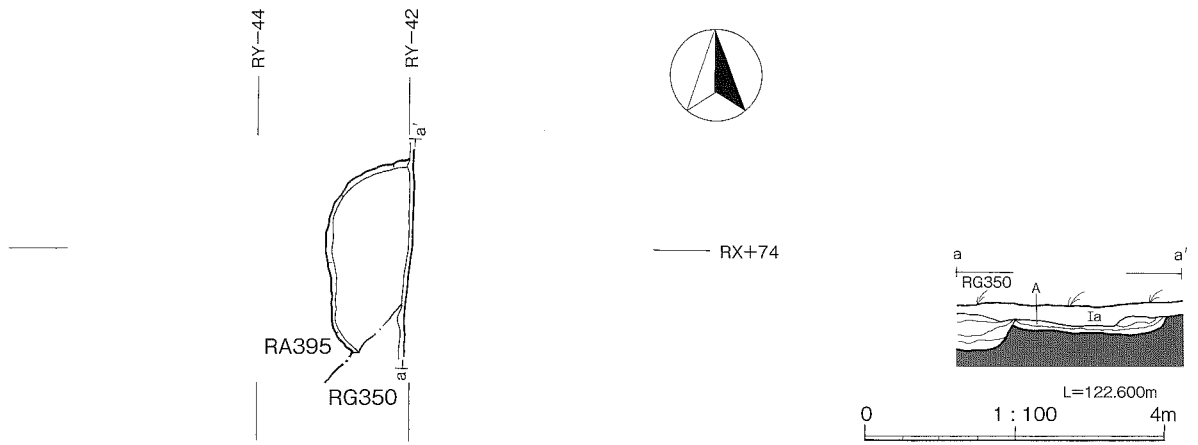
第 89 図 第 25 次調査 B 区 RA394 竪穴住居跡



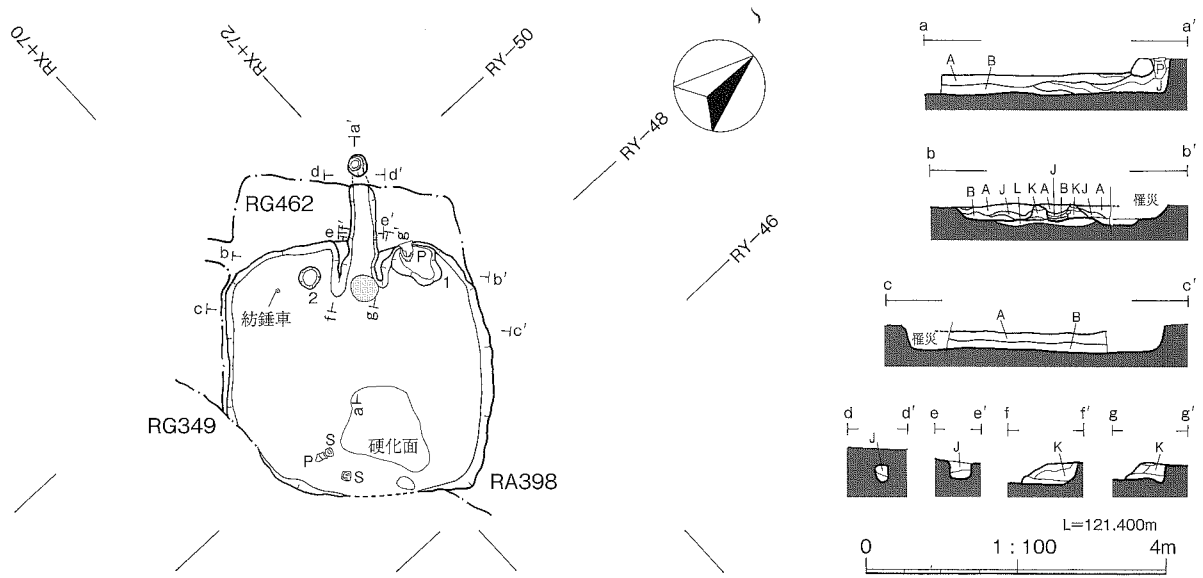
第90图 第25次調査B区 RA396 竪穴住居跡



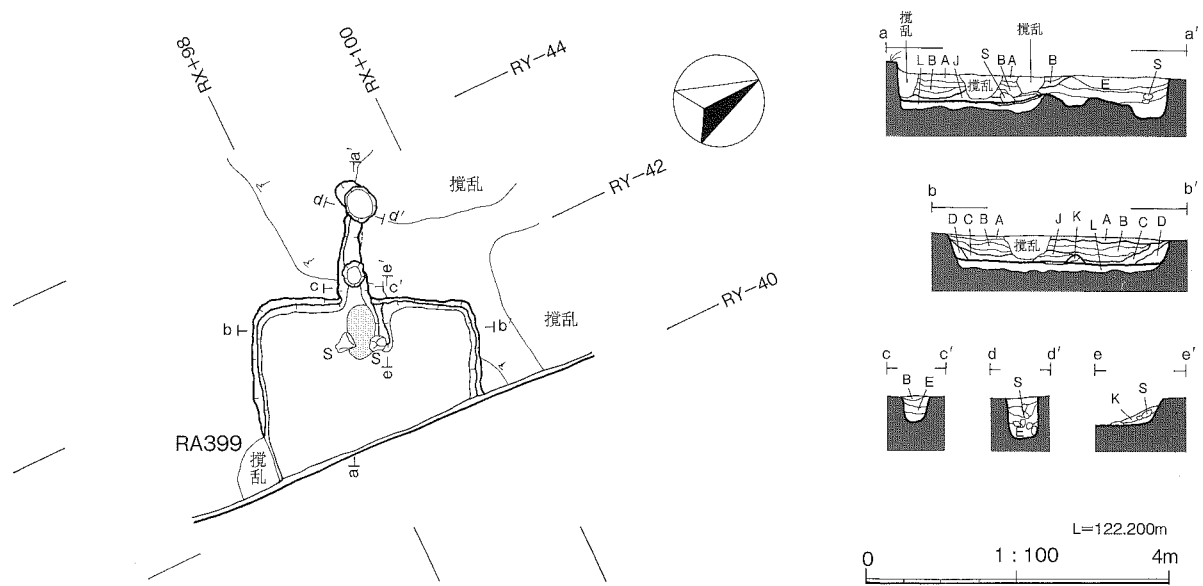
第91图 第25次調査B区 RA397 竪穴住居跡



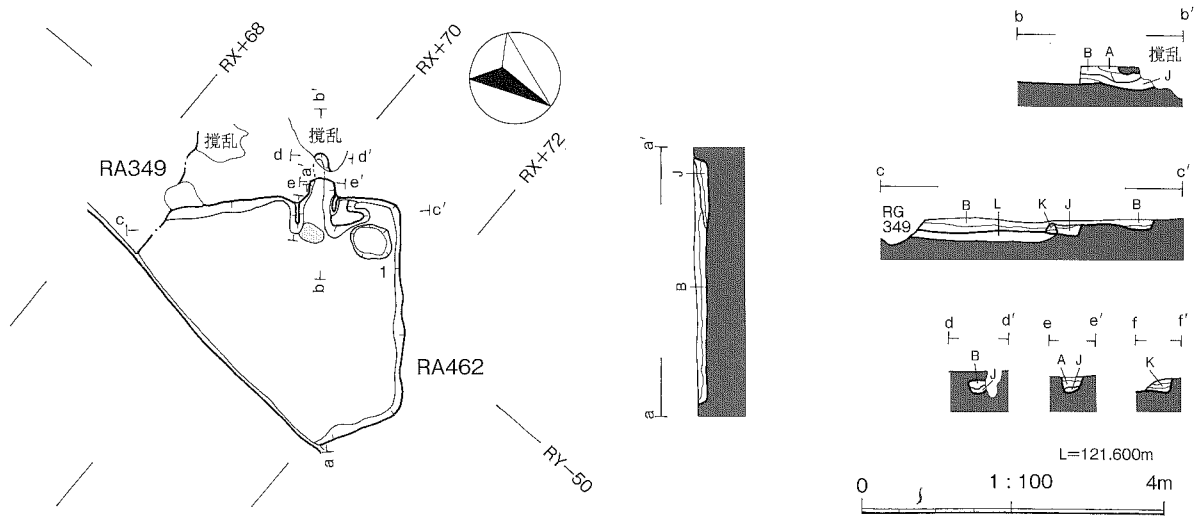
第92図 第25次調査B区 RA395 竪穴住居跡



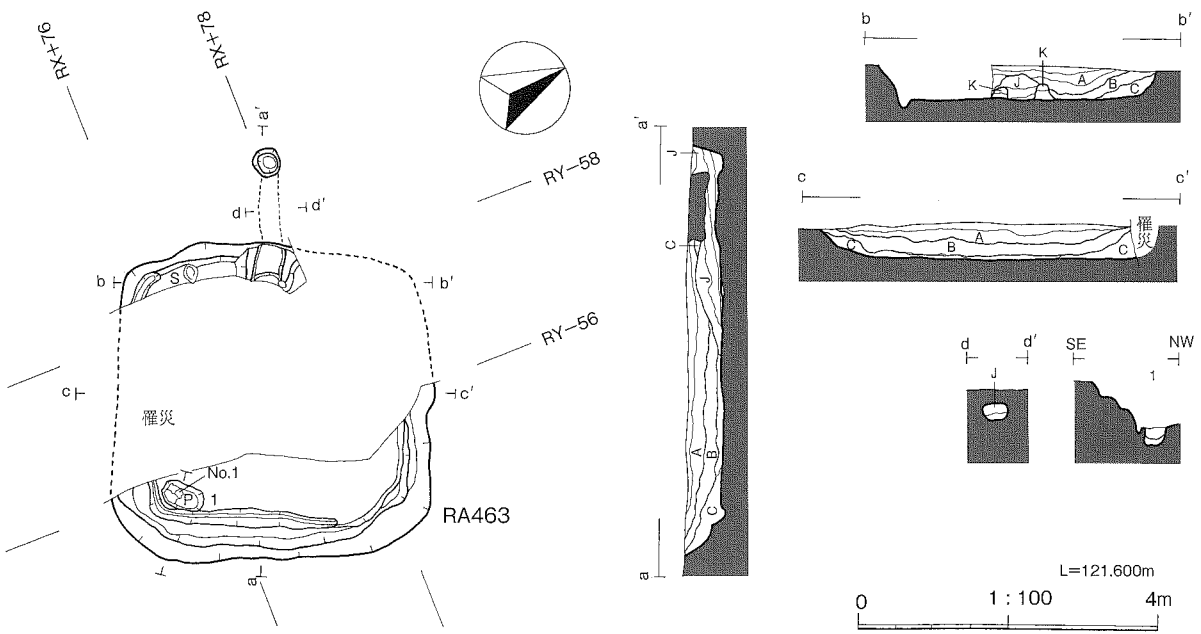
第93図 第25次調査B区 RA398 竪穴住居跡



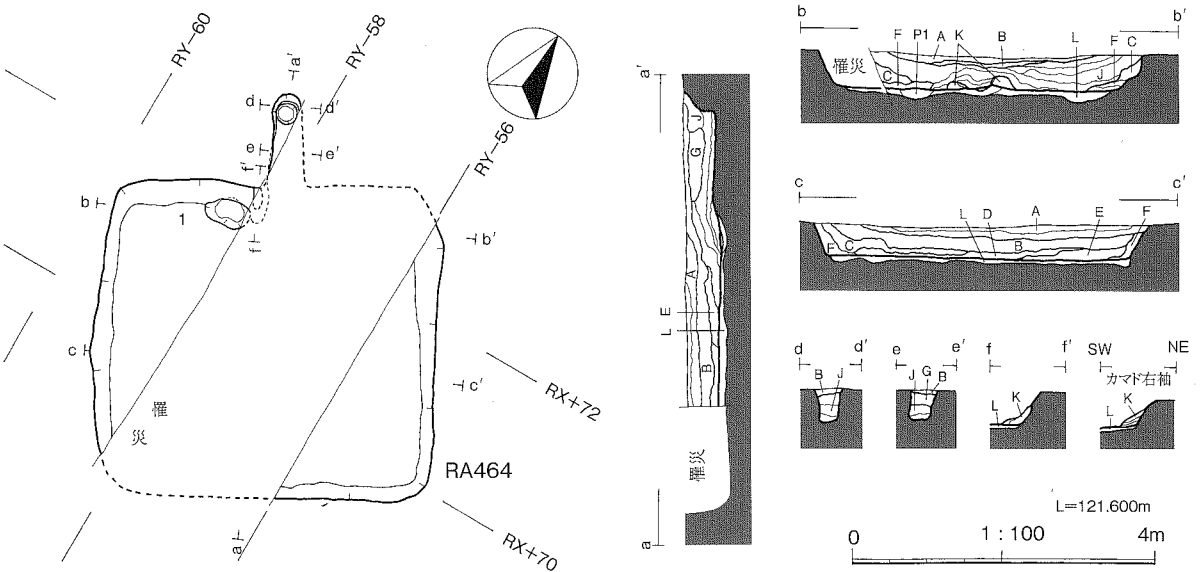
第94図 第25次調査B区 RA399 竪穴住居跡



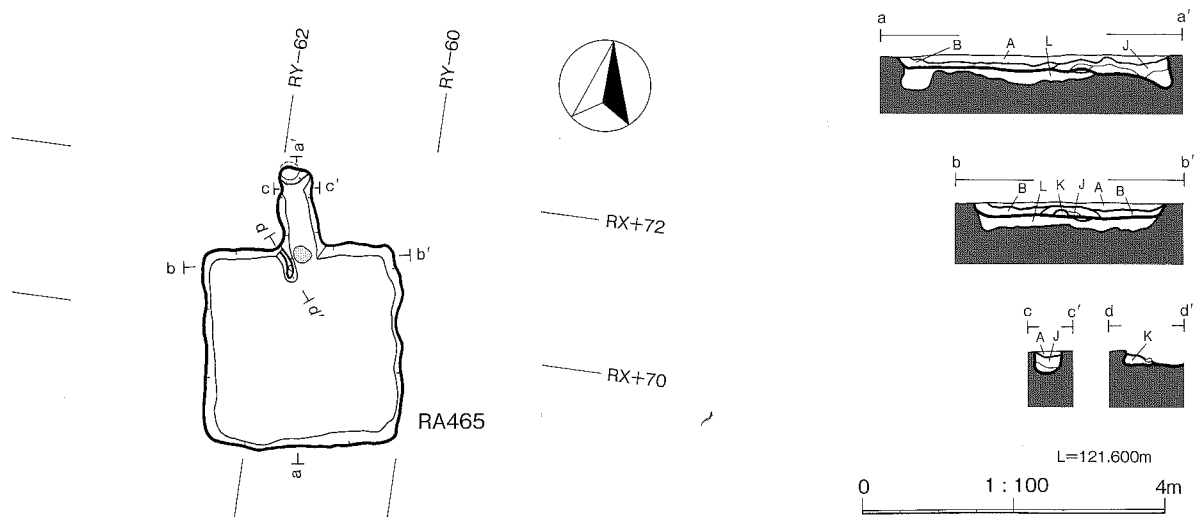
第95図 第27次調査A区 RA462 竪穴住居跡



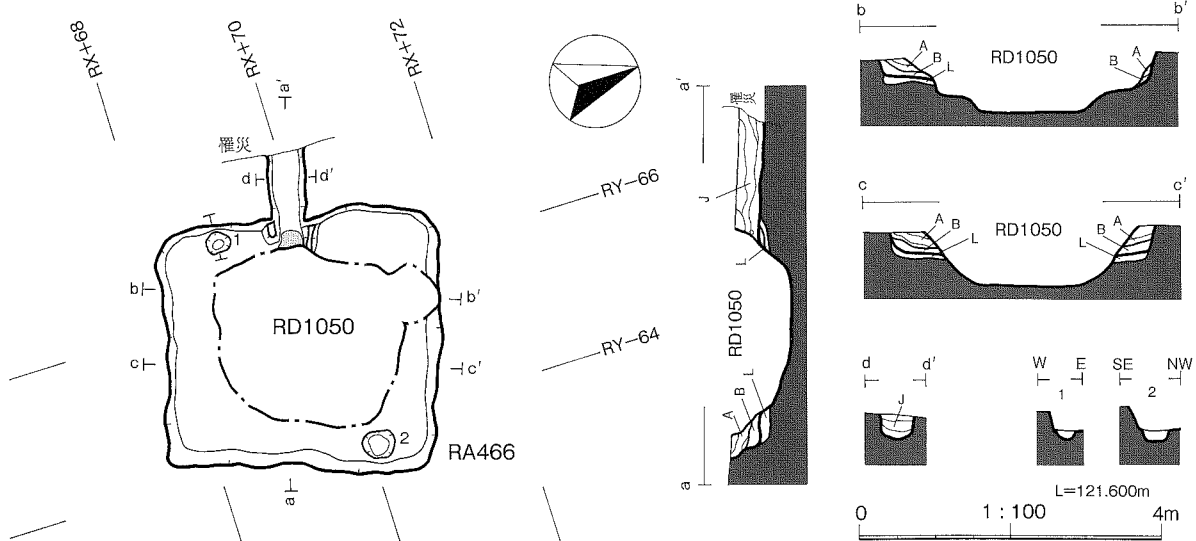
第96図 第27次調査A区 RA463 竪穴住居跡



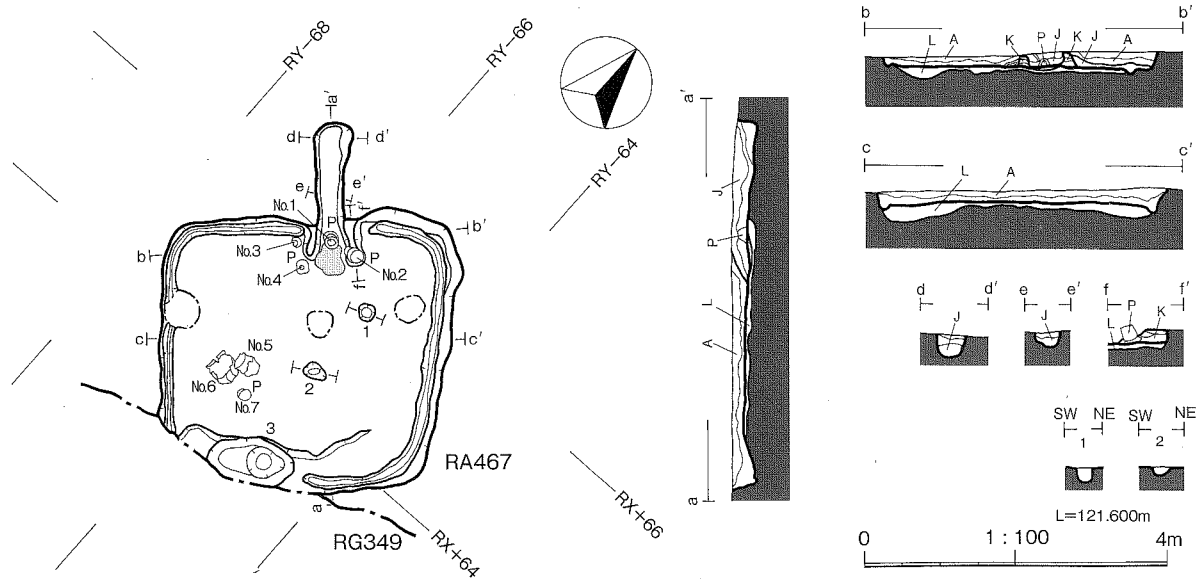
第97図 第27次調査A区 RA464 竪穴住居跡



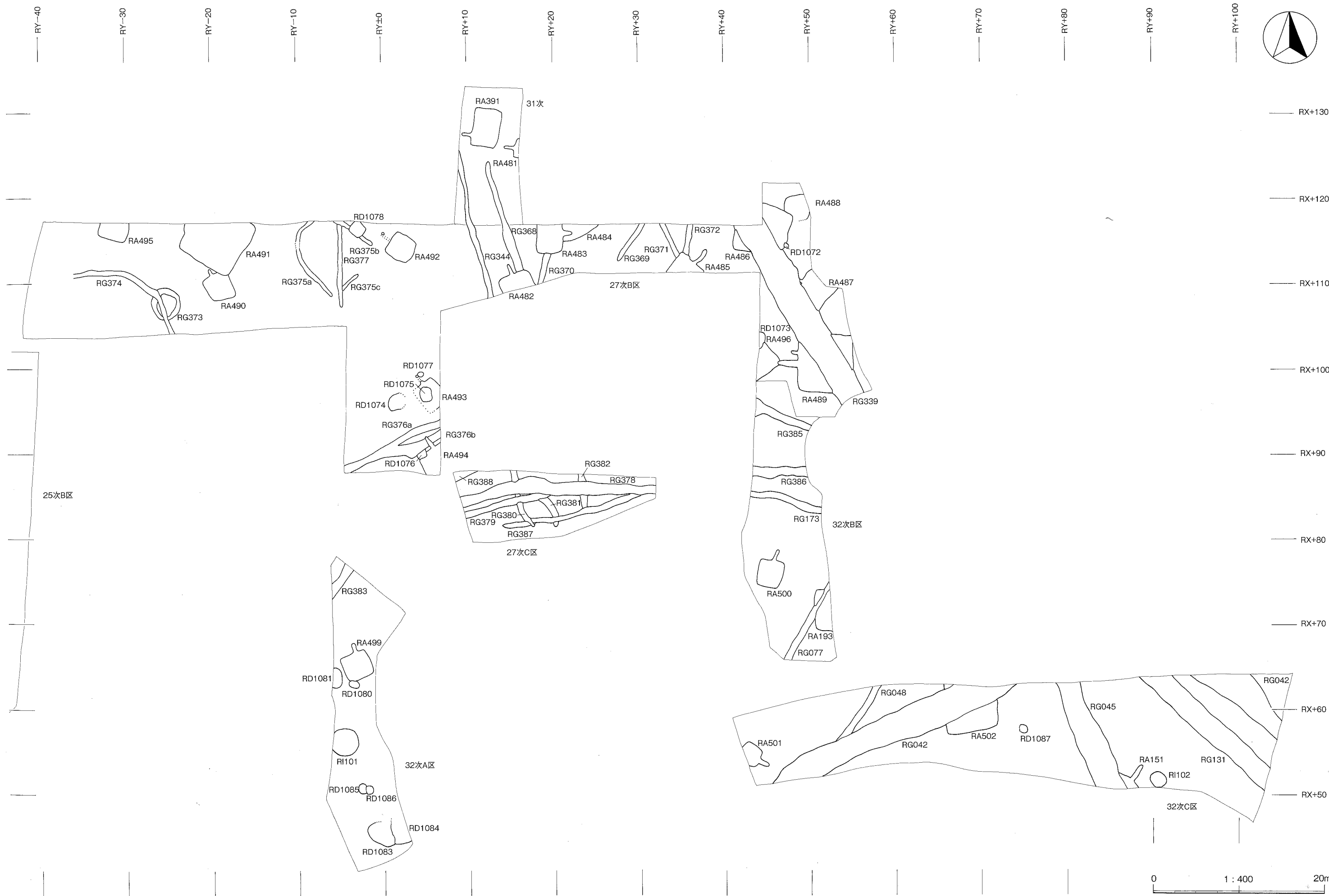
第98图 第27次調査A区 RA465 竖穴住居跡



第99图 第27次調査A区 RA466 竖穴住居跡



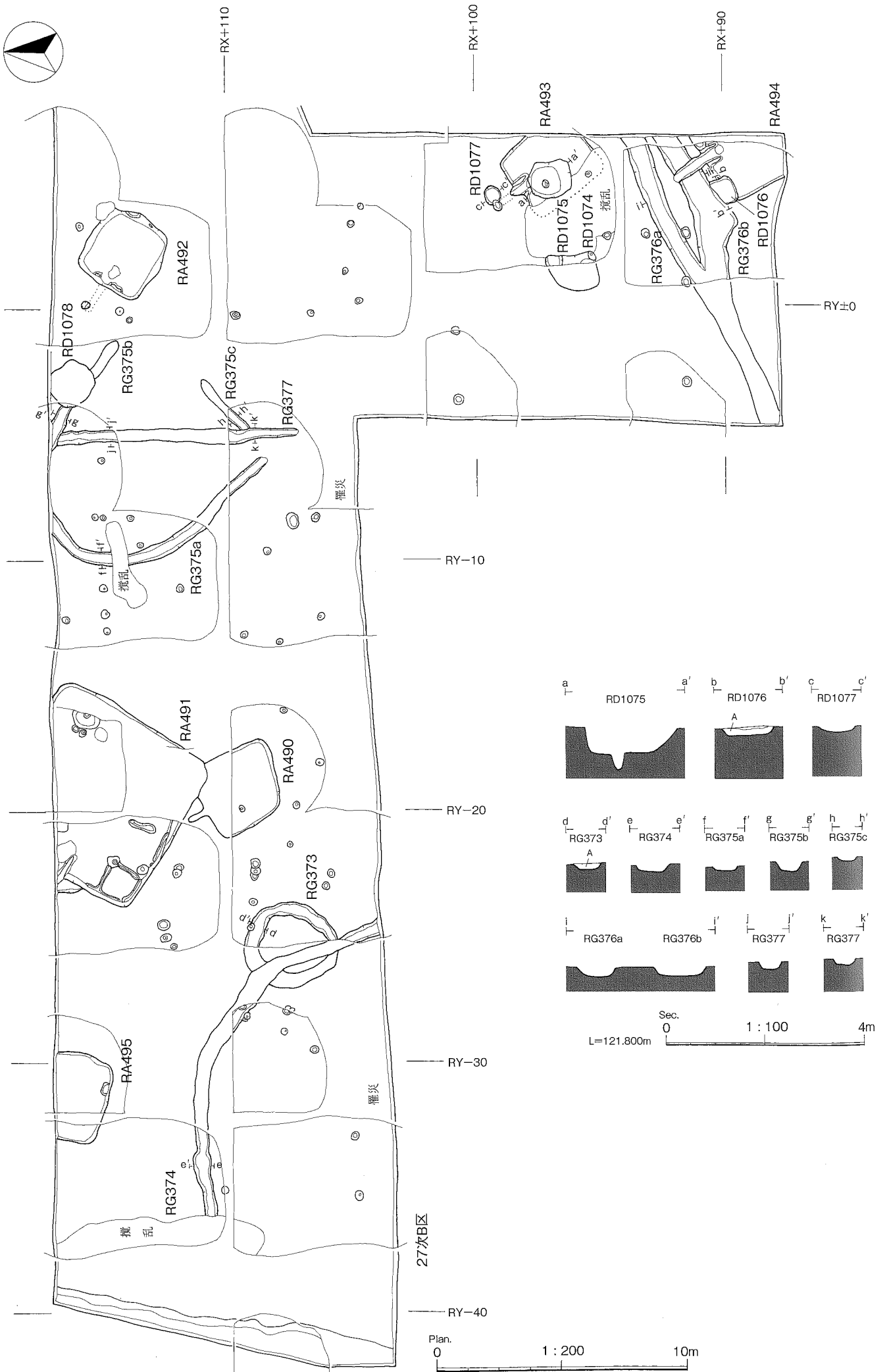
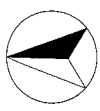
第100图 第27次調査A区 RA467 竖穴住居跡

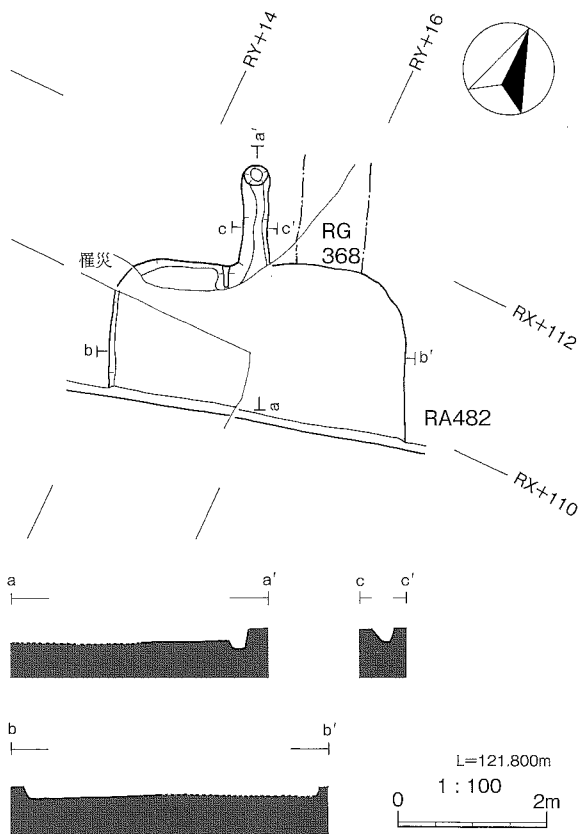


第 101 図 第 27 次調査 B・C 区, 第 32 次調査 A・B・C 区, 第 31 次調査区全体図

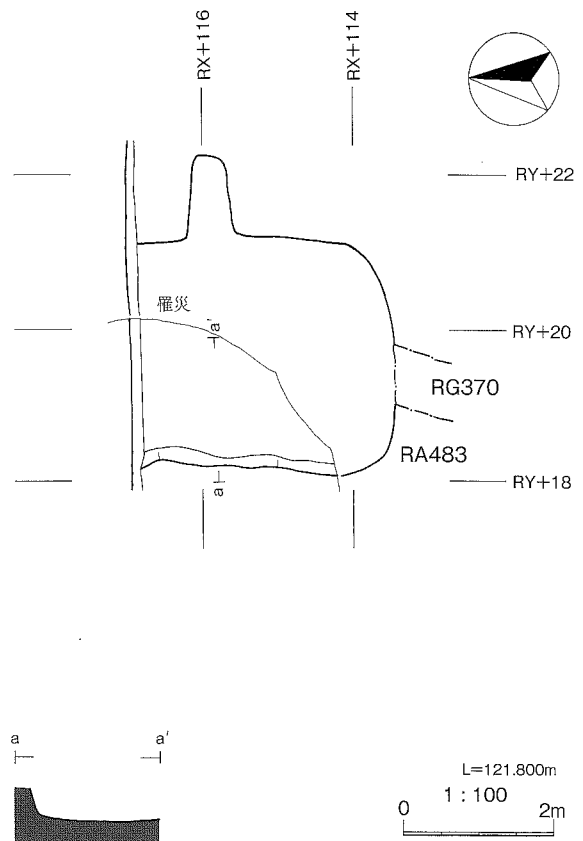


第102図 第27次調査B区東半部全体図

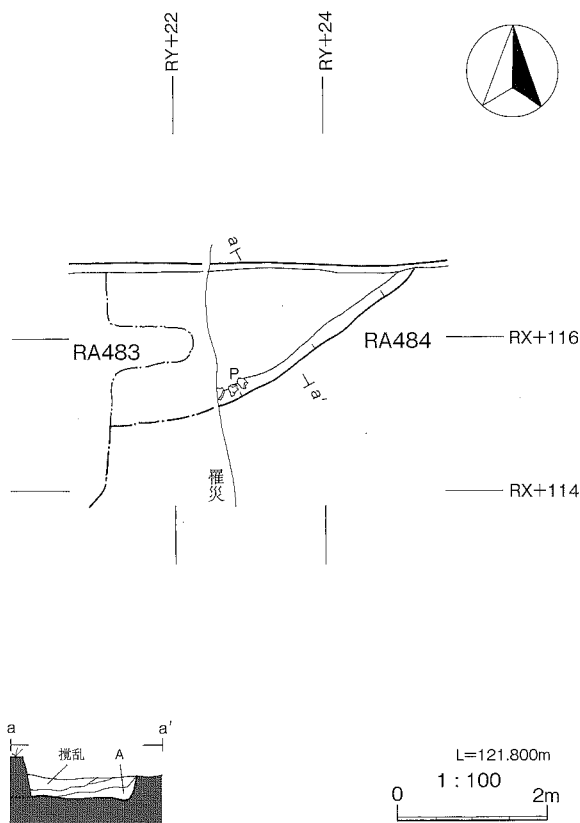




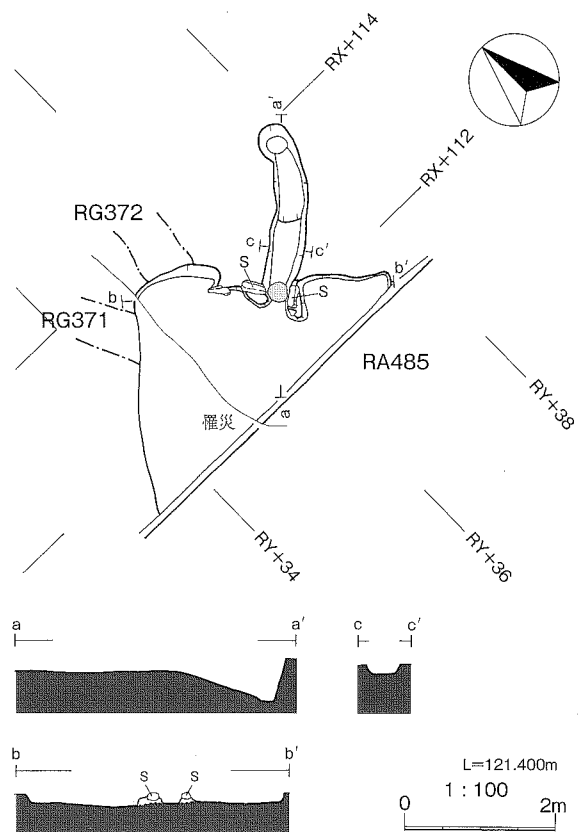
第104図 第27次調査B区 RA482 竪穴住居跡



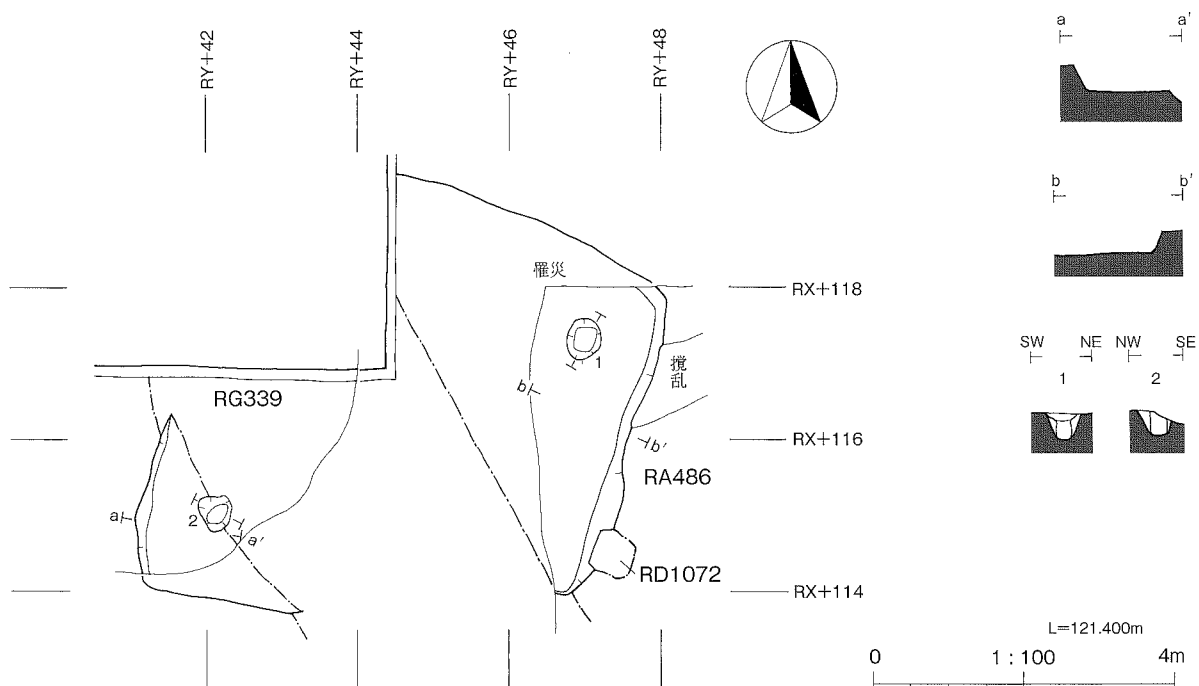
第105図 第27次調査B区 RA483 竪穴住居跡



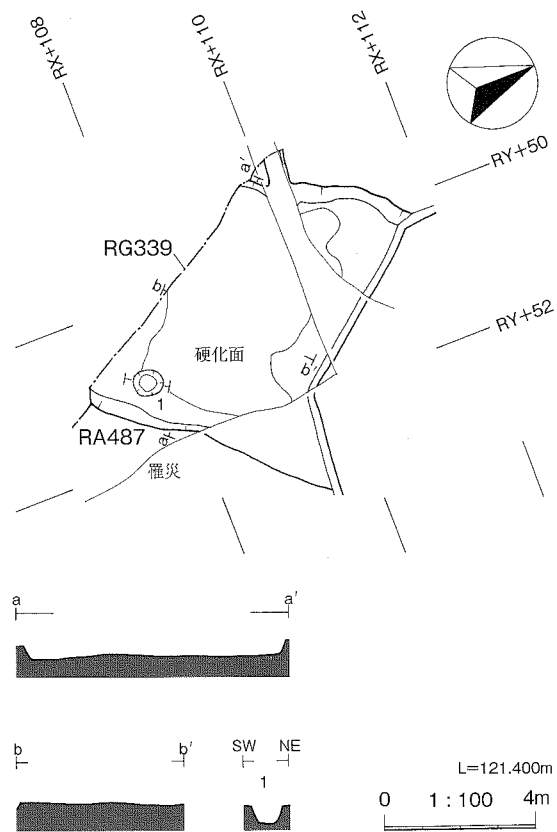
第106図 第27次調査B区 RA484 竪穴住居跡



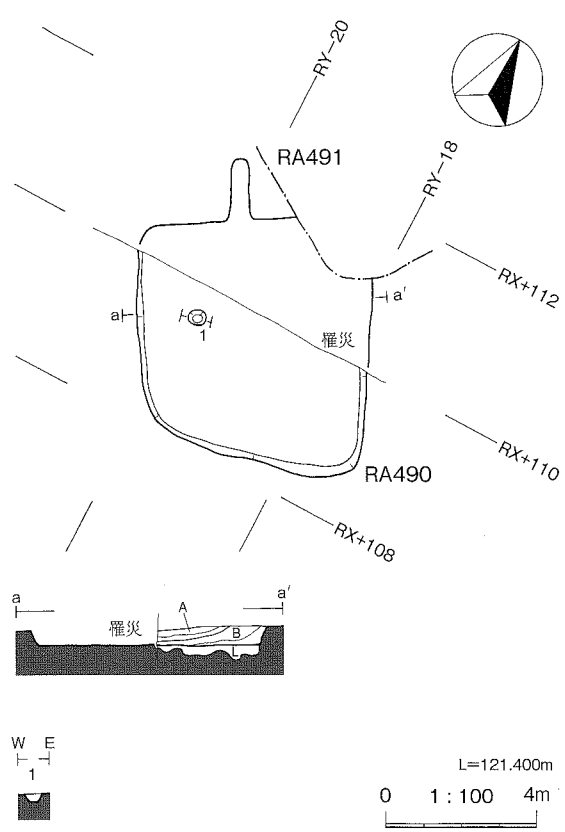
第107図 第27次調査B区 RA485 竪穴住居跡



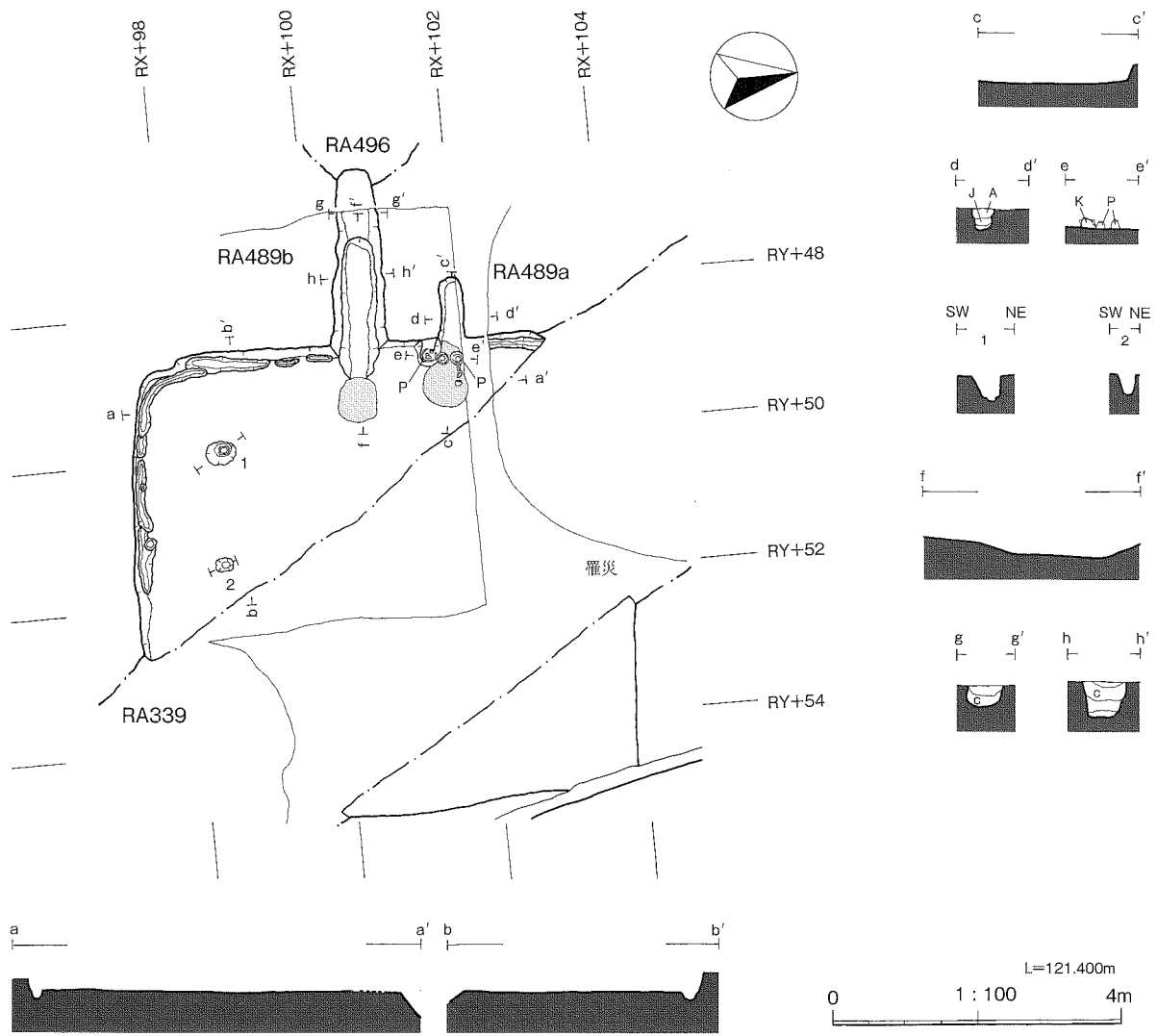
第108図 第27次調査B区 RA486 竪穴住居跡



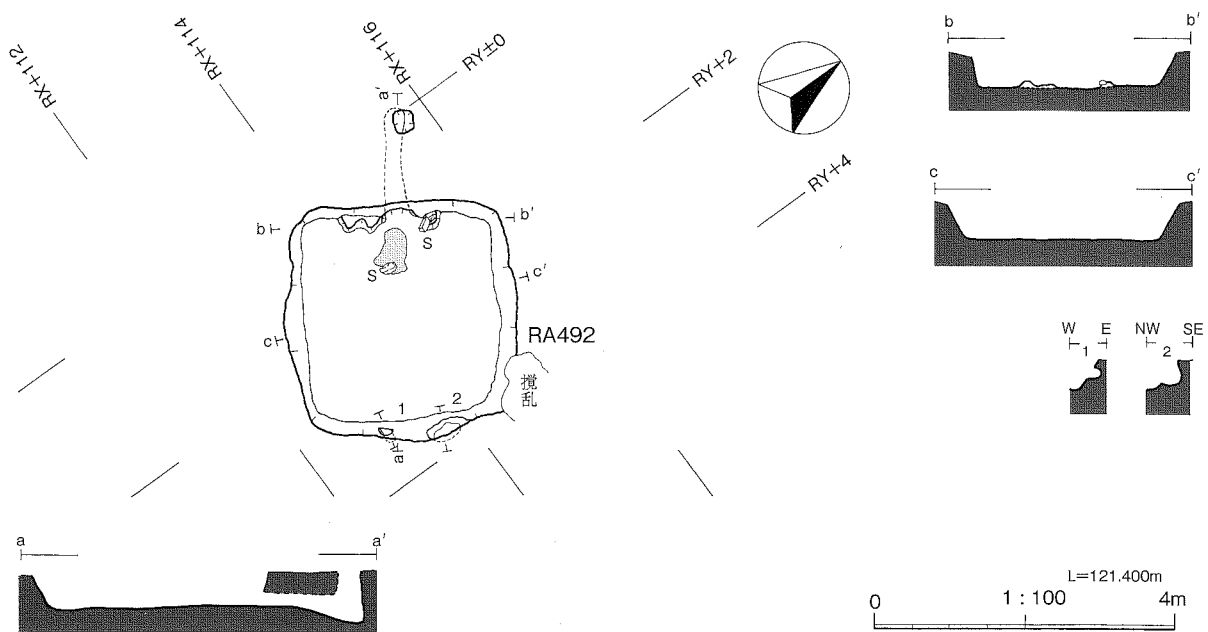
第109図 第27次調査B区 RA487 竪穴住居跡



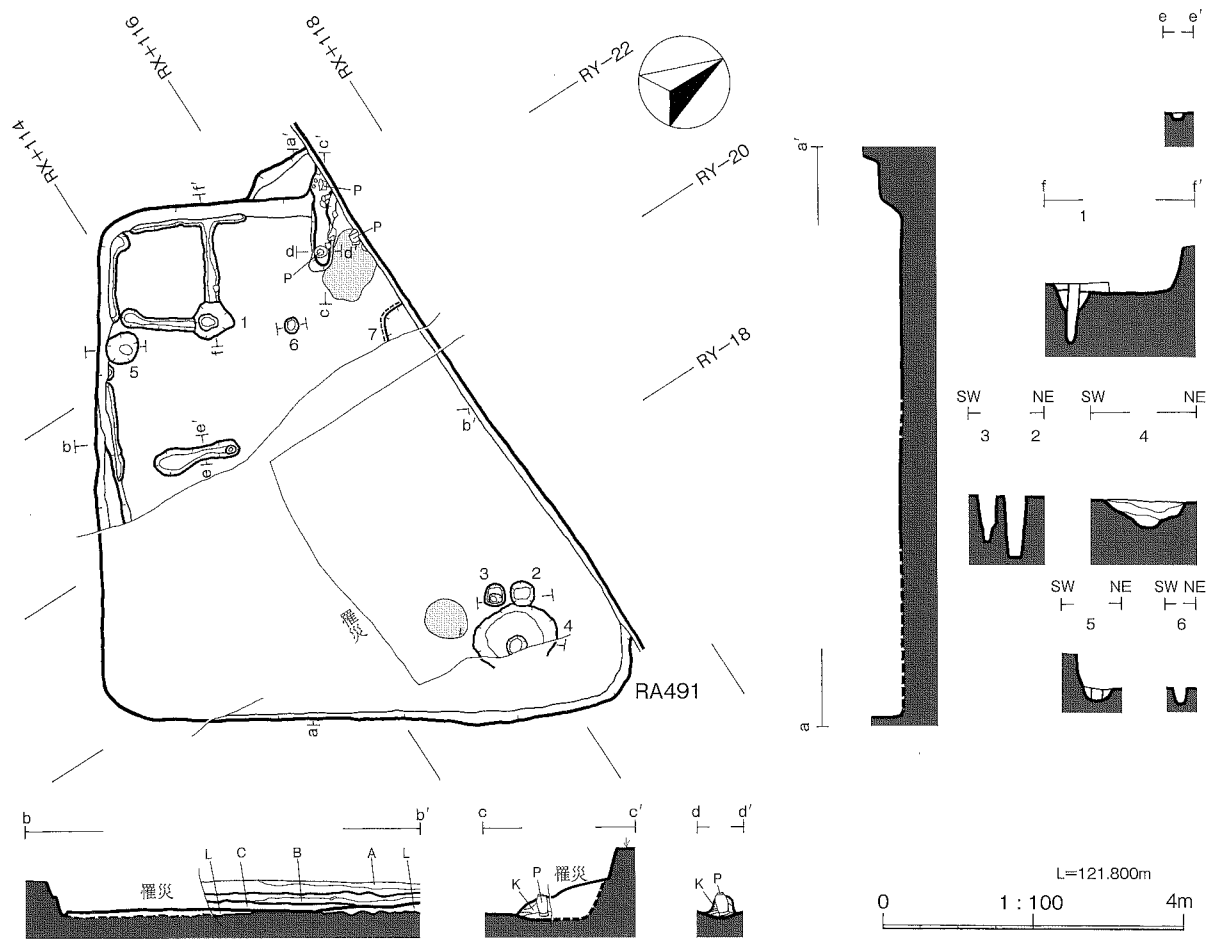
第110図 第27次調査B区 RA490 竪穴住居跡



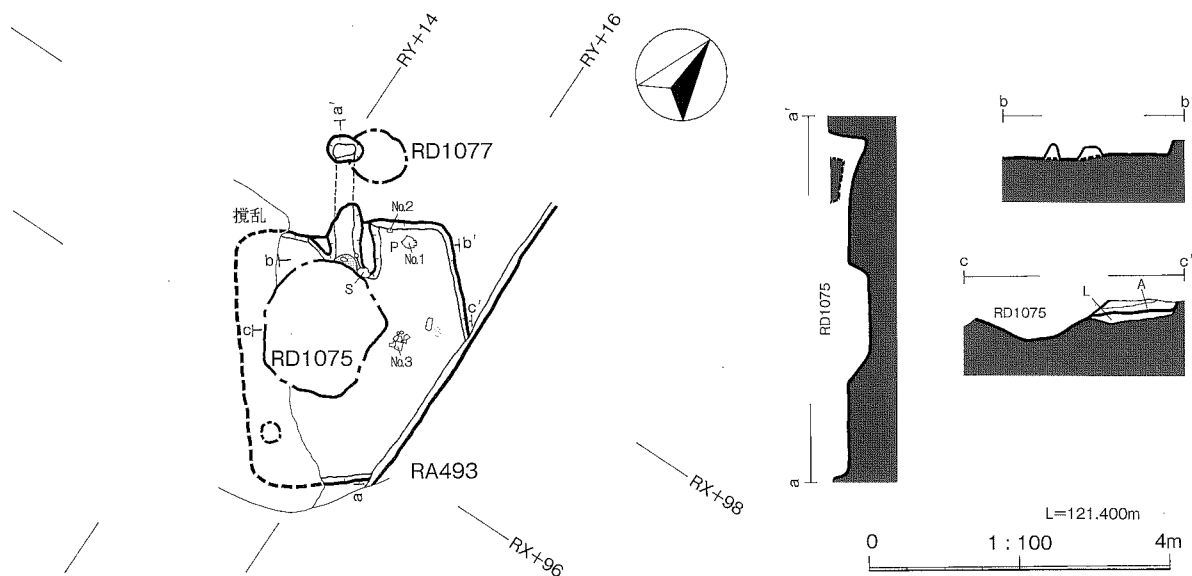
第111図 第27次調査B区 RA489a・b 竪穴住居跡



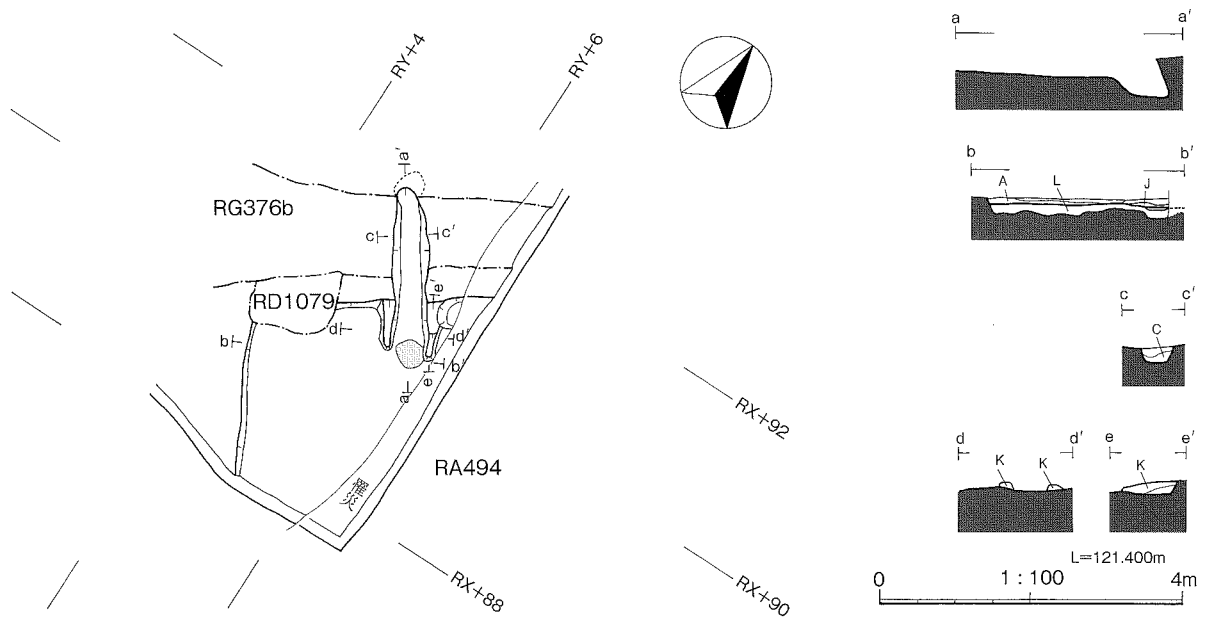
第112図 第27次調査B区 RA492 竪穴住居跡



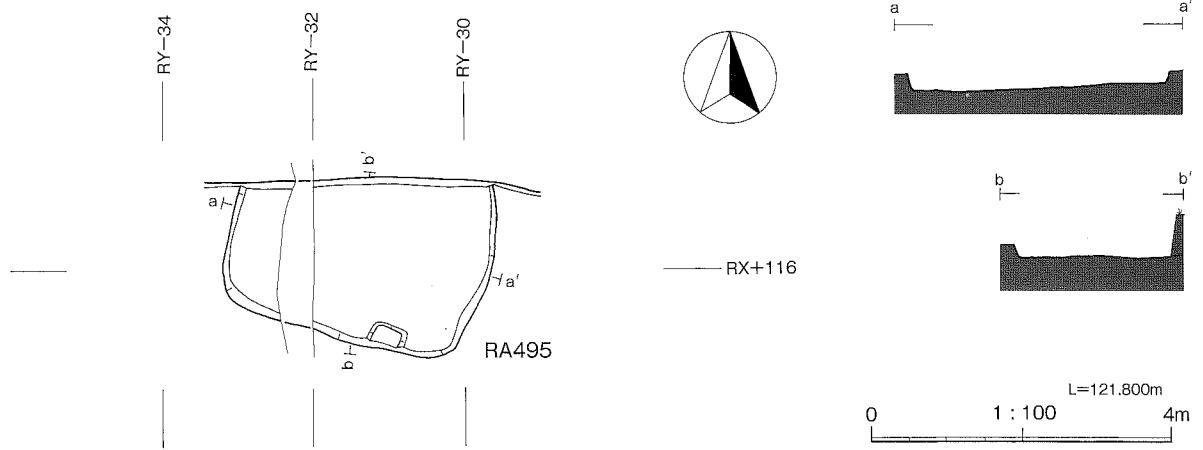
第 113 図 第 27 次調査 B 区 RA491 竪穴住居跡



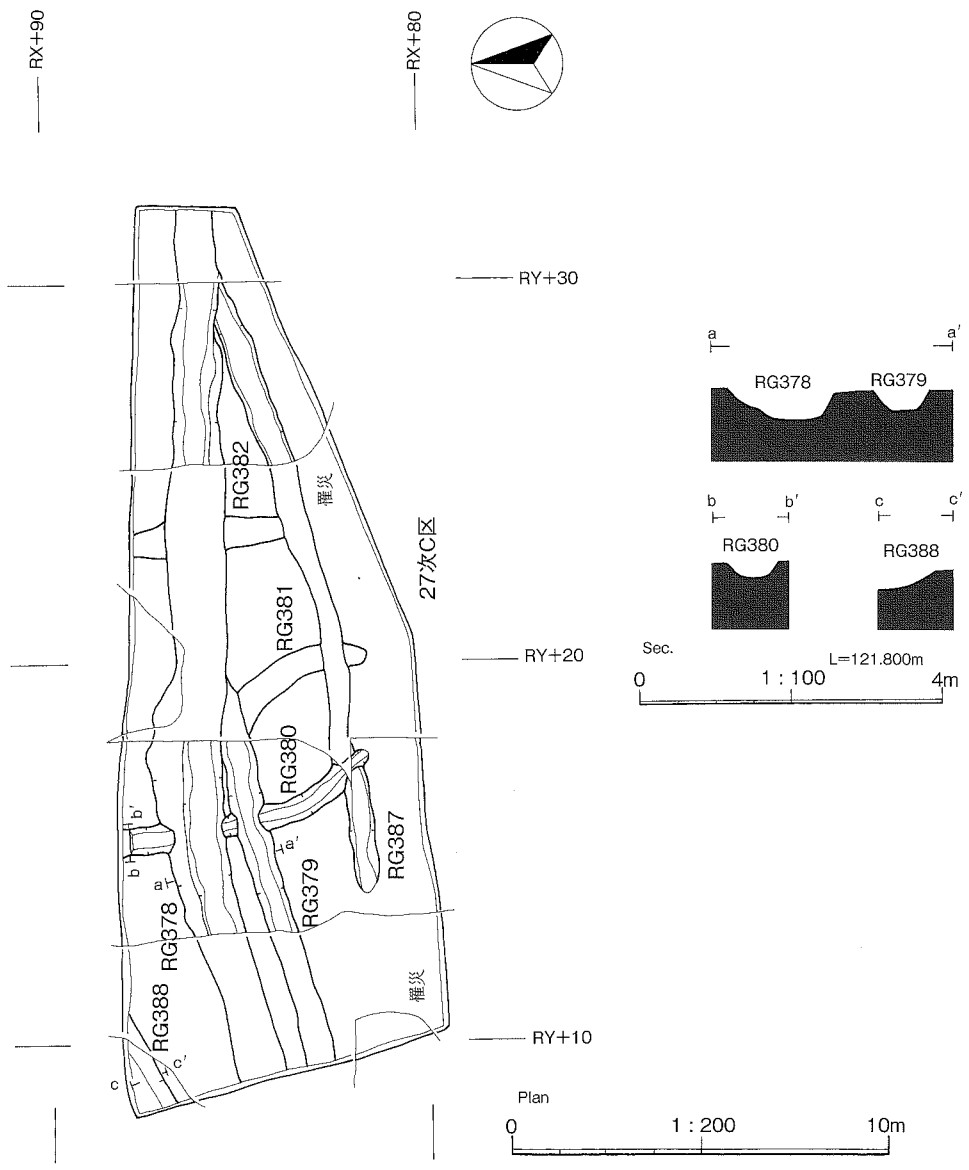
第 114 図 第 27 次調査 B 区 RA493 竪穴住居跡



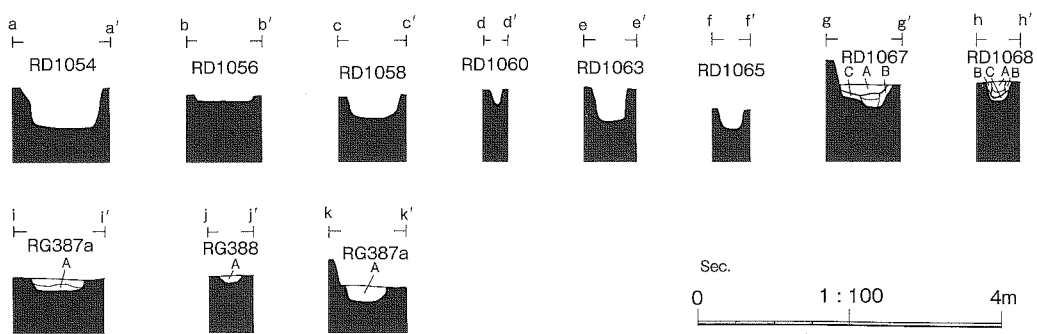
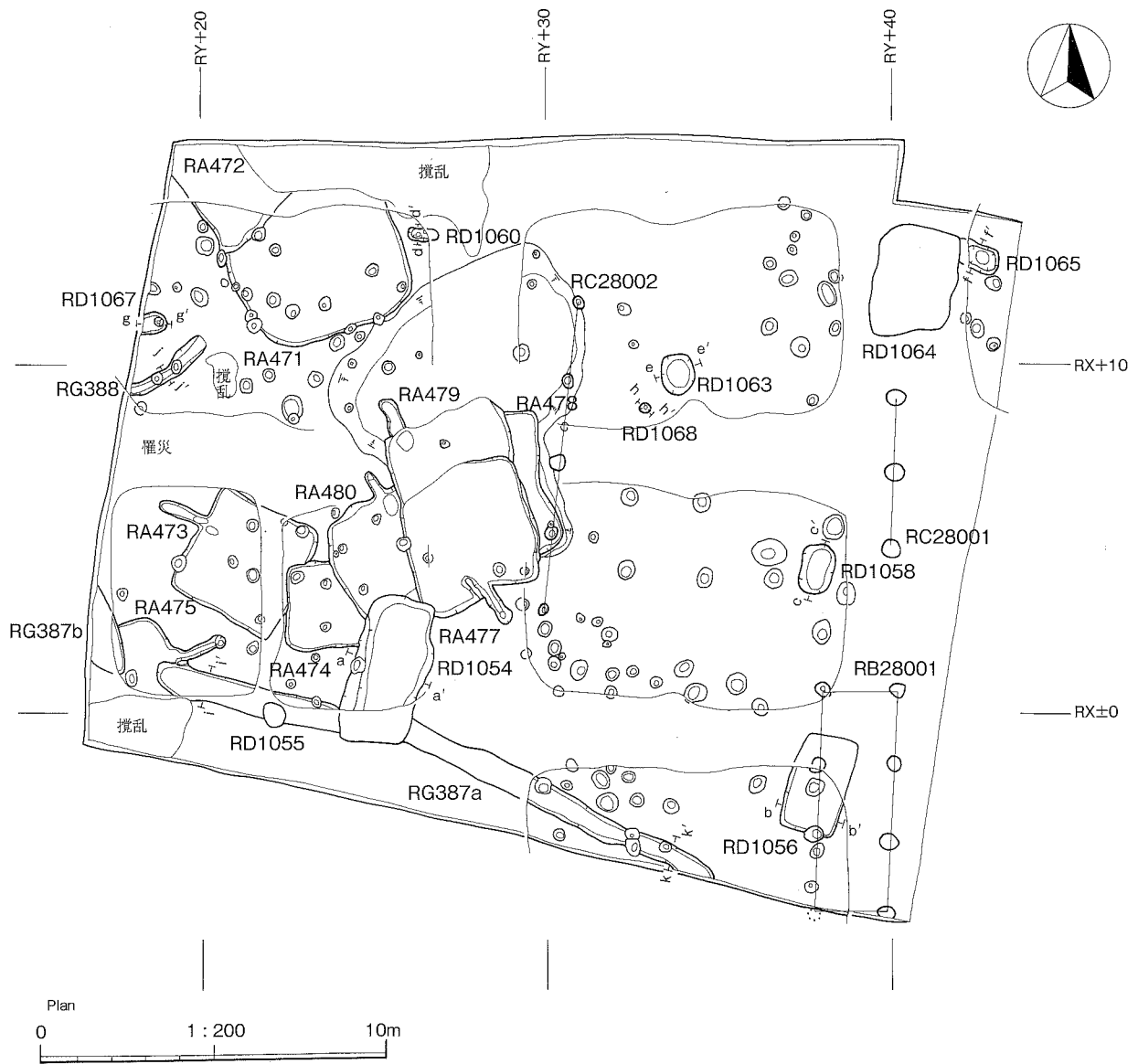
第115図 第27次調査B区 RA494 竪穴住居跡



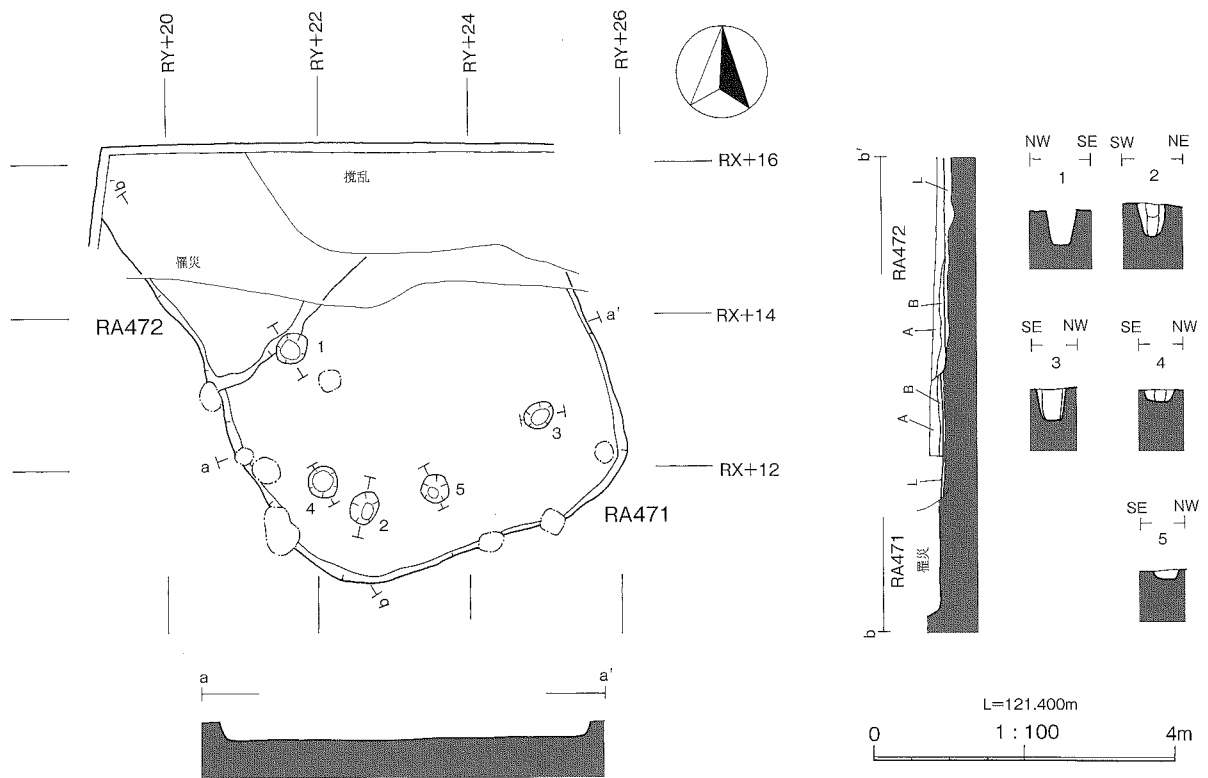
第116図 第27次調査B区 RA495 竪穴住居跡



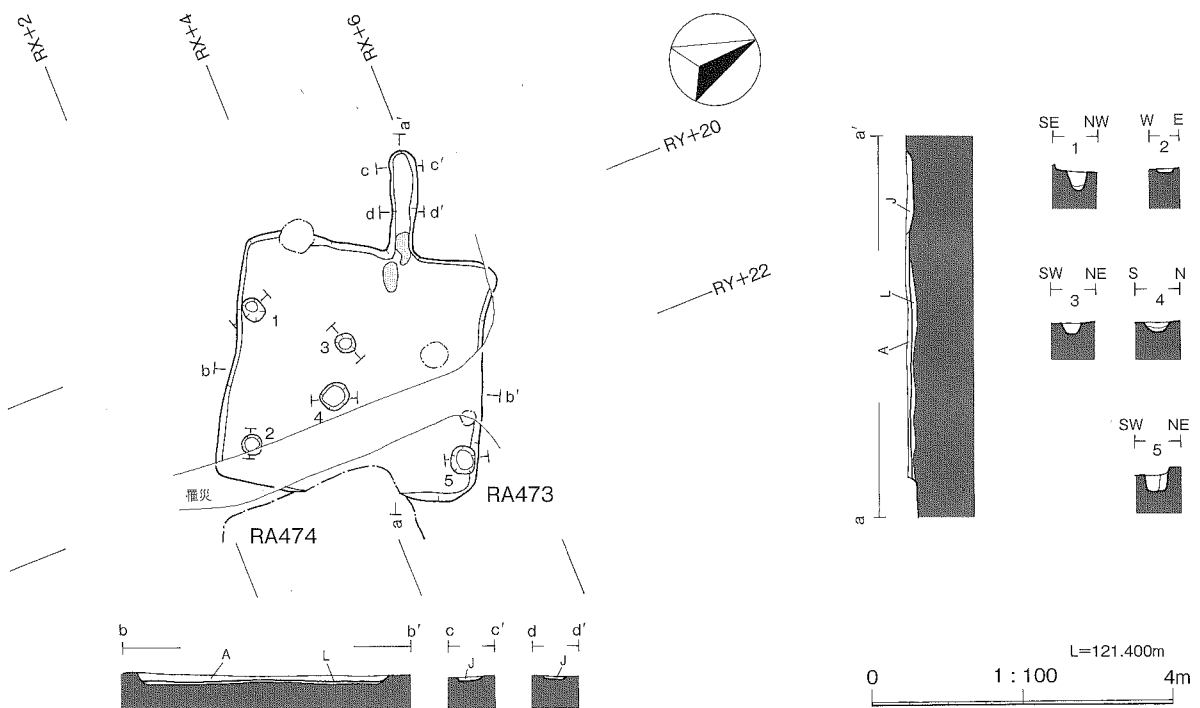
第 117 図 第 27 次調査 C 区全体図



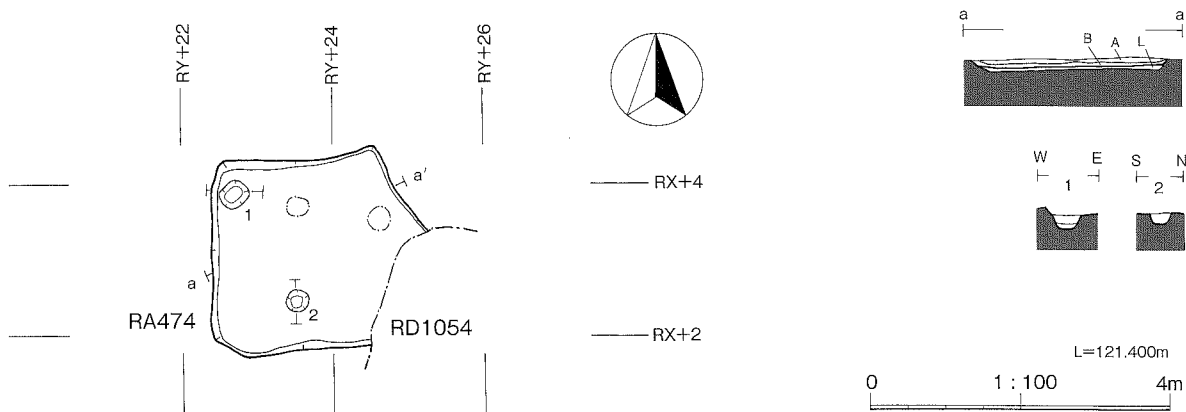
第 118 図 第 28 次調査区全体図



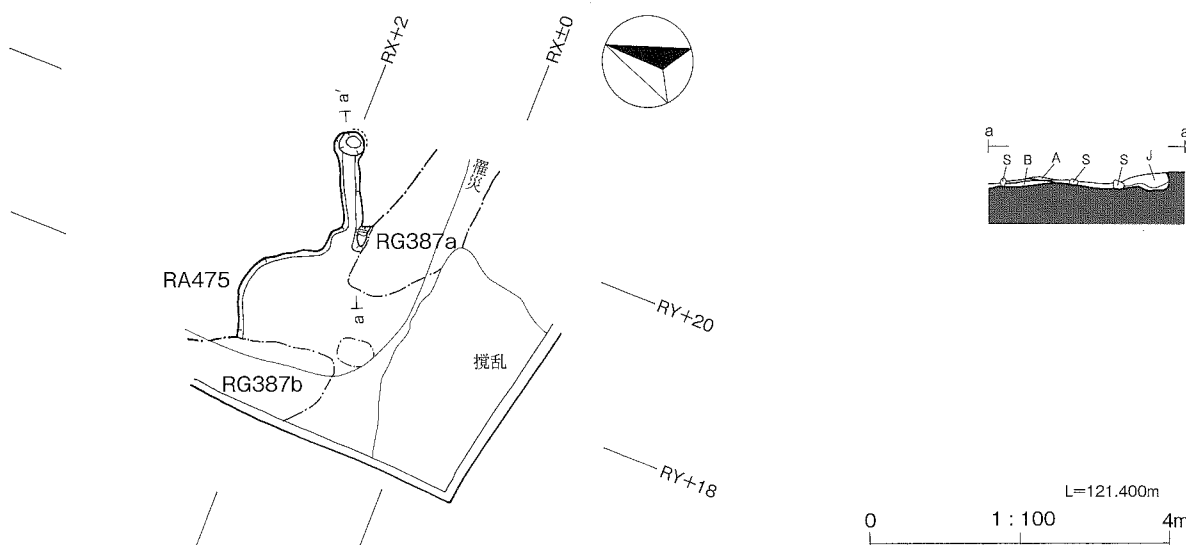
第 119 図 第 28 次調査区 RA471・472 竪穴住居跡



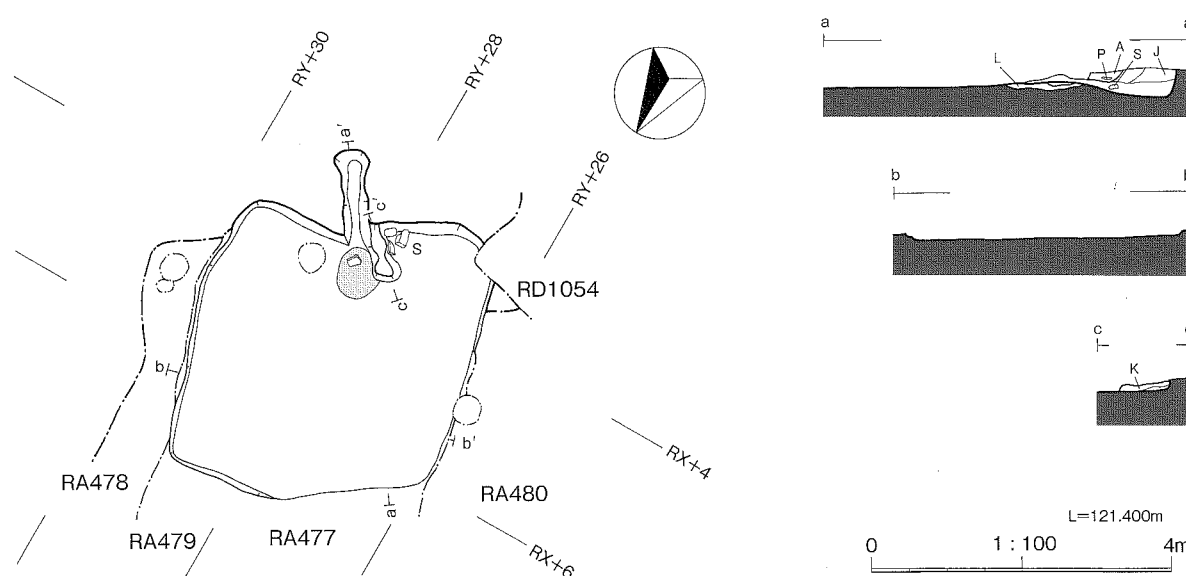
第 120 図 第 28 次調査区 RA473 竪穴住居跡



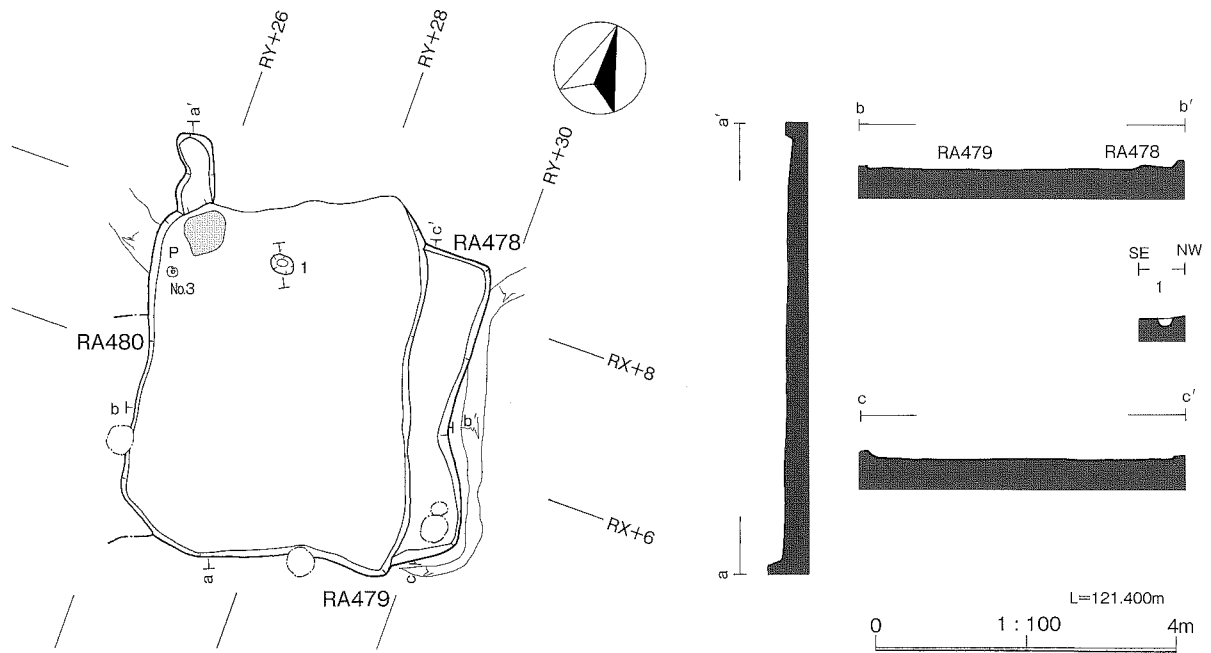
第 121 図 第 28 次調査区 RA474 竪穴住居跡



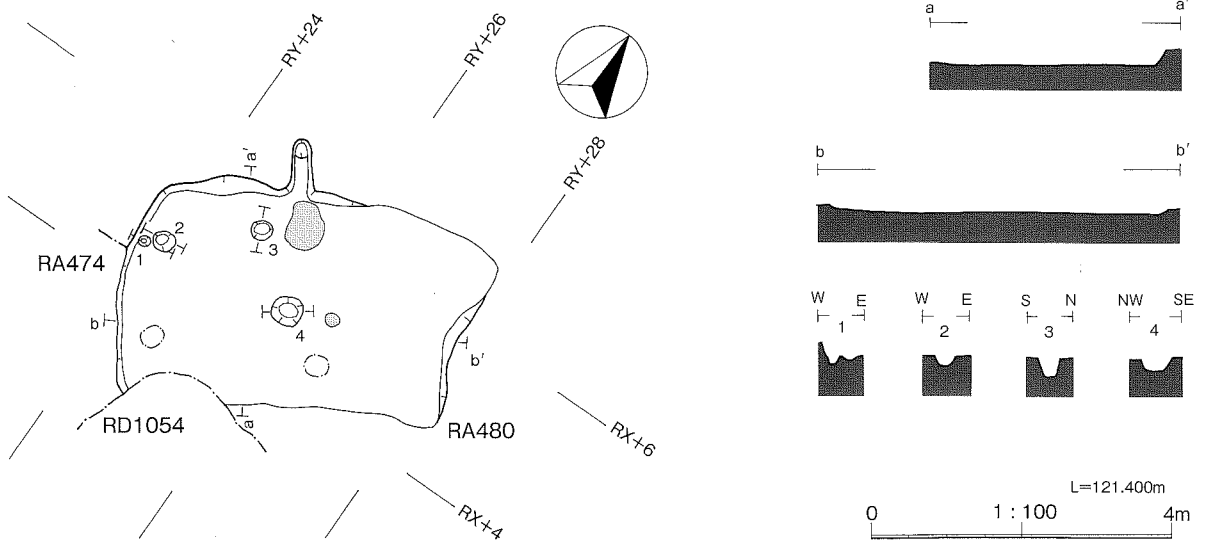
第 122 図 第 28 次調査区 RA475 竪穴住居跡



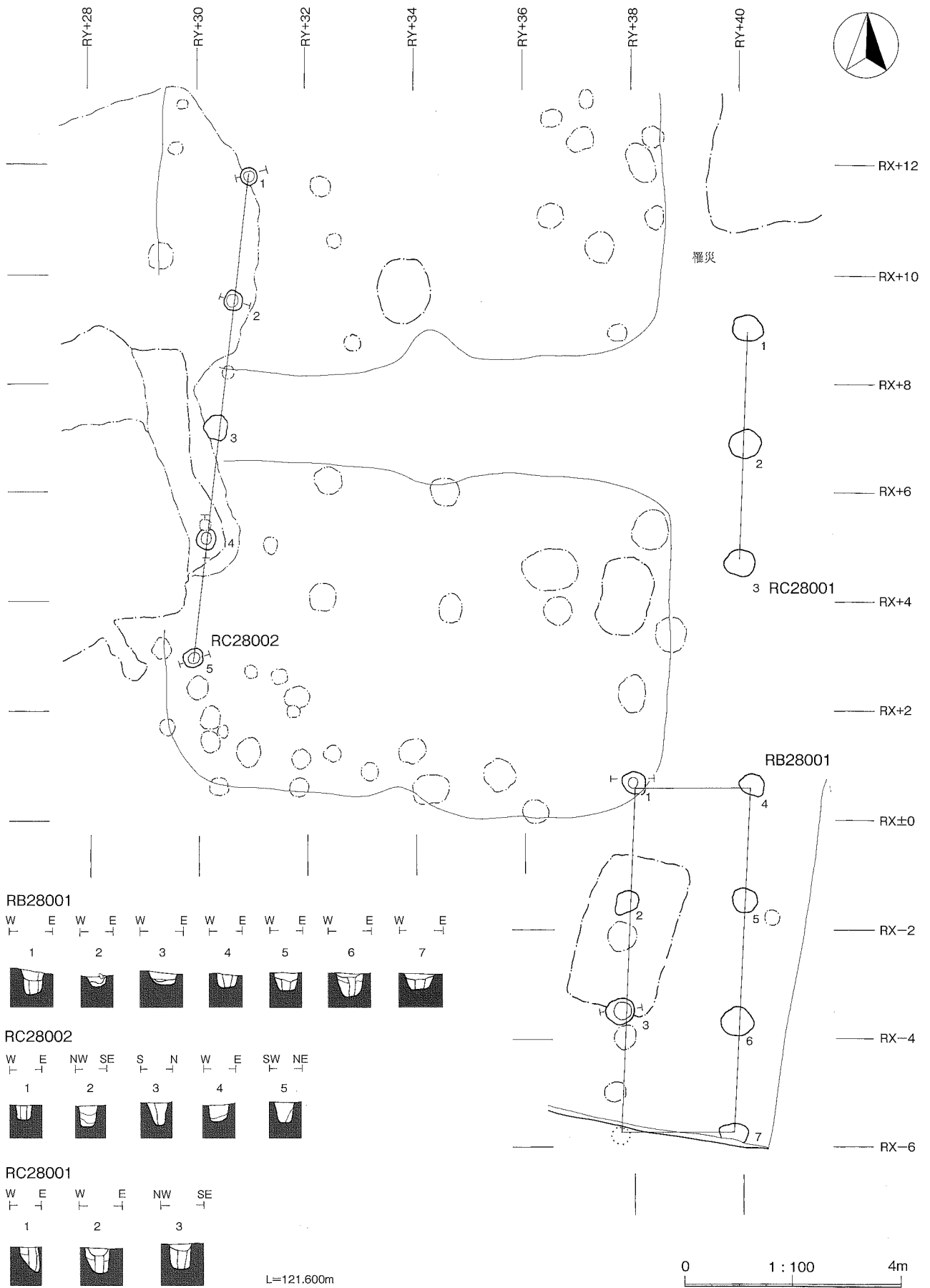
第 123 図 第 28 次調査区 RA477 竪穴住居跡



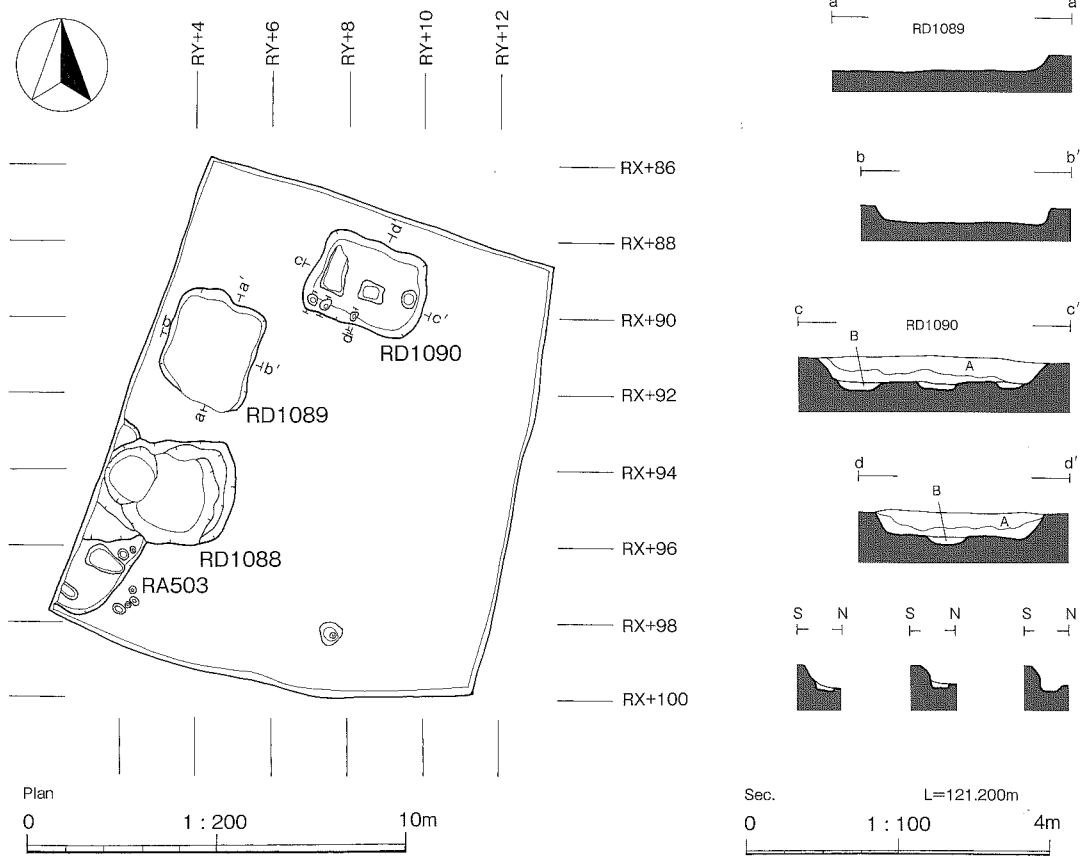
第124図 第28次調査区 RA478・479 竪穴住居跡



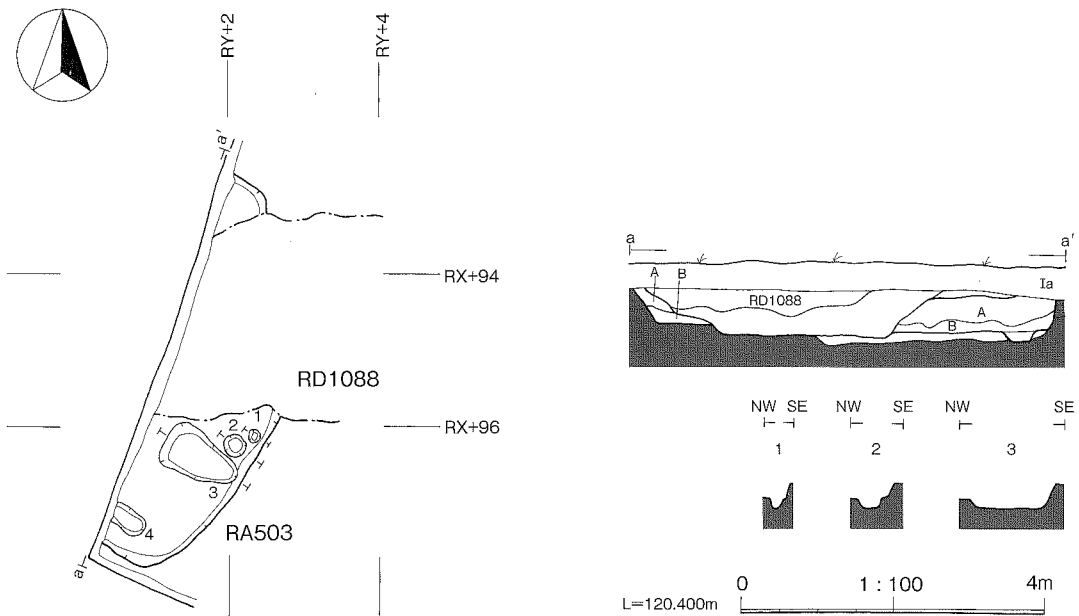
第125図 第28次調査区 RA480 竪穴住居跡



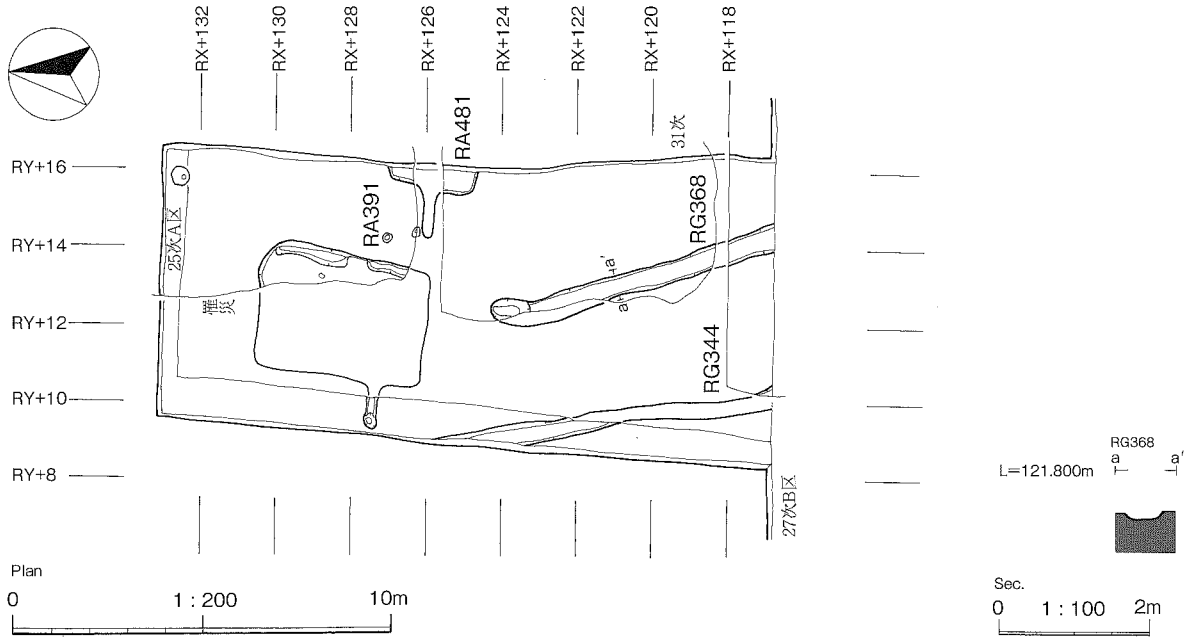
第 126 図 第 28 次調査区 RB28001 掘立柱建物跡, RC28001・28002 柱列跡



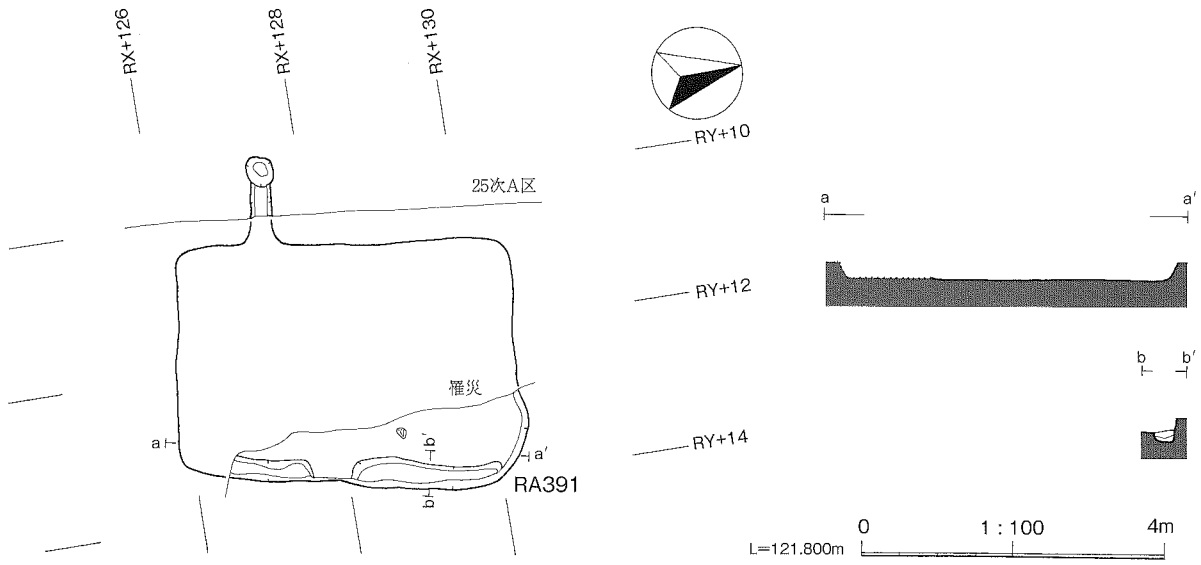
第 127 図 第 29 次調査区全体図



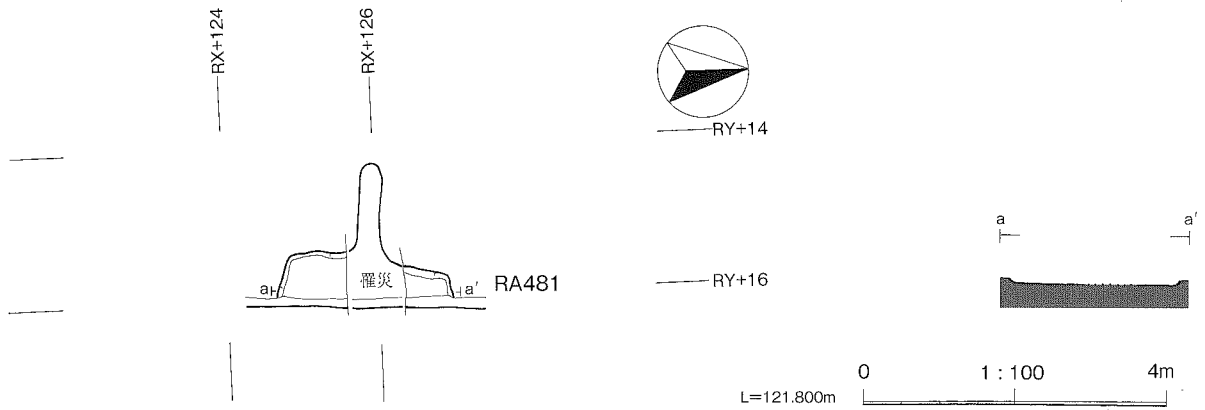
第 128 図 第 29 次調査区 RA503 竪穴住居跡



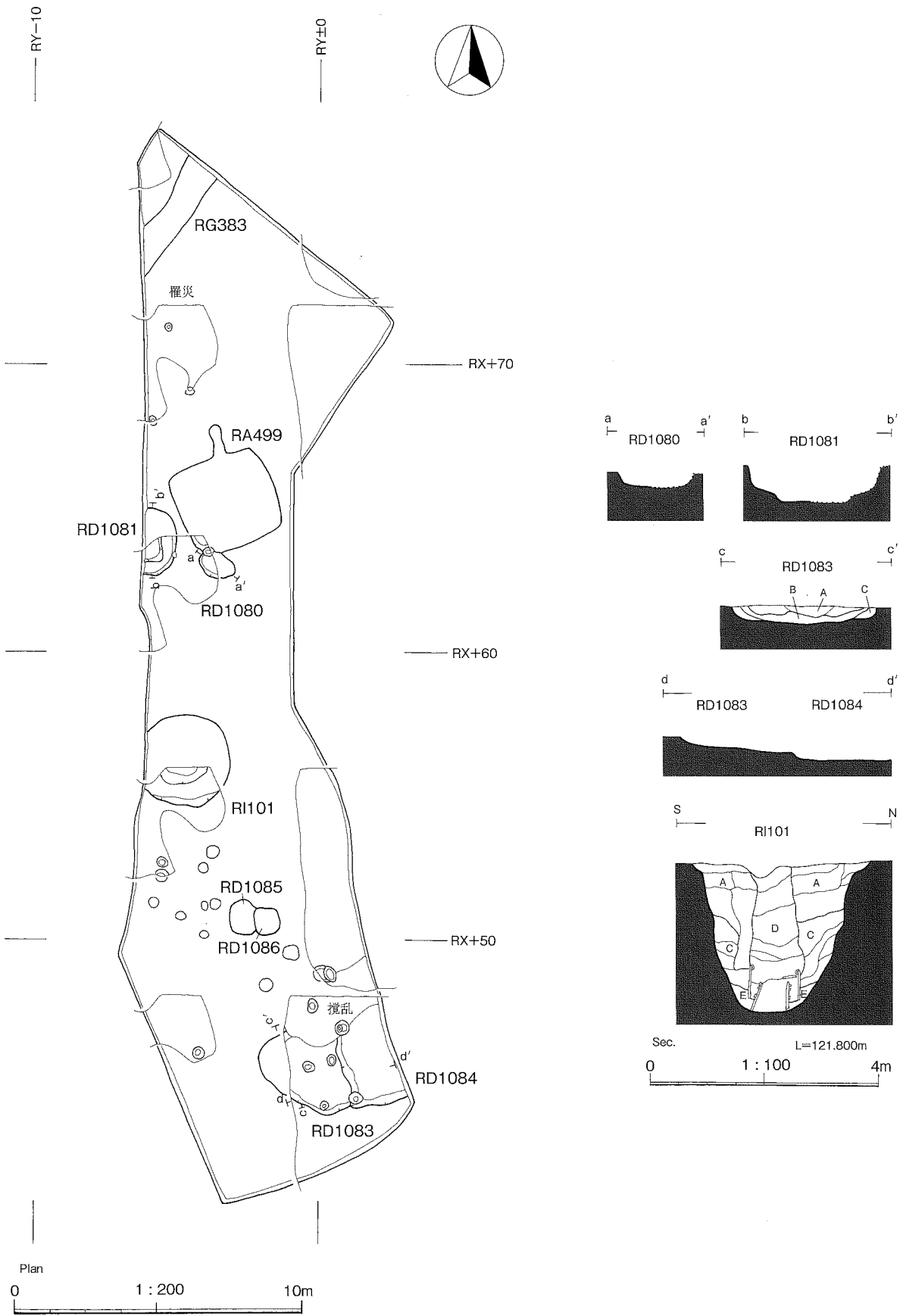
第 129 图 第 31 次調査区全体图



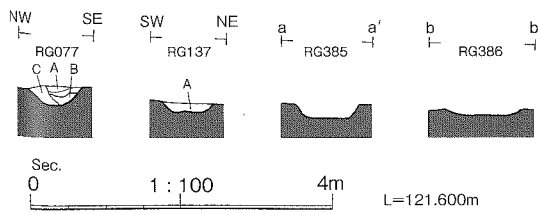
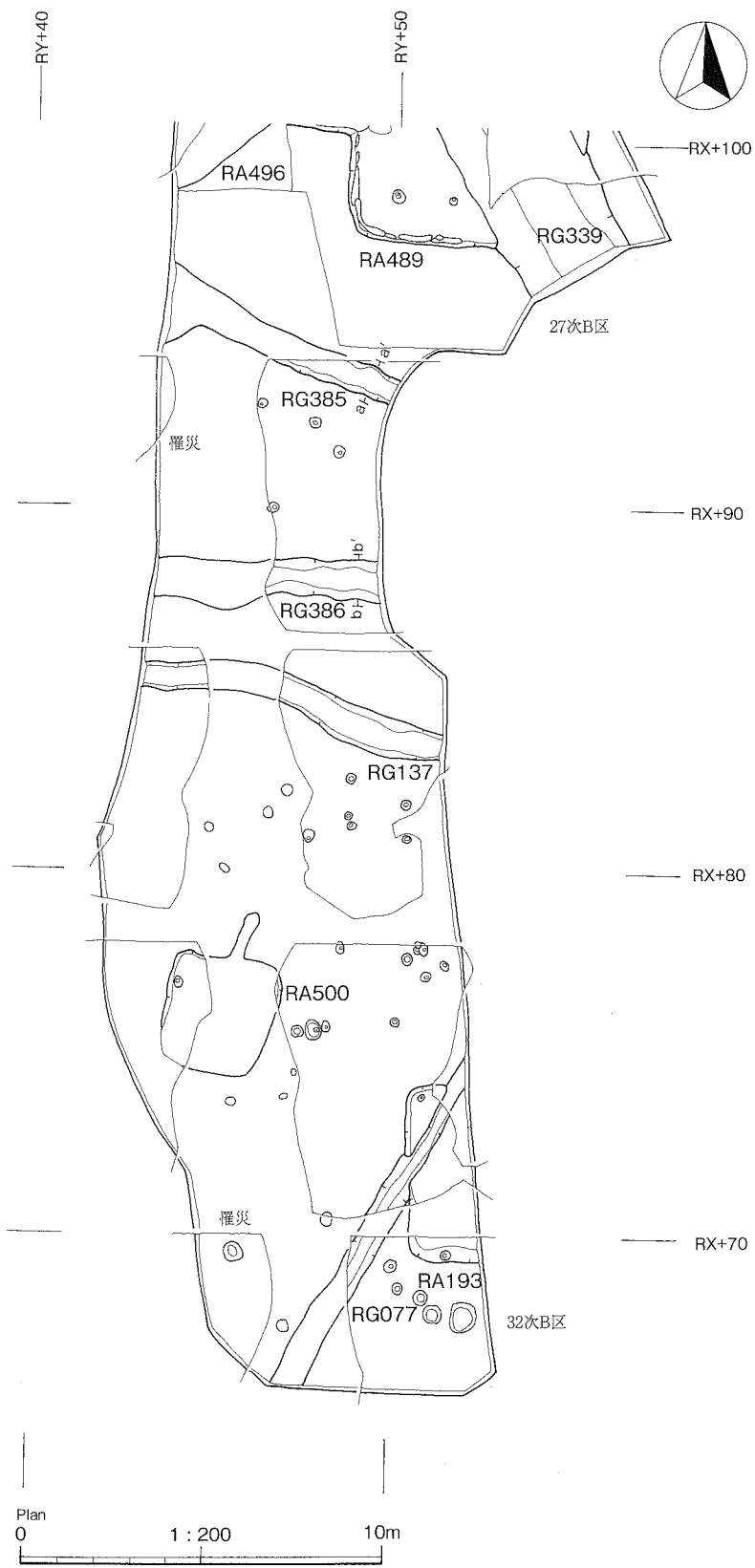
第 130 图 第 31 次調査区 RA391 竖穴住居跡



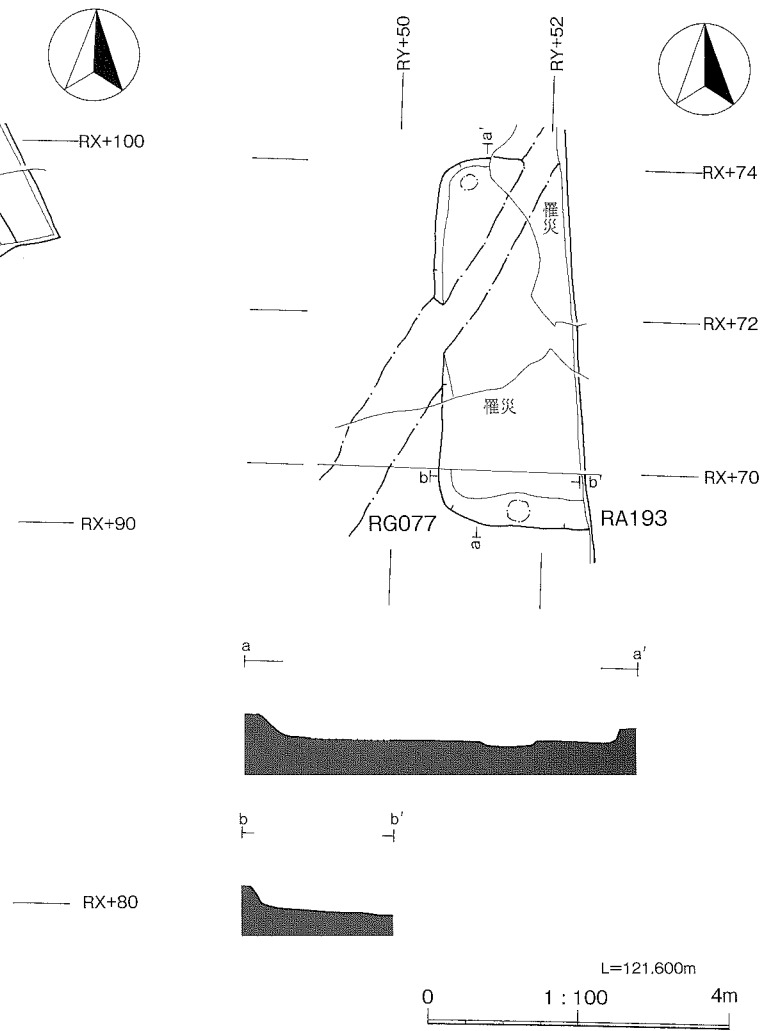
第 131 图 第 31 次調査区 RA481 竖穴住居跡



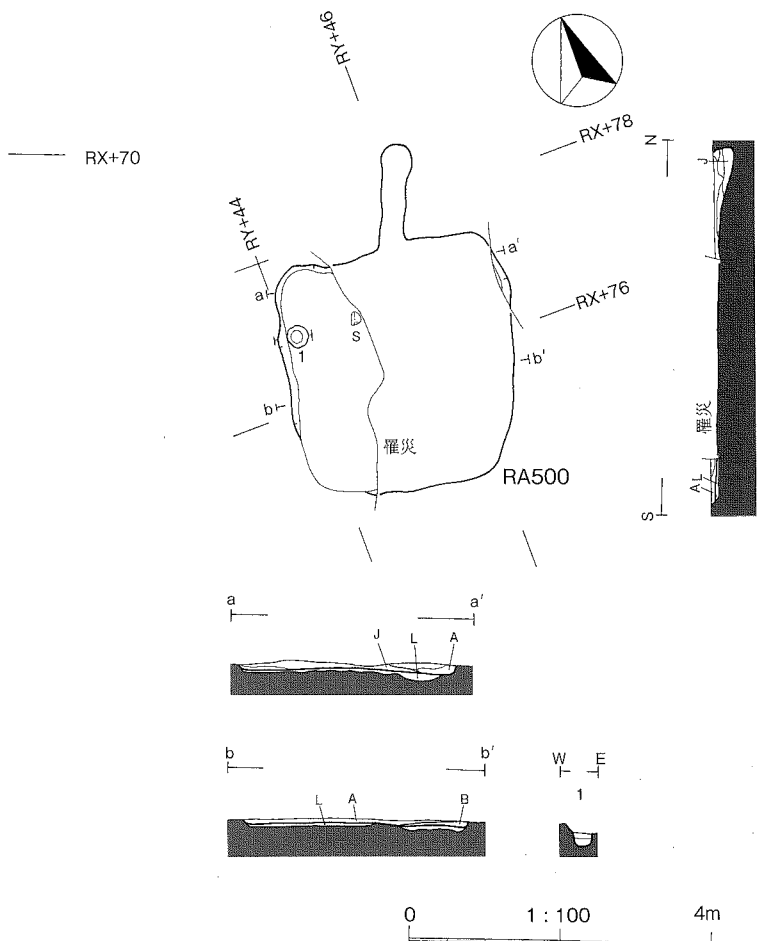
第 132 图 第 32 次調査A区全体图



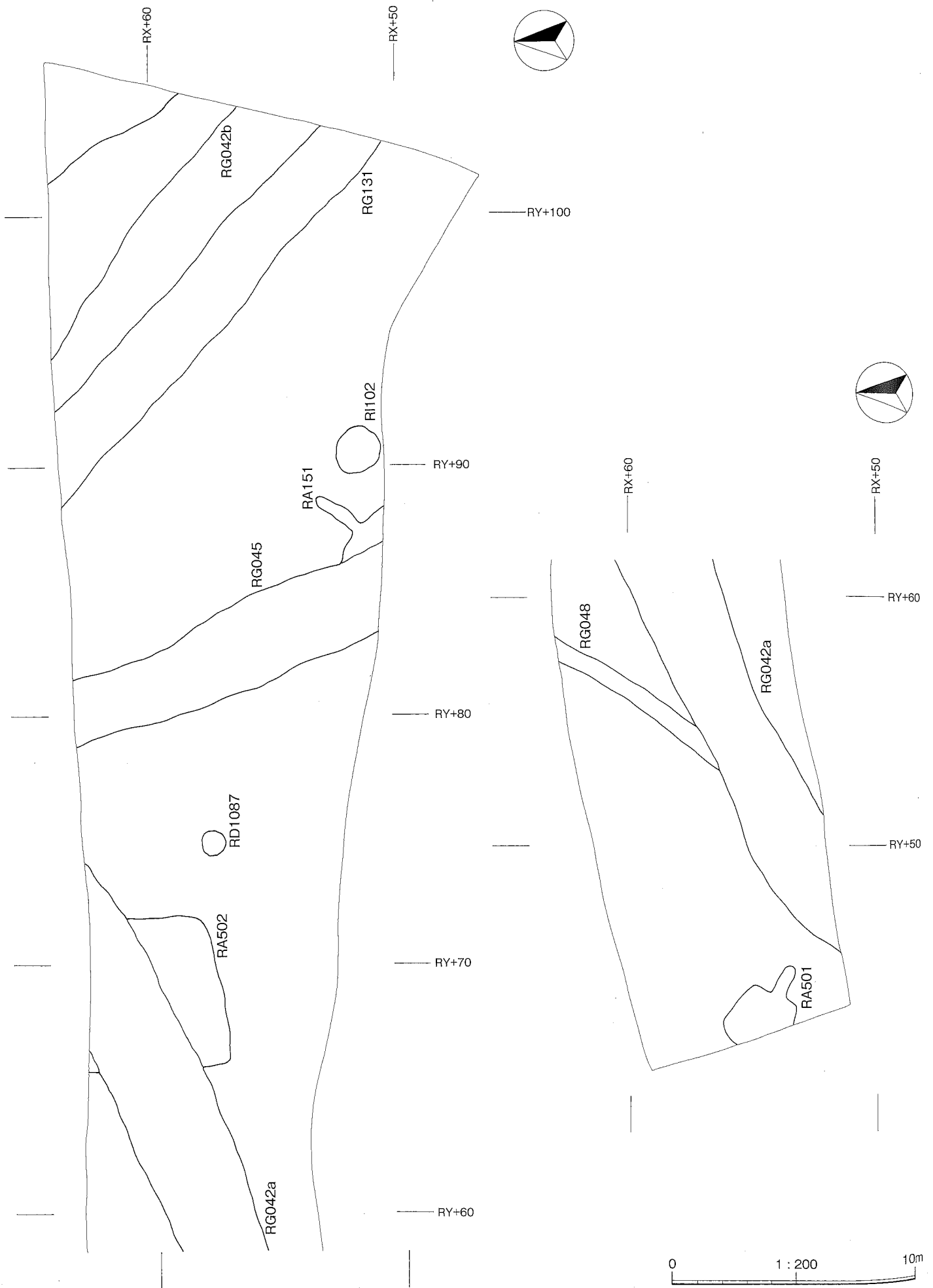
第 133 图 第 32 次調査 B 区全体图



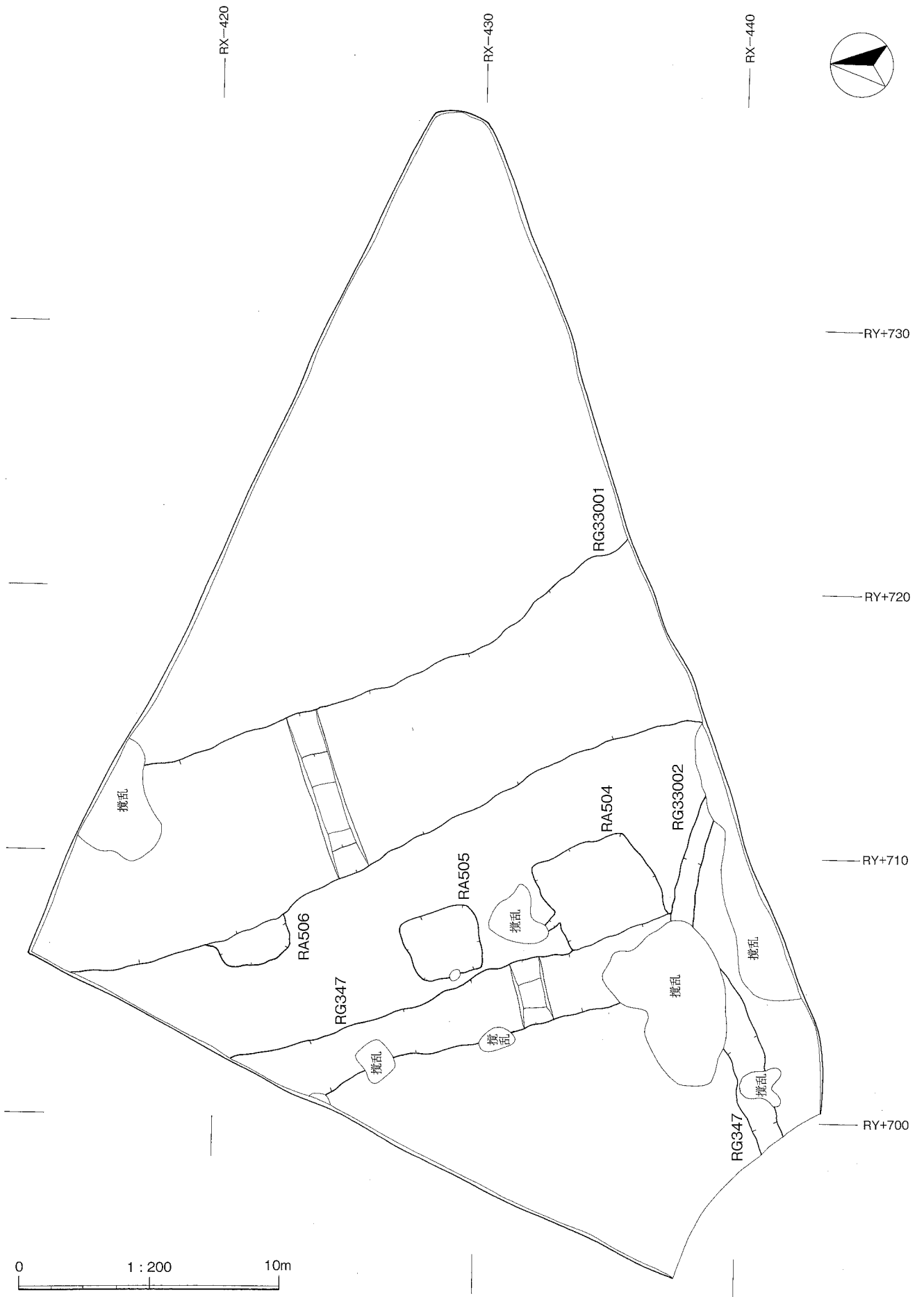
第 134 图 第 32 次調査 B 区 RA193 竖穴住居跡



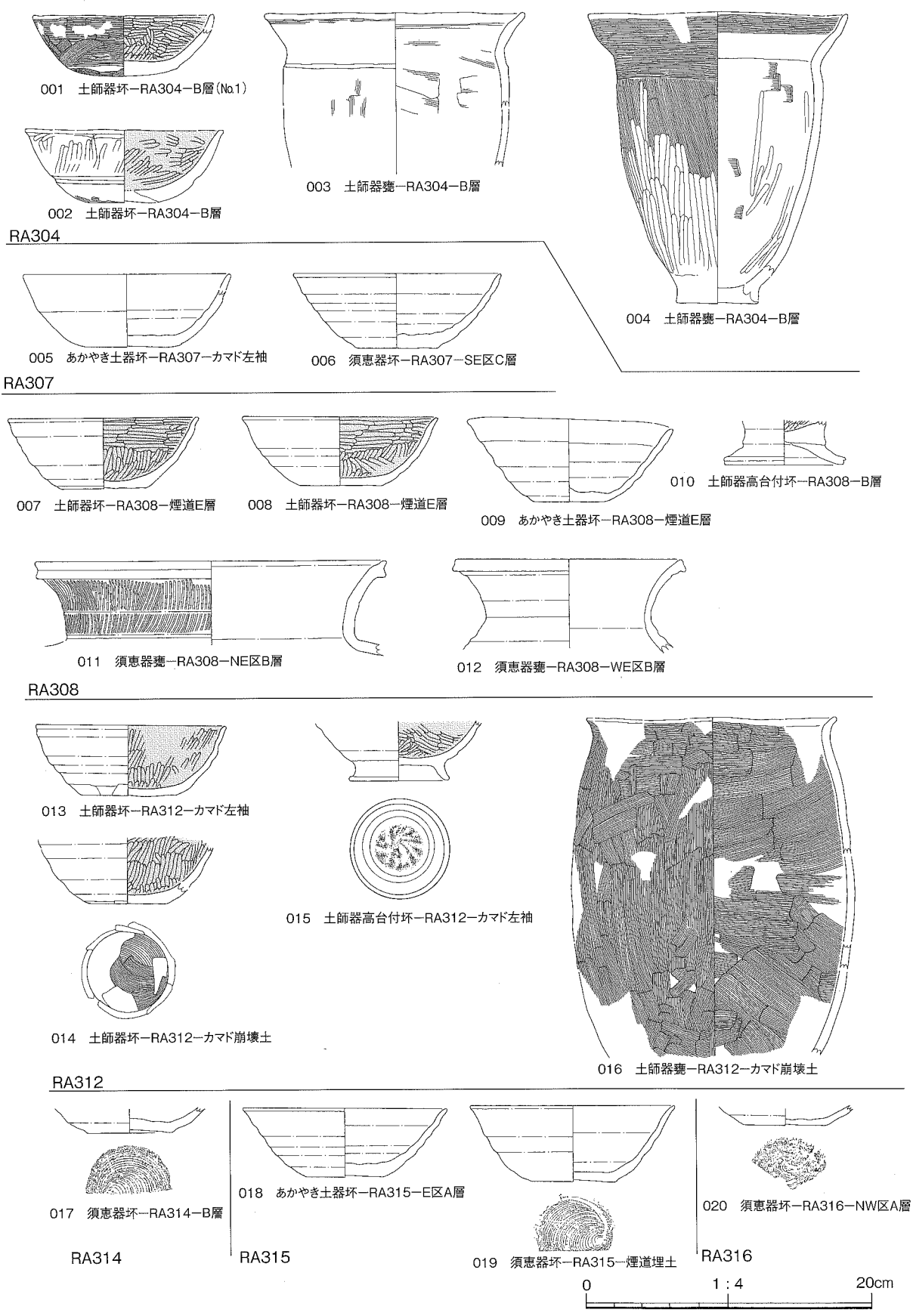
第 135 图 第 32 次調査 B 区 RA500 竖穴住居跡



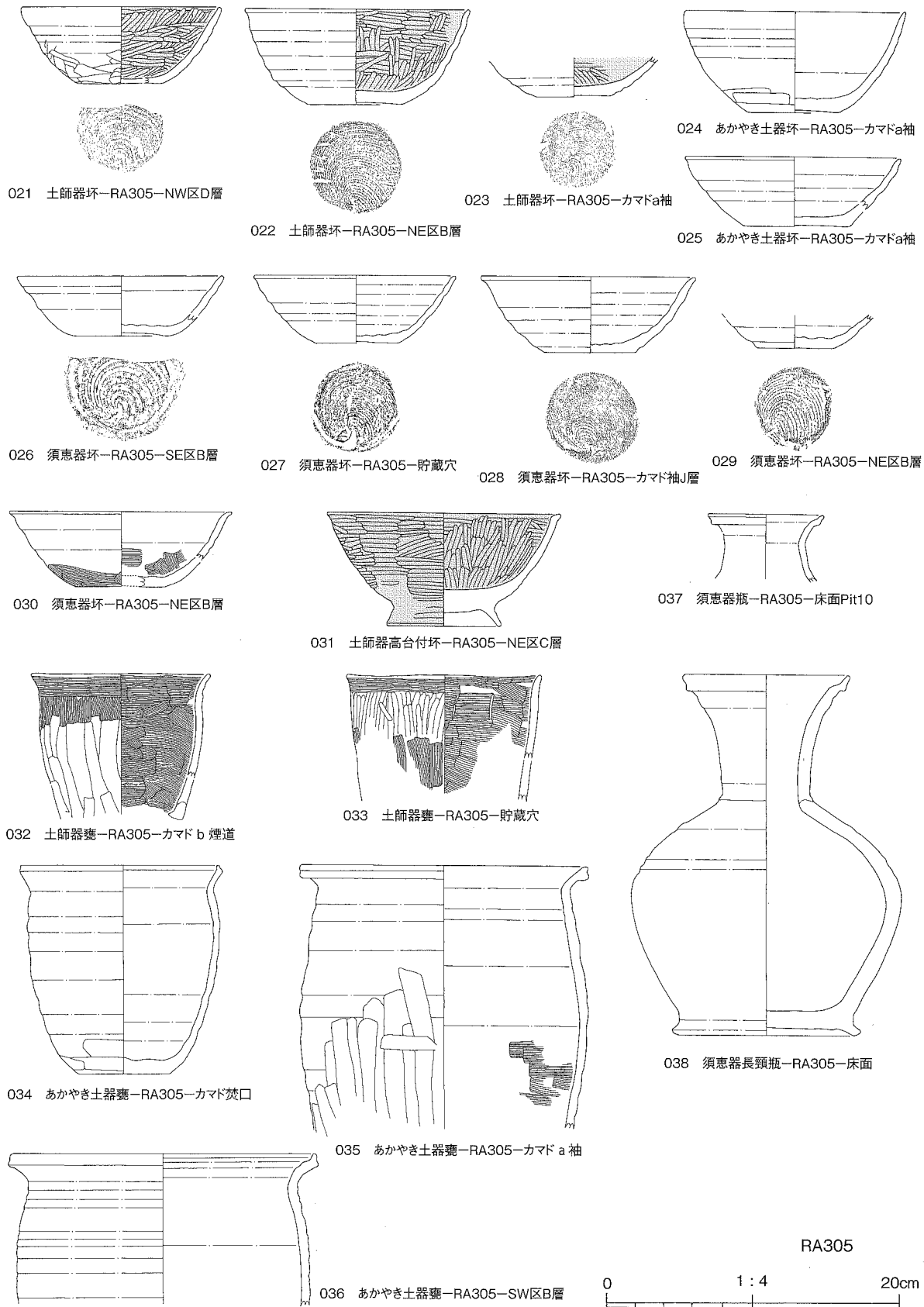
第 136 図 第 32 次調査C区全体図



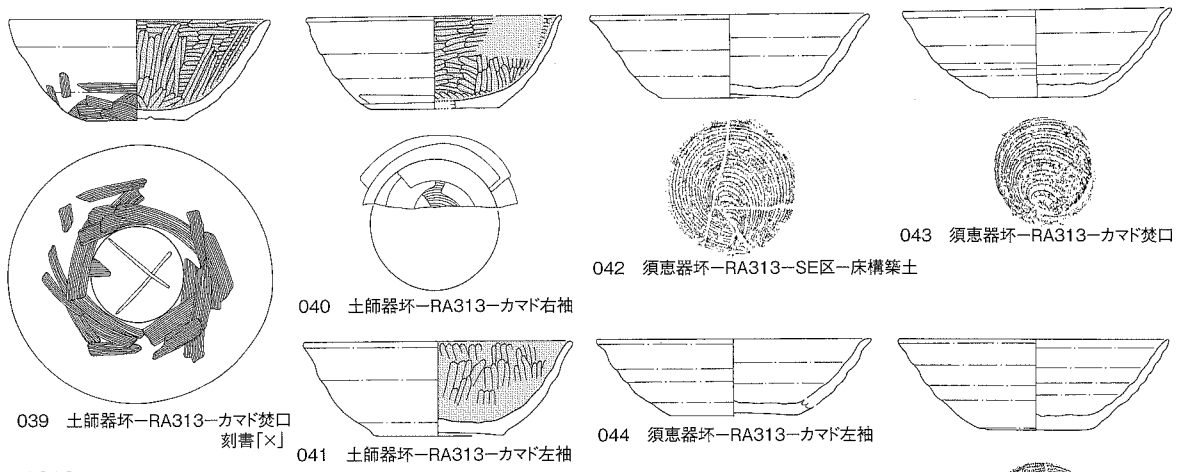
第 137 図 第 33 次調査区全体図



第138図 第24次調査出土土器(1)



第139図 第24次調査出土土器(2)



039 土師器坏-RA313-カマド焚口
刻書「×」

040 土師器坏-RA313-カマド右袖

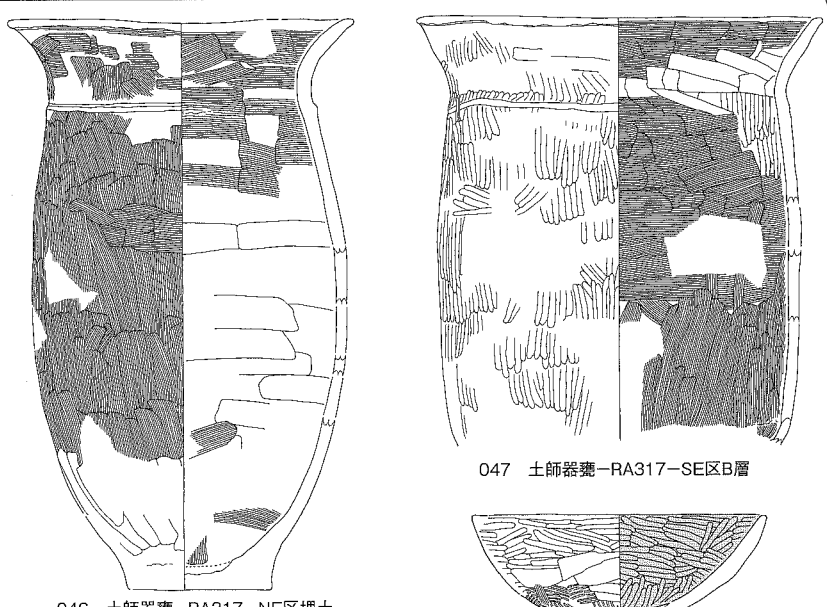
042 須恵器坏-RA313-SE区-床構築土

043 須恵器坏-RA313-カマド焚口

041 土師器坏-RA313-カマド左袖

044 須恵器坏-RA313-カマド左袖

RA313



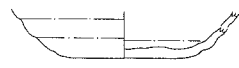
046 土師器甕-RA317-NE区埋土

047 土師器甕-RA317-SE区B層

048 土師器坏-RA317-B層

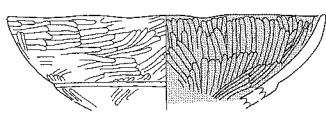
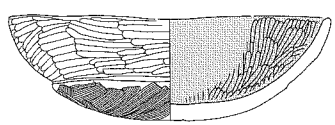


045 須恵器坏-RA313-埋土

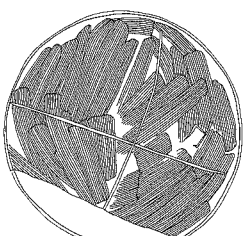


049 須恵器坏-RA320-SE区(No.1)

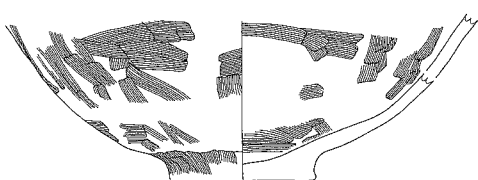
RA317



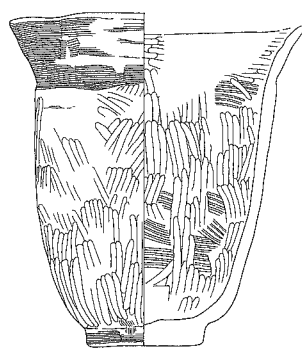
051 土師器坏-RA319-カマド右袖(No.1)



050 土師器坏-RA319-SE区A層
刻書「×」「工」

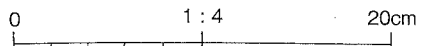


052 土師器球胴甕-RA319-NW区A層

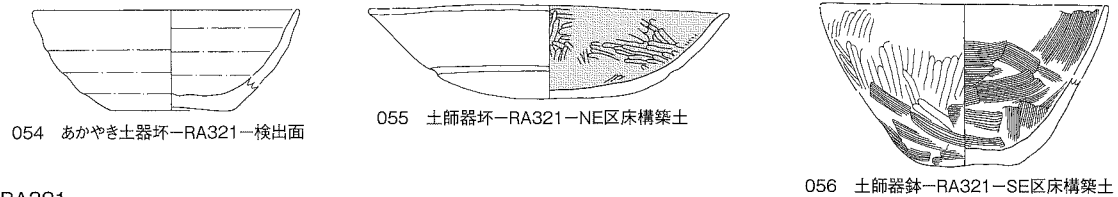


053 土師器甕-RA319-NE区A層

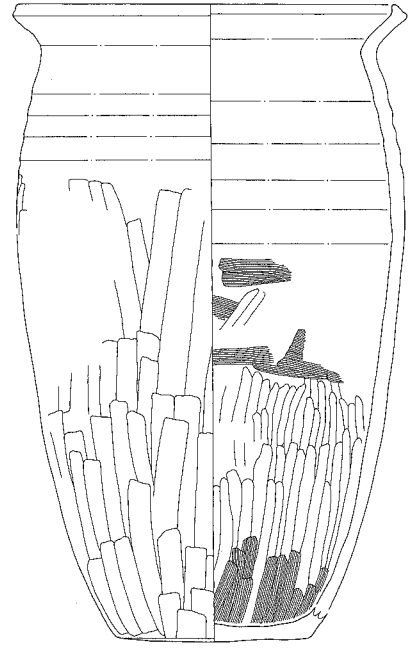
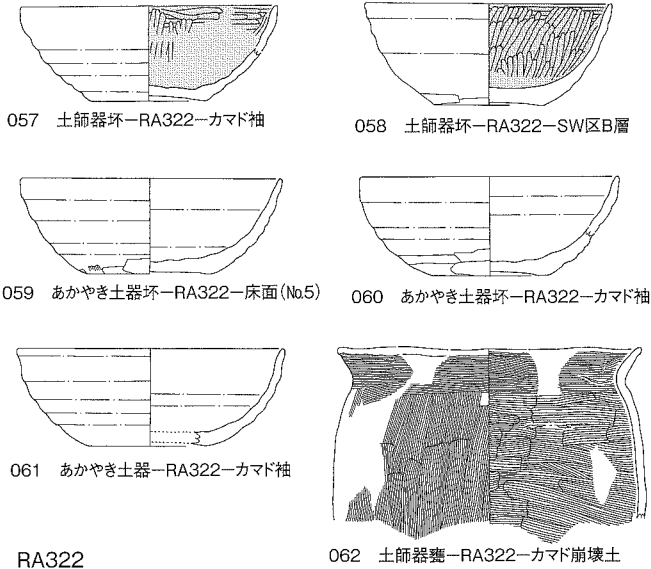
RA319



第 140 図 第 24 次調査出土土器 (3)

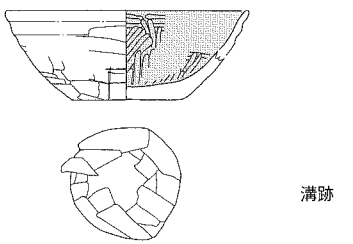


RA321

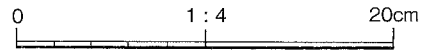


063 アカヤキ土器甕-RA322-カマド(No.8)

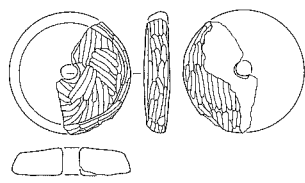
RA322



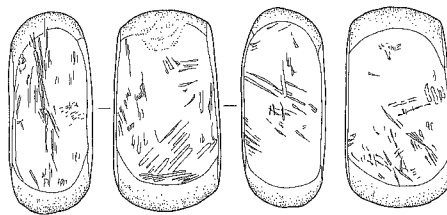
064 土師器-RA327-埋土-刻書「毛」



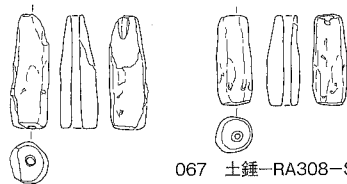
第141図 第24次調査出土土器 (4)



065 紡錘車-RA304-B層

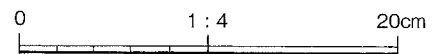


068 砥石-RA322-床面(No.1)

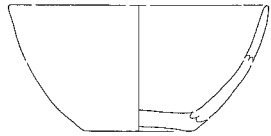


067 土錘-RA308-SE区A層

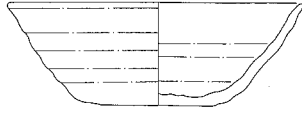
066 土錘-RA308-SE区A層



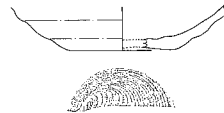
第142図 第24次調査出土土製品・石製品



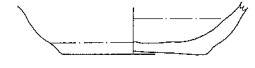
069 あかやき土器碗—RA322—C層



070 須恵器杯—RA322—床面(No.2)

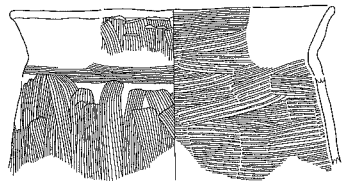


071 須恵器杯—RA322—C層

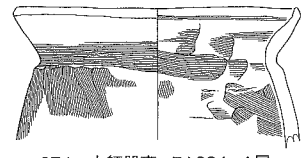


072 須恵器杯—RA322—B層

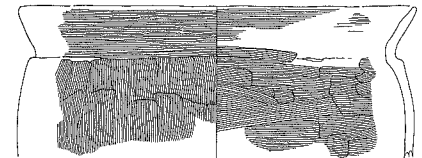
RA322



073 土師器甕—RA323—NW区床面(No.3)



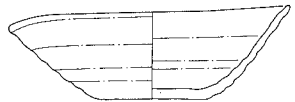
074 土師器甕—RA324—A層



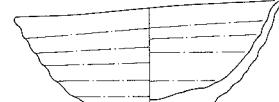
075 土師器甕—RA325—NW区A層

RA323

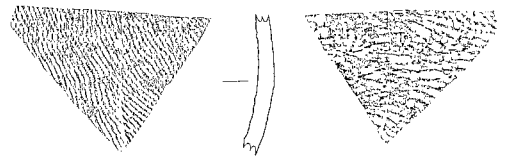
RA324



077 須恵器杯—RA327—B層

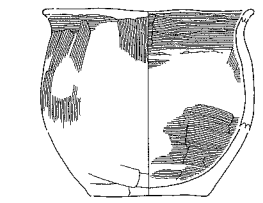


078 あかやき土器杯—RA327—カマド支脚

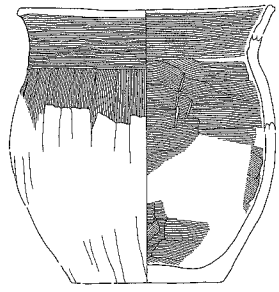


076 須恵器甕—RA325—SE区A層

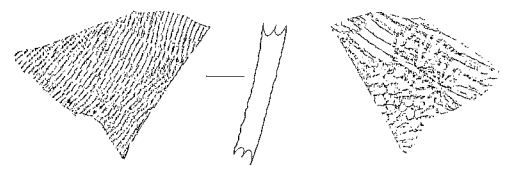
RA325



079 土師器甕—RA327—NE区A層



080 土師器甕—RA327—SE区B層

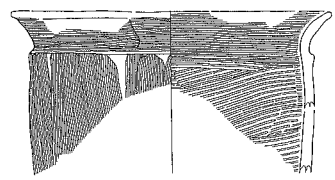


081 須恵器甕—RA327—煙道B層

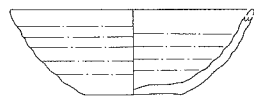


082 須恵器甕—RA327—煙道B層

RA327



083 土師器甕—RA329—煙道D層



RA338

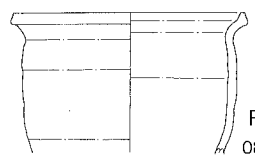
085 あかやき土器甕—RA338—NW区A層



086 須恵器甕—RA335—NE区A層

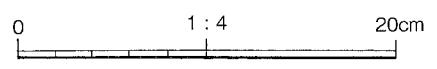


RA335

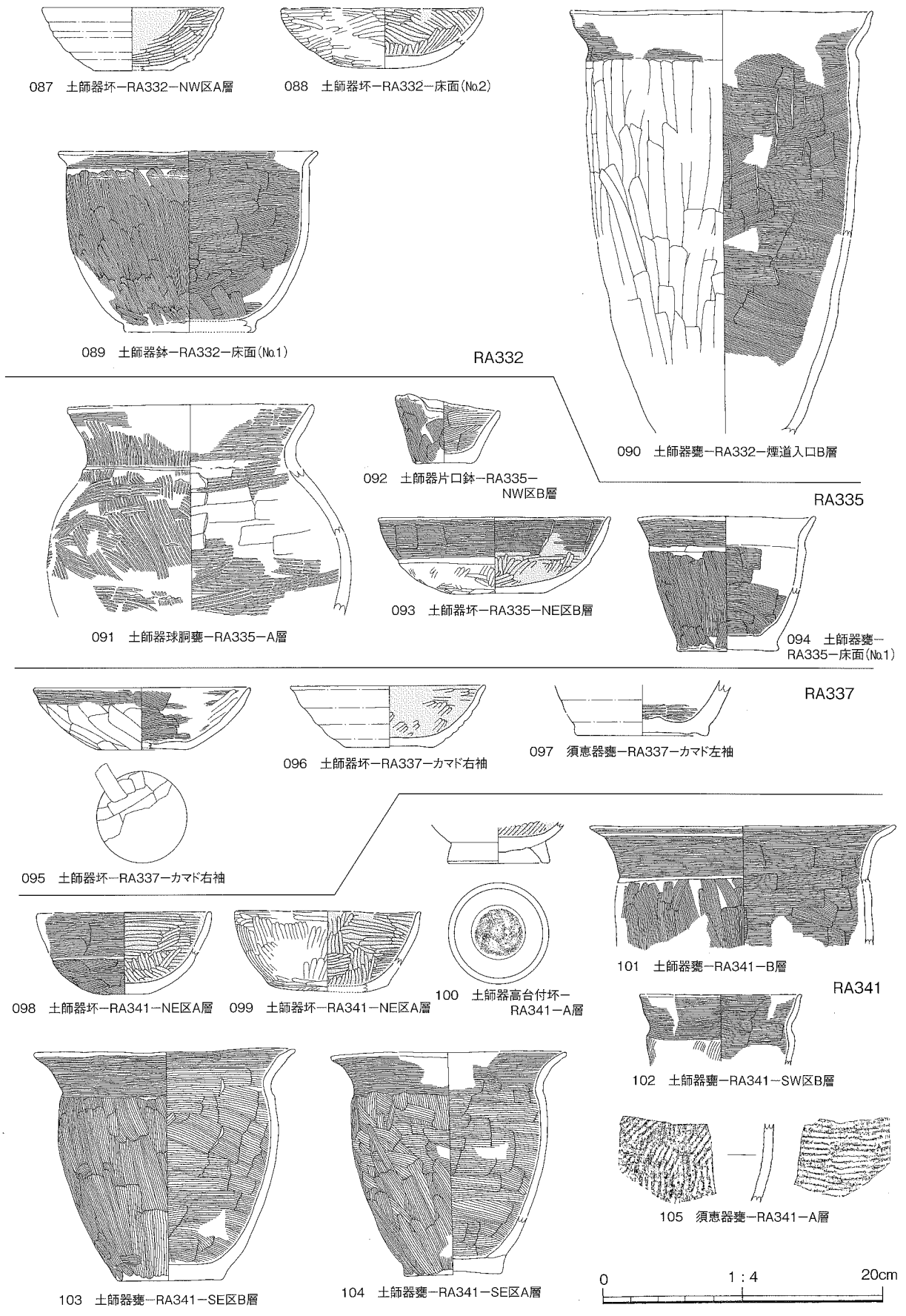


RA329

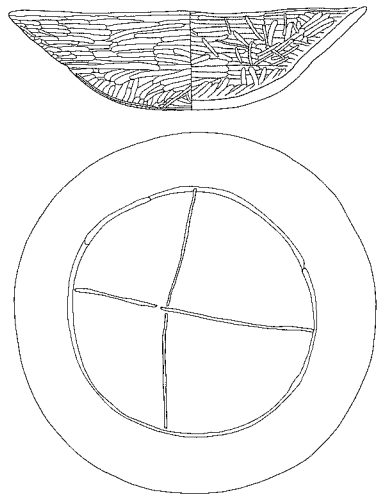
084 あかやき土器甕—RA329—NW区A層



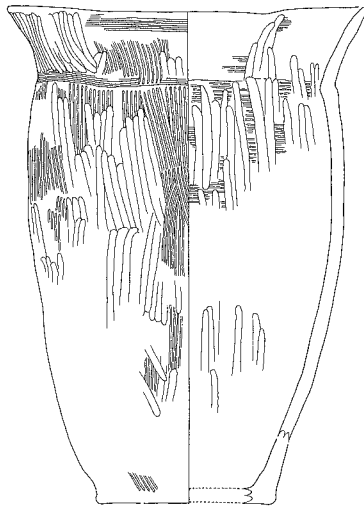
第143図 第25次調査A区出土土器(1)



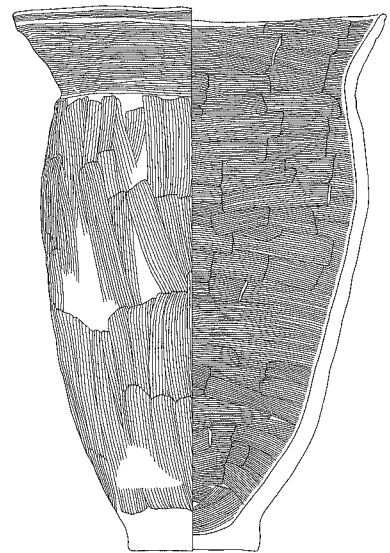
第 144 図 第 25 次調査 A 区出土土器 (2)



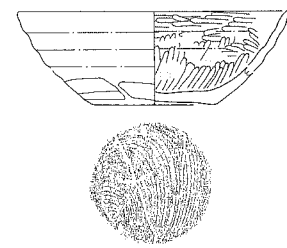
106 土師器坏—RA345—床面(No.1)—刻書「×」



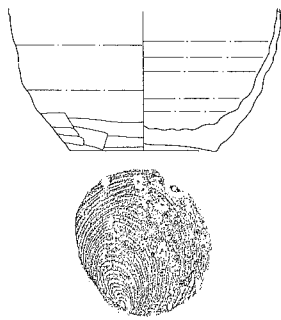
107 土師器甕—RA345—床面(No.3)



108 土師器甕—RA345—カマド袖(No.8)



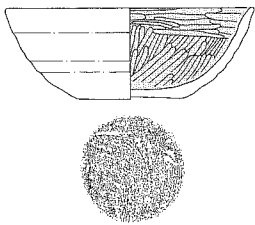
110 土師器坏—RA346—NE区A層



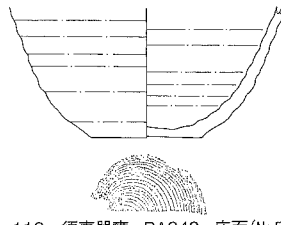
111 須恵器甕—RA346—B層

RA346

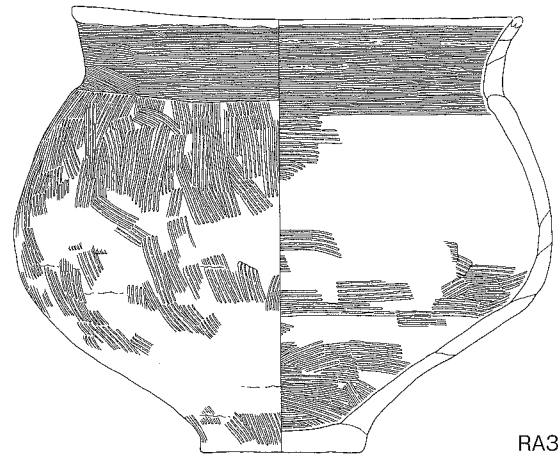
RA348



112 土師器坏—RA348—SW区構築土

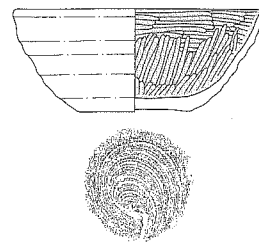


113 須恵器甕—RA348—床面(No.5)

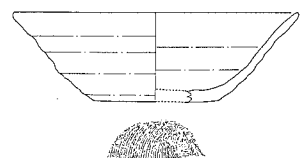


109 土師器球胸甕—RA345—床面(No.6)

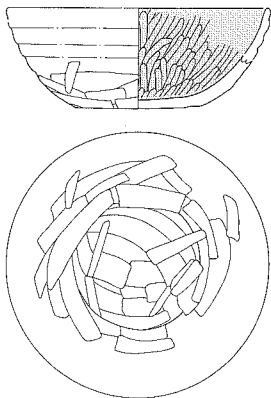
RA345



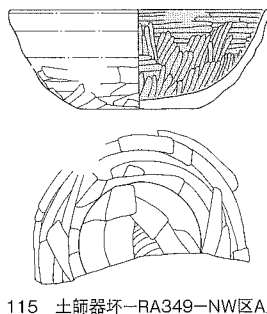
116 土師器坏—RA349—埋土



117 須恵器坏—RA349—NW区A層

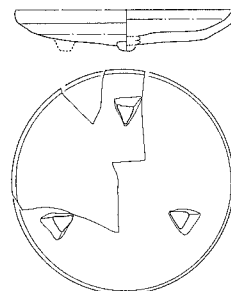


114 土師器坏—RA349—A層

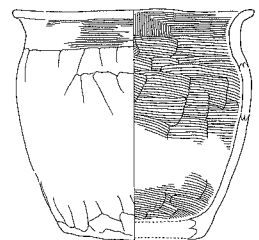


115 土師器坏—RA349—NW区A層

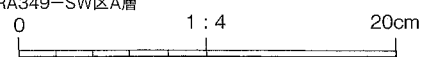
RA349



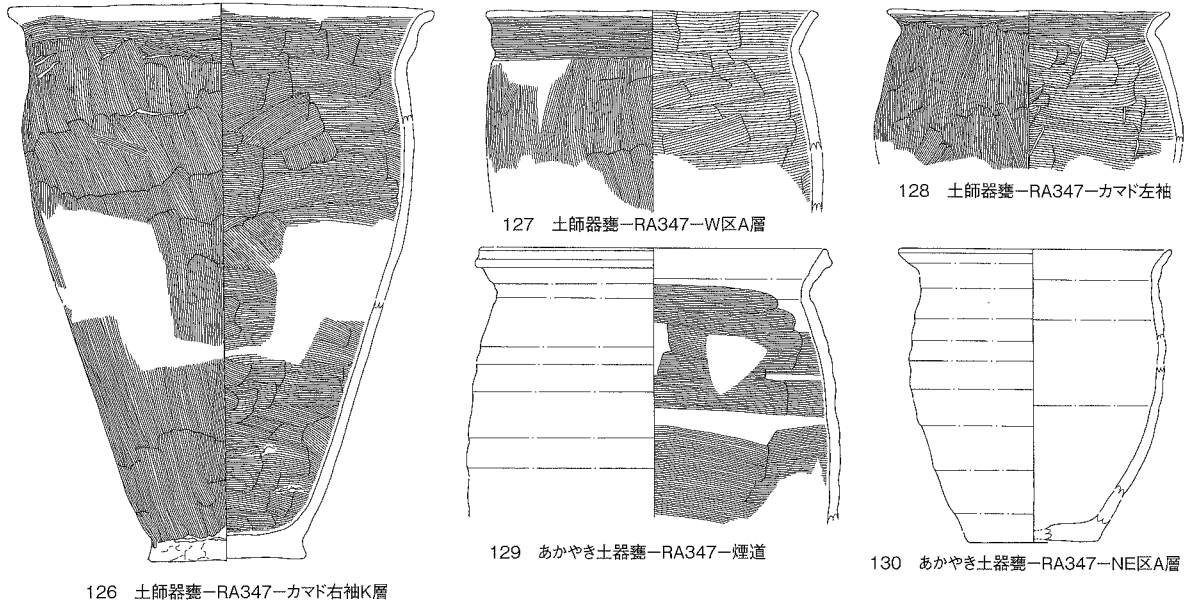
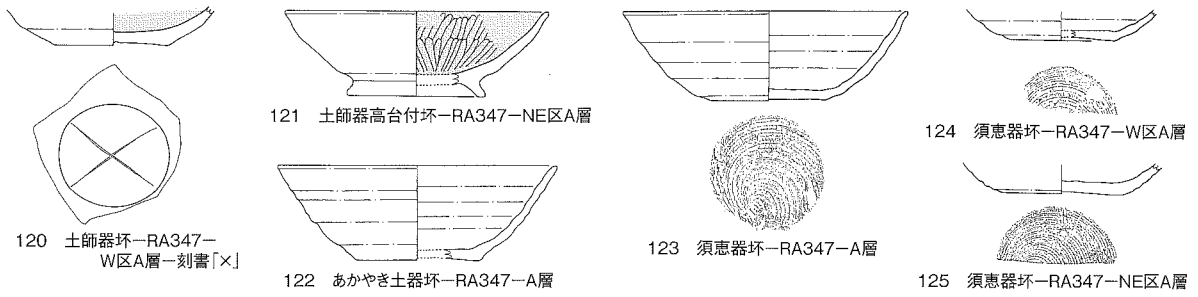
118 須恵器脚付盤皿—RA349—SW区A層



119 土師器甕—RA349—NE区A層



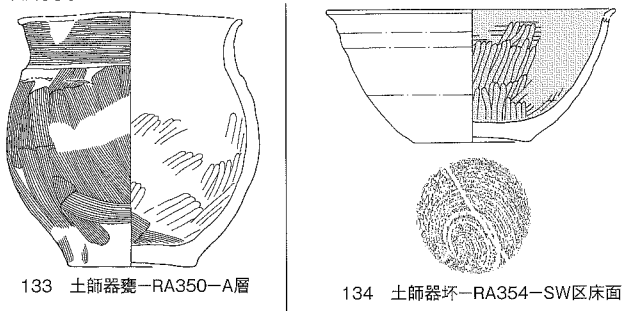
第 145 図 第 25 次調査 A 区出土土器 (3)



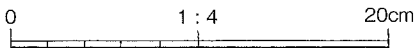
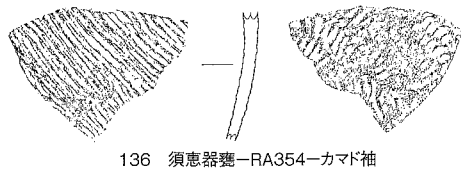
RA347



RA350



RA354

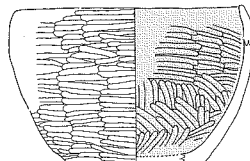


第146図 第25次調査A区出土土器(4)



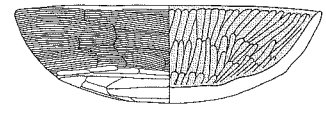
137 須恵器甕—RA353—煙道C層

RA353



138 土師器碗—RA355—NE区A層

RA355



139 土師器环—RA361—A層

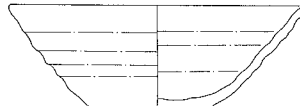
RA361



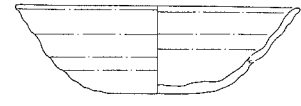
140 土師器环—RA356—煙道J層



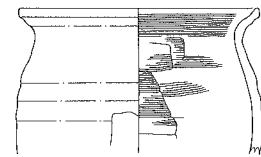
141 土師器环—RA356—床面(No.3)



142 あかやき土器环—RA356—床面Pit1

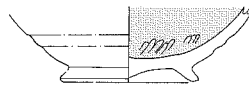


143 須恵器环—RA356—構築土



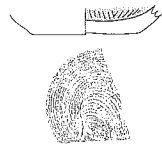
144 あかやき土器甕—RA356—SW区A層

RA356



145 土師器高台付坏—RA357—
中央南部埋土

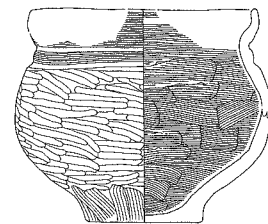
RA357



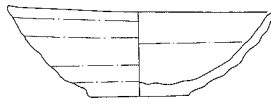
146 土師器坏—RA360—SE区A層

RA360

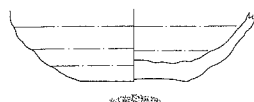
RA367



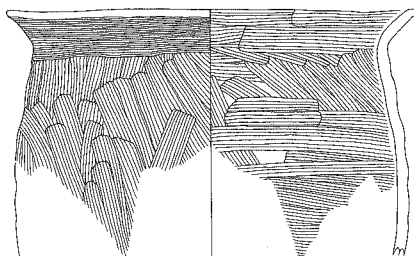
151 土師器球胴甕—RA367—床面(No.4)



147 須恵器环—RA366—A層(No.6)

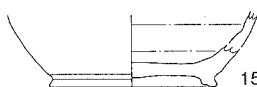


148 須恵器环—RA366—構築土

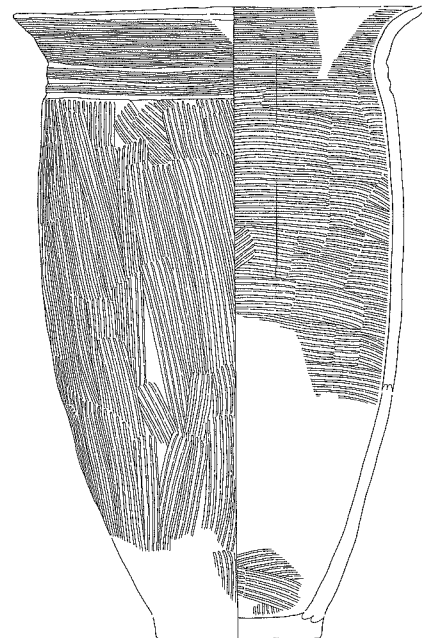


149 土師器甕—RA366—煙出B層

RA366



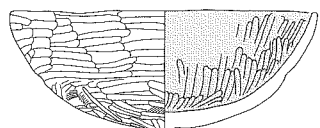
150 須恵器瓶—RA366—A層(No.4)



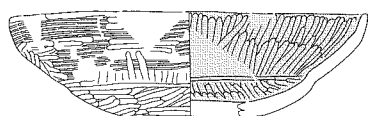
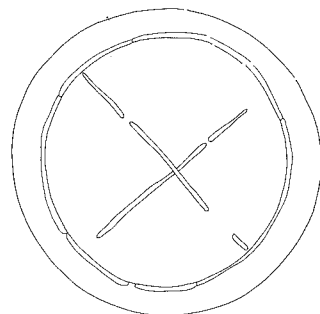
152 土師器甕—RA367—床面(No.2)

0 1:4 20cm

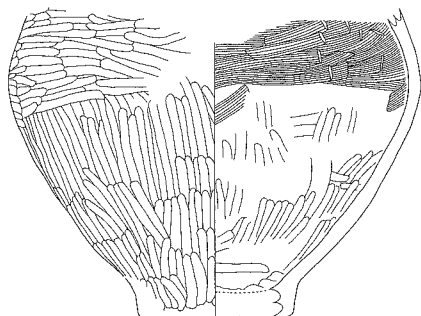
第147図 第25次調査A区出土土器(5)



153 土師器坏—RA370—A層—刻書「×」

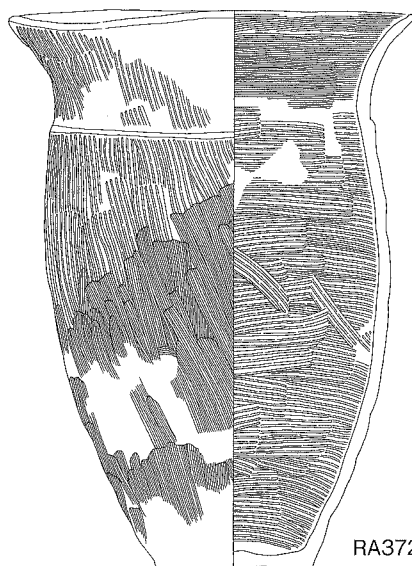


154 土師器坏—RA370—床面Pit1



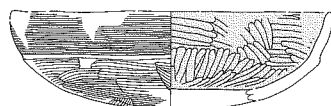
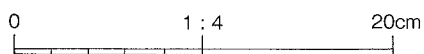
155 土師器球胴甕—RA370—C層

RA370

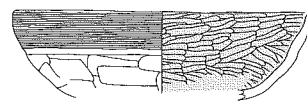


RA372

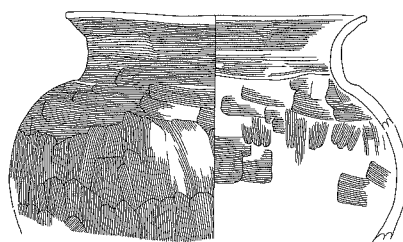
160 土師器甕—RA372—SW区B層



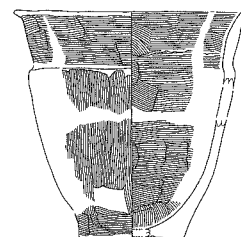
156 土師器坏—RA371—SE区B層



157 土師器坏—RA371—NW区B層



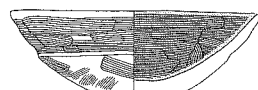
158 土師器球胴甕—RA371—B層



159 土師器甕—RA371—SW区B層—刻書「(×)?」



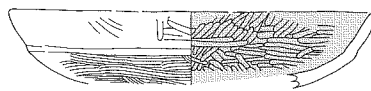
RA371



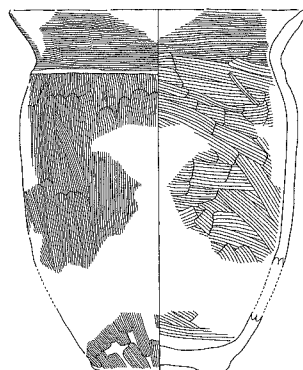
161 土師器坏—RA373—床面(No.1)



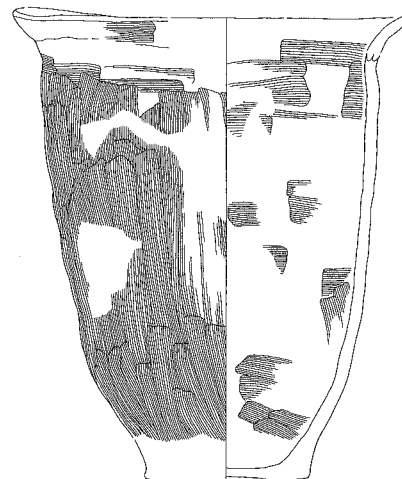
162 土師器坏—RA373—NE区A層



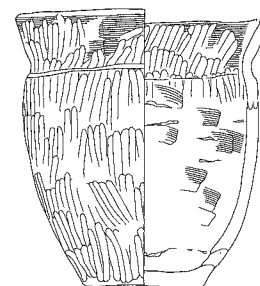
163 土師器坏—RA373—NE区A層



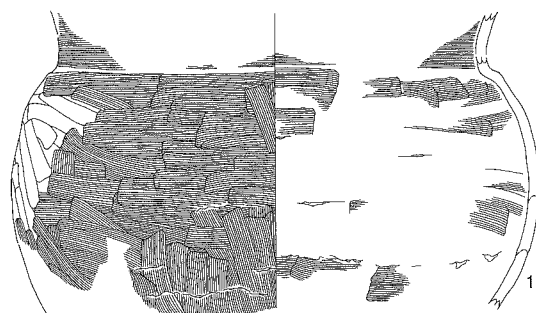
164 土師器甕—RA373—床面(No.4)



165 土師器甕—RA373—SE区A層



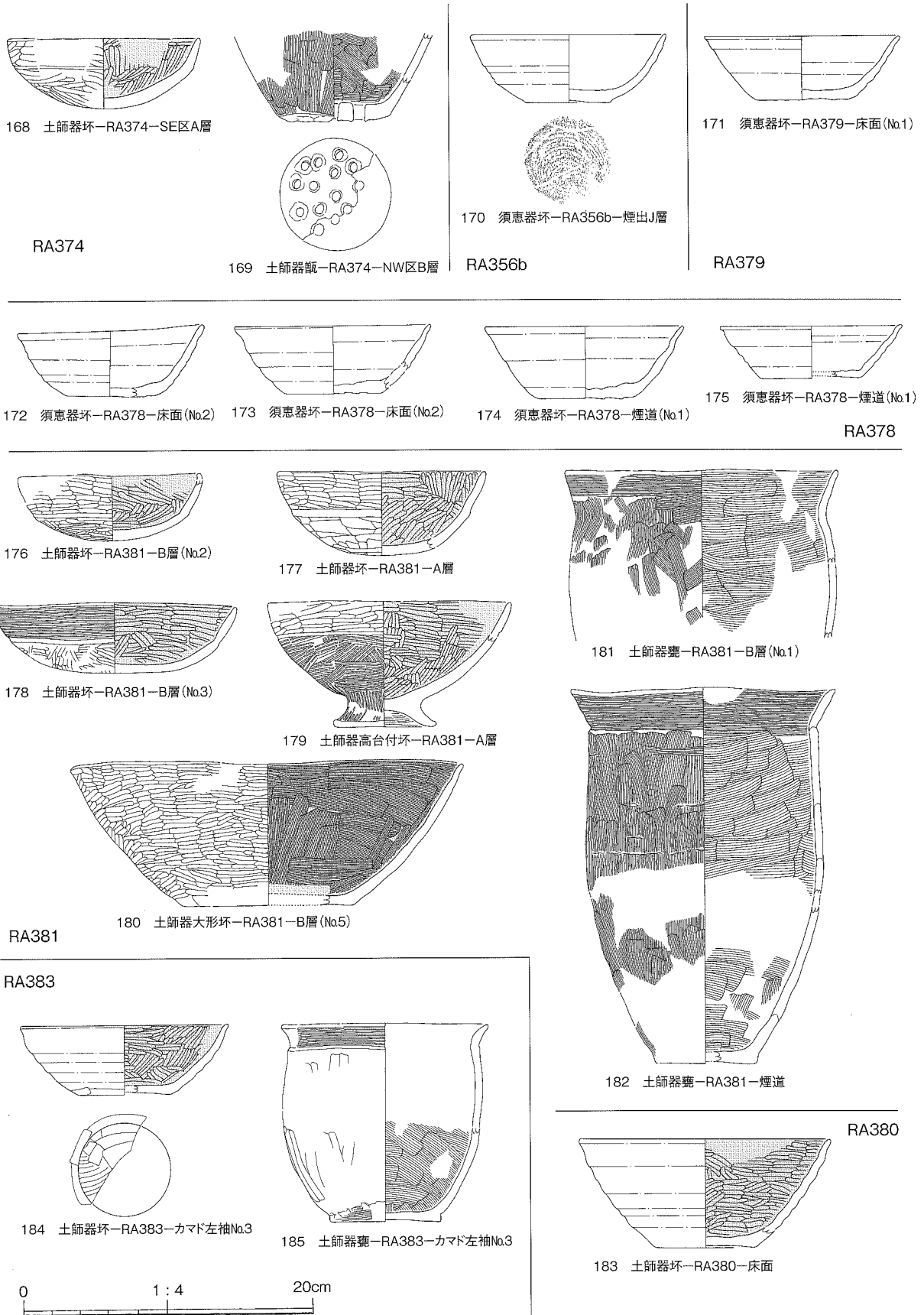
166 土師器甕—RA373—床面(No.4)



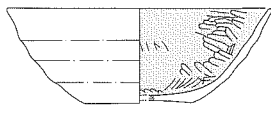
RA373

167 土師器球胴甕—RA373—床面(No.3)

第 148 图 第 25 次調査 A 区出土土器 (6)



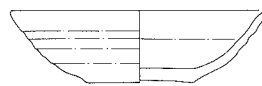
第149図 第25次調査A区出土土器(7)



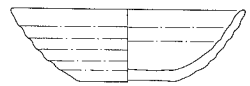
186 土師器環-RE046-A層



187 あかやき土器環-RE046-A層



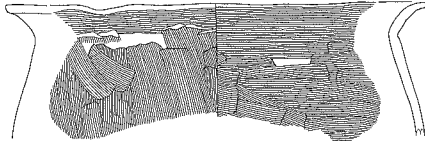
RE047



189 あかやき土器環-RE047-床面

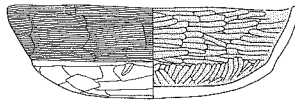


190 あかやき土器環-RE047-A層

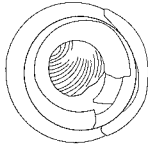


188 土師器甕-RE046-A層

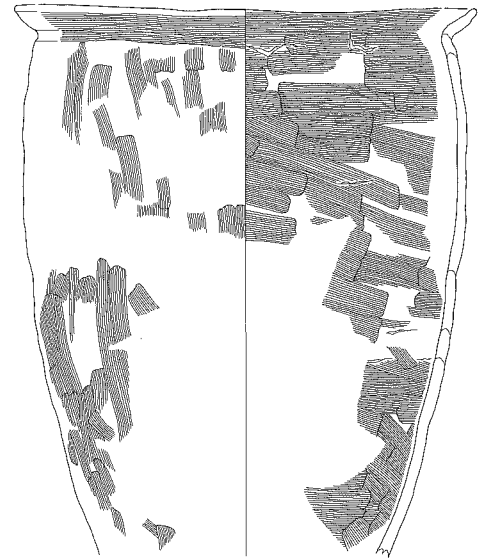
RE046



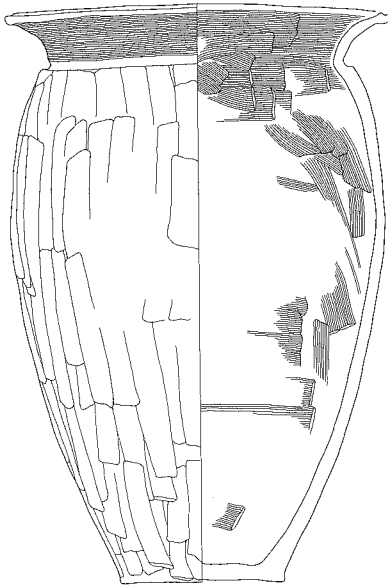
192 土師器環-RD908-埋土No.3



191 土師器環-RD871-埋土

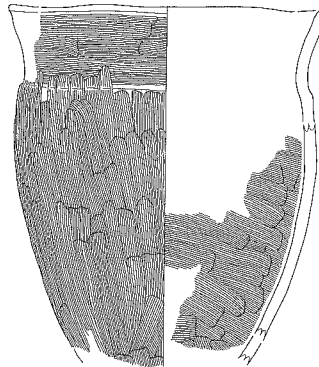


193 土師器甕-RD868-A層

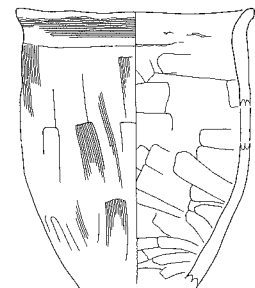


194 土師器甕-RD875-埋土

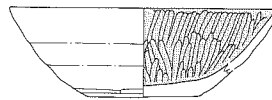
土坑



195 土師器甕-RD875-埋土

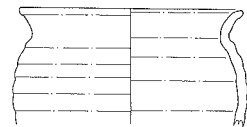


196 土師器甕-RD875-A層

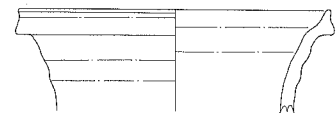


197 土師器環-RG327-A層

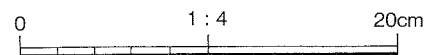
溝跡



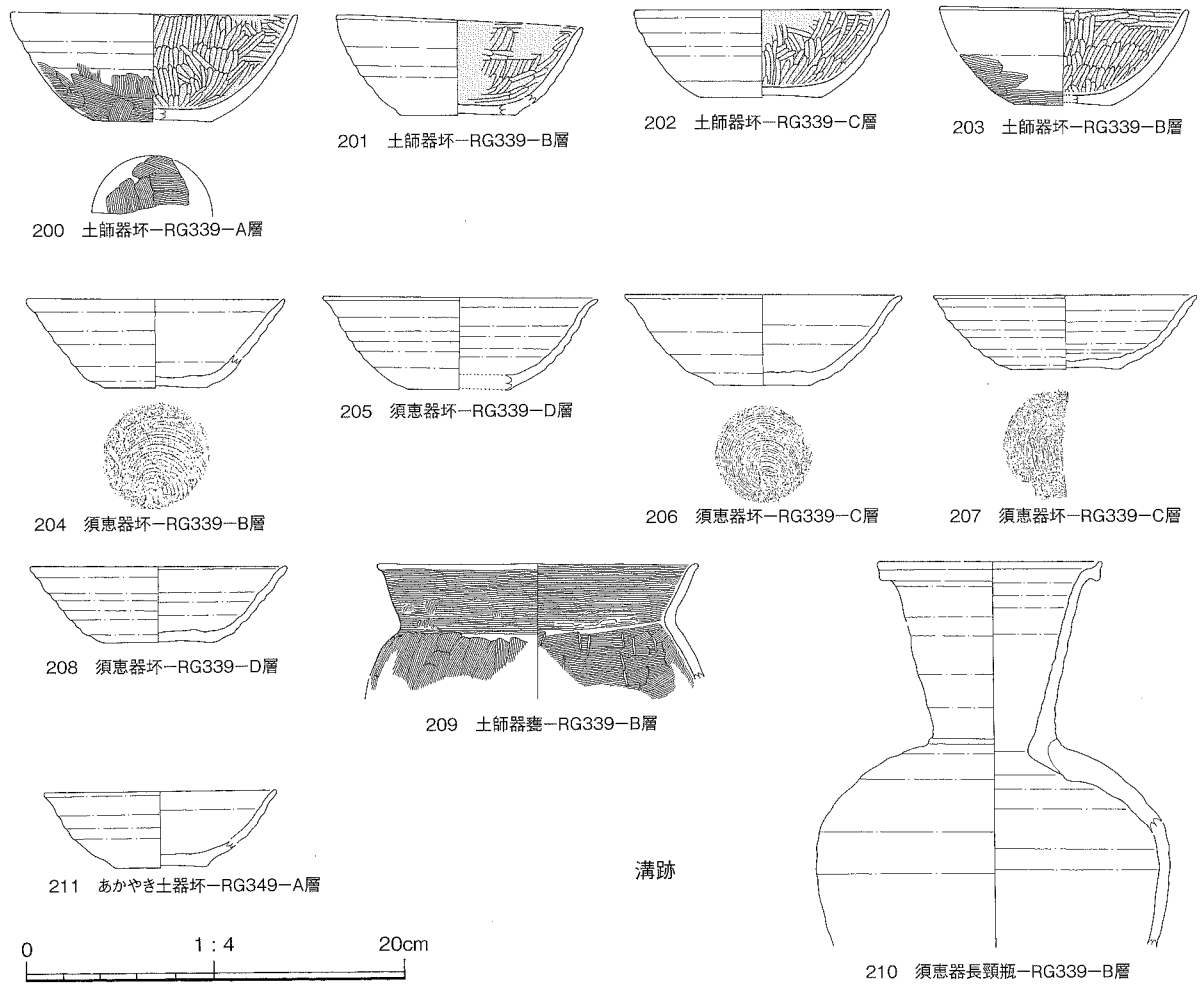
198 須恵器甕-RG327-A層



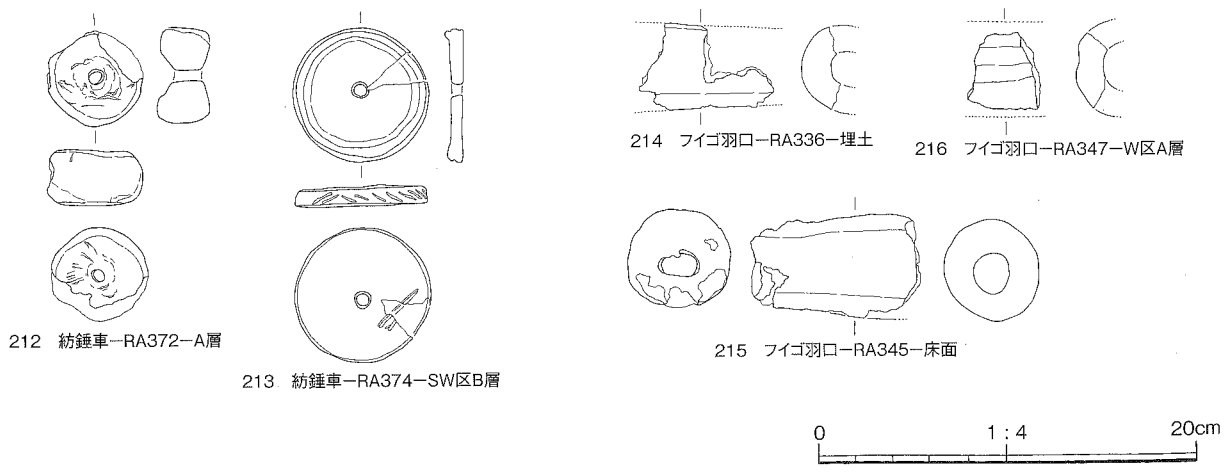
199 須恵器甕-RG327-A層



第150図 第25次調査A区出土土器(8)



第 151 図 第 25 次調査 A 区出土土器 (9)



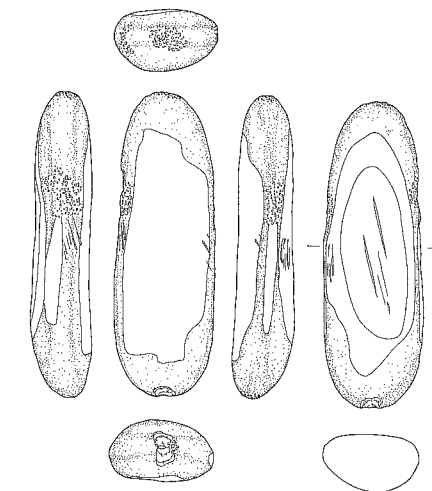
第 152 図 第 25 次調査 A 区出土土製品



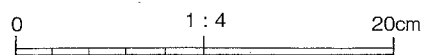
217 砥石-RA350-埋土



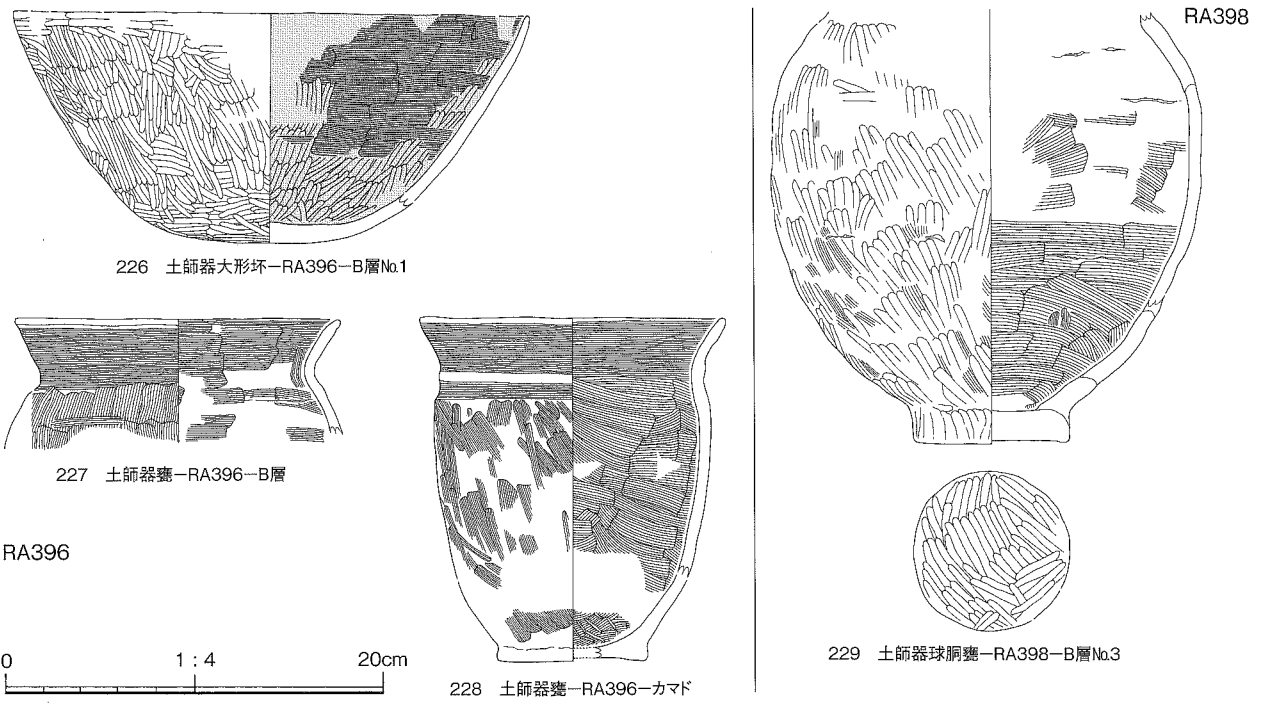
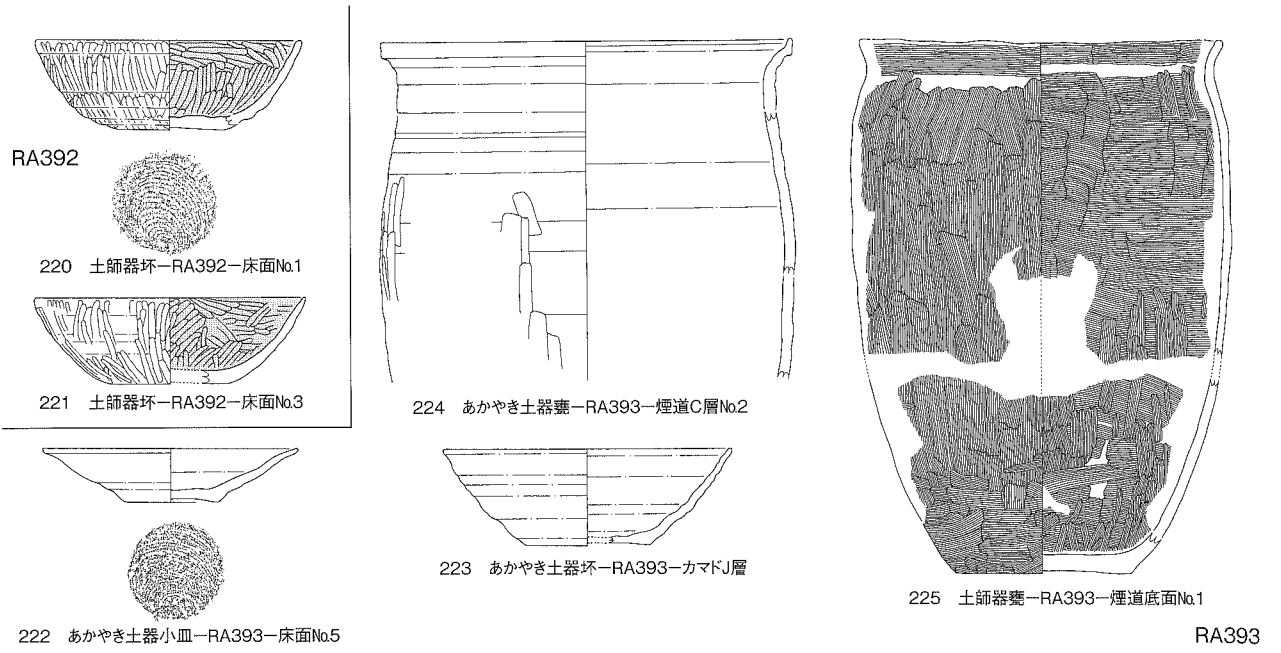
218 砥石-RA371-床面



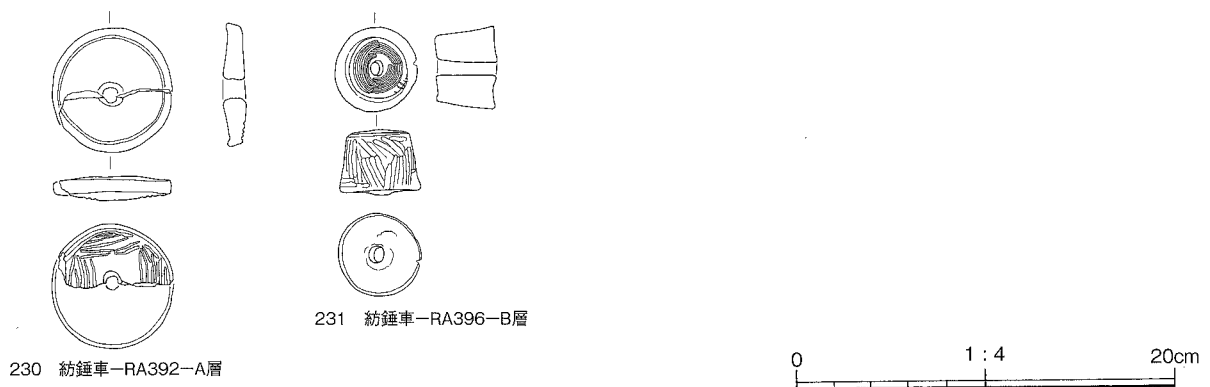
219 砥石-RA375-埋土



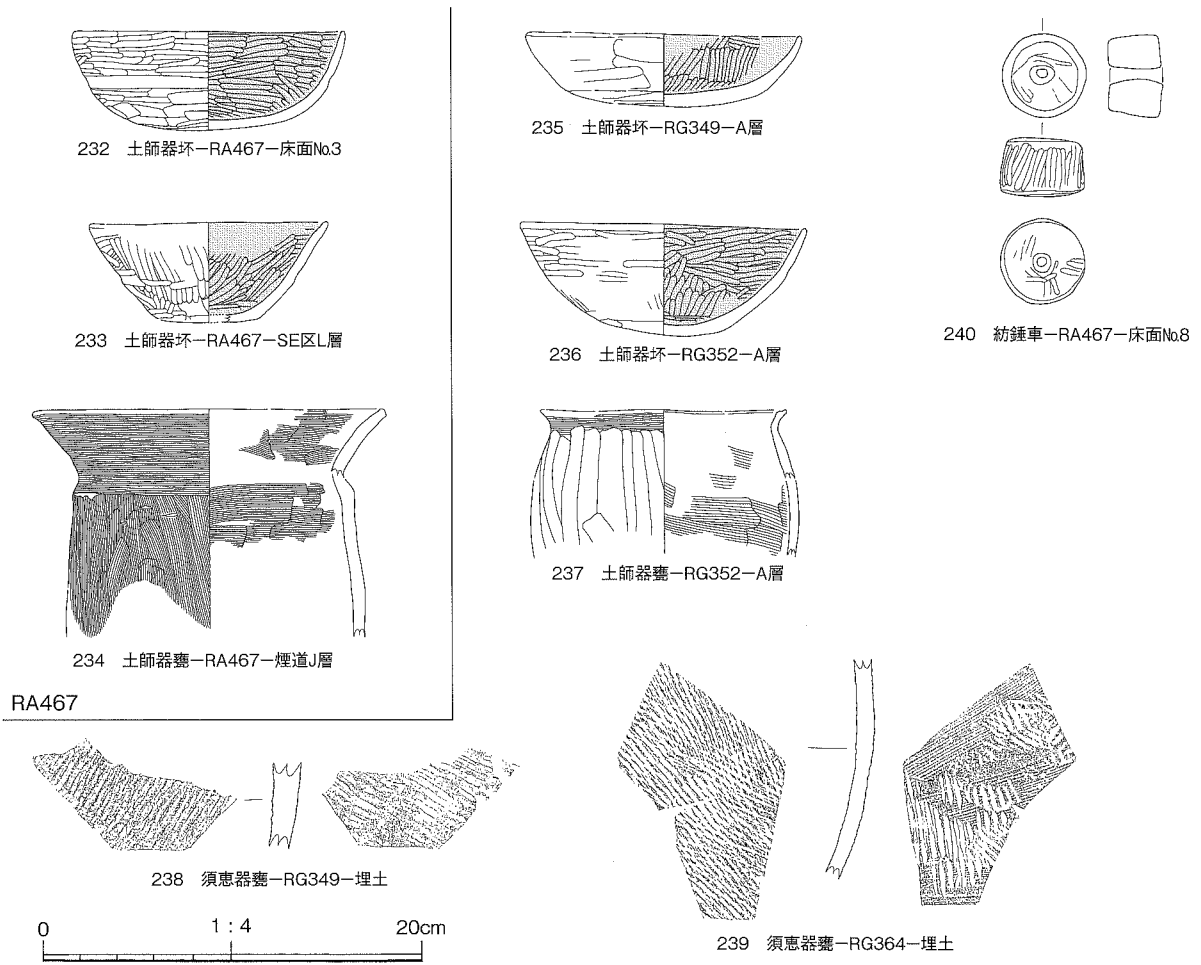
第 153 図 第 25 次調査 A 区出土石製品



第154図 第25次調査B区出土土器

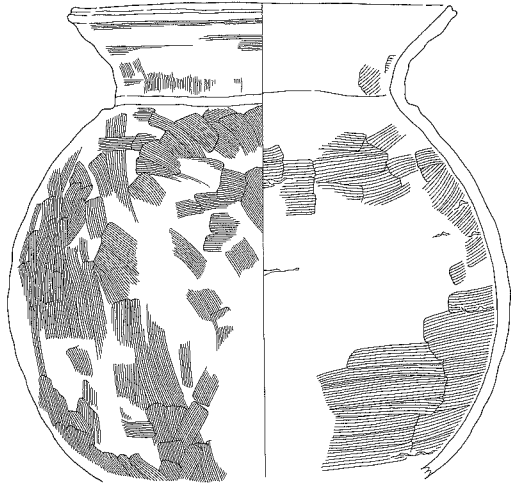


第155図 第25次調査B区出土土製品

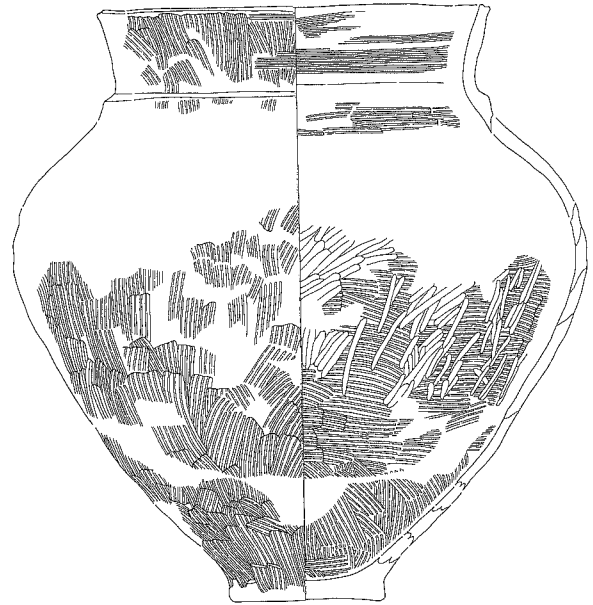


第 156 図 第 27 次調査 A 区出土土器・土製品

RA484

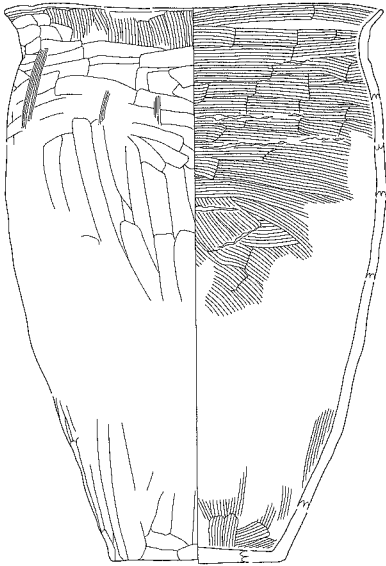


241 土師器球胴甕—RA484—床面No.1

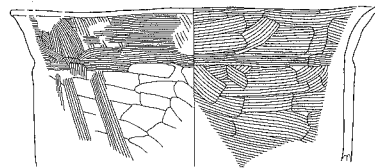


242 土師器球胴甕—RA484—床面No.1

RA485

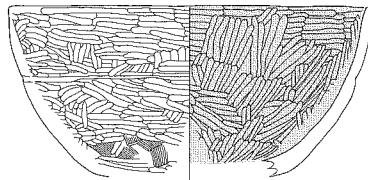


243 土師器甕—RA485—床面



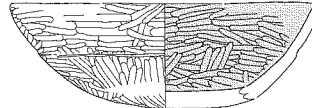
244 土師器—RA485—埋土

RA488

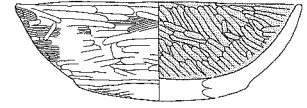


245 土師器坏—RA488—SE区A層

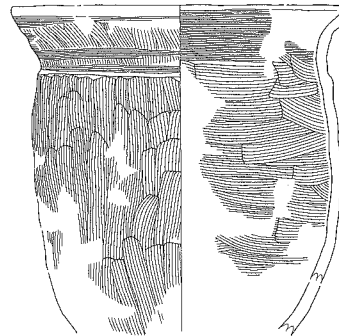
RA487



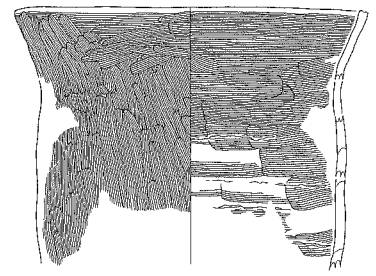
246 土師器坏—RA487—NE区A層



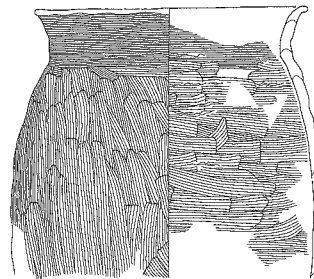
247 土師器坏—RA489—L層



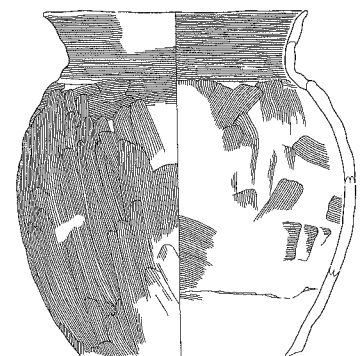
248 土師器甕—RA489—カマド層



249 土師器甕—RA489—床面

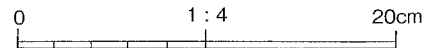


250 土師器甕—RA489—床面No.4

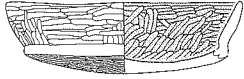


251 土師器球胴甕—RA489—床面No.1

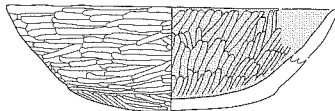
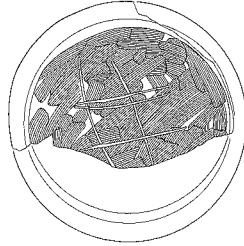
RA489



RA490



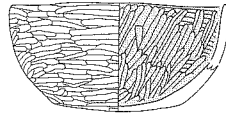
252 土師器坏—RA490—SE区A層
刻書「井」



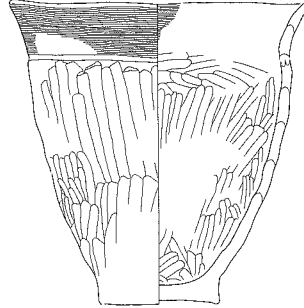
253 土師器坏—RA490—NE区L層



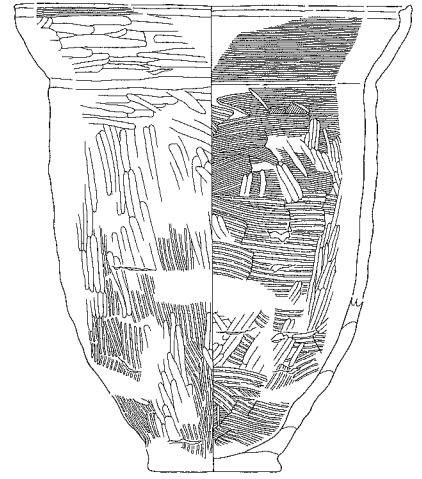
254 土師器坏—RA490—カマド付近J層



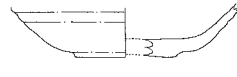
255 土師器坏—RA490—NW区A層



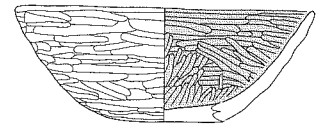
256 土師器甕—RA490—カマド右袖K層



257 土師器甕—RA490—カマド付近J層No.2

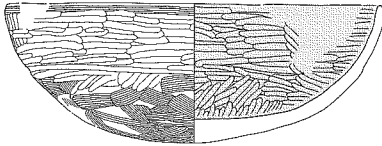


258 須恵器坏—RA491—B層

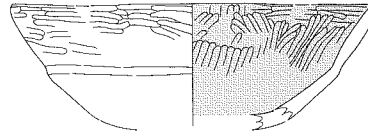


259 土師器坏—RA491—床面

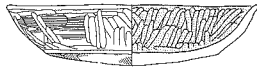
RA491①



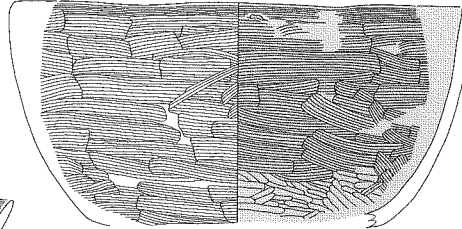
260 土師器坏—RA491—C層



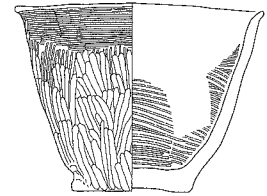
261 土師器坏—RA491—SE区A層



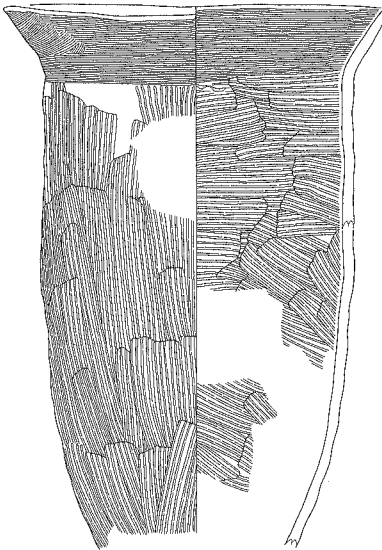
262 土師器坏—RA491



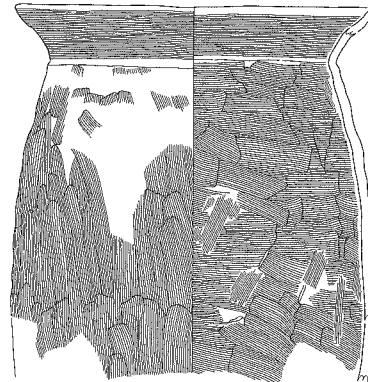
263 土師器大形鉢—RA491—Pit10



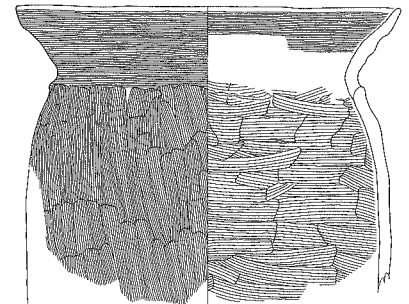
264 土師器甕—RA491—B層



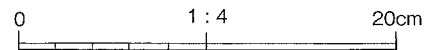
265 土師器甕—RA491—カマド袖K層No.2



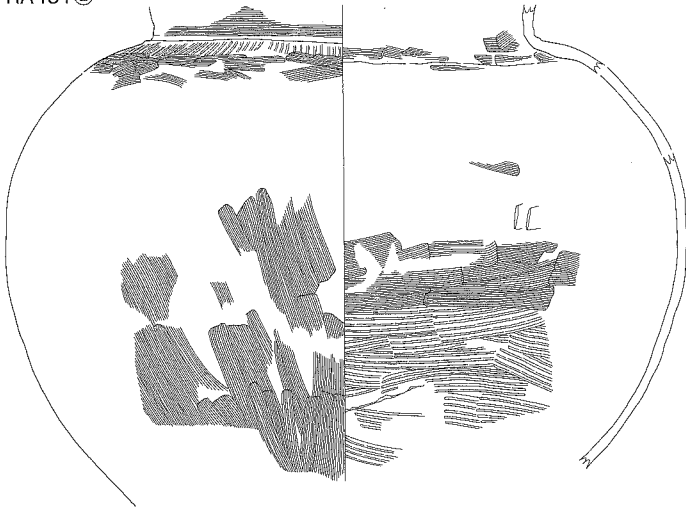
266 土師器甕—RA491—床面No.8



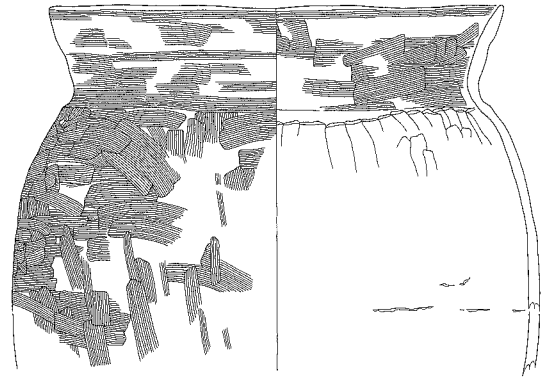
267 土師器甕—RA491—カマド袖K層



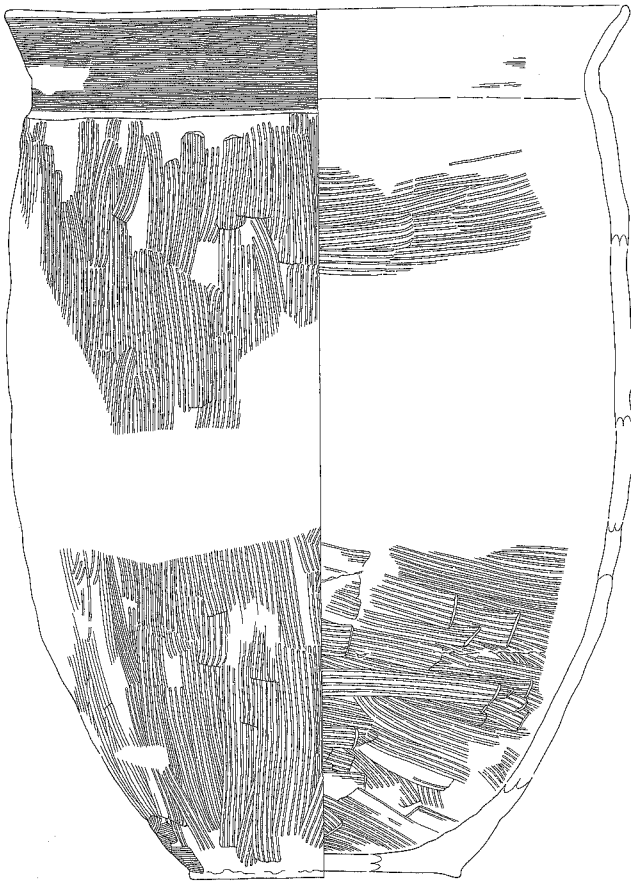
RA491②



268 土師器球胴甕—RA491—C層

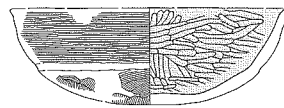


269 土師器球胴甕—RA491—カマド右袖No.7



270 土師器大甕—RA491—床面

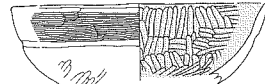
RA492



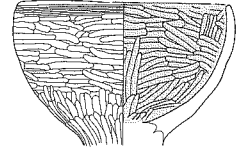
271 土師器坏—RA492—SW区J層



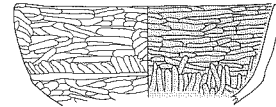
274 土師器坏—RA492—SE区B層



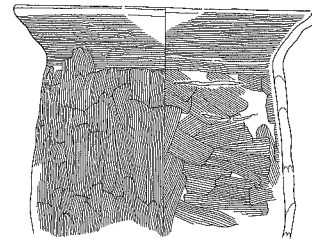
272 土師器坏—RA492—SE区B層



275 土師器高台付坏—RA492—SE区B層

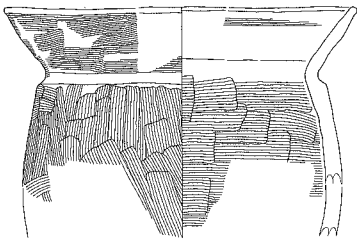


273 土師器坏—RA492—SE区B層



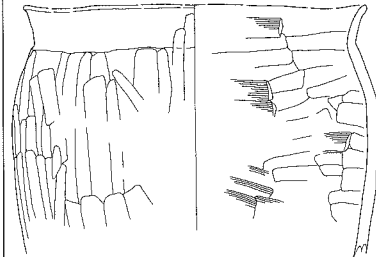
276 土師器甕—RA492—NW区A層

RA493

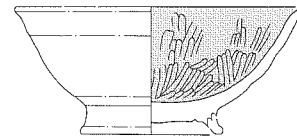


277 土師器甕—RA493—床面No.3

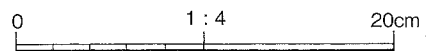
RA496



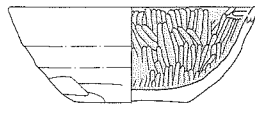
278 土師器甕—RA496—床面



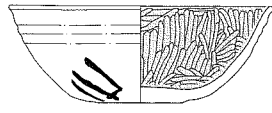
279 土師器高台付坏—RA496—床面



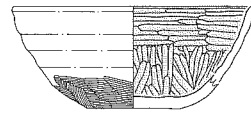
第159図 第27次調査B区出土土器(3)



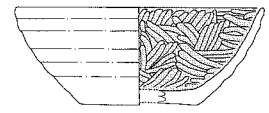
280 土師器坏-RG339-C層



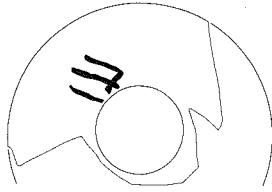
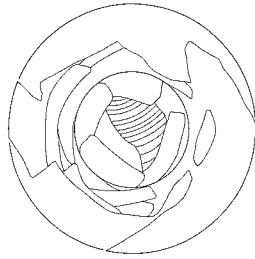
281 土師器坏-RG339-C層-墨書「山」



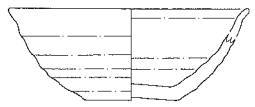
282 土師器坏-RG339-C層



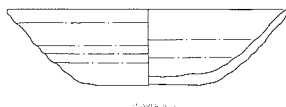
283 土師器坏-RG339-B層



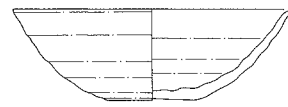
284 土師器盤皿-RG339-B層



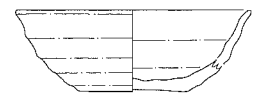
285 あかやき土器坏-RG339-C層



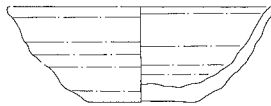
286 須恵器坏-RG339-C層



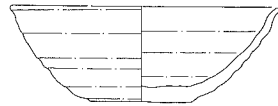
287 須恵器坏-RG339-B層



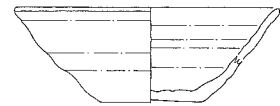
288 須恵器坏-RG339-C層



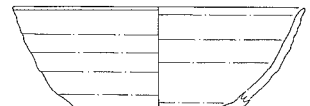
289 須恵器坏-RG339-C層



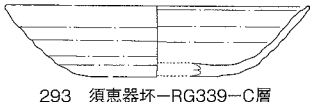
290 須恵器坏-RG339-C層



291 須恵器坏-RG339-C層



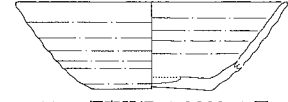
292 須恵器坏-RG339-C層



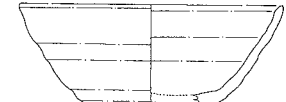
293 須恵器坏-RG339-C層



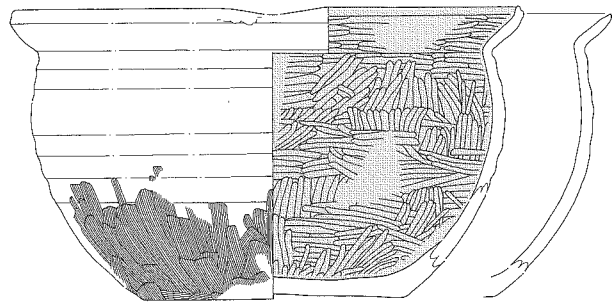
294 須恵器坏-RG339-C層



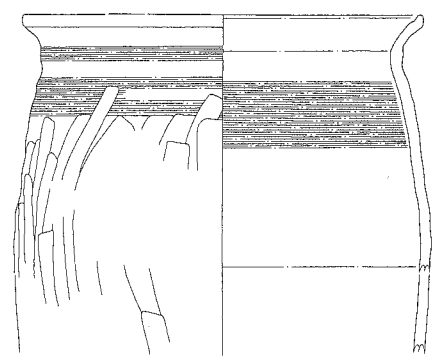
295 須恵器坏-RG339-B層



296 須恵器坏-RG339-C層

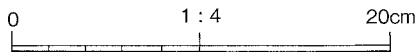


297 土師器片口鉢-RG339-C層

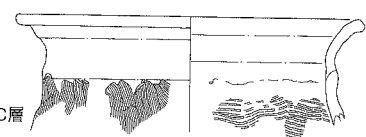


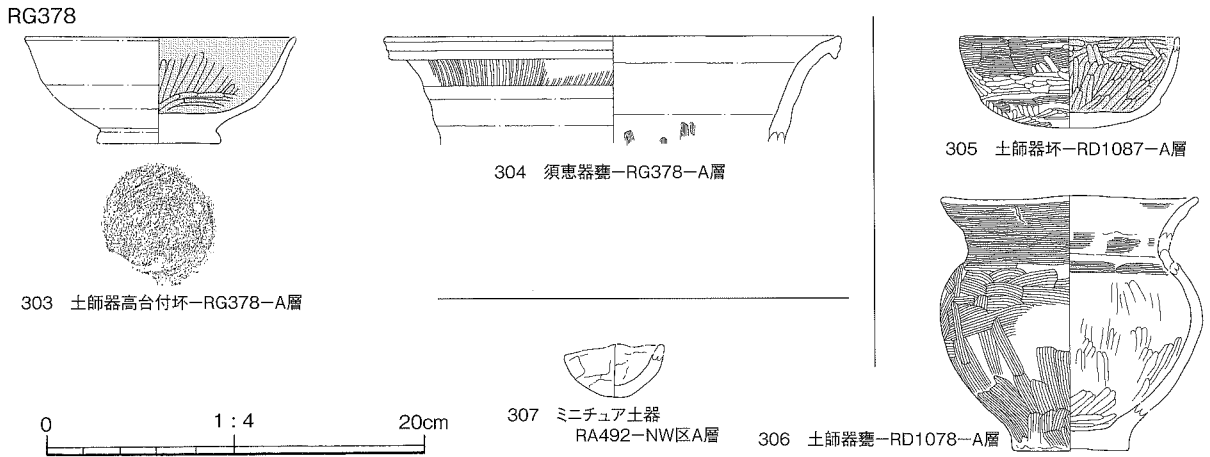
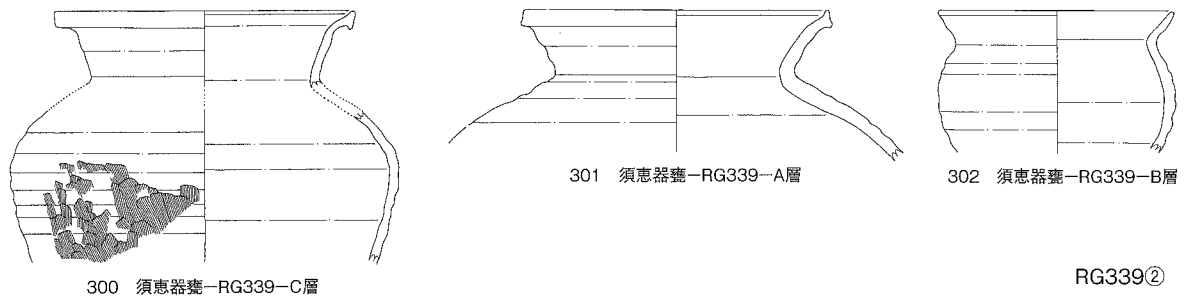
298 あかやき土器甕-RG339-C層

RG339①

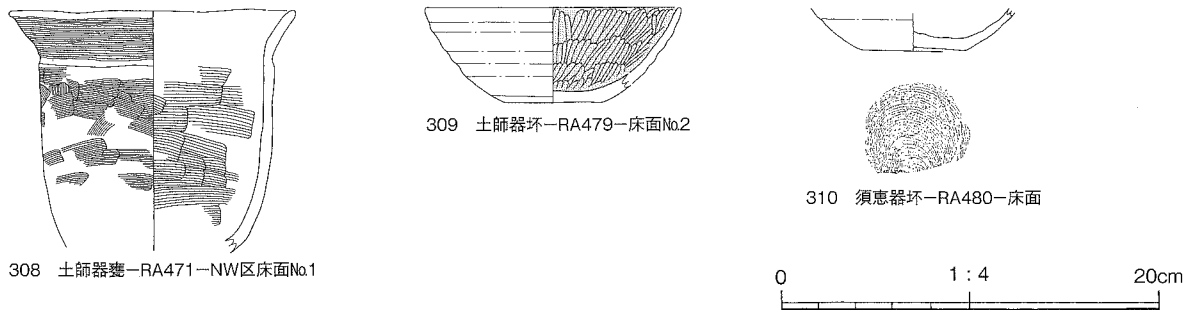


299 あかやき土器甕-RG339-C層

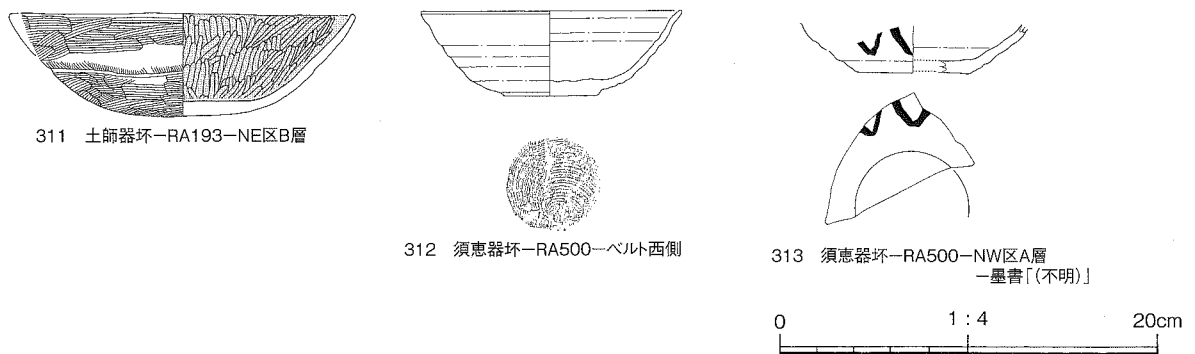




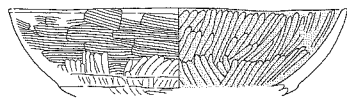
第161図 第27次調査B区出土土器・土製品



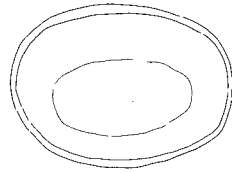
第162図 第28次調査出土土器



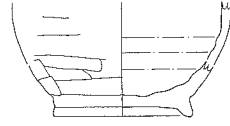
第163図 第32次調査B区出土土器



314 土師器坏-RA502-SE区C層



316 土師器舟底形坏-RA502-SE区B層



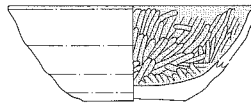
RA502



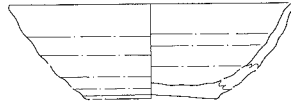
317 須恵器瓶-RA502-NW区A層



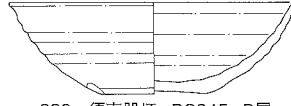
315 土師器坏-RA502-N区L層



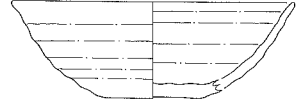
318 土師器坏-RG045-A層



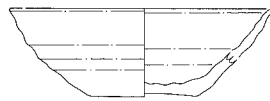
319 あかやき土器坏-RG045-A層



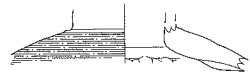
320 須恵器坏-RG045-B層



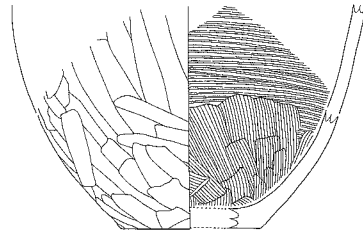
321 須恵器坏-RG045-B層



322 須恵器坏-RG045-A層



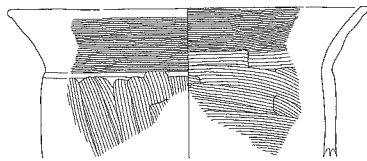
323 須恵器長頸瓶-RG045-A層



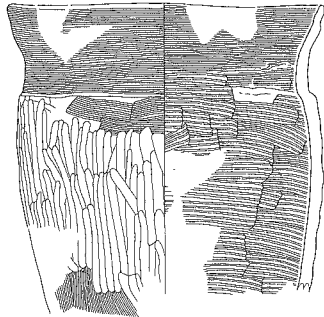
324 須恵器甕-RG045-A層

RG045

RG042

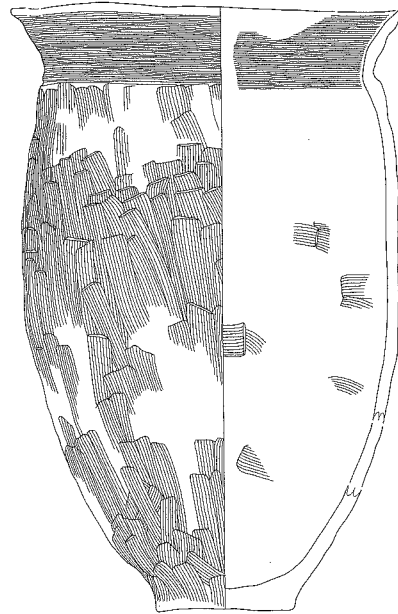


325 土師器甕-RG042-B層



326 土師器甕-RG042-B層

RD1087

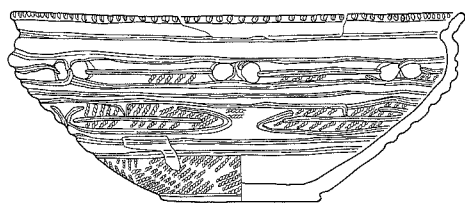


327 土師器甕-RD1087-B層



328 フイゴ羽ロ-RG045-A層

0 1:4 20cm



501 浅鉢-A区西部一遺物包含層



502 鉢-RA322-攪乱内



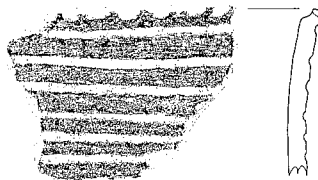
503 鉢-RA354-煙道



504 鉢-RA332-SW区A層



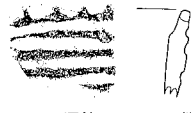
505 鉢-RA355-NE区A層



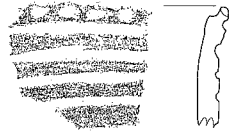
506 深鉢-RA323-A層



507 深鉢-RA322-A層



508 深鉢-RA325-攪乱内



509 深鉢-RA327-SW区B層



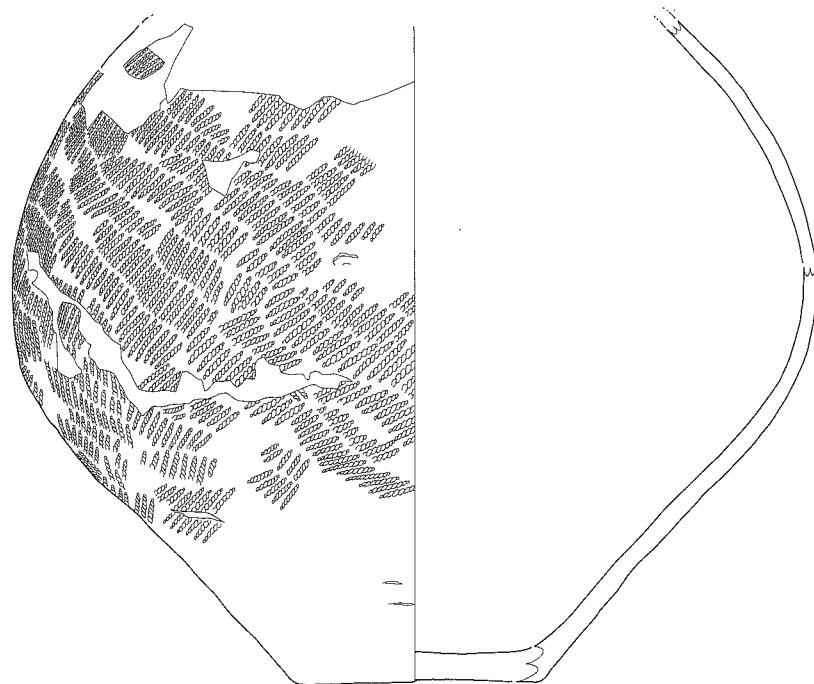
510 深鉢-RA327-SW区B層



511 深鉢-RA330-構築土

縄文

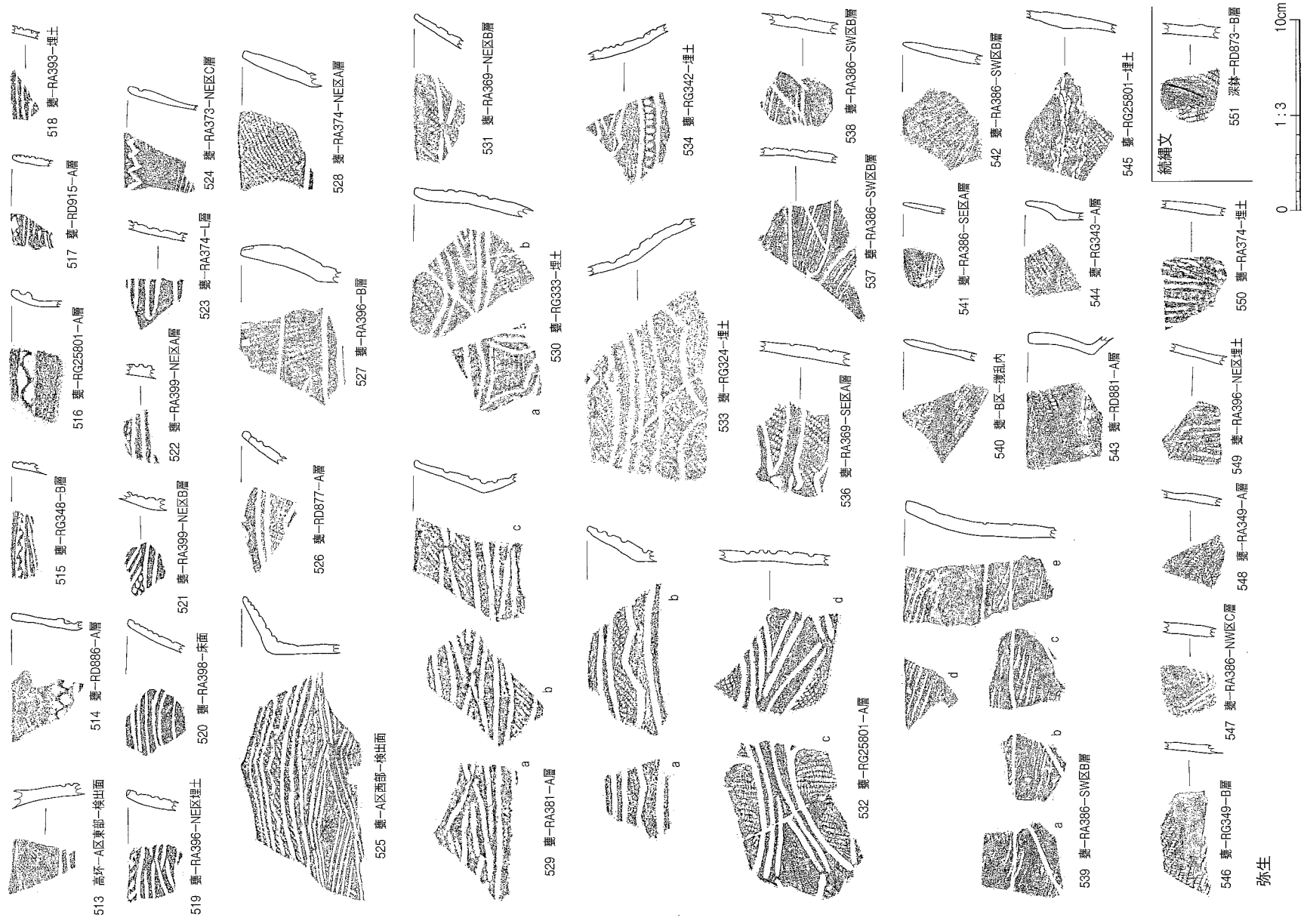
弥生



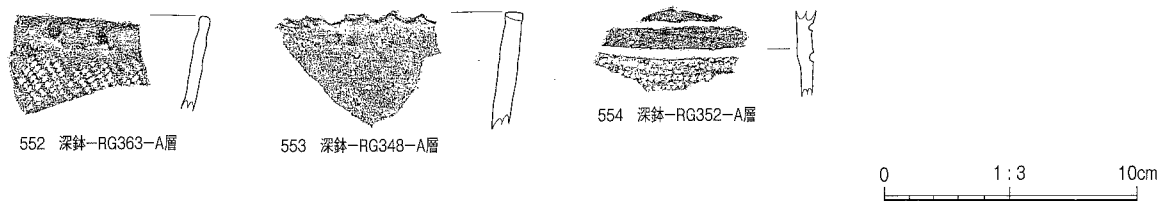
512 壺-RP001埋没土器

0 1:3 10cm

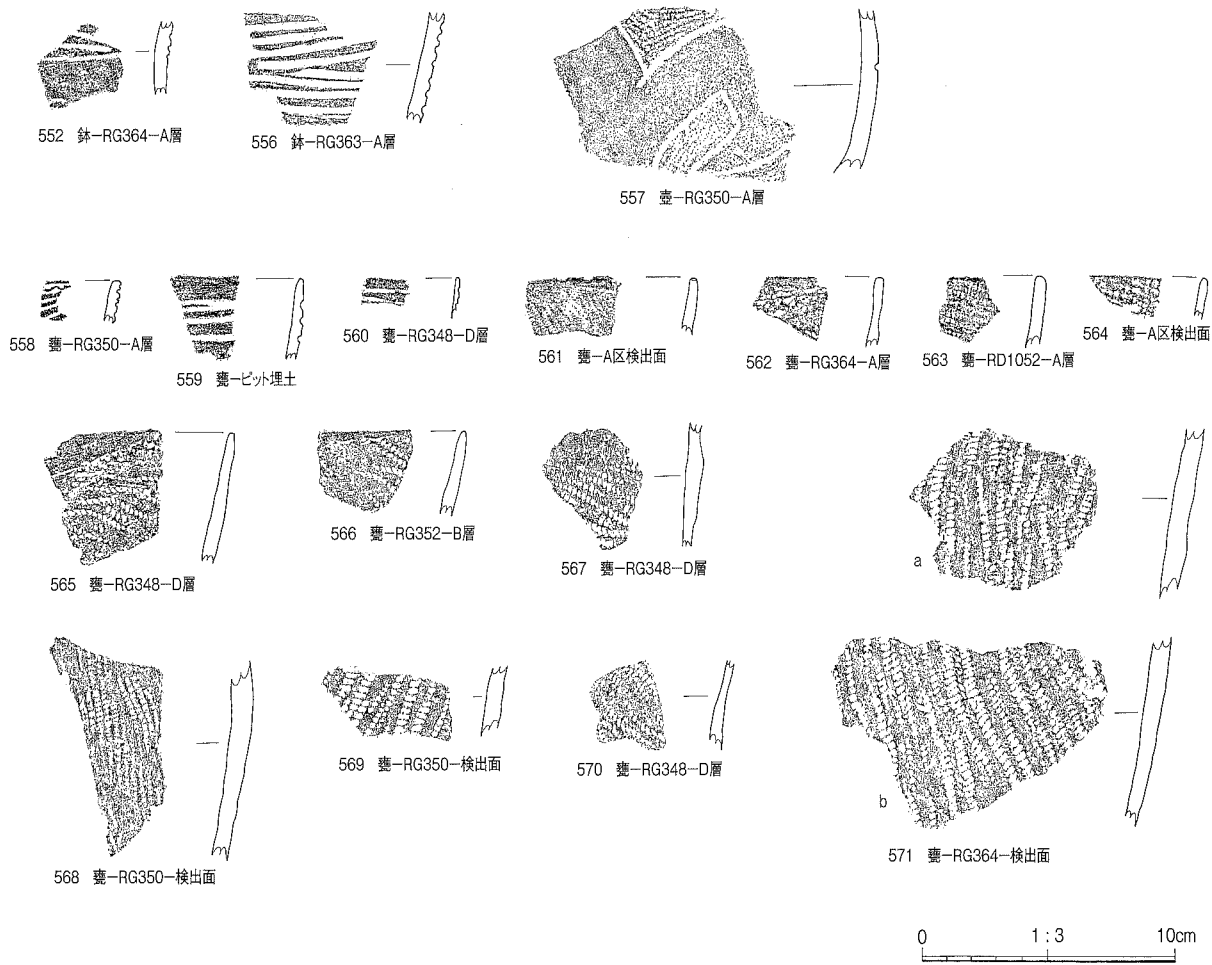
第 165 図 第 25 次調査 A 区出土縄文土器・弥生土器



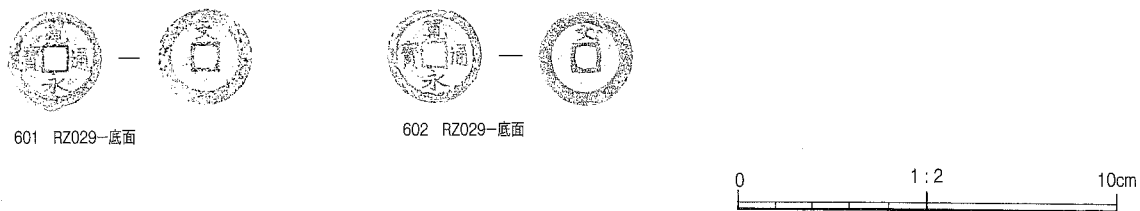
第 166 图 第 25 次調査 A · B 区出土弥生土器 · 統繩文土器



第167図 第27次調査A区出土縄文土器



第168図 第27次調査A区出土弥生土器



第169図 第27次調査A区出土古銭

写真図版



第 24 次調査 R A 3 0 5 出土土器



第 25 次調査 A 区 R A 3 2 7 出土土器

第 1 図版 第 24 次調査・第 25 次調査 A 区 竪穴住居跡出土土器



第 25 次調査 A 区 R A 3 4 1 出土土器



第 25 次調査 A 区 R A 3 4 5 出土土器

第 2 図版 第 25 次調査 A 区 竪穴住居跡出土土器 (1)



第 25 次調査 A 区 R A 3 7 3 出土土器



第 25 次調査 A 区 R A 3 8 1 出土土器

第 3 図版 第 25 次調査 A 区 竪穴住居跡出土土器 (2)



001 土師器坏 -RA304



006 須恵器坏 -RA307



007 土師器坏 -RA308



008 土師器坏 -RA308



009 あかやき土器坏 -RA308



013 土師器坏 -RA312



022 土師器坏 -RA305



024 あかやき土器坏 -RA305



025 あかやき土器坏 -RA305



027 須恵器坏 -RA305



028 須恵器坏 -RA305



030 須恵器坏 -RA305



031 土師器高台付坏 -RA305



039 土師器坏 -RA313



042 須恵器坏 -RA313



043 須恵器坏 -RA313



045 須恵器坏 -RA313



048 土師器坏 -RA317



050 土師器坏 -RA319



055 土師器坏 -RA321



058 土師器坏 -RA322



059 あかやき土器坏 -RA322



060 あかやき土器坏 -RA322



064 土師器坏 -RG327



004 土師器甕 -RA304



034 あかやき土器甕 -RA305



038 須恵器長頸瓶 -RA305



046 土師器甕 -RA317



053 土師器甕 -RA319



070 須恵器坏 -RA322



077 須恵器坏 -RA327



078 あかやき土器坏 -RA327



085 あかやき土器坏 -RA338



088 土師器坏 -RA332



092 土師器片口鉢 -RA335



093 土師器坏 -RA335



095 土師器坏 -RA337



096 土師器坏 -RA337



098 土師器坏 -RA341



099 土師器坏 -RA341



106 土師器坏 -RA345



110 土師器坏 -RA346



114 土師器坏 -RA349



116 土師器坏 -RA349



118 須恵器脚付盤皿 -RA349



123 須恵器坏 -RA347



134 土師器坏 -RA354



138 土師器碗 -RA355



139 土師器坏 -RA361



142 あかやき土器坏 -RA356



147 須恵器坏 -RA366



153 土師器坏 -RA370



154 土師器坏 -RA370



156 土師器坏 -RA371



161 土師器坏 -RA373



170 須恵器坏 -RA356b



171 須恵器坏 -RA379



172 須恵器坏 -RA378



173 須恵器坏 -RA378



174 須恵器坏 -RA378



176 土師器坏 -RA381



177 土師器坏 -RA381



178 土師器坏 -RA381



179 土師器高台付坏 -RA381



180 土師器大形坏 -RA381



183 土師器坏 -RA380



191 土師器坏 -RD871



192 土師器坏 -RD908



201 土師器坏 -RG339



204 須恵器坏 -RG339



206 須恵器坏 -RG339



080 土師器甕 -RA327



094 土師器甕 -RA335



103 土師器甕 -RA341



104 土師器甕 -RA341



107 土師器甕 -RA345



108 土師器甕 -RA345



109 土師器球胴甕 -RA345



130 あかやき土器甕 -RA347



133 土師器甕 -RA350



135 土師器球胴甕 -RA354



151 土師器球胴甕 -RA367



152 土師器甕 -RA367



160 土師器甕 -RA372



165 土師器甕 -RA373



166 土師器甕 -RA373

第9図版 第25次調査A区出土土器 (4)



222 あかやぎ土器小皿 -RA393



226 土師器大形杯 -RA396



232 土師器杯 -RA467



233 土師器杯 -RA467



236 土師器杯 -RG352



246 土師器坏 -RA487



247 土師器坏 -RA489



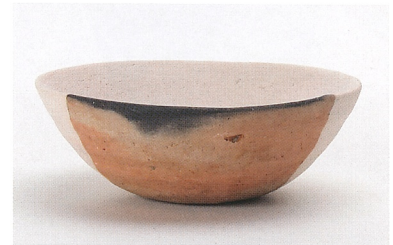
252 土師器坏 -RA490



253 土師器坏 -RA490



255 土師器坏 -RA490



259 土師器坏 -RA491



260 土師器坏 -RA491



279 土師器高台付坏 -RA496



280 土師器坏 -RG339



282 土師器坏 -RG339



285 あかやき土器坏 -RG339



287 須恵器坏 -RG339



290 須恵器坏 -RG339



291 須恵器坏 -RG339



294 須恵器坏 -RG339



297 土師器片口鉢 -RG339



303 土師器高台付坏 -RG378



305 土師器坏 -RD1087



256 土師器甕 -RA490



264 土師器甕 -RA491



306 土師器甕 -RD1078



316 土師器舟底形坏 -RA502



318 土師器坏 -RG045



319 あかやき土器坏 -RG045



320 須恵器坏 -RG045



321 須恵器坏 -RG045



327 土師器甕 -RD1087



039 刻書「×」(土師器坏),第24次調査 RA313



050 刻書「×」(土師器坏),第24次調査 RA319



106 刻書「×」(土師器坏),第25次調査 A区 RA345



120 刻書「×」(土師器坏),第25次調査 A区 RA347



153 刻書「×」(土師器坏),第25次調査 A区 RA370



252 刻書「井」(土師器坏),第27次調査 B区 RA490



281 墨書「山」(土師器坏),第27次調査 B区 RG339



313 墨書「(不明)」(須恵器坏),第32次調査 B区 RA500

報告書抄録

ふりがな	せいなんちくいせきぐんはくつちようさほうこくしょ3							
書名	盛南地区遺跡群発掘調査報告書Ⅲ							
副書名	盛岡南新都市開発整備事業関連遺跡平成5～12年度発掘調査③ 台太郎遺跡							
編著者名	津嶋知弘							
編集機関	盛岡市遺跡の学び館（刊行：独立行政法人都市再生機構・盛岡市・盛岡市教育委員会）							
所在地	〒020-0866 岩手県盛岡市本宮字荒屋13番地1 電話 019-635-6600							
発行年月日	2010年11月30日							
ふりがな	ふりがな	コード		北緯	東経	調査期間	調査面積	調査原因
所収遺跡名	所在地	市町村	遺跡番号	(世界測地系)			(㎡)	
だいたろういせき	いわてけんもりおかし	03201		39°	141°	9次:1993.5.11	50	土地区画整理事業等
台太郎遺跡	岩手県盛岡市			40′	08′	10次:1995.4.4-4.6	1,200	
	むかいなかの			57″	25″	11次:1995.6.19-6.27	320	
	向中野					12次:1995.9.1-11.30	5,174	
	だいたろう・ようかいちば					13次:1996.10.14-10.25	4,064	
	台太郎・八日市場ほか					14次:1996.11.25-11.28	25	
						17次:1997.8.23	10	
						20次:1998.9.17-12.21	1,400	
						21次:1998.9.25	28	
						24次:1999.5.6-7.16	3,425	
						25次:1999.7.7-12.15	3,674	
						27次:2000.6.12-11.14	2,513	
						28次:2000.6.12-11.14	460	
						29次:2000.7.19-8.25	125	
						30次:2000.7.25-7.31	35	
						31次:2000.8.1-8.8	128	
						32次:2000.9.18-10.20	1,030	
						33次:2000.9.22-10.13	695	
						34次:2000.11.20・21	156	
所収遺跡名	種別	主な時代		主な遺構		主な遺物		特記事項
台太郎遺跡	集落							
第9次調査		なし						試掘確認調査
第10次調査		古代		土坑, 溝跡, 柱穴				試掘確認調査
第11次調査		なし						試掘確認調査
第12次調査		古代		竪穴住居跡, 土坑, 溝跡, 柱穴				試掘確認調査
第13次調査		古代		竪穴住居跡, 土坑, 溝跡, 柱穴				試掘確認調査
第14次調査		古代		竪穴住居跡, 溝跡				
第20次調査		古代以降		土坑9, 溝跡19, 柱穴群		土師器, 須恵器, あかやき土器 中世・近世陶磁器		
第24次調査		古代		竪穴住居跡20		土師器, 須恵器, あかやき土器 紡錘車, 土錘, 砥石		
		古代以降		土坑15, 溝跡51, 道路状遺構				
		中世以降		掘立柱建物跡1, 柱列跡2		中世陶磁器		
第25次調査		縄文時代 弥生時代 古代		土器埋設遺構1 竪穴住居跡73		縄文土器 弥生土器, 続縄文土器 土師器, 須恵器, あかやき土器 紡錘車, フイゴ羽口, 砥石		
		古代以降		土坑墓2, 土坑68, 溝跡32				
		中世以降		大溝跡1		近世陶磁器		
第27次調査		縄文時代, 弥生時代 古代		竪穴住居跡21		縄文土器, 弥生土器 土師器, 須恵器, あかやき土器 紡錘車, ミニチュア土器		
		古代以降 近世以降		土坑23, 溝跡30 土坑墓2		古銭		

所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項
台太郎遺跡 第 28 次調査	集落	古代 古代以降 中世以降	竪穴住居跡 9 土坑 10, 溝跡 2 掘立柱建物跡 1, 柱 列跡 2	土師器, 須恵器, あかやき土器 中世陶磁器	
第 29 次調査		古代 近世以降	竪穴住居跡 1 土坑 3	土師器	
第 30 次調査		古代	竪穴状遺構 1	土師器, あかやき土器	
第 31 次調査		古代 古代以降	竪穴住居跡 2 溝跡 2		
第 32 次調査		古代 古代以降 中世以降 近世以降	竪穴住居跡 6 土坑 7, 溝跡 8 溝跡 1 井戸跡 2	土師器, 須恵器, あかやき土器 フイゴ羽口 中世・近世陶磁器 近世陶磁器	
第 33 次調査		古代 古代以降	竪穴住居跡 3 溝跡 3		試掘保存措置
第 34 次調査		古代	竪穴住居跡, 溝跡		試掘保存措置
要約	盛南地区遺跡群は, 平安時代初頭の延暦 22 年 (803) に朝廷が造営した古代城柵「志波城」の南東方に位置し, 7 世紀より続く一大勢力「志波エミシ」が 10 世紀まで拠点とした古代集落群が主に確認されている。台太郎遺跡は, 古代の竪穴住居跡が 600 棟以上を数え, 盛南地区遺跡群で最大の集落である。本書掲載の調査では奈良・平安時代の竪穴住居跡 133 棟を精査し, 多数の遺物が出土しており, 主に遺跡西端部と北端部の集落の様相を明らかにすることができた。				

盛南地区遺跡群発掘調査報告Ⅲ

－盛岡南新都市開発整備事業関連遺跡平成5～12年度発掘調査③－
台太郎遺跡

平成22年11月30日

編集 盛岡市遺跡の学び館
〒020-0866 岩手県盛岡市本宮字荒屋13-1
電話 019-635-6600 ファクス 019-635-6605
E-mail iseki@city.morioka.iwate.jp
URL [http://www.city.morioka.iwate.jp/
14kyoiku/iseki/manabikan/index.html](http://www.city.morioka.iwate.jp/14kyoiku/iseki/manabikan/index.html)

発行 独立行政法人都市再生機構
盛岡市・盛岡市教育委員会

印刷 株式会社杜陵印刷
〒020-0122 岩手県盛岡市みたけ2-22-50